

千葉市高齢者保健福祉推進計画
(第8期介護保険事業計画)策定にかかる
調査報告書

令和2年3月

目 次

I 調査概要.....	1
1 調査目的	1
2 調査概要	1
3 調査報告書の読み方及び注意事項	2
II 回収結果の内訳	3
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
2 在宅介護実態調査	5
3 介護保険事業所向けアンケート調査	6
III 設問別の回答者の概要及び回答結果.....	7
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	7
2 在宅介護実態調査	108
3 介護保険事業所向けアンケート調査	159
IV 考察	218
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	218
2 在宅介護実態調査	223
3 介護保険事業所向けアンケート調査	228
V 資料編	232
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票.....	232
2 在宅介護実態調査 調査票	248
3 介護保険事業所向けアンケート調査 調査票	254

I 調査概要

1 調査目的

老人福祉法及び介護保険法に基づき3年を1期とする次期計画「千葉市高齢者保健福祉推進計画（第8期介護保険事業計画）」【計画期間：令和3年～5年度（2021～2023年度）】を策定するにあたり、市民の高齢社会についての意識・生活状況、介護予防及び介護に対する考え方、保健・医療・福祉サービスの利用実態、ニーズ等を調査し、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域の抱える課題の特定（地域診断）を目的とする。

2 調査概要

（1）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

ア. 調査対象

市内在住の一般高齢者及び要支援1・2の方 8,400人

イ. 調査方法

郵送による配布・回収

ウ. 調査期間

令和元年12月20日～令和2年1月10日

（2）在宅介護実態調査

ア. 調査対象

在宅生活の要支援・要介護認定者のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方 591人

イ. 調査方法

各区介護認定調査員による聞き取り調査

ウ. 調査期間

平成31年4月～令和元年12月

（3）介護保険事業所向けアンケート調査

ア. 調査対象

市内で介護保険サービスの指定を受ける全施設・事業所 1,418事業所

（提供しているサービス種類別でカウントしているため、

複数のサービスを提供している事業所は重複カウント）

イ. 調査方法

ちば電子申請サービス

ウ. 調査期間

令和2年1月23日～令和2年2月3日

3 調査報告書の読み方及び注意事項

- 報告書本文中の比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第 2 位以下を四捨五入している。そのため単一回答であっても構成比の合計が 100％にならない場合がある。
- 複数回答の設問は、回答が 2 つ以上あり得るため、構成比の合計が 100％を上回る場合がある。
- 図表中の「N」（Number of cases の略）とは設問に対する回収件数の総数を示しており、回答者の構成比（％）を算出するための基数である。
- 報告書本文中における「前回調査」とは、以下のとおり。

千葉市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

郵送調査：平成 28 年 12 月 1 日～12 月 21 日実施

千葉市在宅介護実態調査

郵送調査：平成 28 年 12 月 1 日～12 月 21 日実施

聞き取り調査：平成 28 年 12 月 1 日～12 月 22 日実施

Ⅱ 回収結果の内訳

1 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

【男女別】

	発送件数	回収件数	回収率
男性	4,076	2,413	59.2%
女性	4,324	2,420	56.0%
不明	-	6	-
計	8,400	4,839	57.6%

【前期・後期高齢者別】

	発送件数	回収件数	回収率
前期高齢者（65～74 歳）	3,410	1,829	53.6%
後期高齢者（75 歳以上）	4,990	3,004	60.2%
不明	-	6	-
計	8,400	4,839	57.6%

【行政区別】

	発送件数	回収件数	回収率
中央区	1,529	836	54.7%
花見川区	1,757	1,023	58.2%
稲毛区	1,476	881	59.7%
若葉区	1,520	858	56.4%
緑区	913	511	56.0%
美浜区	1,205	724	60.1%
不明	-	6	-
計	8,400	4,839	57.6%

【日常生活圏域別】

日常生活圏域	名称	発送件数	回収件数	回収率
中央区 1	新千葉	294	163	55.4%
中央区 2	中央	300	175	58.3%
中央区 3	千葉寺	297	161	54.2%
中央区 4	松ヶ丘	346	169	48.8%
中央区 5	浜野	292	168	57.5%
花見川区 1	こてはし台	280	166	59.3%
花見川区 2	花見川	335	198	59.1%
花見川区 3	さつきが丘	280	149	53.2%
花見川区 4	にれの木台	273	163	59.7%
花見川区 5	花園	283	176	62.2%
花見川区 6	幕張	306	171	55.9%
稲毛区 1	山王	336	212	63.1%
稲毛区 2	園生	291	173	59.5%
稲毛区 3	天台	289	172	59.5%
稲毛区 4	小仲台	282	161	57.1%
稲毛区 5	稲毛	278	163	58.6%
若葉区 1	みつわ台	307	177	57.7%
若葉区 2	都賀	285	162	56.8%
若葉区 3	桜木	299	163	54.5%
若葉区 4	千城台	342	196	57.3%
若葉区 5	大宮台	287	160	55.7%
緑区 1	鎌取	301	173	57.5%
緑区 2	誉田	297	155	52.2%
緑区 3	土気	315	183	58.1%
美浜区 1	真砂	290	168	57.9%
美浜区 2	磯辺	311	204	65.6%
美浜区 3	高洲	322	193	59.9%
美浜区 4	幸町	282	159	56.4%
不明		-	6	-
計		8,400	4,839	57.6%

※日常生活圏域…高齢者人口の増加、町丁や団地などの「地域のまとまり」、関係機関や団体などとの連携のしやすさなどを踏まえ、設定しているもの。現在は、市内に 28 圏域を設定。

2 在宅介護実態調査

【男女別】

	回収件数
男性	177
女性	414
計	591

【前期・後期高齢者別】

	回収件数
前期高齢者（65～74 歳）	58
後期高齢者（75 歳以上）	526
その他	7
計	591

【行政区別】

	回収件数
中央区	128
花見川区	109
稲毛区	94
若葉区	113
緑区	77
美浜区	70
計	591

3 介護保険事業所向けアンケート調査

【サービス種別】

	調査件数	回収件数	回収率
訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	256	82	32.0%
訪問入浴介護	13	1	7.7%
訪問看護	74	27	36.5%
訪問リハビリテーション	4	2	50.0%
居宅療養管理指導	1	1	100.0%
通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員 19 名以上のデイサービス）	110	44	40.0%
地域密着型通所介護（定員 18 名以下のデイサービス）	147	44	29.9%
認知症対応型通所介護	8	3	37.5%
通所リハビリテーション	21	5	23.8%
短期入所生活介護	64	20	31.3%
短期入所療養介護	23	4	17.4%
特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	62	32	51.6%
居宅介護支援	312	99	31.7%
福祉用具貸与・特定福祉用具販売	109	18	16.5%
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	53	34	64.2%
介護老人保健施設	22	15	68.2%
介護療養型医療施設（療養病床等）	0	0	0.0%
介護医療院	1	0	0.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10	1	10.0%
認知症対応型共同生活介護 （認知症高齢者グループホーム）	100	34	34.0%
小規模多機能型居宅介護 （看護小規模多機能型居宅介護を含む）	28	13	46.4%
計	1,418	479	33.8%

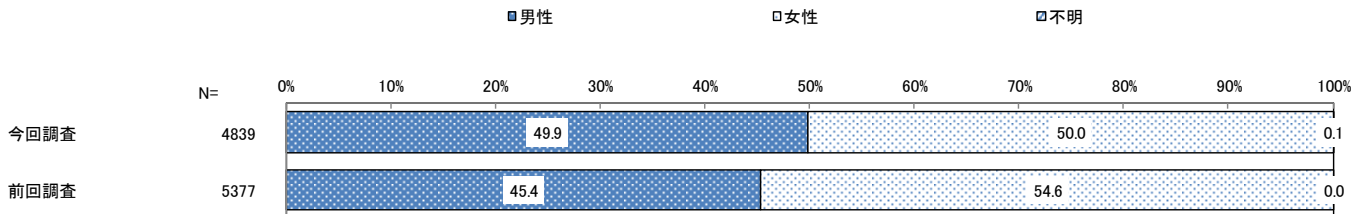
※介護療養型医療施設（療養病床等）については調査対象がないため、介護医療院については回答がなかったため、設問別の結果において記載なし。

Ⅲ 設問別の回答者の概要及び回答結果

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 回答者の概要

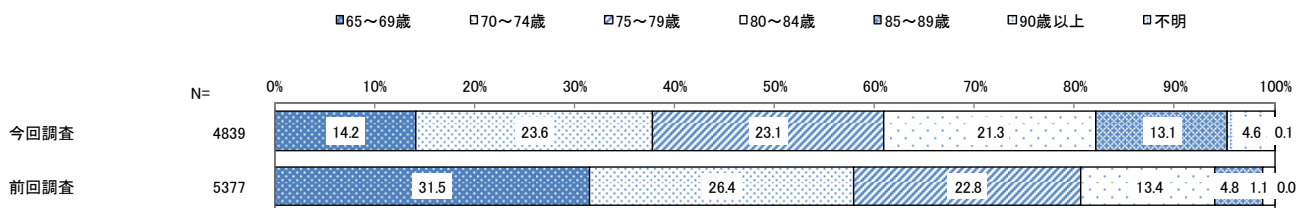
①男女別



男女別については、「男性」が49.9%、「女性」が50.0%となっている。

前回の調査では、「男性」が45.4%、「女性」が54.6%となっており、今回の調査は前回よりも相応の男女比で回答が得られた。

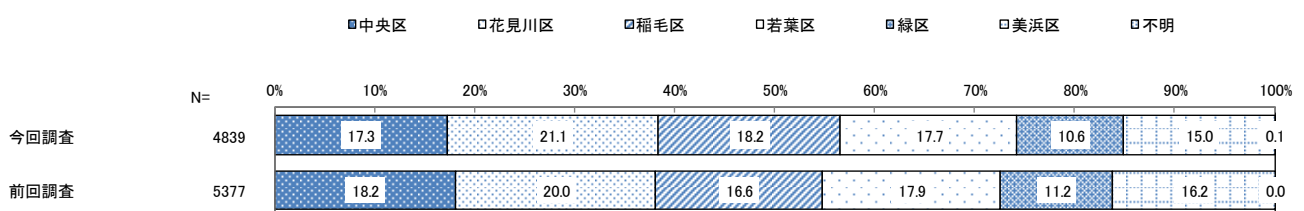
②年齢別



年齢別については、「70~74歳」が23.6%、次いで「75~79歳」が23.1%、「80~84歳」が21.3%となっている。

前回の調査では、「65~69歳」が31.5%、次いで「70~74歳」が26.4%、「75~79歳」が22.8%となっており、今回の調査は前回よりも相応の年齢構成で回答が得られた。

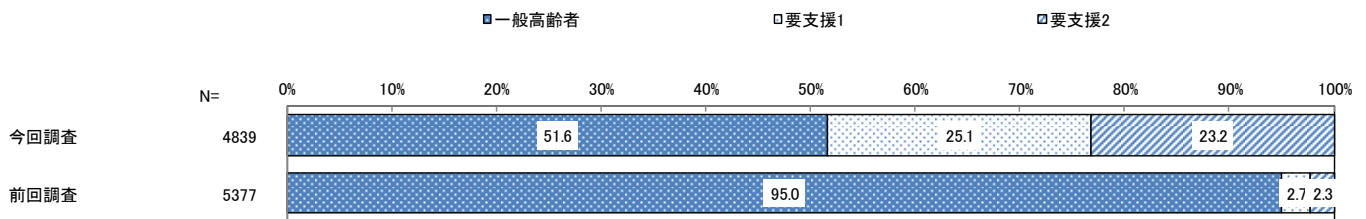
③行政区別



行政区別については、「花見川区」が21.1%と最も高く、次いで「稲毛区」が18.2%、「若葉区」が17.7%となっている。

前回の調査では、「花見川区」が20.0%と最も高く、次いで「中央区」が18.2%、「若葉区」が17.9%となっており、今回の調査は前回と同様に各区から相応の回答が得られた。

④要介護度別



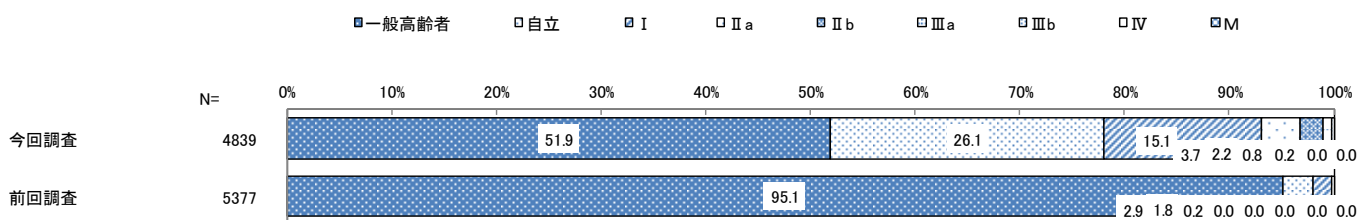
要介護度別については、「一般高齢者」が 51.6%、「要支援 1」が 25.1%、「要支援 2」が 23.2%となっている。

前回の調査では、「一般高齢者」が 95.0%、「要支援 1」が 2.7%、「要支援 2」が 2.3%となっており、今回の調査は、前回よりも各属性から相応の回答が得られた。

※1 要介護 1～5 については、調査対象外のため図表に記載していない。

※2 今回の調査における「一般高齢者」は、前回調査における「情報なし」に当たる調査対象であり、本報告では「一般高齢者」として記載している。

⑤認知症高齢者自立度別



認知症高齢者自立度別については、「一般高齢者」が 51.9%、「自立」が 26.1%、「I」が 15.1%となっている。

前回の調査では、「一般高齢者」が 95.1%、「自立」が 2.9%、「I」が 1.8%となっており、今回の調査は、前回よりも各属性から相応の回答が得られた。

※ 今回の調査における「一般高齢者」は、前回調査における「情報なし」に当たる調査対象であり、本報告では「一般高齢者」として記載している。

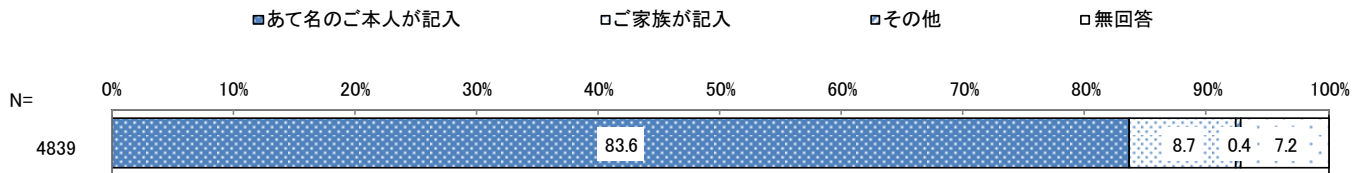
(2) 回答結果

調査票の記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

調査票の記入者については、「あて名のご本人が記入」が83.6%と大半を占めた。

【調査票の記入者】



上段：実数、下段：%

全 体	調査票の記入者			
	あて名のご本人が記入	ご家族が記入	その他	無回答
4839	4045	423	21	350
100.0	83.6	8.7	0.4	7.2

問 1 あなたの家族や生活状況について

【設問の意図】

家族構成及び介助者について問い、世帯状況や世帯構成別の回答結果及び家族介護の実態等を把握する。

また、介護・介助が必要になった原因について問い、要介護状態になる原因を把握する。

主観的な介護の必要度や経済状態、住宅の形態について問い、要介護状態になる前の介護の必要度及び経済状態や経済状態別の回答結果を把握する。

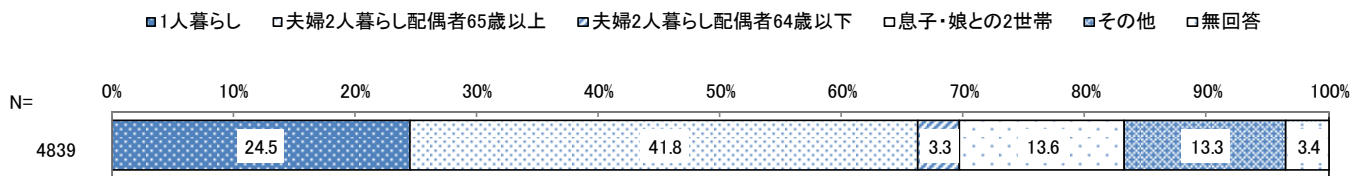
これらの課題を把握し、事業対象者や実施内容、サービス整備の検討の際に活用するものである。

問 1 (1) 家族構成をお教えてください (○は1つ)

調査対象者の家族構成については、「夫婦2人暮らし配偶者65歳以上」が41.8%と最も高く、次いで「1人暮らし」が24.5%、「息子・娘との2世帯」が13.6%となっている。

前回の調査では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が42.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が19.3%、「1人暮らし」が17.8%となっている。

【家族構成】



上段:実数、下段: %

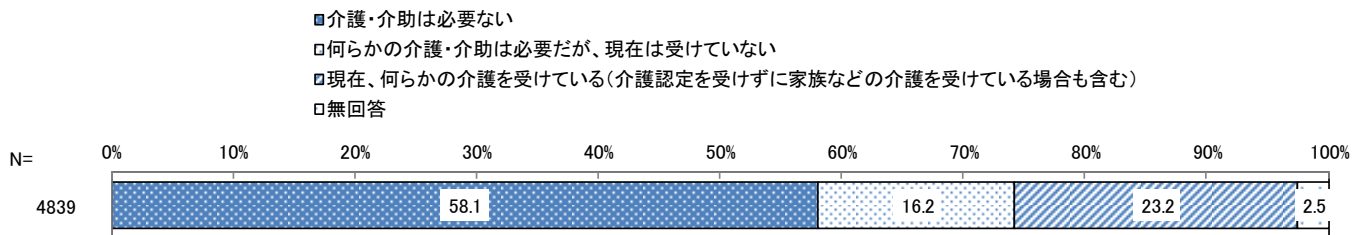
全 体	家族構成					
	1 人暮らし	夫婦2 人暮らし配偶者 65歳以上	夫婦2 人暮らし配偶者 64歳以下	息子・娘との 2 世帯	その他	無回答
4839	1186	2021	161	660	646	165
100.0	24.5	41.8	3.3	13.6	13.3	3.4

問 1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

普段の生活における介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が 58.1%と最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が 23.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 16.2%となっている。

前回の調査では、「介護・介助は必要ない」が 86.1%となっている。

【介護・介助の必要性】



上段: 実数、下段: %

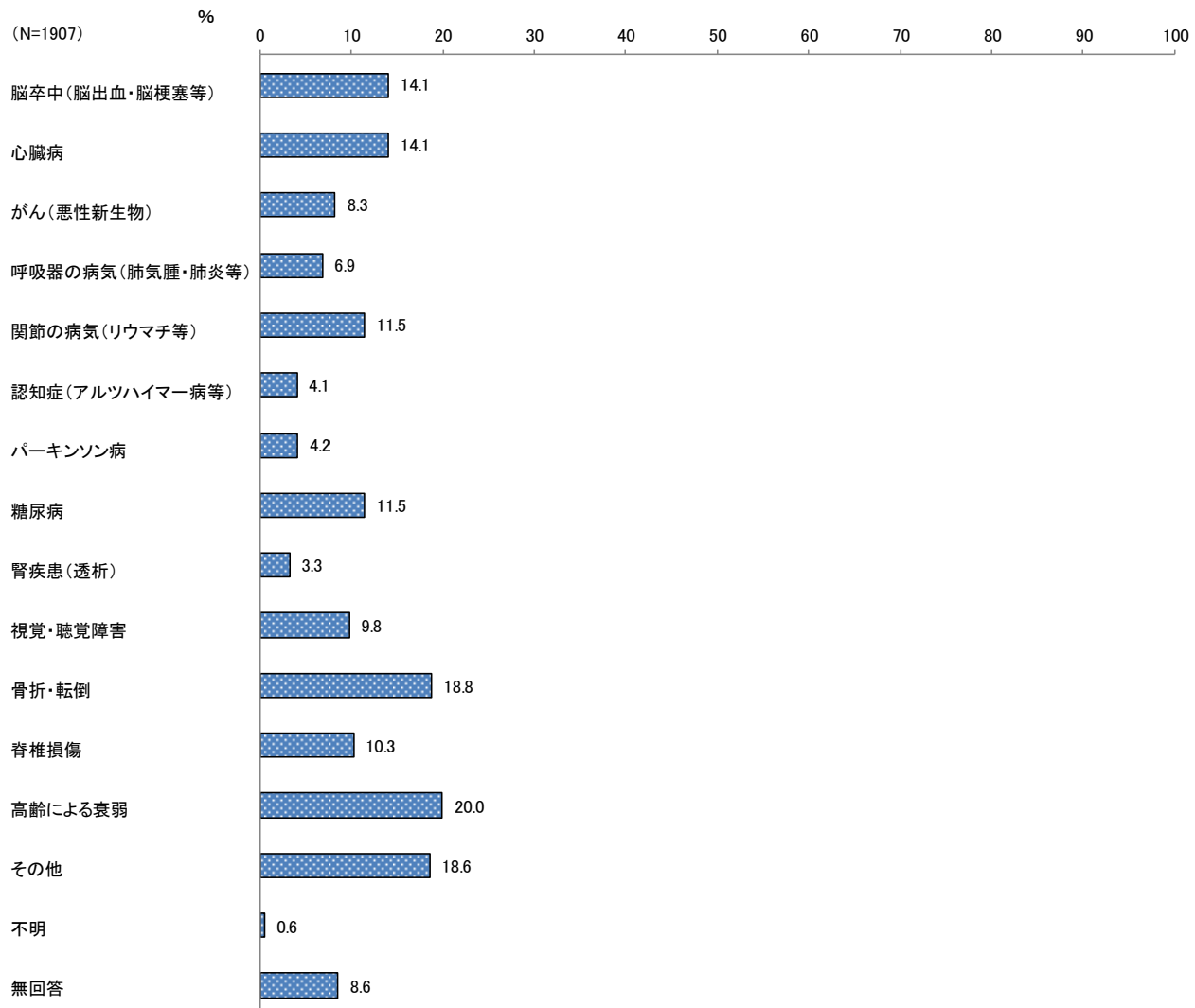
全 体	介護・介助の必要性			
	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	無回答
4839	2810	785	1122	122
100.0	58.1	16.2	23.2	2.5

【問 1（2）において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】
 問 1（2）①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（○はいくつでも）

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が 20.0%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が 18.8%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」がともに 14.1%となっている。

前回の調査でも、ほぼ同様の回答であった。

【介護・介助が必要になった主な原因】



上段:実数、下段:%

全 体	介護・介助が必要になった主な原因							
	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
1907	269	269	158	132	219	79	81	219
100.0	14.1	14.1	8.3	6.9	11.5	4.1	4.2	11.5

全 体	介護・介助が必要になった主な原因							
	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
1907	63	187	359	197	382	354	12	164
100.0	3.3	9.8	18.8	10.3	20.0	18.6	0.6	8.6

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

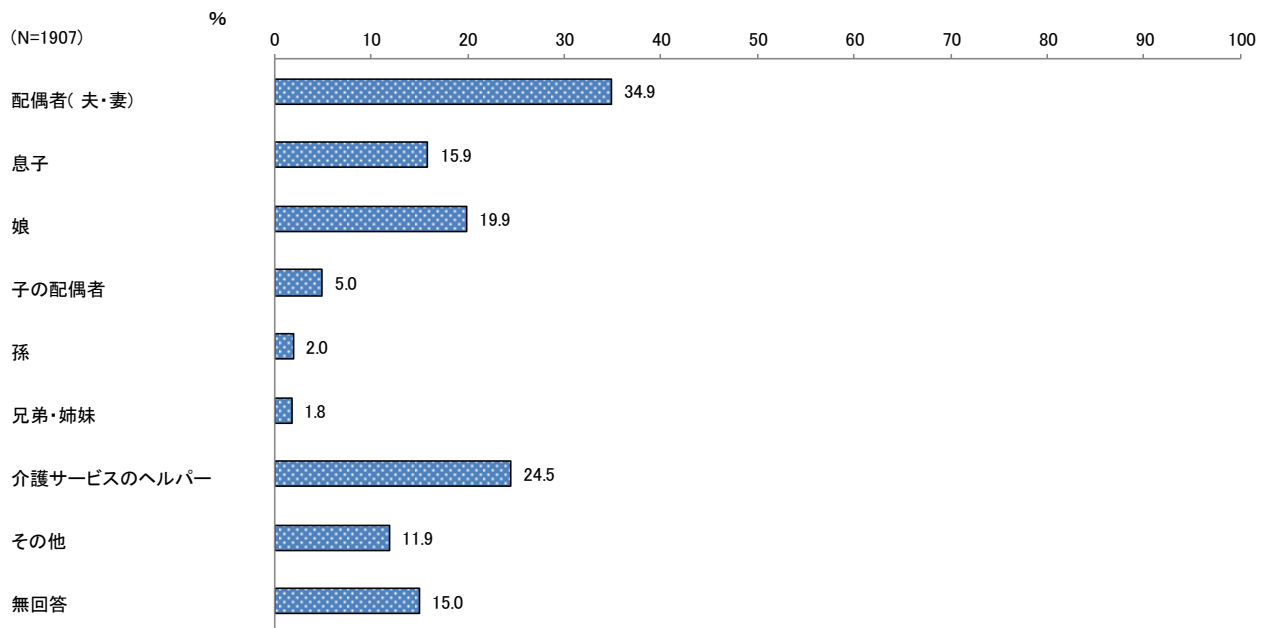
- ・うつ病
- ・带状疱疹
- ・手術の後遺症

【問１（２）において「１．介護・介助は必要ない」以外の方のみ】
問１（２）②主にどなたの介護、介助を受けていますか（○はいくつでも）

主な介護者・介助者については、「配偶者（夫・妻）」が 34.9%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が 24.5%、「娘」が 19.9%となっている。

前回の調査では、「配偶者（夫・妻）」が 32.7%と最も高く、次いで「娘」が 22.4%、「息子」が 16.8%となっている。

【主な介護者・介助者】



上段：実数、下段：%

全 体	主な介護者・介助者								
	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
1907	666	303	380	95	38	34	468	226	287
100.0	34.9	15.9	19.9	5.0	2.0	1.8	24.5	11.9	15.0

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・その他親族（祖母、いとこ、姪 等）
- ・家事代行サービス
- ・友人

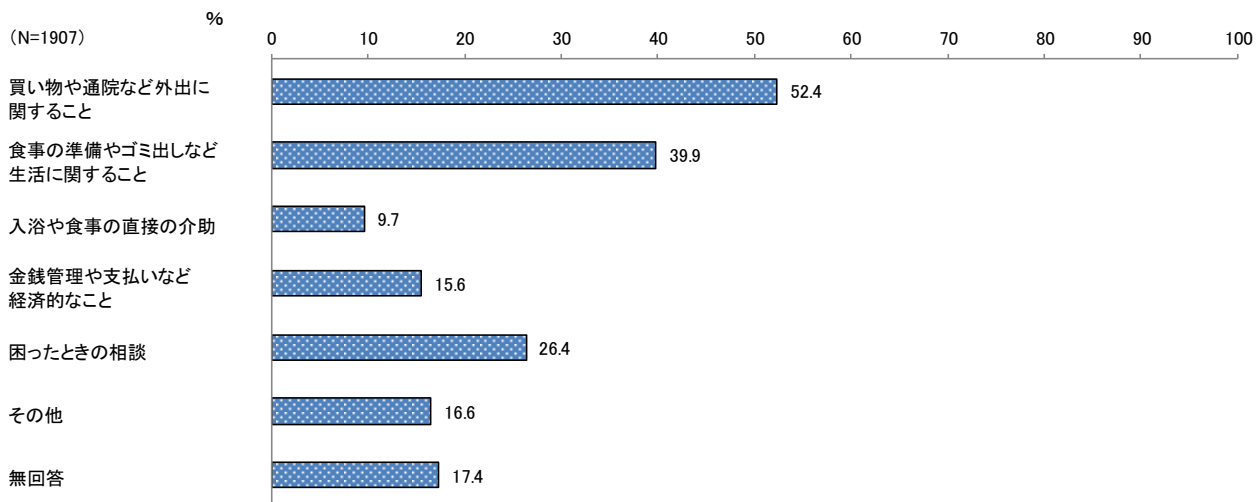
【問 1 (2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問 1 (2) ③どのような介護・介助を受けていますか (〇はいくつでも)

受けている介護・介助について、「買い物や通院など外出に関すること」が 52.4%と最も高く、次いで「食事の準備やゴミ出しなど生活に関すること」が 39.9%、「困ったときの相談」が 26.4%となっている。

行政区別でみると、すべての行政区で「買い物や通院など外出に関すること」が最も高くなっている。

【受けている介護・介助＜行政区別＞】



上段:実数、下段:%

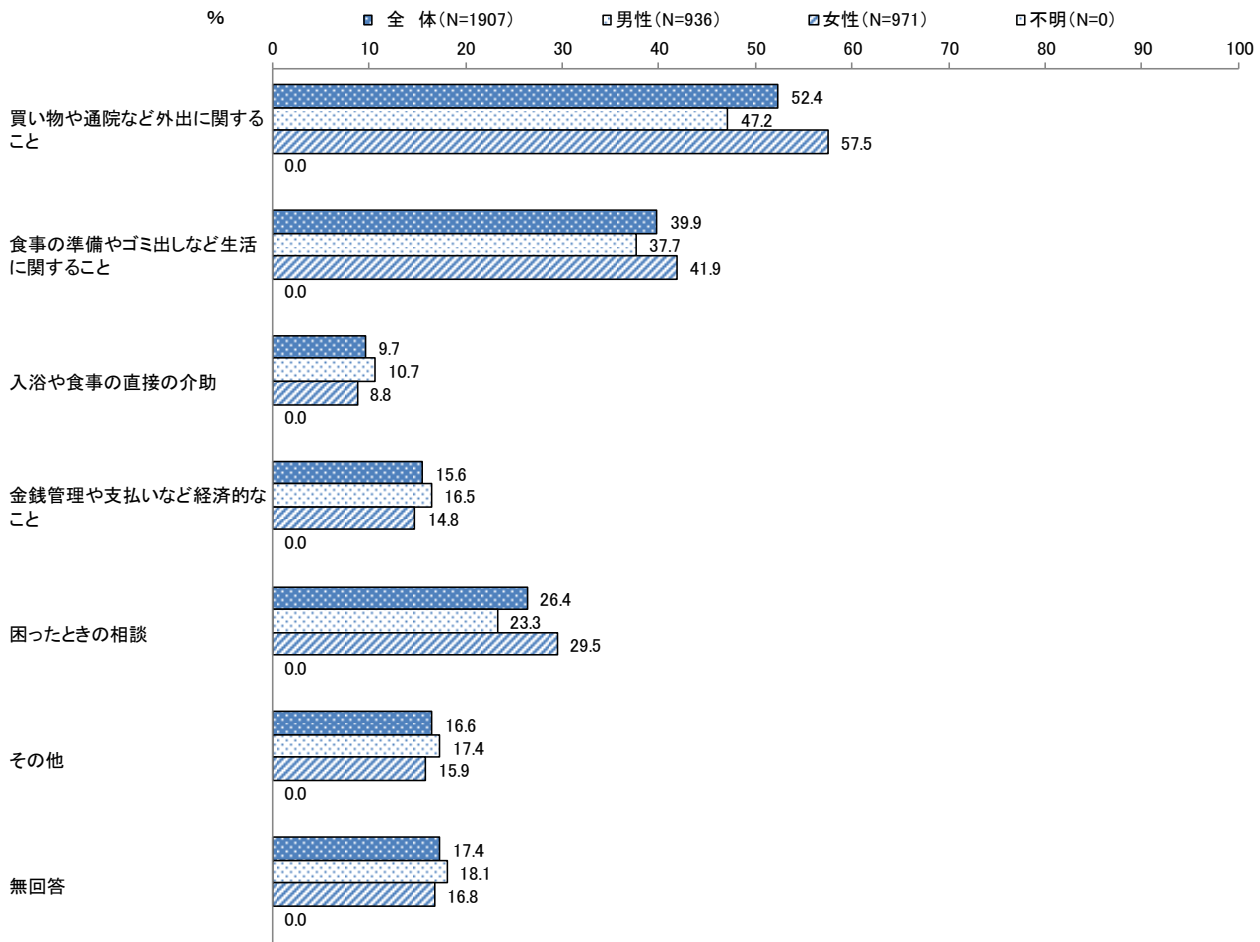
		全 体	受けている介護・介助						
			買い物や通院など外出に関すること	食事の準備やゴミ出しなど生活に関すること	入浴や食事の直接の介助	金銭管理や支払いなど経済的なこと	困ったときの相談	その他	無回答
全 体		1907 100.0	1000 52.4	760 39.9	185 9.7	298 15.6	504 26.4	317 16.6	332 17.4
行政区別	中央区	336 100.0	170 50.6	127 37.8	35 10.4	51 15.2	91 27.1	51 15.2	63 18.8
		403 100.0	200 49.6	161 40.0	48 11.9	61 15.1	107 26.6	73 18.1	71 17.6
	稲毛区	351 100.0	195 55.6	135 38.5	25 7.1	52 14.8	91 25.9	58 16.5	59 16.8
		若葉区	333 100.0	184 55.3	124 37.2	26 7.8	56 16.8	94 28.2	58 17.4
	緑区	196 100.0	115 58.7	86 43.9	22 11.2	35 17.9	60 30.6	25 12.8	28 14.3
		美浜区	288 100.0	136 47.2	127 44.1	29 10.1	43 14.9	61 21.2	52 18.1

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・リハビリ
- ・代筆
- ・ストーマ取り換え

男女別でみると「買い物や通院など外出に関すること」が『女性』では57.5%と『男性』の47.2%に対して10ポイント以上高くなっている。

【受けている介護・介助＜男女別＞】



上段:実数、下段:%

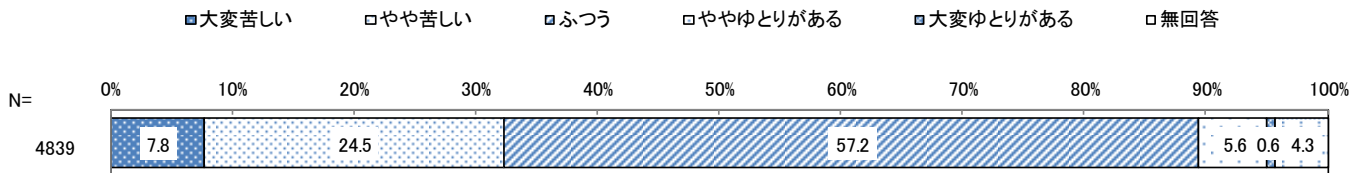
		全 体	受けている介護・介助					
			買い物や通院など外出に関すること	食事の準備やゴミ出しなど生活に関すること	入浴や食事の直接の介助	金銭管理や支払いなど経済的なこと	困ったときの相談	その他
全 体		1907	1000	760	185	298	504	317
		100.0	52.4	39.9	9.7	15.6	26.4	16.6
男 女 別	男性	936	442	353	100	154	218	163
		100.0	47.2	37.7	10.7	16.5	23.3	17.4
	女性	971	558	407	85	144	286	154
		100.0	57.5	41.9	8.8	14.8	29.5	15.9
								16.8

問 1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

現在の暮らしの経済的状況について、「ふつう」が 57.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 24.5%、「大変苦しい」が 7.8%となっている。

前回の調査でも、ほぼ同様の回答であった。

【現在の暮らしの経済的状況】



上段:実数、下段: %

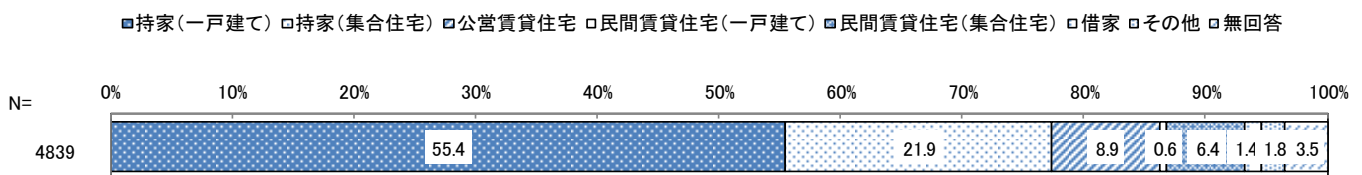
全 体	現在の暮らしの経済的状況					
	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
4839	379	1184	2767	270	31	208
100.0	7.8	24.5	57.2	5.6	0.6	4.3

問 1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○は1つ)

住まいについて、「持家（一戸建て）」が 55.4%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 21.9%、「公営賃貸住宅」が 8.9%となっている。

前回の調査でも、ほぼ同様の回答であった。

【お住まい】



上段:実数、下段: %

全 体	お住まい							
	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営賃貸住 宅	民間賃貸住 宅 (一戸建て)	民間賃貸住 宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
4839	2681	1062	429	30	311	70	86	170
100.0	55.4	21.9	8.9	0.6	6.4	1.4	1.8	3.5

問2 からだを動かすことについて

【設問の意図】

運動器の機能の状態、閉じこもり傾向及びその原因、外出の際の移動手段について問い、これらの課題及び不足している対策を把握し、事業の対象者や実施内容の検討、ニーズ把握やサービス整備の検討の際に活用するものである。

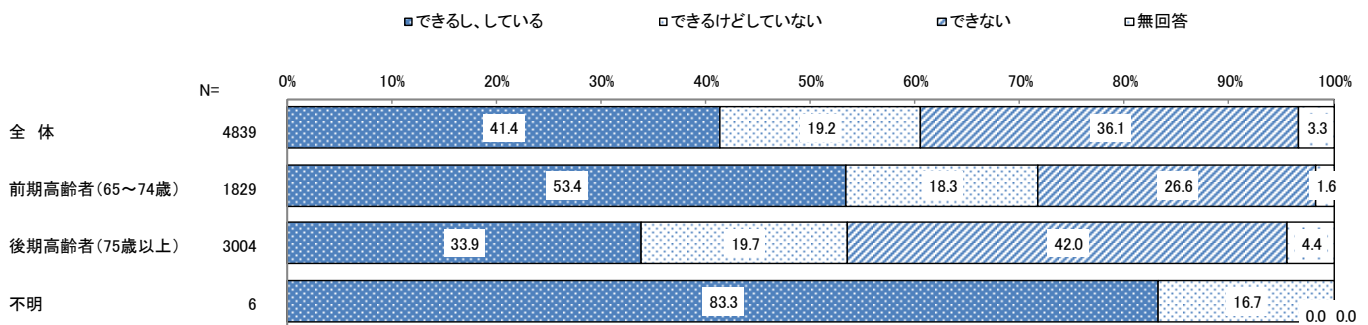
問2（1） 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（○は1つ）

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについて、「できるし、している」が41.4%と最も高く、次いで「できない」が36.1%、「できるけどしていない」が19.2%となっている。

前回の調査では、「できるし、している」が64.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が18.5%となっており、また、「できない」は13.8%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「できるし、している」については、『前期高齢者』の53.4%に対して『後期高齢者』は33.9%であり、19ポイント以上低くなっている。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体		4839	2001	927	1749	162
		100.0	41.4	19.2	36.1	3.3
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	1829	977	335	487	30
		100.0	53.4	18.3	26.6	1.6
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	1019	591	1262	132
		100.0	33.9	19.7	42.0	4.4
	不明	6	5	1	—	—
		100.0	83.3	16.7	—	—

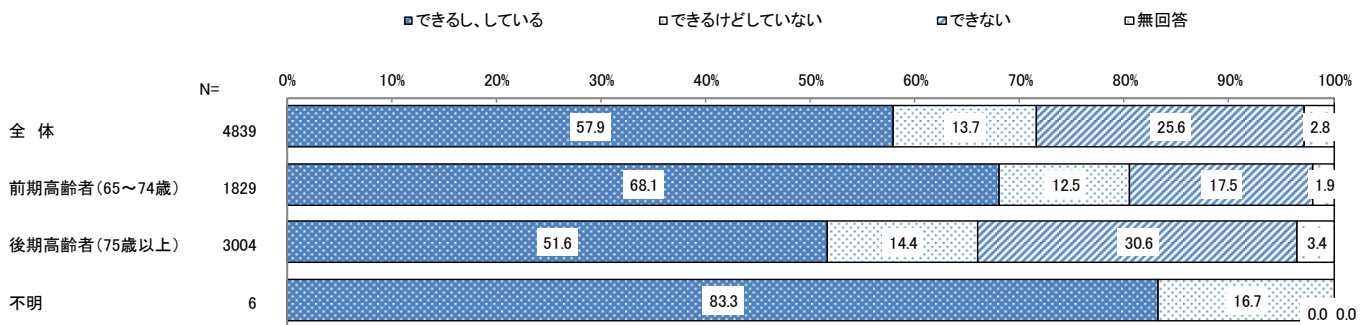
問 2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかについて、「できるし、している」が 57.9%と最も高く、次いで「できない」が 25.6%、「できるけどしてない」が 13.7%となっている。

前回の調査では、「できるし、している」が 78.3%と最も高く、「できない」は 9.6%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「できるし、している」については、『前期高齢者』の 68.1%に対して『後期高齢者』は 51.6%であり、16 ポイント以上低くなっている。

【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体		4839 100.0	2802 57.9	662 13.7	1240 25.6	135 2.8
高 齢 者 別	前期高齢者(65～74歳)	1829 100.0	1246 68.1	229 12.5	320 17.5	34 1.9
		3004 100.0	1551 51.6	432 14.4	920 30.6	101 3.4
	後期高齢者(75歳以上)	6 100.0	5 83.3	1 16.7	－ －	－ －
		不明				

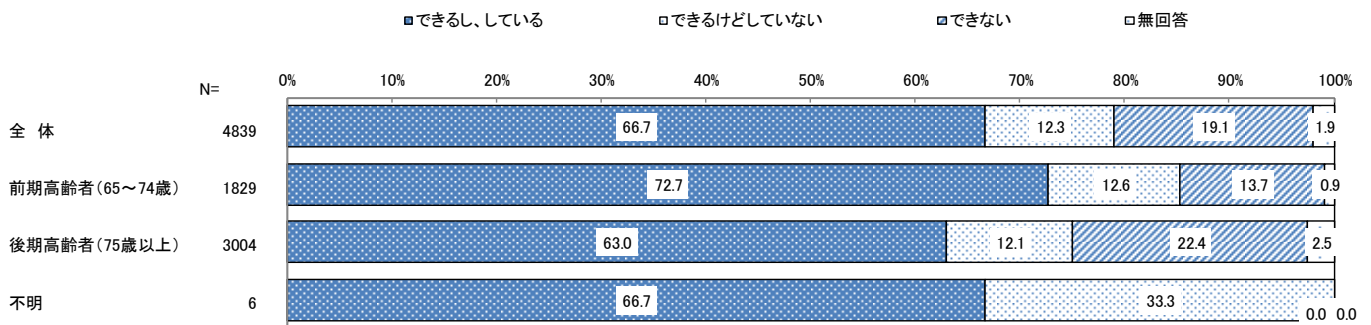
問 2 (3) 15 分くらい続けて歩いていますか (○は1つ)

15 分位続けて歩けるかについて、「できるし、している」が 66.7%と最も高く、次いで「できない」が 19.1%、「できるけどしてない」が 12.3%となっている。

前回の調査では、「できるし、している」が 81.3%と最も高く、「できない」は 5.7%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「できるし、している」については、『前期高齢者』の 72.7%に対して『後期高齢者』は 63.0%であり、9 ポイント以上低くなっている。

【15 分位続けて歩けるか＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	15分位続けて歩けるか			
			できるし、している	できるけどしてない	できない	無回答
全 体		4839	3226	597	923	93
		100.0	66.7	12.3	19.1	1.9
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	1829	1330	231	251	17
		100.0	72.7	12.6	13.7	0.9
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	1892	364	672	76
		100.0	63.0	12.1	22.4	2.5
不明		6	4	2	—	—
		100.0	66.7	33.3	—	—

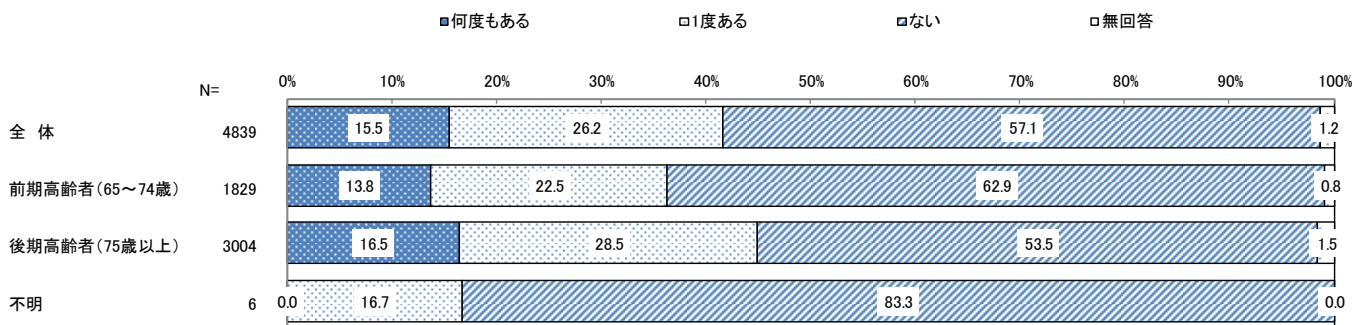
問 2 (4) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか (○は 1 つ)

過去 1 年間に転んだ経験の有無について、「ない」が 57.1%と最も高く、次いで「1 度ある」が 26.2%、「何度もある」が 15.5%となっている。

前回の調査では、「ない」が 70.0%と最も高かった。一方、「何度もある」「1 度ある」は合わせて 28.2%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「ない」については、『前期高齢者』の 62.9%に対して『後期高齢者』は 53.5%であり、9 ポイント以上低くなっている。

【過去 1 年間に転んだ経験の有無＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	過去1年間に転んだ経験の有無			
			何度もある	1 度ある	ない	無回答
全 体		4839	748	1268	2763	60
		100.0	15.5	26.2	57.1	1.2
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	1829	253	411	1150	15
		100.0	13.8	22.5	62.9	0.8
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	495	856	1608	45
		100.0	16.5	28.5	53.5	1.5
	不明	6	—	1	5	—
		100.0	—	16.7	83.3	—

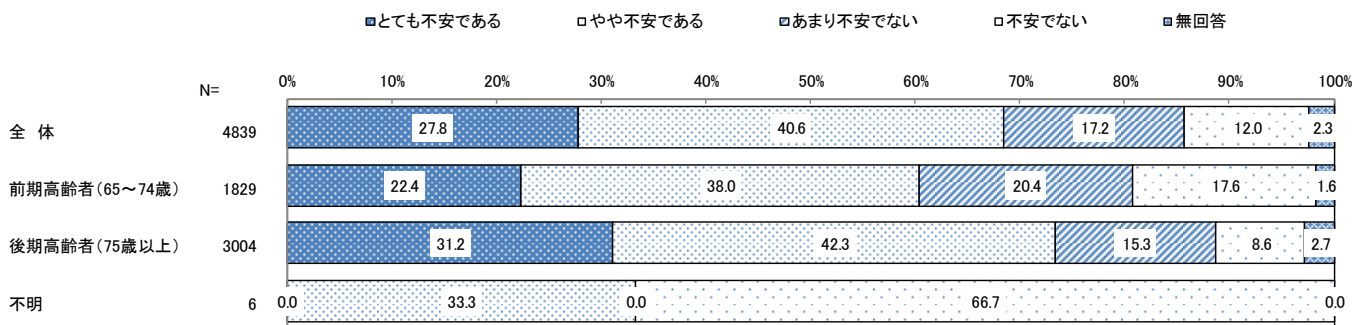
問 2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

転倒に対する不安の大きさについて、「とても不安である」「やや不安である」の合計が 68.4%で、「あまり不安でない」「不安でない」の合計が 29.2%であり、転倒に対する不安が強くなっている。

前回の調査では「とても不安である」「やや不安である」の合計が 49.1%で、「あまり不安でない」「不安でない」の合計が 48.9%であり、転倒に対する不安がある人となない人はほぼ半分であった。

また、前期・後期高齢者別でみると「とても不安である」については、『後期高齢者』では 31.2%と『前期高齢者』の 22.4%に対して 8 ポイント以上高くなっている。

【転倒に対する不安の大きさ＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	転倒に対する不安の大きさ				
			とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全 体		4839	1346	1967	834	583	109
		100.0	27.8	40.6	17.2	12.0	2.3
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	1829	409	695	374	322	29
		100.0	22.4	38.0	20.4	17.6	1.6
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	937	1270	460	257	80
		100.0	31.2	42.3	15.3	8.6	2.7
不明		6	—	2	—	4	—
		100.0	—	33.3	—	66.7	—

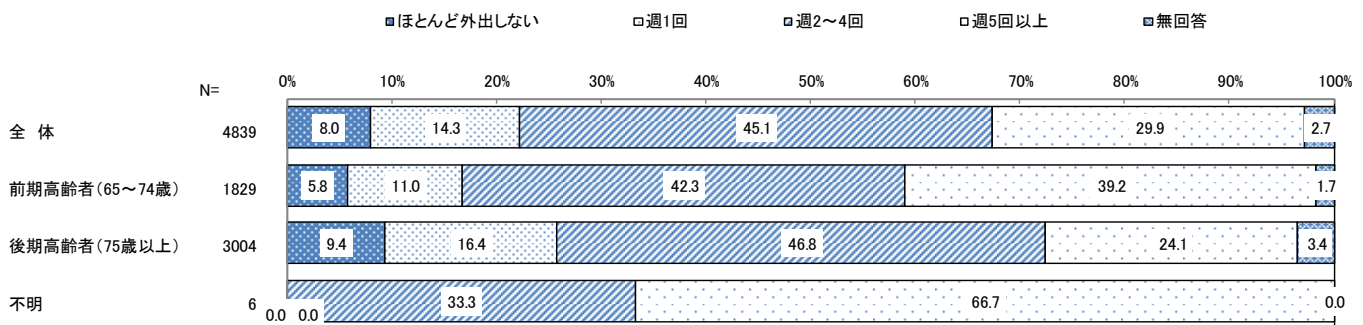
問 2 (6) 週に 1 回以上は外出していますか (○ は 1 つ)

週に 1 回以上の外出の有無について、「週 2～4 回」が 45.1%と最も高く、次いで「週 5 回以上」が 29.9%、「週 1 回」が 14.3%となっている。

前回の調査では、「週 2～4 回」が 41.7%、「週 5 回以上」が 42.8%で、多くの人が外出している。一方、「ほとんど外出しない」「週 1 回」の合計は 13.7%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「週 5 回以上」については、『前期高齢者』の 39.2%に対して『後期高齢者』は 24.1%であり、15 ポイント以上低くなっている。

【週に 1 回以上の外出の有無＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	週に1回以上の外出の有無				
			ほとんど外出しない	週1 回	週2 ～4 回	週5 回以上	無回答
全 体		4839	387	693	2182	1445	132
		100.0	8.0	14.3	45.1	29.9	2.7
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	1829	106	201	774	717	31
		100.0	5.8	11.0	42.3	39.2	1.7
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	281	492	1406	724	101
		100.0	9.4	16.4	46.8	24.1	3.4
	不明	6	—	—	2	4	—
		100.0	—	—	33.3	66.7	—

問 2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

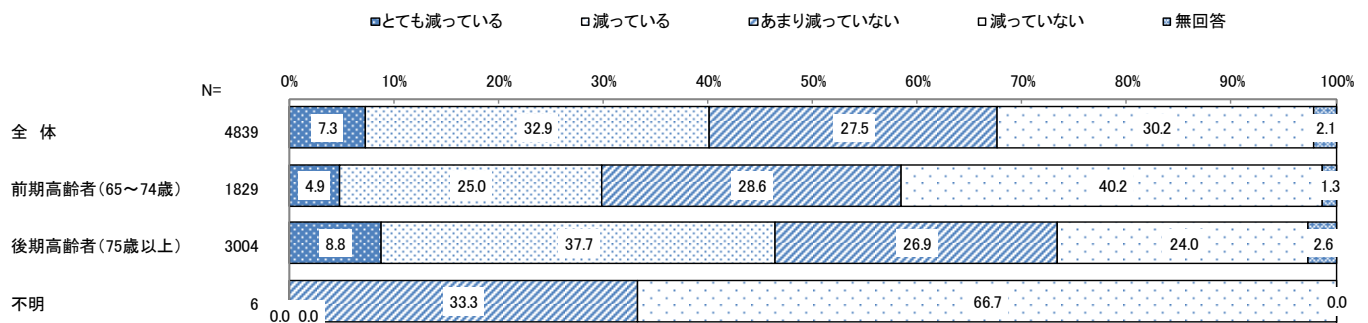
昨年と比べて外出回数の減少の有無について、「あまり減っていない」「減っていない」の合計が 57.7%であり、「とても減っている」「減っている」の合計が 40.2%となっている。

前回の調査では、「あまり減っていない」「減っていない」の合計は 72.6%であり、「とても減っている」「減っている」の合計は 25.6%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「減っていない」については、『前期高齢者』の 40.2%に対して『後期高齢者』は 24.0%であり、16 ポイント以上低くなっている。

加えて、『後期高齢者』では「減っている」が最も高くなっているのに対し、『前期高齢者』では「減っていない」が最も高くなっている。

【昨年と比べて外出回数の減少の有無＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	昨年と比べて外出回数の減少の有無				
			とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全 体		4839	352	1592	1332	1462	101
		100.0	7.3	32.9	27.5	30.2	2.1
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	1829	89	458	523	736	23
		100.0	4.9	25.0	28.6	40.2	1.3
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	263	1134	807	722	78
		100.0	8.8	37.7	26.9	24.0	2.6
	不明	6	—	—	2	4	—
		100.0	—	—	33.3	66.7	—

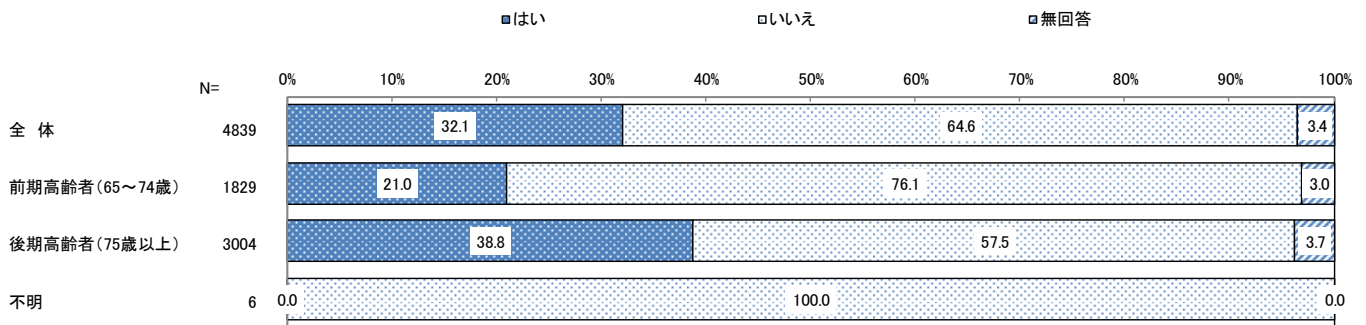
問 2 (8) 外出を控えていますか (○は 1 つ)

外出を控えているかについて、「いいえ」が 64.6%、「はい」が 32.1%となっている。

前回の調査では、「いいえ」が 80.4%と多くを占める一方、「はい」は 15.1%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「いいえ」については、『前期高齢者』の 76.1%に対して『後期高齢者』は 57.5%であり、18 ポイント以上低くなっている。

【外出を控えているか＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

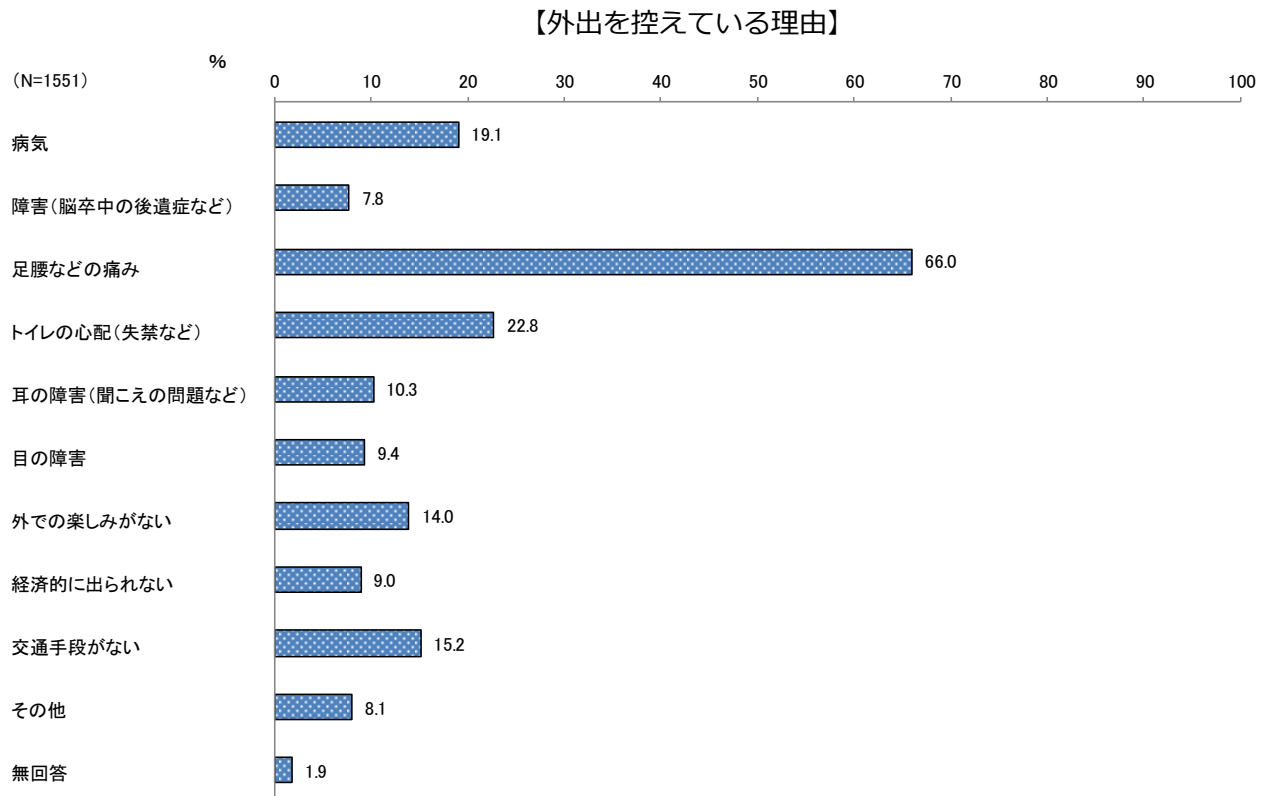
		全 体	外出を控えているか		
			はい	いいえ	無回答
全 体		4839	1551	3124	164
		100.0	32.1	64.6	3.4
高 齢 者 別	前期高齢者 (65～74歳)	1829	384	1391	54
		100.0	21.0	76.1	3.0
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	1167	1727	110
		100.0	38.8	57.5	3.7
前 期 ・ 後 期	不明	6	—	6	—
		100.0	—	100.0	—

【問 2（8）で「1. はい」（外出を控えている）の方のみ】

問 2（8）①外出を控えている理由は、次のどれですか（〇はいくつでも）

外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 66.0%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が 22.8%、「病気」が 19.1%となっている。

前回の調査では、「足腰などの痛み」が 55.0%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が 16.8%、「外での楽しみがない」が 16.7%、「病気」が 15.6%、「経済的に出られない」が 15.1%となっている。



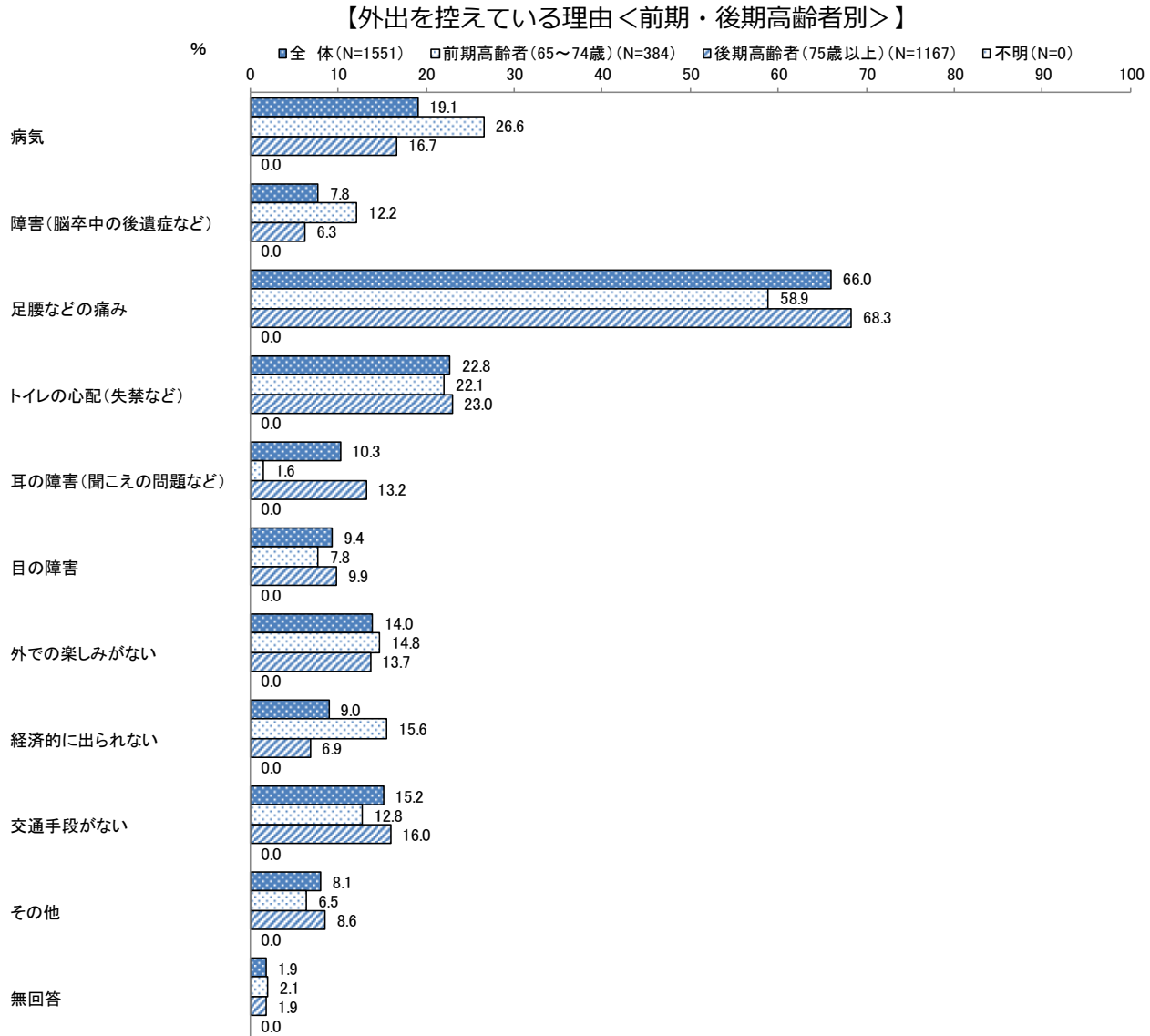
上段:実数、下段: %

全 体	外出を控えている理由										
	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
1551	297	121	1023	353	160	146	217	140	236	125	30
100.0	19.1	7.8	66.0	22.8	10.3	9.4	14.0	9.0	15.2	8.1	1.9

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・ふらつき
- ・病気の後遺症
- ・人ごみでパニックになるため

前期・後期高齢者別でみると「足腰などの痛み」が『後期高齢者』では68.3%と『前期高齢者』の58.9%に対して9ポイント以上高くなっている。一方、「病気」は『前期高齢者』では26.6%と『後期高齢者』の16.7%に対して9ポイント以上高くなっている。



上段:実数、下段:%

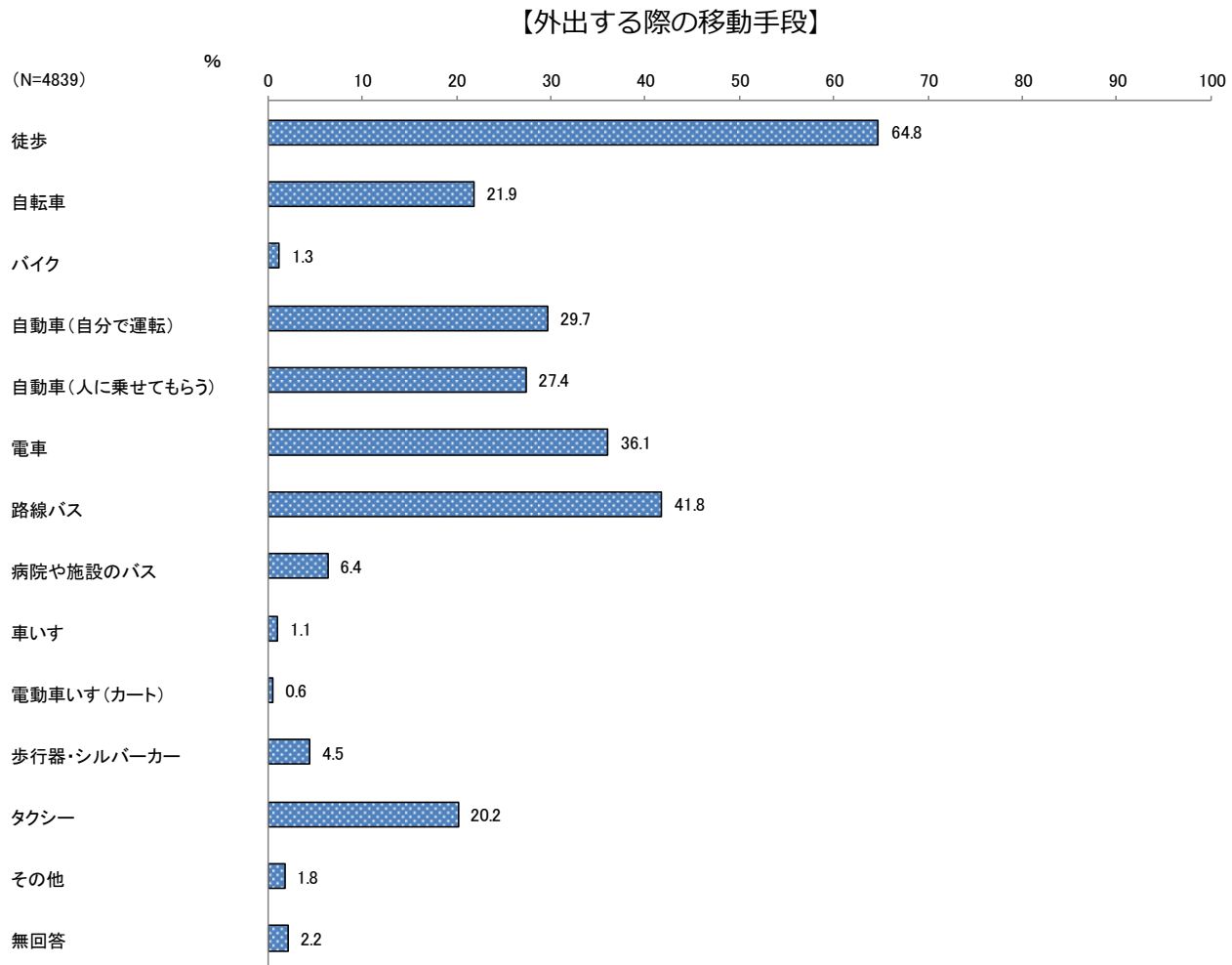
上段：人数、下段：%

		全 体	外出を控えている理由										
			病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全 体		1551	297	121	1023	353	160	146	217	140	236	125	30
		100.0	19.1	7.8	66.0	22.8	10.3	9.4	14.0	9.0	15.2	8.1	1.9
前期・後期高齢者別	前期高齢者(65～74歳)	384	102	47	226	85	6	30	57	60	49	25	8
		100.0	26.6	12.2	58.9	22.1	1.6	7.8	14.8	15.6	12.8	6.5	2.1
	後期高齢者(75歳以上)	1167	195	74	797	268	154	116	160	80	187	100	22
		100.0	16.7	6.3	68.3	23.0	13.2	9.9	13.7	6.9	16.0	8.6	1.9

問 2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

外出する際の移動手段について、「徒歩」が 64.8%と最も高く、次いで「路線バス」が 41.8%、「電車」が 36.1%となっている。

前回の調査では、「徒歩」が 70.4%と最も高く、次いで「電車」が 44.7%、「路線バス」が 44.0%、「自動車（自分で運転）」が 40.6%となっている。



上段:実数、下段:%

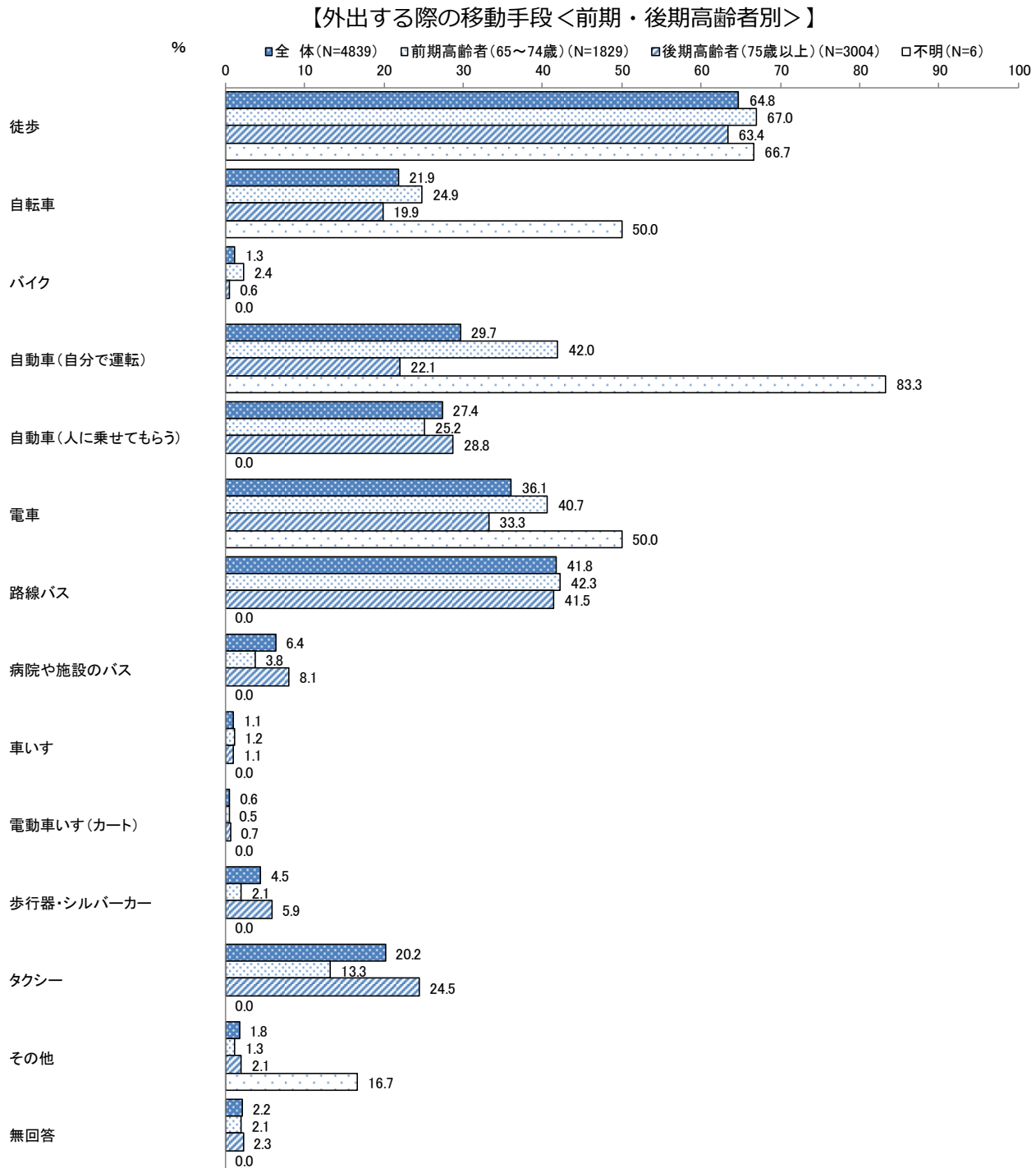
全 体	外出する際の移動手段						
	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス
4839	3135	1058	63	1438	1326	1747	2021
100.0	64.8	21.9	1.3	29.7	27.4	36.1	41.8

全 体	外出する際の移動手段						
	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
4839	311	54	30	217	979	87	108
100.0	6.4	1.1	0.6	4.5	20.2	1.8	2.2

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・介護タクシー
- ・ケアサービス等の送迎車
- ・電動自転車

前期・後期高齢者別でみると「自動車（自分で運転）」が『前期高齢者』では42.0%と『後期高齢者』の22.1%に対して19ポイント以上高くなっている。



上段:実数、下段:%

		全 体	外出する際の移動手段						
			徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全 体		4839 100.0	3135 64.8	1058 21.9	63 1.3	1438 29.7	1326 27.4	1747 36.1	2021 41.8
高 前 齢 期・後 者 期 別	前期高齢者(65～74歳)	1829 100.0	1225 67.0	456 24.9	44 2.4	769 42.0	460 25.2	744 40.7	773 42.3
		3004 100.0	1906 63.4	599 19.9	19 0.6	664 22.1	866 28.8	1000 33.3	1248 41.5
	不明	6 100.0	4 66.7	3 50.0	－ －	5 83.3	－ －	3 50.0	－ －

		全 体	外出する際の移動手段						
			病院や施設 のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シル バーカー	タクシー	その他	無回答
全 体		4839 100.0	311 6.4	54 1.1	30 0.6	217 4.5	979 20.2	87 1.8	108 2.2
高 前 齢 期・後 者 期 別	前期高齢者(65～74歳)	1829 100.0	69 3.8	22 1.2	9 0.5	39 2.1	243 13.3	23 1.3	38 2.1
		3004 100.0	242 8.1	32 1.1	21 0.7	178 5.9	736 24.5	63 2.1	70 2.3
	不明	6 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 16.7	－ －

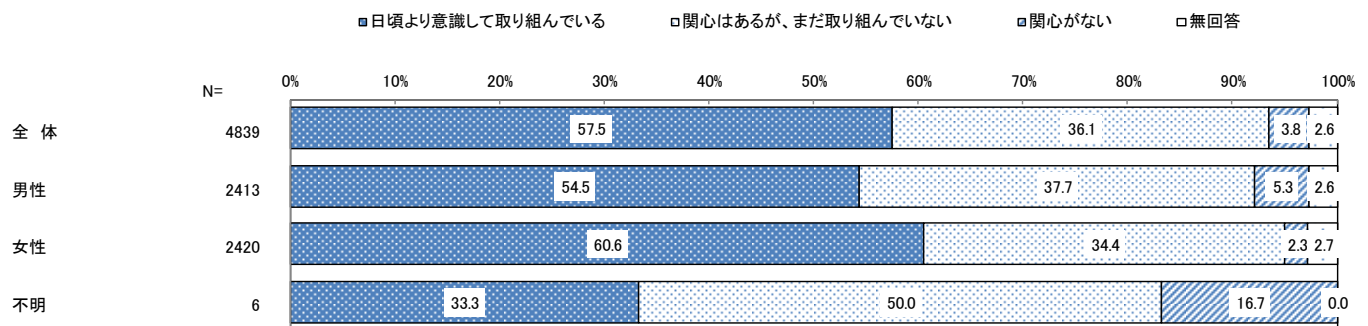
問 2 (10) あなたは、「介護予防」(介護が必要となるような状況を防ぐための健康の保持増進の取組)に取り組んでいますか (○は1つ)

「介護予防」の取組について、「日頃より意識して取り組んでいる」が 57.5%と最も高く、次いで「関心はあるが、まだ取り組んでいない」が 36.1%、「関心がない」が 3.8%となっている。

前回の調査では、「関心はあるが、まだ取り組んでいない」が 58.5%と最も高く、次いで「日頃より意識して取り組んでいる」が 31.6%、「関心がない」が 7.4%となっている。

また、男女別でみると「日頃より意識して取り組んでいる」が『女性』では 60.6%と『男性』の 54.5%に対して 6 ポイント以上高くなっている。

【「介護予防」の取組<男女別>】

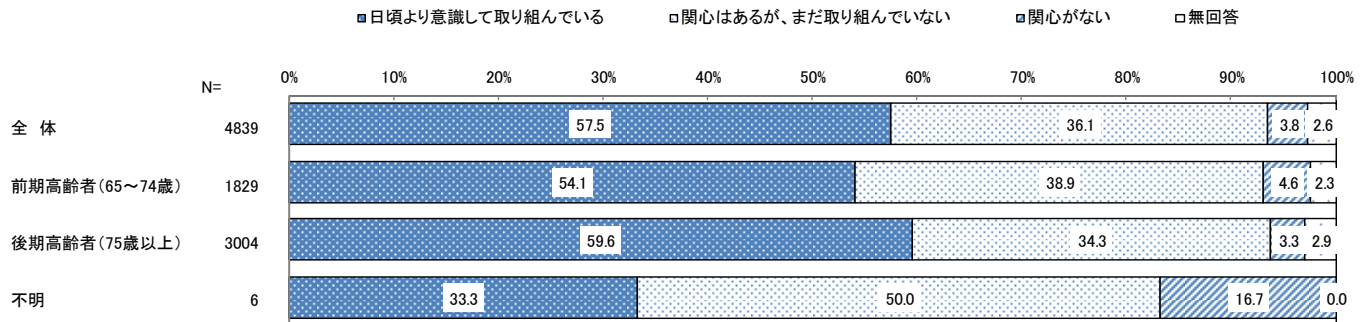


上段:実数、下段: %

		全 体	「介護予防」の取組			
			日頃より意識して取り組んでいる	関心はあるが、まだ取り組んでいない	関心がない	無回答
全 体		4839	2782	1745	184	128
		100.0	57.5	36.1	3.8	2.6
男 女 別	男性	2413	1314	909	127	63
		100.0	54.5	37.7	5.3	2.6
	女性	2420	1466	833	56	65
		100.0	60.6	34.4	2.3	2.7
	不明	6	2	3	1	—
		100.0	33.3	50.0	16.7	—

さらに、前期・後期高齢者別でみると「日頃より意識して取り組んでいる」が『後期高齢者』では 59.6% と『前期高齢者』の 54.1% に対して 5 ポイント以上高くなっている。

【「介護予防」の取組＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	「介護予防」の取組			
			日頃より意識して取り組んでいる	関心はあるが、まだ取り組んでいない	関心がない	無回答
全 体		4839 100.0	2782 57.5	1745 36.1	184 3.8	128 2.6
前期・後期 高齢者別	前期高齢者(65～74歳)	1829 100.0	990 54.1	712 38.9	85 4.6	42 2.3
		3004 100.0	1790 59.6	1030 34.3	98 3.3	86 2.9
	不明	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	－ －

【問 2（10）で「1. 日頃より意識して取り組んでいる」と回答された方のみ】

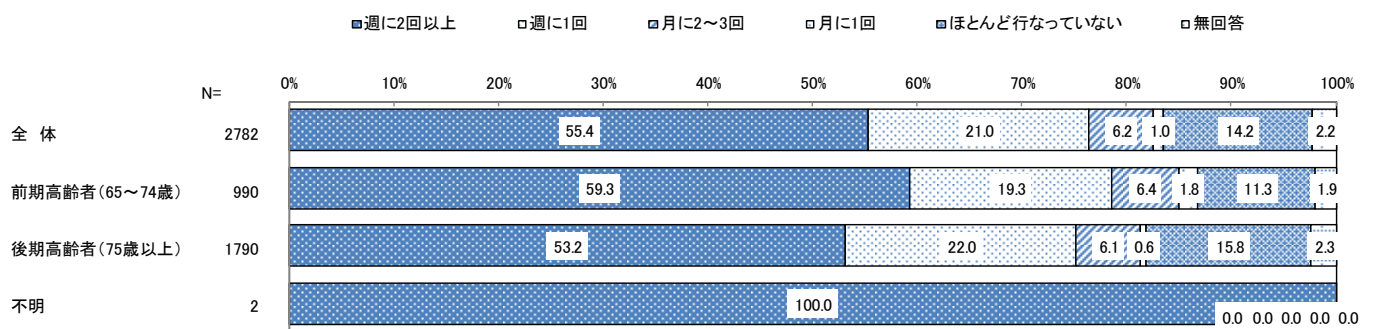
問 2（10）①あなたは、軽く汗をかく程度の運動（30 分以上）を、どのくらいの頻度で行っていますか
（○は1つ）

軽く汗をかく程度の運動を行う頻度について、「週に 2 回以上」が 55.4%と最も高く、次いで「週に 1 回」が 21.0%、「ほとんど行っていない」が 14.2%となっている。

前回の調査では、「週に 2 回以上」67.0%が最も高く、次いで「週に 1 回」が 15.0%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「週に 2 回以上」については、『前期高齢者』の 59.3%に対して『後期高齢者』は 53.2%であり、6 ポイント以上低くなっている。

【軽く汗をかく程度の運動を行う頻度＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	軽く汗をかく程度の運動を行う頻度					
			週に2回以上	週に1回	月に2～3回	月に1回	ほとんど行っていない	無回答
全 体		2782 100.0	1541 55.4	585 21.0	172 6.2	29 1.0	395 14.2	60 2.2
高 期 ・ 後 期 高 齢 者 別	前期高齢者(65～74歳)	990 100.0	587 59.3	191 19.3	63 6.4	18 1.8	112 11.3	19 1.9
	後期高齢者(75歳以上)	1790 100.0	952 53.2	394 22.0	109 6.1	11 0.6	283 15.8	41 2.3
	不明	2 100.0	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —

問3 食べることについて

【設問の意図】

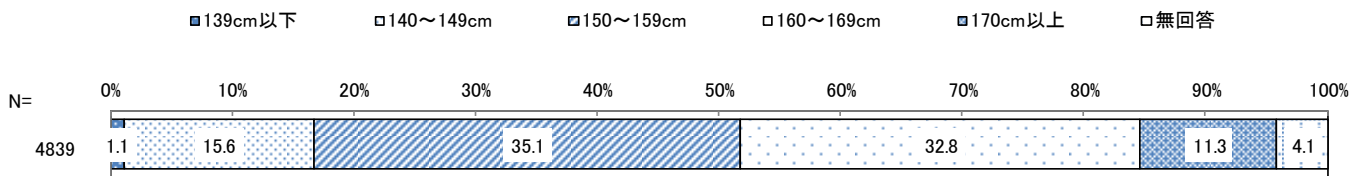
低栄養の傾向、口腔機能（咀嚼機能、嚥下機能、肺炎発症リスク）の状態、口腔ケアの状況、口腔の健康状態や義歯の使用状況について問い、これらの課題及び不足している対策を把握し、事業の対象者や実施内容の検討、ニーズ把握やサービス整備の検討の際に活用するものである。

問3（1）身長・体重

身長について、「150～159cm」が35.1%と最も高く、次いで「160～169cm」が32.8%、「140～149cm」が15.6%となっている。

前回の調査でも、ほぼ同程度の回答であった。

【身長】



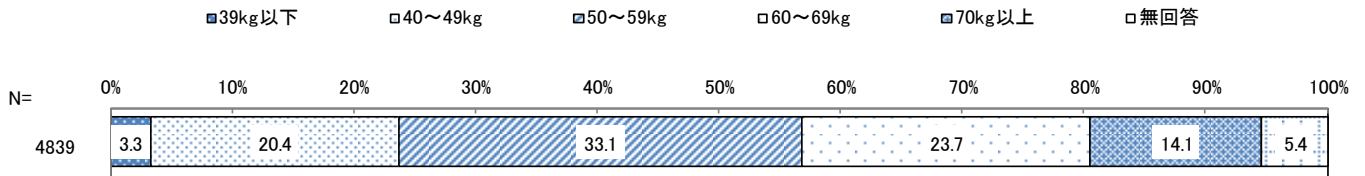
上段：実数、下段：%

全 体	身長					
	139cm 以下	140 ～ 149cm	150 ～ 159cm	160 ～ 169cm	170cm 以上	無回答
4839	51	753	1700	1586	549	200
100.0	1.1	15.6	35.1	32.8	11.3	4.1

体重について、「50～59kg」が33.1%と最も高く、次いで「60～69kg」が23.7%、「40～49kg」が20.4%となっている。

前回の調査でも、ほぼ同程度の回答であった。

【体重】



上段:実数、下段: %

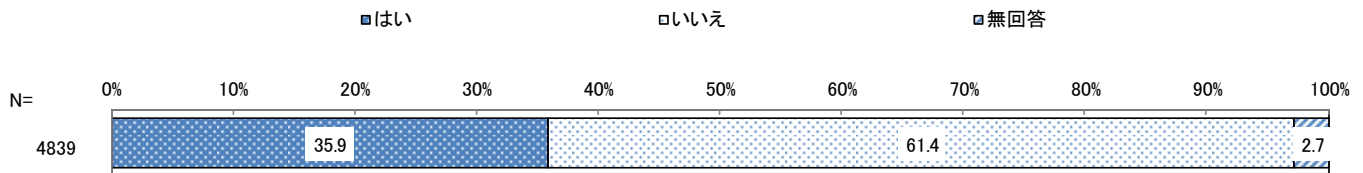
全 体	体 重					
	39kg以下	40～49kg	50～59kg	60～69kg	70kg以上	無回答
4839	159	988	1603	1146	682	261
100.0	3.3	20.4	33.1	23.7	14.1	5.4

問 3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

半年前より固いものが食べにくくなったかについて、「いいえ」が 61.4%、「はい」が 35.9%となっている。

前回の調査では、「いいえ」が 70.9%で、「はい」が 26.7%となっている。

【半年前より固いものが食べにくくなったか】



上段:実数、下段: %

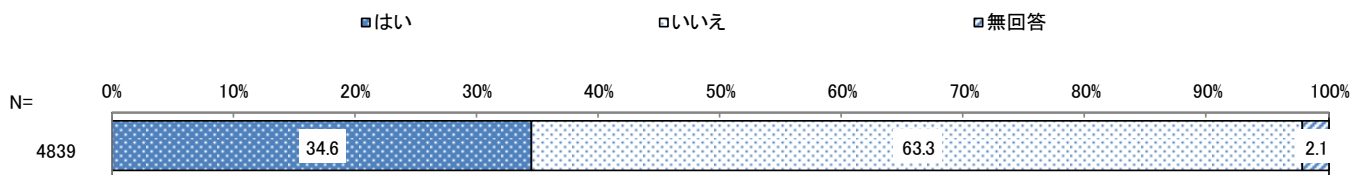
全 体	半年前より固いものが食べにくくなったか		
	はい	いいえ	無回答
4839	1738	2972	129
100.0	35.9	61.4	2.7

問 3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「いいえ」が 63.3%、「はい」が 34.6%となっている。

前回の調査では、「いいえ」が 75.2%で、「はい」が 23.0%となっている。

【お茶や汁物等でむせることがあるか】



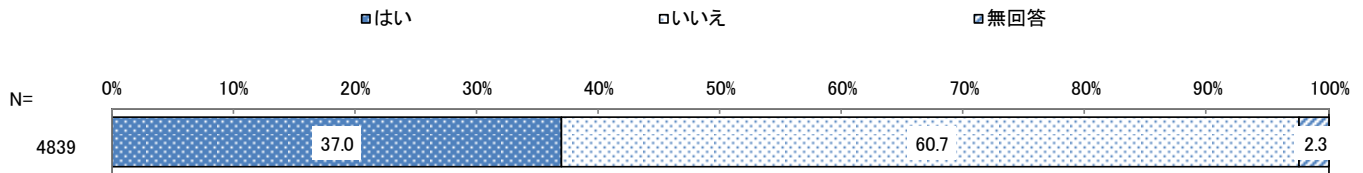
上段:実数、下段: %

全 体	お茶や汁物等でむせることがありますか		
	はい	いいえ	無回答
4839	1673	3064	102
100.0	34.6	63.3	2.1

問 3 (4) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

口の渇きが気になるかについて、「いいえ」が60.7%、「はい」が37.0%となっている。
前回の調査では、「いいえ」が71.3%で、「はい」が26.2%となっている。

【口の渇きが気になるか】



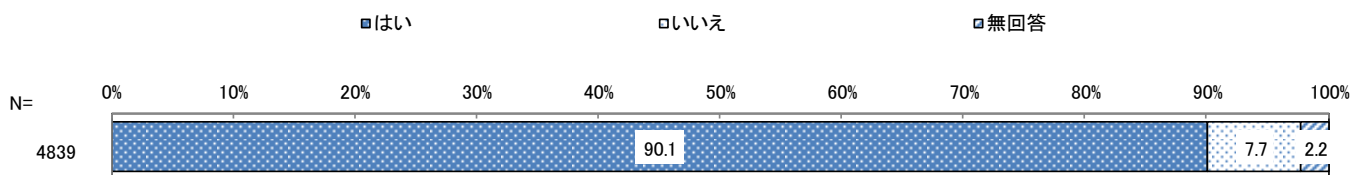
上段:実数、下段: %

全 体	口の渇きが気になるか		
	はい	いいえ	無回答
4839	1791	2936	112
100.0	37.0	60.7	2.3

問 3 (5) 歯磨き (人に磨いてもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が90.1%、「いいえ」が7.7%となっている。
前回の調査でも、「はい」が92.0%と大半を占めた。

【歯磨きを毎日しているか】



上段:実数、下段: %

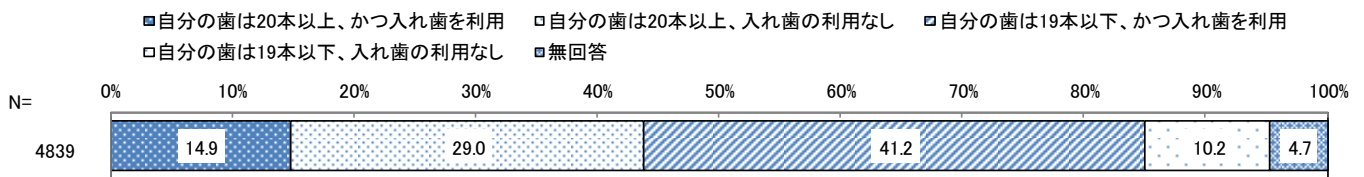
全 体	歯磨きを毎日しているか		
	はい	いいえ	無回答
4839	4360	371	108
100.0	90.1	7.7	2.2

問 3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 41.2%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 29.0%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.9%となっている。

前回の調査では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.5%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 34.4%となっている。

【歯の数と入れ歯の利用状況】



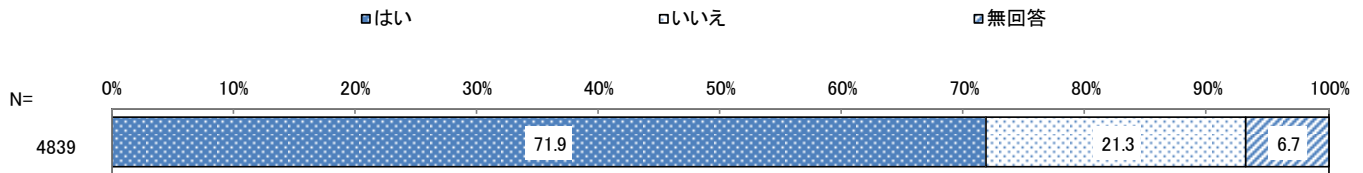
上段:実数、下段: %

全 体	歯の数と入れ歯の利用状況				
	自分の歯は 20本以上、 かつ入れ歯 を利用	自分の歯は 20本以上、 入れ歯の利 用なし	自分の歯は 19本以下、 かつ入れ歯 を利用	自分の歯は 19本以下、 入れ歯の利 用なし	無回答
4839	720	1404	1993	493	229
100.0	14.9	29.0	41.2	10.2	4.7

問 3（6）①噛み合わせは良いですか（○は1つ）

噛み合わせは良いかについて、「はい」が71.9%、「いいえ」が21.3%となっている。
前回の調査では、「はい」が77.5%であり、「いいえ」が16.5%となっている。

【噛み合わせは良いか】



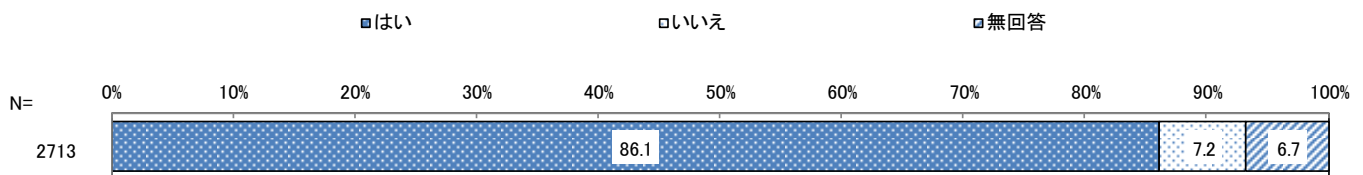
上段:実数、下段: %

全 体	噛み合わせは良いか		
	はい	いいえ	無回答
4839	3481	1033	325
100.0	71.9	21.3	6.7

【問 3（6）で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または
「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方のみ】
問 3（6）②毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つ）

毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が86.1%、「いいえ」が7.2%となっている。
前回の調査では、「はい」が84.8%、「いいえ」が5.1%であった。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



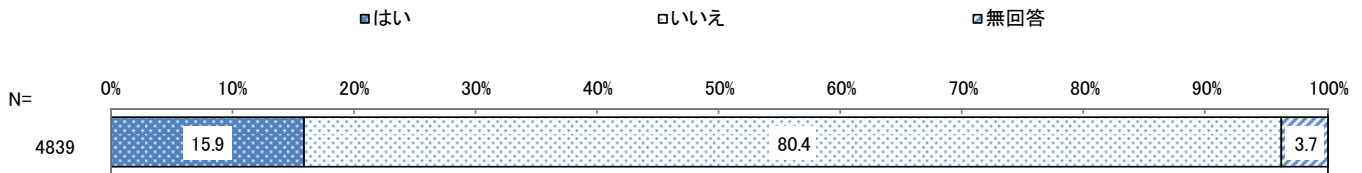
上段:実数、下段: %

全 体	毎日入れ歯の手入れをしているか		
	はい	いいえ	無回答
2713	2336	195	182
100.0	86.1	7.2	6.7

問 3 (7) 6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか (○は 1 つ)

6 か月間での体重減少の有無について、「いいえ」が 80.4%、「はい」が 15.9%となっている。
前回の調査では、「いいえ」が 85.9%である一方、「はい」が 10.6%となっている。

【6 か月間での体重減少の有無】



上段:実数、下段: %

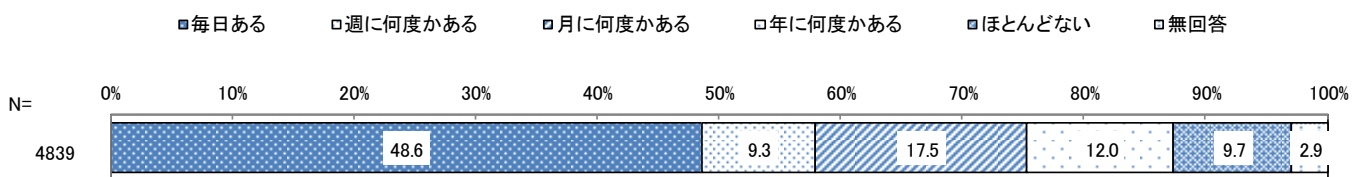
全 体	6か月間での体重減少の有無		
	はい	いいえ	無回答
4839	771	3890	178
100.0	15.9	80.4	3.7

問 3 (8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は 1 つ)

誰かと食事をとにもする機会の有無について、「毎日ある」が 48.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 17.5%、「年に何度かある」が 12.0%となっている。

前回の調査では、「毎日ある」が 51.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」18.2%となっている。

【食事をとにもする機会の有無】



上段:実数、下段: %

全 体	食事をとにもする機会の有無					
	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
4839	2353	448	845	582	471	140
100.0	48.6	9.3	17.5	12.0	9.7	2.9

問4 毎日の生活について

【設問の意図】

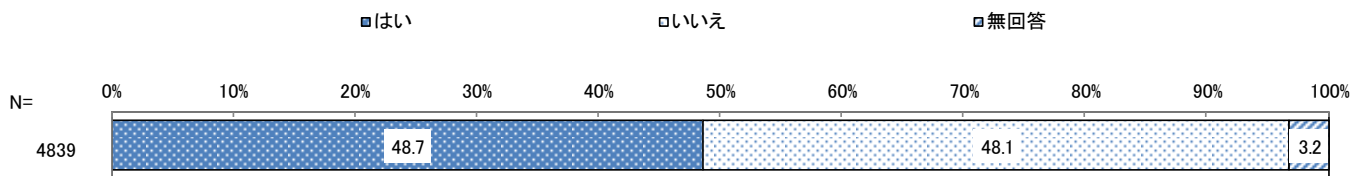
認知機能、手段的日常生活動作（IADL…交通機関を利用して買い物へ行って食事の準備・調理・配膳を行う等）及び知的能動性の状況について問い、これらの課題及び不足している対策を把握し、事業の対象者や実施内容の検討、ニーズ把握やサービス整備の検討の際に活用するものである。

また、他者との関わりや趣味・生きがいについて問い、課題や社会参加する高齢者の傾向等を把握する。

問4（1）物忘れが多いと感じますか（○は1つ）

物忘れに関する自覚の有無について、「はい」が48.7%、「いいえ」が48.1%となっている。
前回の調査では、「はい」が41.7%、「いいえ」が54.7%となっている。

【物忘れに関する自覚の有無】



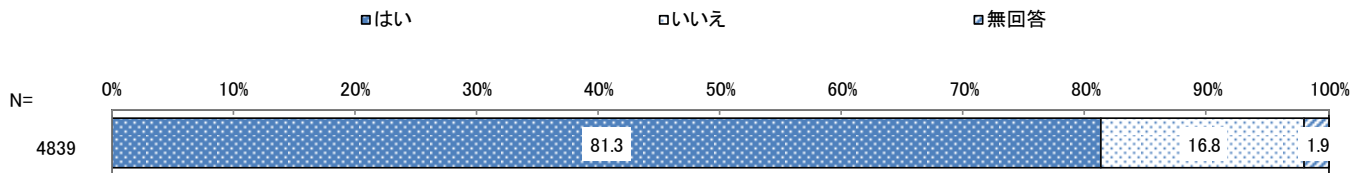
上段:実数、下段: %

全 体	物忘れに関する自覚の有無		
	はい	いいえ	無回答
4839	2357	2329	153
100.0	48.7	48.1	3.2

問 4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

自分からの電話発信の有無について、「はい」が81.3%、「いいえ」が16.8%となっている。
前回の調査でも、ほぼ同様の回答であった。

【自分からの電話発信の有無】



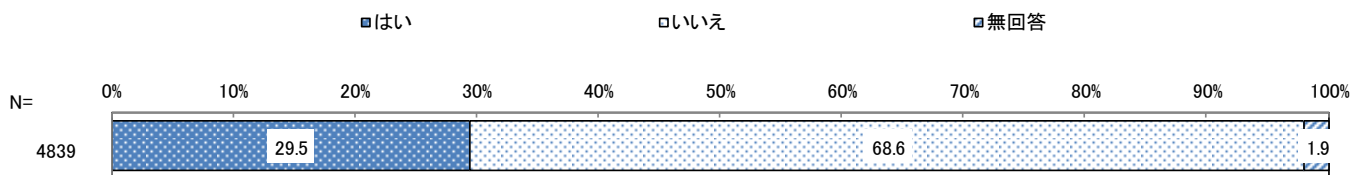
上段:実数、下段: %

全 体	自分からの電話発信の有無		
	はい	いいえ	無回答
4839	3932	814	93
100.0	81.3	16.8	1.9

問 4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

日付忘れの有無について、「いいえ」が68.6%、「はい」が29.5%となっている。
前回の調査では、「いいえ」が76.2%、「はい」が21.5%となっている。

【日付忘れの有無】



上段:実数、下段: %

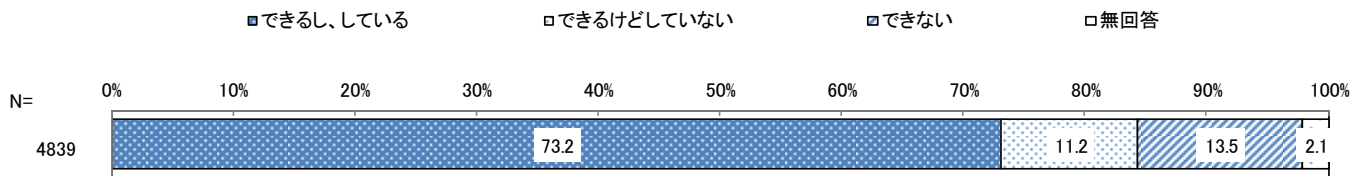
全 体	日付忘れの有無		
	はい	いいえ	無回答
4839	1428	3318	93
100.0	29.5	68.6	1.9

問 4（４） バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）（○は１つ）

バスや電車を使った１人での外出の有無について、「できるし、している」が73.2%と最も高く、次いで「できない」が13.5%、「できるけどしていない」が11.2%となっている。

前回の調査では、「できるし、している」が86.7%で最も高く、「できない」が4.3%、「できるけどしていない」が7.3%となっている。

【バスや電車を使った１人での外出の有無】



上段：実数、下段：%

全 体	バスや電車を使った1人での外出の有無			
	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
4839	3540	542	655	102
100.0	73.2	11.2	13.5	2.1

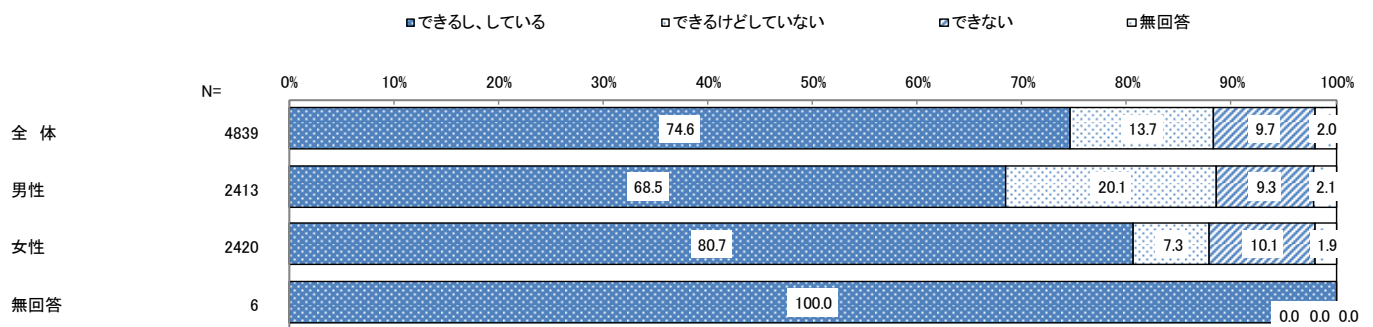
問 4 (5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (○は1つ)

食品・日用品の買い物の有無について、「できるし、している」が74.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が9.7%となっている。

前回の調査では、「できるし、している」が85.9%と最も高く、「できるけどしていない」が9.7%、「できない」が2.7%となっている。

また、男女別でみると「できるし、している」が『女性』では80.7%と8割を超えているのに対して、『男性』は68.5%であり、12ポイント以上低くなっている。一方、「できるけどしていない」は『男性』が20.1%と『女性』の7.3%に対して12ポイント以上高くなっている。

【食品・日用品の買い物の有無＜男女別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	食品・日用品の買い物の有無			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体		4839	3610	662	469	98
		100.0	74.6	13.7	9.7	2.0
男 女 別	男性	2413	1652	486	224	51
		100.0	68.5	20.1	9.3	2.1
	女性	2420	1952	176	245	47
		100.0	80.7	7.3	10.1	1.9
	不明	6	6	—	—	—
		100.0	100.0	—	—	—

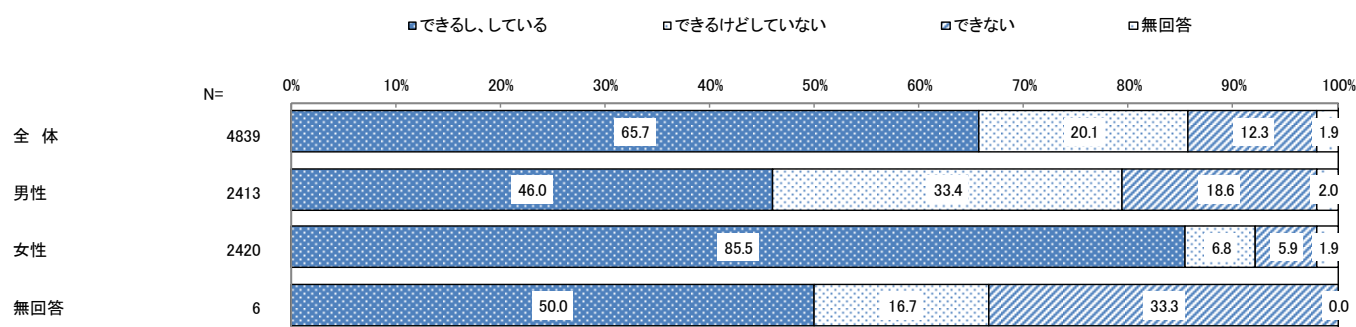
問 4（6） 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が 65.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 20.1%、「できない」が 12.3%となっている。

前回の調査では、「できるし、している」が 71.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 20.5%となっている。

また、男女別でみると「できるし、している」が『女性』では 85.5%と 8 割を超えているのに対して、『男性』は 46.0%であり、39 ポイント以上低くなっている。

【自分で食事の用意をしているか＜男女別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	自分で食事の用意をしているか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体		4839	3181	971	593	94
		100.0	65.7	20.1	12.3	1.9
男 女 別	男性	2413	1110	805	449	49
		100.0	46.0	33.4	18.6	2.0
	女性	2420	2068	165	142	45
		100.0	85.5	6.8	5.9	1.9
	不明	6	3	1	2	—
		100.0	50.0	16.7	33.3	—

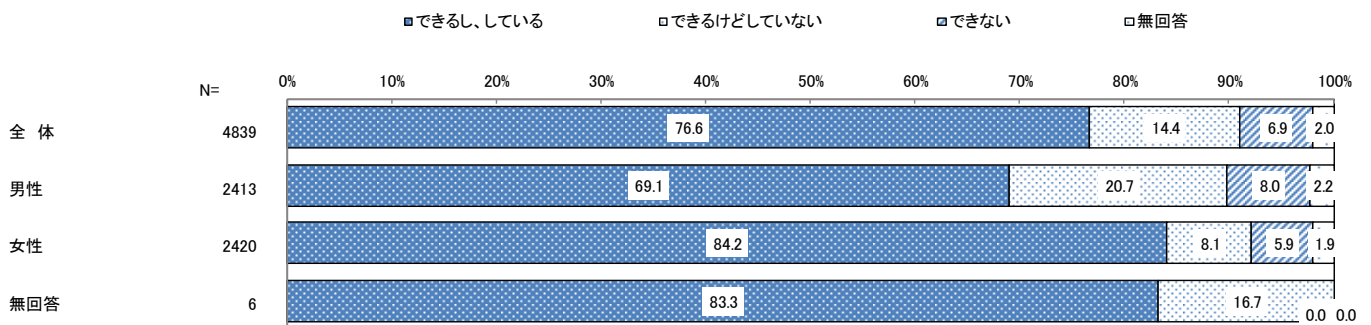
問 4（7） 自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が76.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.4%、「できない」が6.9%となっている。

前回の調査では、「できるし、している」が83.0%と最も高く、「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が2.8%となっている。

また、男女別でみると「できるし、している」が『女性』では84.2%と8割を超えているのに対して、『男性』は69.1%であり、15ポイント以上低くなっている。

【自分で請求書の支払いをしているか＜男女別＞】



上段:実数、下段: %

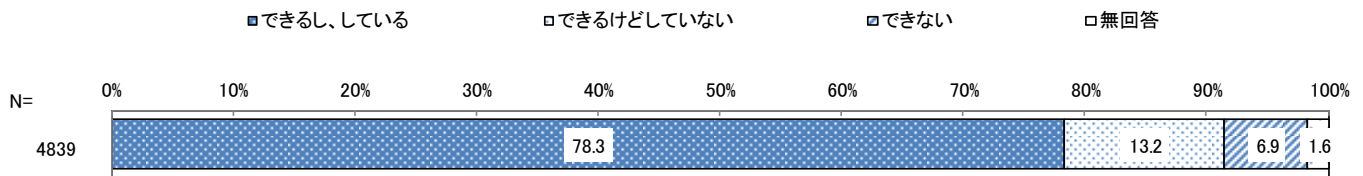
		全 体	自分で請求書の支払いをしているか			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体		4839	3709	696	336	98
		100.0	76.6	14.4	6.9	2.0
男 女 別	男性	2413	1667	499	194	53
		100.0	69.1	20.7	8.0	2.2
	女性	2420	2037	196	142	45
		100.0	84.2	8.1	5.9	1.9
	不明	6	5	1	—	—
		100.0	83.3	16.7	—	—

問 4（8） 自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が78.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が6.9%となっている。

前回の調査では、「できるし、している」が83.0%と最も高く、「できるけどしていない」が12.3%、「できない」が3.0%となっている。

【自分で預貯金の出し入れをしているか】



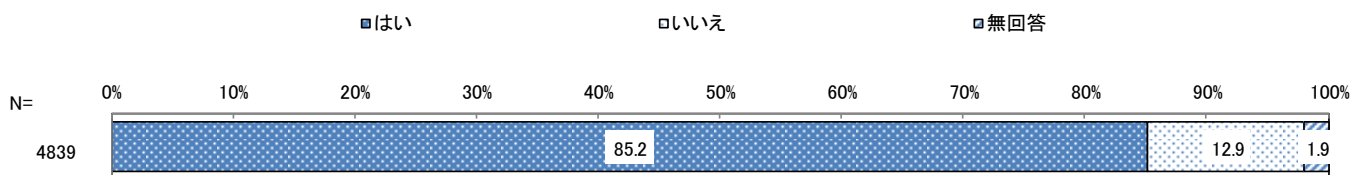
上段:実数、下段: %

全 体	自分で預貯金の出し入れをしているか			
	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
4839	3787	639	336	77
100.0	78.3	13.2	6.9	1.6

問 4（9） 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）

役所や病院などに出す書類が書けるかについて、「はい」が85.2%、「いいえ」が12.9%となっている。前回の調査では、「はい」が91.0%、「いいえ」が7.0%となっている。

【役所や病院などに出す書類が書けるか】



上段:実数、下段: %

全 体	役所や病院などに出す書類が書けるか		
	はい	いいえ	無回答
4839	4125	623	91
100.0	85.2	12.9	1.9

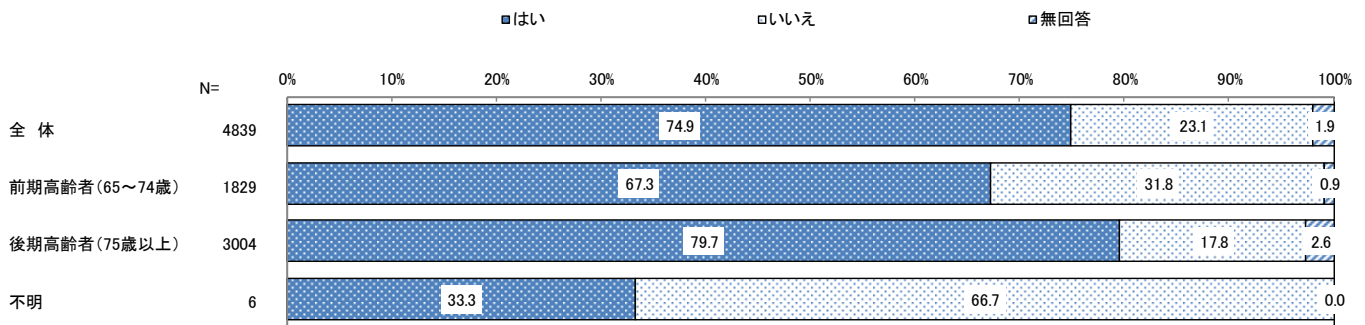
問 4 (10) 新聞は読んでいますか (○は1つ)

新聞を読んでいるかについて、「はい」が74.9%、「いいえ」が23.1%となっている。

前回の調査では、「はい」が82.8%、「いいえ」が15.5%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると「いいえ」が『前期高齢者』では31.8%と『後期高齢者』の17.8%に対して14ポイント以上高くなっている。

【新聞を読んでいるか＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

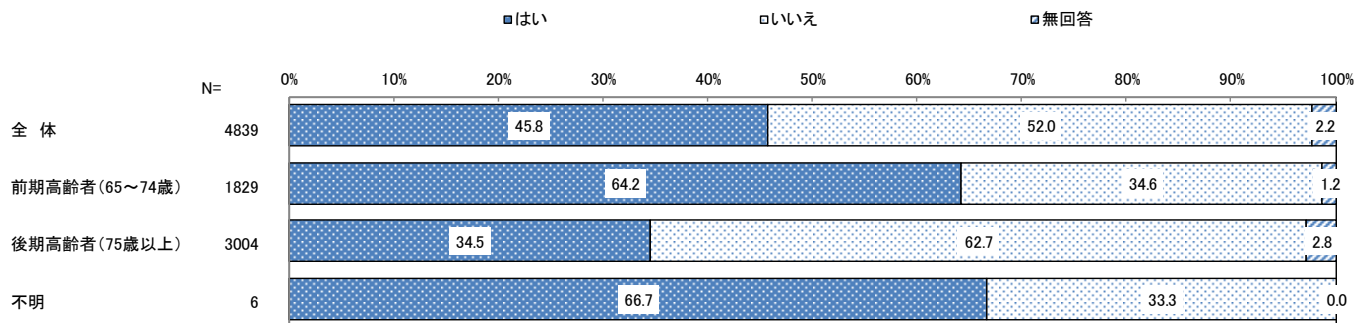
		全 体	新聞を読んでいるか		
			はい	いいえ	無回答
全 体		4839	3626	1119	94
		100.0	74.9	23.1	1.9
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	1829	1231	581	17
		100.0	67.3	31.8	0.9
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	2393	534	77
		100.0	79.7	17.8	2.6
	不明	6	2	4	—
		100.0	33.3	66.7	—

問 4 (11) パソコンやスマートフォンで、メールやインターネットを使っていますか (○は1つ)

メールやインターネットの利用有無について、「いいえ」が 52.0%、「はい」が 45.8%となっている。
前回の調査では、「いいえ」が 53.1%、「はい」が 44.9%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると『前期高齢者』では「はい」が、『後期高齢者』では「いいえ」がそれぞれ最も高く、約 6 割を占めている。

【メールやインターネットの利用有無＜前期・後期高齢者別＞】



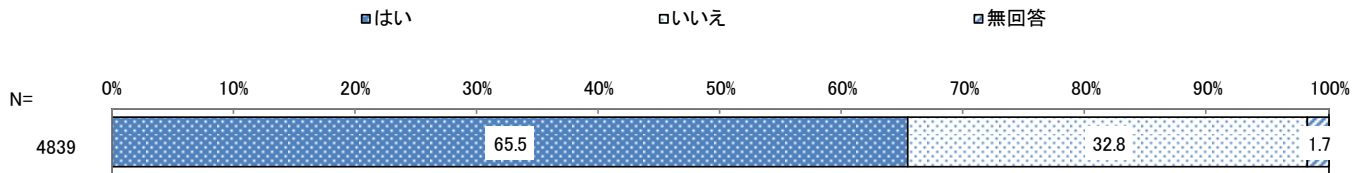
上段:実数、下段: %

		全 体	メールやインターネットの利用有無		
			はい	いいえ	無回答
全 体		4839	2215	2518	106
		100.0	45.8	52.0	2.2
高 期 ・ 後 期 高 齢 者 別	前期高齢者 (65~74歳)	1829	1174	633	22
		100.0	64.2	34.6	1.2
	後期高齢者 (75歳以上)	3004	1037	1883	84
		100.0	34.5	62.7	2.8
不明		6	4	2	—
		100.0	66.7	33.3	—

問 4 (12) 本や雑誌を読んでいますか (○は 1 つ)

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 65.5%、「いいえ」が 32.8%となっている。
 前回の調査では「はい」が 74.1%、「いいえ」が 24.1%となっている。

【本や雑誌を読んでいるか】



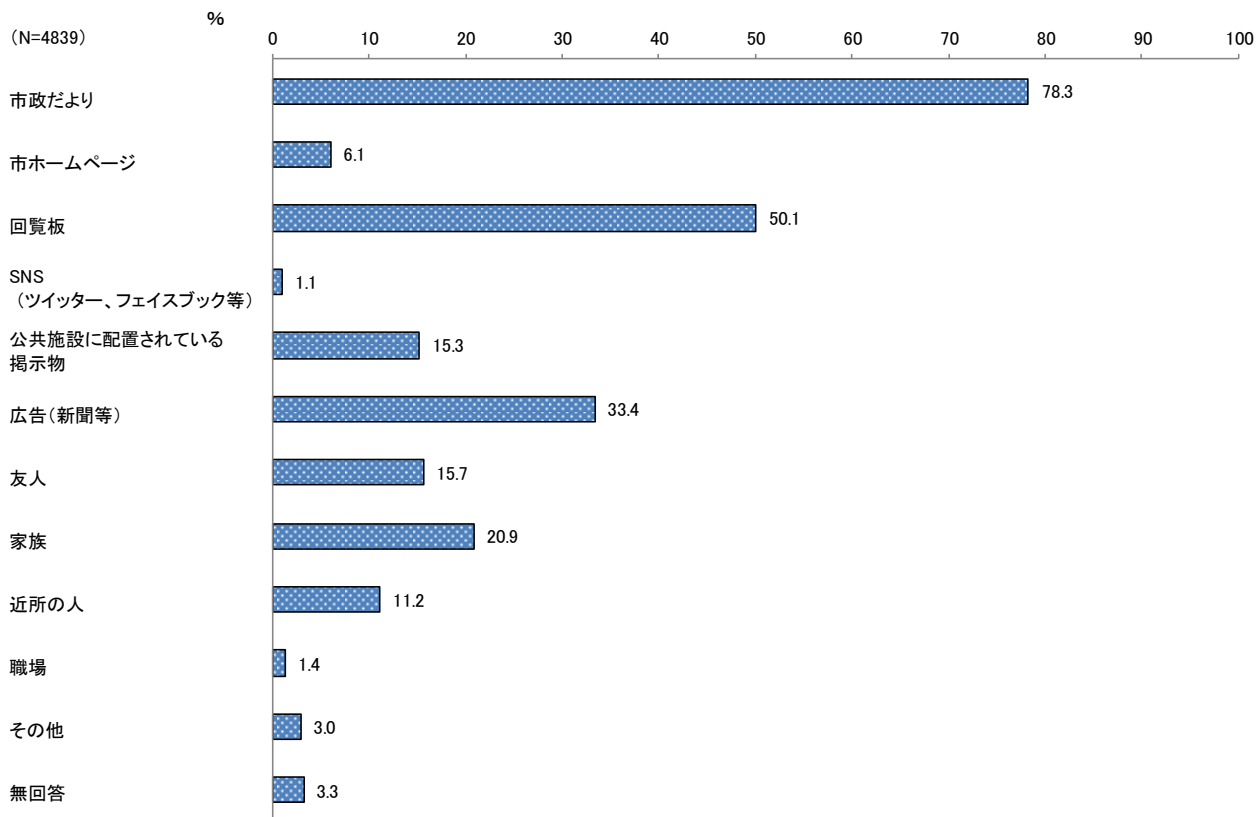
上段: 実数、下段: %

全 体	本や雑誌を読んでいるか		
	はい	いいえ	無回答
4839	3170	1589	80
100.0	65.5	32.8	1.7

問 4 (13) 市主催の催し物の情報はどのような手段で知りますか (〇はいくつでも)

市主催の催し物に関する情報収集手段について、「市政だより」が 78.3%と最も高く、次いで「回覧板」が 50.1%、「広告（新聞等）」が 33.4%となっている。

【市主催の催し物に関する情報収集手段】



上段:実数、下段:%

全 体	市主催の催し物に関する情報収集手段											
	市政だより	市ホームページ	回覧板	SNS (ツイッター、フェイスブック等)	公共施設に配置されている掲示物	広告(新聞等)	友人	家族	近所の人	職場	その他	無回答
4839	3790	294	2422	55	742	1614	758	1009	540	66	143	160
100.0	78.3	6.1	50.1	1.1	15.3	33.4	15.7	20.9	11.2	1.4	3.0	3.3

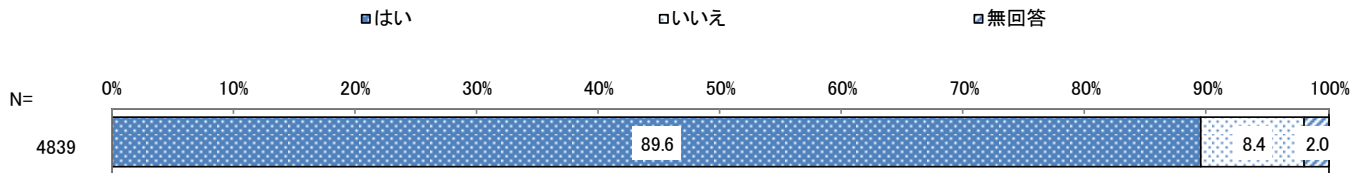
注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・テレビ
- ・町内会
- ・案内状ハガキ

問 4 (14) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つ)

健康についての記事や番組への関心について、「はい」が 89.6%、「いいえ」が 8.4%となっている。
前回の調査では、「はい」が 90.8%、「いいえ」が 7.6%となっている。

【健康についての記事や番組への関心】



上段:実数、下段: %

全 体	健康についての記事や番組への関心		
	はい	いいえ	無回答
4839	4335	407	97
100.0	89.6	8.4	2.0

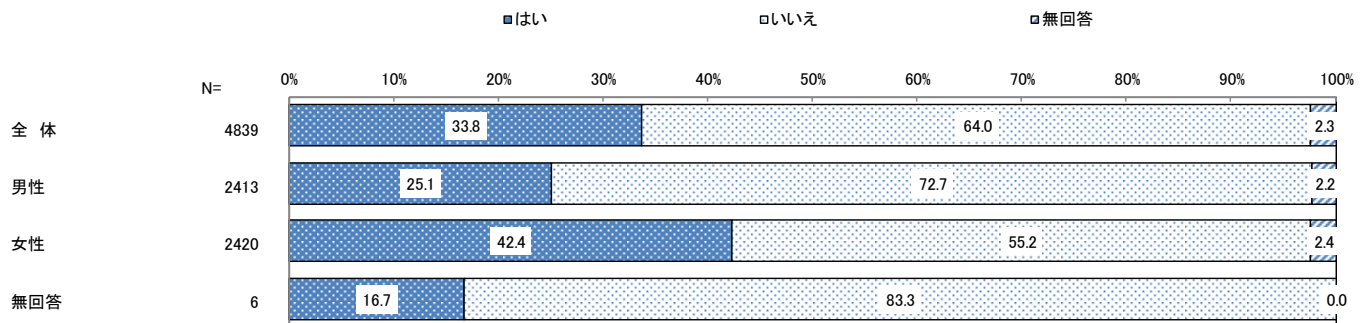
問 4 (15) 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)

友人の家への訪問の有無について、「いいえ」が64.0%、「はい」が33.8%となっている。

前回の調査では、「いいえ」が54.5%、「はい」が43.3%となっている。

また、男女別でみると「はい」については『女性』の42.4%に対して『男性』は25.1%であり、17ポイント以上低くなっている。

【友人の家への訪問の有無＜男女別＞】



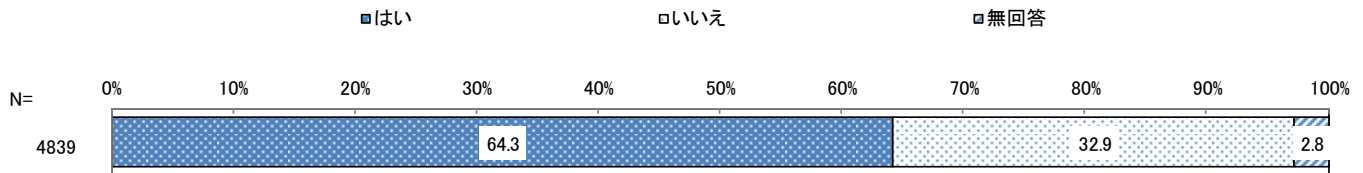
上段:実数、下段: %

		全 体	友人の家への訪問の有無		
			はい	いいえ	無回答
全 体		4839	1634	3095	110
		100.0	33.8	64.0	2.3
男 女 別	男性	2413	606	1755	52
		100.0	25.1	72.7	2.2
	女性	2420	1027	1335	58
		100.0	42.4	55.2	2.4
不明		6	1	5	—
		100.0	16.7	83.3	—

問 4 (16) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 64.3%、「いいえ」が 32.9%となっている。
前回の調査では、「はい」が 73.5%、「いいえ」が 23.8%となっている。

【家族や友人の相談にのっているか】



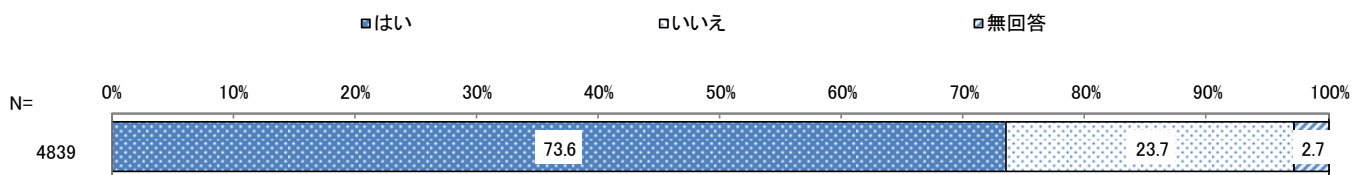
上段:実数、下段: %

全 体	家族や友人の相談にのっているか		
	はい	いいえ	無回答
4839	3112	1590	137
100.0	64.3	32.9	2.8

問 4 (17) 人を見舞うことができますか (○は1つ)

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が 73.6%、「いいえ」が 23.7%となっている。
前回の調査では、「はい」が 87.7%、「いいえ」が 9.8%となっている。

【病人を見舞うことができるか】



上段:実数、下段: %

全 体	病人を見舞うことができるか		
	はい	いいえ	無回答
4839	3563	1146	130
100.0	73.6	23.7	2.7

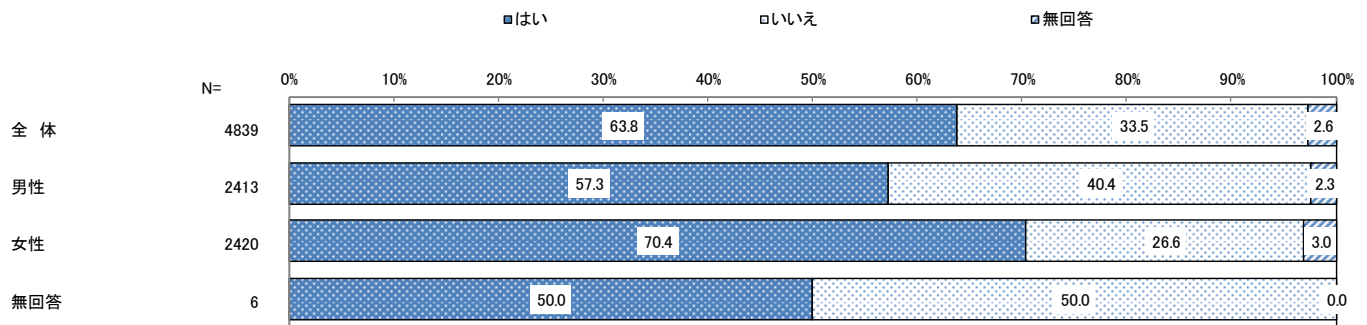
問 4 (18) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つ)

若い人に話しかけることがあるかについて、「はい」が 63.8%、「いいえ」が 33.5%となっている。

前回の調査では、「はい」が 72.4%、「いいえ」が 25.0%となっている。

また、男女別でみると「はい」については『女性』の 70.4%に対して『男性』は 57.3%であり、13ポイント以上低くなっている。

【若い人に話しかけることがあるか＜男女別＞】



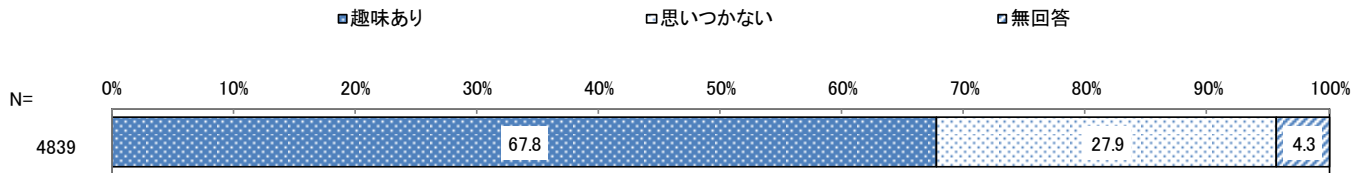
上段:実数、下段: %

		全 体	若い人に話しかけることがあるか		
			はい	いいえ	無回答
全 体		4839	3089	1623	127
		100.0	63.8	33.5	2.6
男 女 別	男性	2413	1382	976	55
		100.0	57.3	40.4	2.3
	女性	2420	1704	644	72
		100.0	70.4	26.6	3.0
不明		6	3	3	—
		100.0	50.0	50.0	—

問 4 (19) 趣味はありますか (○は1つ)

趣味の有無について、「趣味あり」が 67.8%、「思いつかない」が 27.9%となっている。
前回の調査では、「趣味あり」が 72.6%、「思いつかない」が 21.6%となっている。

【趣味の有無】



上段:実数、下段:%

全 体	趣味の有無		
	趣味あり	思いつかない	無回答
4839	3283	1349	207
100.0	67.8	27.9	4.3

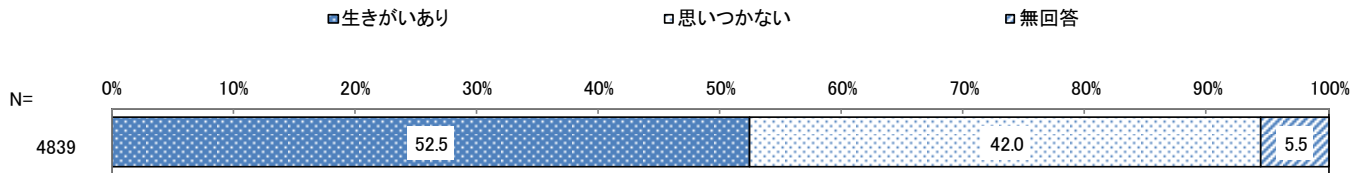
注)「趣味あり」の内容として、以下が挙げられた。

- ・ グランドゴルフ
- ・ 書道
- ・ カラオケ

問 4 (20) 生きがいがありますか (○は1つ)

生きがいの有無について、「生きがいあり」が52.5%、「思いつかない」が42.0%となっている。
前回の調査では、「生きがいあり」が55.0%、「思いつかない」が35.9%となっている。

【生きがいの有無】



上段:実数、下段:%

全 体	生きがいの有無		
	生きがいあり	思いつかない	無回答
4839	2541	2032	266
100.0	52.5	42.0	5.5

注)「生きがいあり」の内容として、以下が挙げられた。

- ・ 家庭円満
- ・ 趣味
- ・ 仕事

問5 地域の活動について

【設問の意図】

社会参加活動や就業状況、地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営者として」両方の立場における参加の意向について問い、これらの状況と心身機能との関係等を把握し、事業の対象者や実施内容の検討、ニーズ把握やサービス整備の検討の際に活用するものである。

問5（1） 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
（①～⑧それぞれに○は1つ）

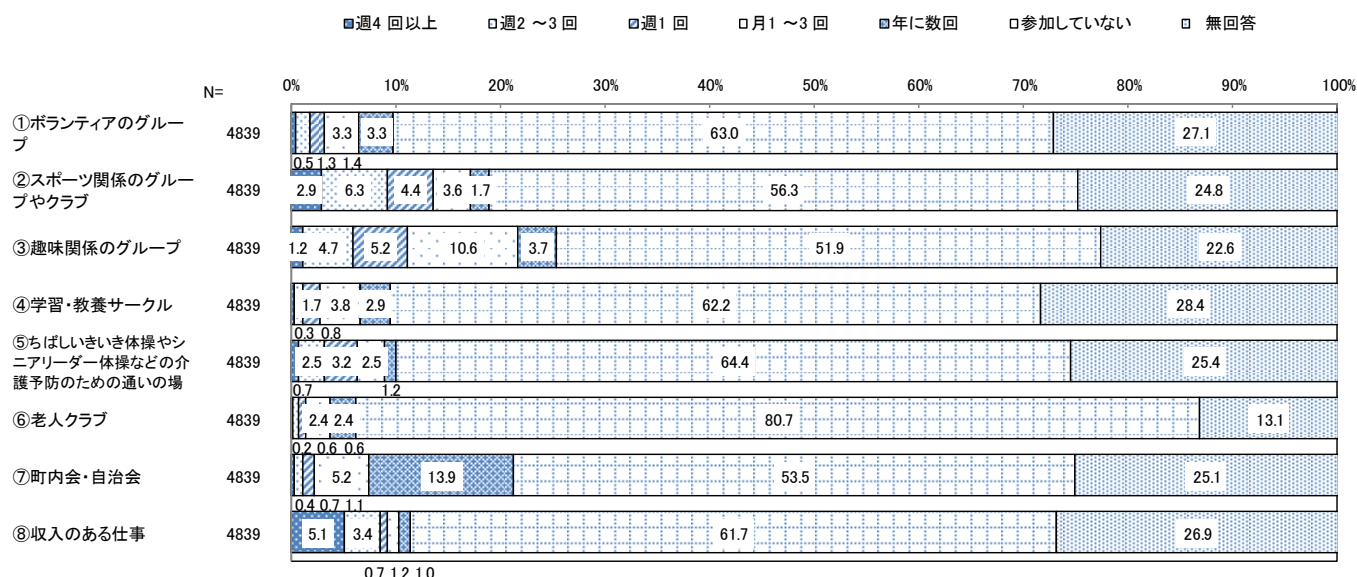
地域の活動の参加頻度について、すべての地域の活動で「参加していない」が約5割から約8割と最も高かった。そのうち、『⑥老人クラブ』については「参加していない」が80.7%と他の活動に比べて16ポイント以上高くなっている。

男女別でみると『①ボランティアのグループ』から『⑤介護予防のための通いの場』までは、「参加していない」が男性は女性より10ポイント以上高くなっている。

参加しているグループについては『⑦町内会・自治会』の「年に数回」が13.9%と最も高く、そのうち男性の参加は15.0%、女性の参加は12.7%であり、男性の参加の方が高くなっている。

前回の調査では、今回の調査の⑤を除く7項目での調査であり、いずれも「参加していない」が約5割から約7割と最も高かった。参加頻度が週4回以上との回答割合が最も高かったのは、「収入のある仕事」で10.0%となっている。

【参加頻度】



【参加頻度＜男女別＞】

上段:件数、下段:%

			全 体	参加頻度						
				週4 回以上	週2 ～3 回	週1 回	月1 ～3 回	年に数回	参加していない	無回答
① ボラン ティアの	全 体		4839	26	64	68	160	159	3049	1313
			100.0	0.5	1.3	1.4	3.3	3.3	63.0	27.1
	男女別	男性	2413	14	31	31	73	85	1656	523
			100.0	0.6	1.3	1.3	3.0	3.5	68.6	21.7
		女性	2420	12	33	36	87	74	1388	790
			100.0	0.5	1.4	1.5	3.6	3.1	57.4	32.6
グ②ス ブツ ラ係 ブの	全 体		4839	140	304	215	175	81	2726	1198
			100.0	2.9	6.3	4.4	3.6	1.7	56.3	24.8
	男女別	男性	2413	59	122	93	106	59	1504	470
			100.0	2.4	5.1	3.9	4.4	2.4	62.3	19.5
		女性	2420	81	182	121	69	22	1217	728
			100.0	3.3	7.5	5.0	2.9	0.9	50.3	30.1
③ 趣味 関係の グ	全 体		4839	60	226	254	514	179	2511	1095
			100.0	1.2	4.7	5.2	10.6	3.7	51.9	22.6
	男女別	男性	2413	32	112	117	218	108	1385	441
			100.0	1.3	4.6	4.8	9.0	4.5	57.4	18.3
		女性	2420	28	113	137	296	71	1121	654
			100.0	1.2	4.7	5.7	12.2	2.9	46.3	27.0
④ 学習・ 教養サ ー	全 体		4839	14	39	80	182	138	3012	1374
			100.0	0.3	0.8	1.7	3.8	2.9	62.2	28.4
	男女別	男性	2413	9	12	34	69	64	1659	566
			100.0	0.4	0.5	1.4	2.9	2.7	68.8	23.5
		女性	2420	5	27	46	112	74	1348	808
			100.0	0.2	1.1	1.9	4.6	3.1	55.7	33.4
⑤ ちばしい きき のたの しい 場	全 体		4839	36	121	154	123	56	3118	1231
			100.0	0.7	2.5	3.2	2.5	1.2	64.4	25.4
	男女別	男性	2413	17	34	50	34	22	1727	529
			100.0	0.7	1.4	2.1	1.4	0.9	71.6	21.9
		女性	2420	19	87	104	89	34	1385	702
			100.0	0.8	3.6	4.3	3.7	1.4	57.2	29.0
⑥ 老人 クラブ	全 体		4839	10	27	30	117	116	3903	636
			100.0	0.2	0.6	0.6	2.4	2.4	80.7	13.1
	男女別	男性	2413	8	8	13	62	69	1998	255
			100.0	0.3	0.3	0.5	2.6	2.9	82.8	10.6
		女性	2420	2	19	17	55	47	1899	381
			100.0	0.1	0.8	0.7	2.3	1.9	78.5	15.7
⑦ 町内会・ 自治会	全 体		4839	20	36	54	252	671	2590	1216
			100.0	0.4	0.7	1.1	5.2	13.9	53.5	25.1
	男女別	男性	2413	13	16	29	146	362	1375	472
			100.0	0.5	0.7	1.2	6.1	15.0	57.0	19.6
		女性	2420	7	20	25	105	307	1212	744
			100.0	0.3	0.8	1.0	4.3	12.7	50.1	30.7
⑧ 収入の ある 仕事	全 体		4839	246	166	35	56	46	2986	1304
			100.0	5.1	3.4	0.7	1.2	1.0	61.7	26.9
	男女別	男性	2413	154	95	18	32	31	1553	530
			100.0	6.4	3.9	0.7	1.3	1.3	64.4	22.0
		女性	2420	92	71	16	24	15	1428	774
			100.0	3.8	2.9	0.7	1.0	0.6	59.0	32.0
	全 体		6	-	-	1	-	-	5	-
			100.0	-	-	16.7	-	-	83.3	-

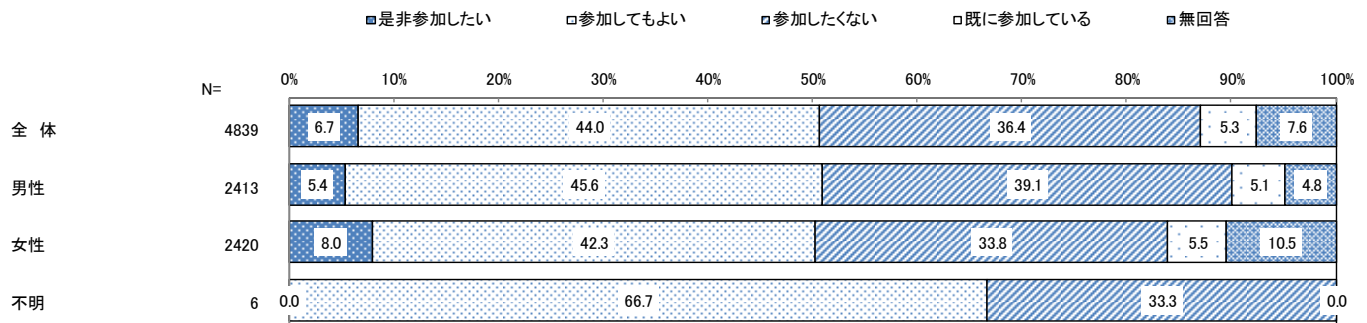
問 5（2） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

地域住民の有志による地域づくりの参加者として参加したいかについて、「参加してもよい」が44.0%と最も高く、次いで「参加したくない」が36.4%、「是非参加したい」が6.7%となっている。

「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している（前回選択項目なし）」の合計は56.0%であり、前回の調査結果の62.6%より減少している。

また、男女別でみると「参加したくない」が『男性』では39.1%と『女性』の33.8%に対して5ポイント以上高くなっている。

【地域住民の有志による地域づくりの参加者として参加したいか＜男女別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	地域住民の有志による地域づくりの参加者として参加したいか				
			是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全 体		4839	323	2128	1763	256	369
		100.0	6.7	44.0	36.4	5.3	7.6
男 女 別	男性	2413	130	1100	944	124	115
		100.0	5.4	45.6	39.1	5.1	4.8
	女性	2420	193	1024	817	132	254
		100.0	8.0	42.3	33.8	5.5	10.5
	不明	6	—	4	2	—	—
		100.0	—	66.7	33.3	—	—

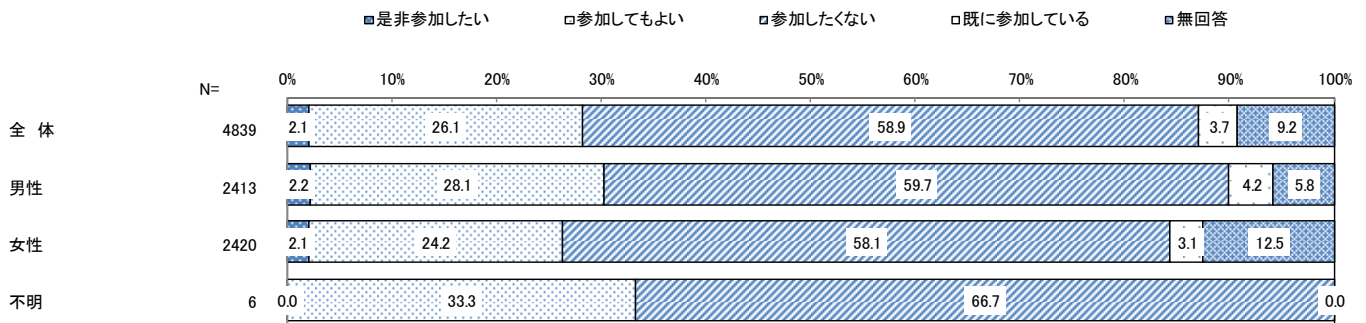
問 5（3） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

地域住民の有志による地域づくりの企画・運営者として参加したいかについて、「参加したくない」が58.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」が26.1%、「既に参加している」が3.7%となっている。

「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している（前回選択項目なし）」の合計は31.9%であり、前回の調査結果の34.6%より減少している。

また、男女別でみると「参加してもよい」が『男性』では28.1%と『女性』の24.2%に対して3ポイント以上高くなっている。

【地域住民の有志による地域づくりの企画・運営者として参加したいか＜男女別＞】



上段：実数、下段：%

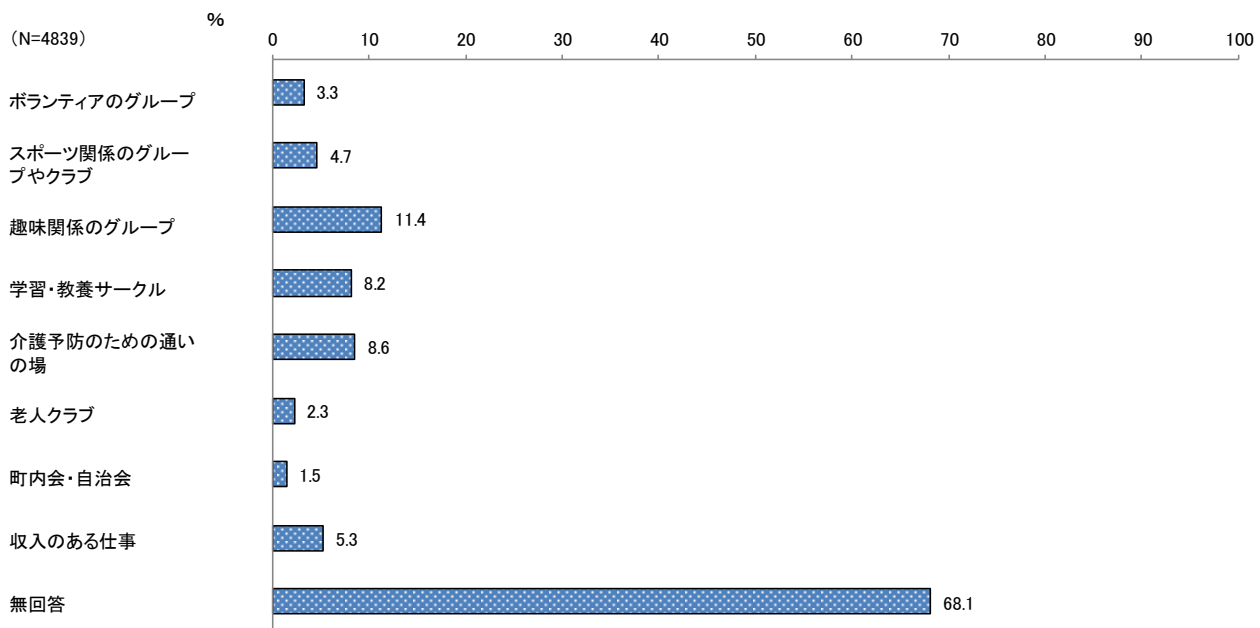
		全 体	地域住民の有志による地域づくりの企画・運営者として参加したいか				
			是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全 体		4839	103	1265	2850	178	443
		100.0	2.1	26.1	58.9	3.7	9.2
男 女 別	男性	2413	53	677	1440	102	141
		100.0	2.2	28.1	59.7	4.2	5.8
	女性	2420	50	586	1406	76	302
		100.0	2.1	24.2	58.1	3.1	12.5
	不明	6	—	2	4	—	—
		100.0	—	33.3	66.7	—	—

問5(4) 問5(1)で「6. 参加していない」と答えたもののうち、参加したいグループ等がありますか(○はいくつでも)

現在参加していない地域活動のうち、参加したいグループについて、「趣味関係のグループ」が11.4%と最も高く、次いで「介護予防のための通いの場」が8.6%、「学習・教養サークル」が8.2%となっている。

前回の調査では、「趣味関係のグループ」が14.0%と最も高く、次いで「学習・教養サークル」が9.6%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が7.7%となっている。

【参加したいグループ】

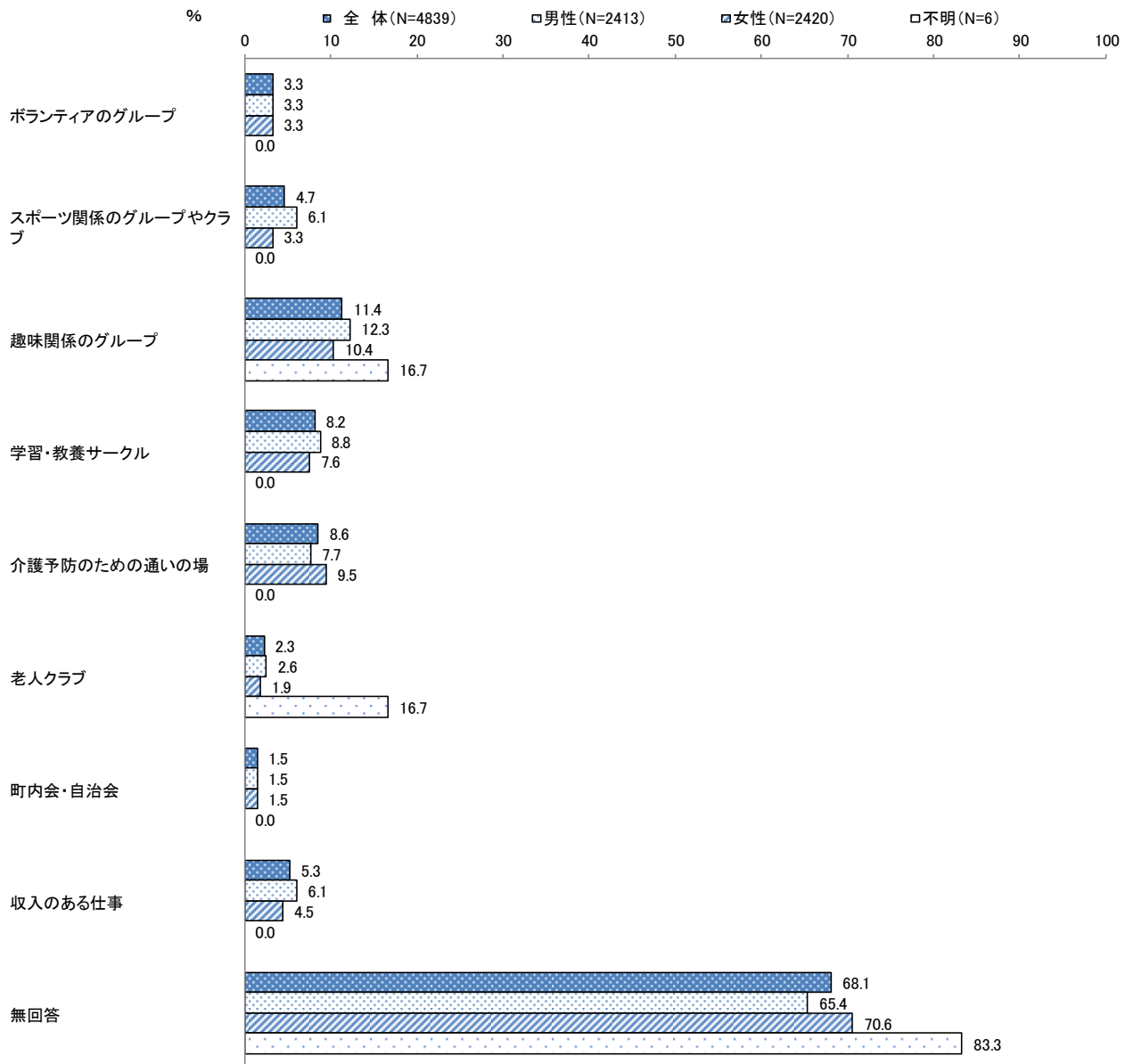


上段:実数、下段:%

全 体	参加したいグループ								
	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事	無回答
4839	161	229	550	396	416	110	74	256	3293
100.0	3.3	4.7	11.4	8.2	8.6	2.3	1.5	5.3	68.1

男女別でみると「趣味関係のグループ」が男女ともに最も高く、「介護予防のための通いの場」のみ、『女性』の方が『男性』よりも高くなっている。

【参加したいグループ＜男女別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	参加したいグループ								
			ボランティア のグループ	スポーツ関 係のグルー プやクラブ	趣味関係の グループ	学習・教養 サークル	介護予防の ための通い の場	老人クラブ	町内会・自治 会	収入のある 仕事	無回答
全 体		4839	161	229	550	396	416	110	74	256	3293
		100.0	3.3	4.7	11.4	8.2	8.6	2.3	1.5	5.3	68.1
男 女 別	男性	2413	80	148	298	212	186	63	37	146	1579
		100.0	3.3	6.1	12.3	8.8	7.7	2.6	1.5	6.1	65.4
	女性	2420	81	81	251	184	230	46	37	110	1709
		100.0	3.3	3.3	10.4	7.6	9.5	1.9	1.5	4.5	70.6
	不明	6	—	—	1	—	—	1	—	—	5
		100.0	—	—	16.7	—	—	16.7	—	—	83.3

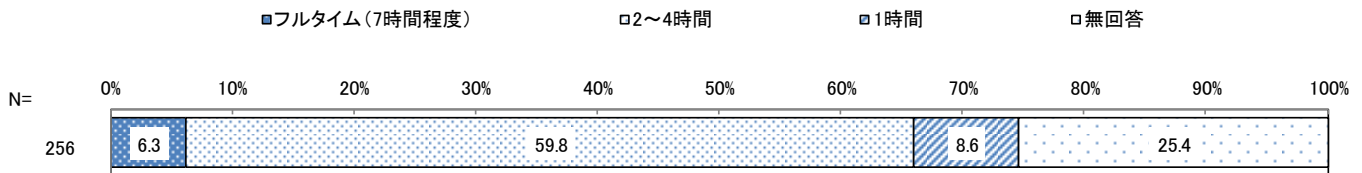
【問 5（4）で「8. 収入のある仕事」と回答された方のみ】

問 5（4）①どのくらいの勤務時間、頻度での仕事を望みますか（それぞれに○は1つ）

収入のある仕事を希望する人のうち、希望する勤務時間について、「2～4 時間」が 59.8%と最も高く、次いで「1 時間」が 8.6%、「フルタイム（7 時間程度）」が 6.3%となっている。

前回の調査でも、「2～4 時間」が 69.8%と最も高かった。

【希望する勤務時間】



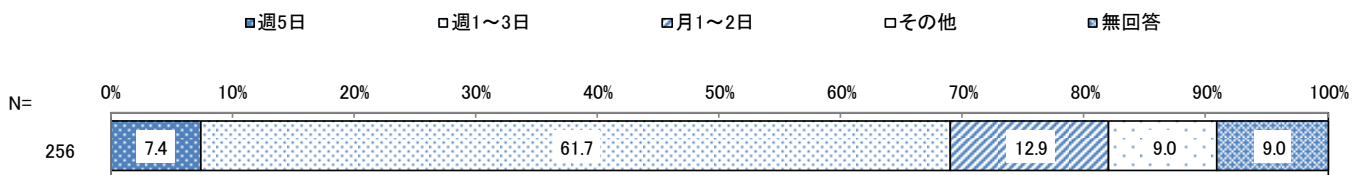
上段：実数、下段：%

全 体	希望する勤務時間			
	フルタイム（7時間程度）	2～4 時間	1 時間	無回答
256	16	153	22	65
100.0	6.3	59.8	8.6	25.4

希望する勤務頻度については、「週 1～3 日」が 61.7%と最も高く、次いで「月 1～2 日」が 12.9%、「その他」が 9.0%となっている。

前回の調査でも、「週 1～3 日」が 65.0%と最も高かった。

【希望する勤務頻度】



上段：実数、下段：%

全 体	希望する勤務頻度				
	週5 日	週1～3 日	月1～2 日	その他	無回答
256	19	158	33	23	23
100.0	7.4	61.7	12.9	9.0	9.0

注）「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・週 4 日
- ・週 2～4 日

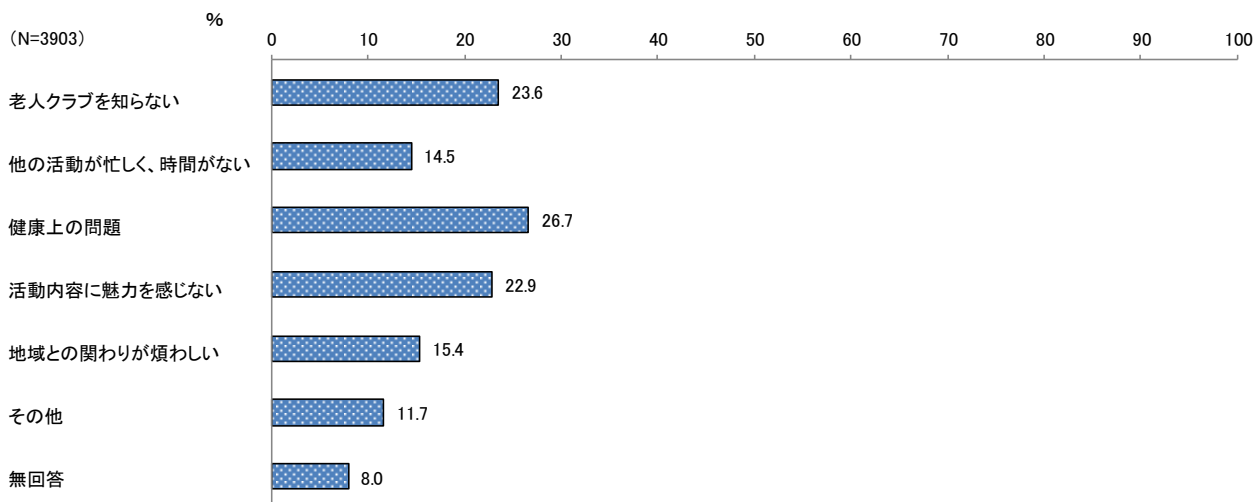
【問 5（1）⑥老人クラブで「6. 参加していない」と回答された方のみ】

問 5（5） 老人クラブに参加していない理由は、次のどれですか（○はいくつでも）

老人クラブに参加していない理由について、「健康上の問題」が 26.7%と最も高く、次いで「老人クラブを知らない」が 23.6%、「活動内容に魅力を感じない」が 22.9%となっている。

前回の調査では、「活動内容に魅力を感じない」が 24.1%で最も高く、次いで「他の活動が忙しく、時間がない」が 22.5%、「老人クラブを知らない」が 21.2%となっている。

【老人クラブに参加していない理由】



上段：実数、下段：%

全 体	老人クラブに参加していない理由						
	老人クラブを知らない	他の活動が忙しく、時間がない	健康上の問題	活動内容に魅力を感じない	地域との関わりが煩わしい	その他	無回答
3903	920	566	1044	893	603	458	311
100.0	23.6	14.5	26.7	22.9	15.4	11.7	8.0

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・高齢のため
- ・家族の介護をしなければいけないため
- ・配偶者が参加しており、その間、自分は子の面倒をみている

問6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

【設問の意図】

たすけあいの状況と関係性について問い、うつ傾向の発生状況を間接的に把握する。

また、地域の相談経路について問い、相談窓口の活用状況を把握し、事業の対象者や実施内容の検討、ニーズ把握やサービス整備の検討の際に活用するものである。

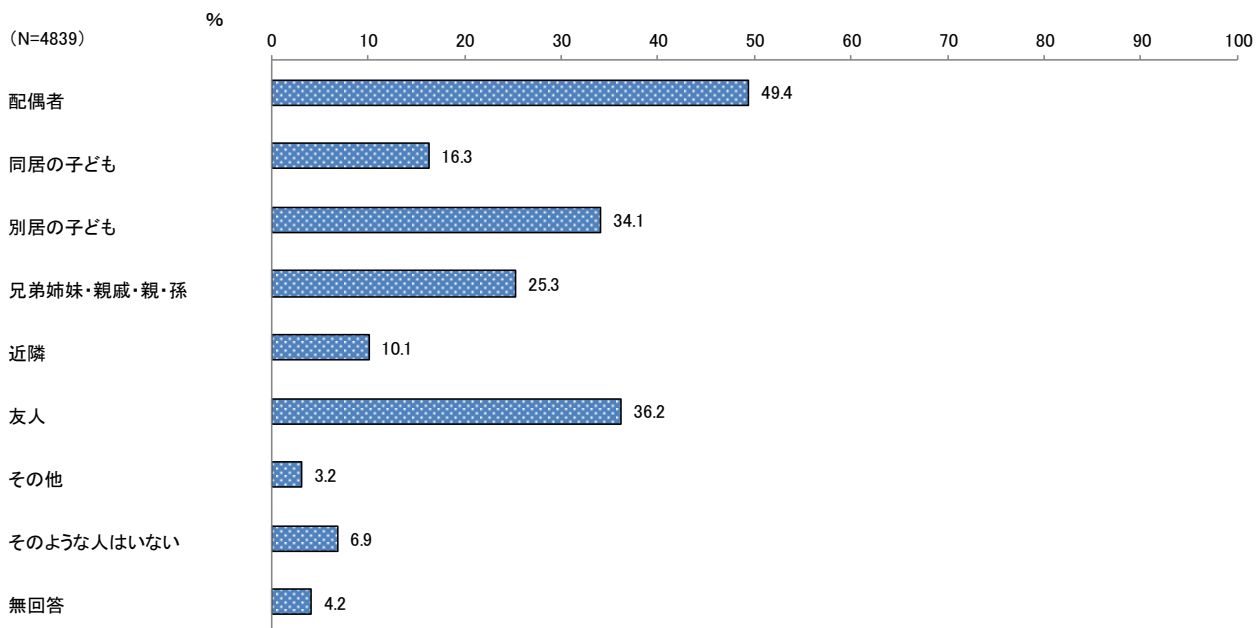
友人関係の問いについては、事業を展開したことによる地域でのつながりへの効果等モニタリングとしても活用する。

問6（1） あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が49.4%と最も高く、次いで「友人」が36.2%、「別居の子ども」が34.1%となっている。

前回の調査では、「配偶者」が55.5%と最も高く、次いで「友人」が44.8%となっている。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人】



上段: 実数、下段: %

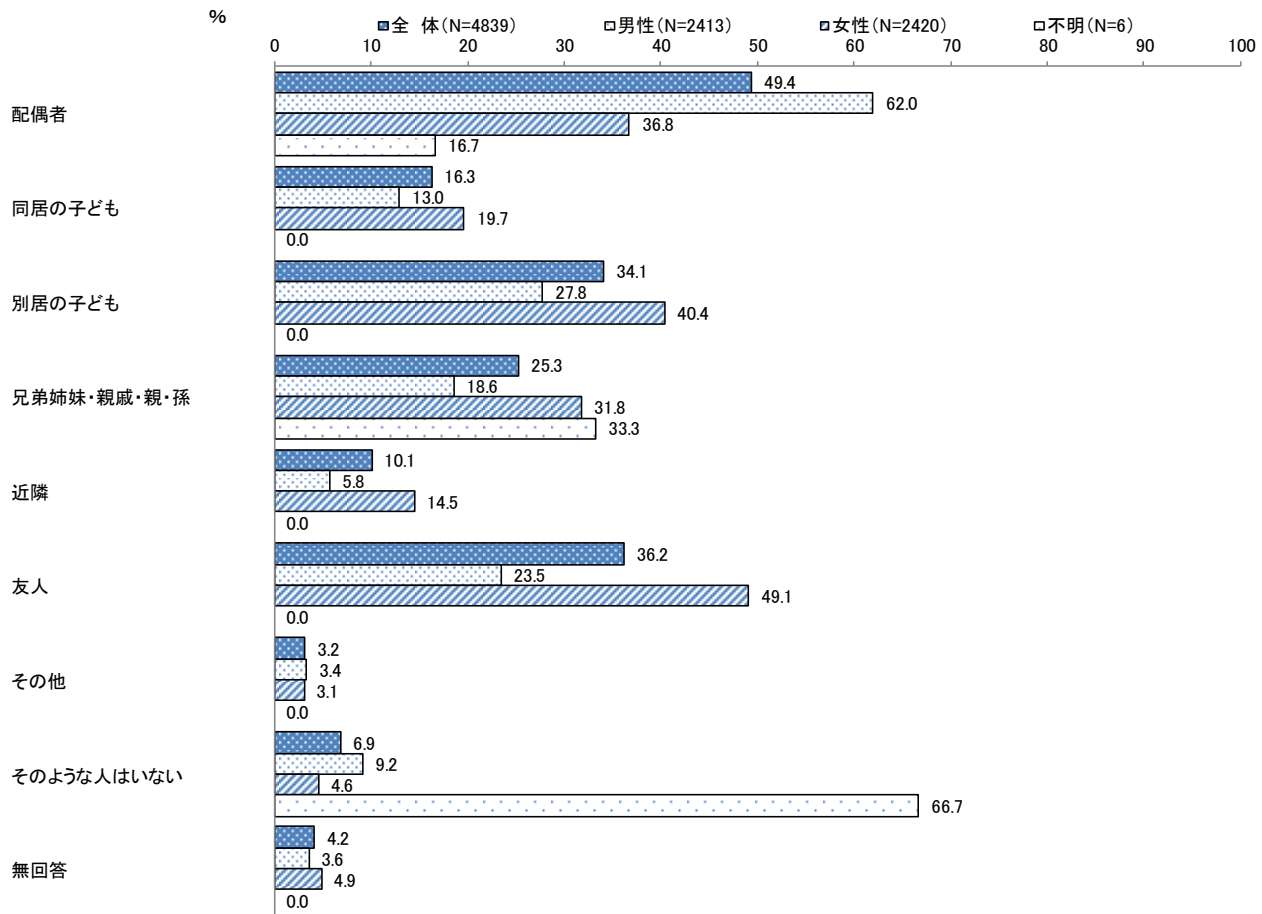
全 体	心配事や愚痴を聞いてくれる人								
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
4839	2389	791	1650	1222	491	1754	157	336	204
100.0	49.4	16.3	34.1	25.3	10.1	36.2	3.2	6.9	4.2

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・同僚
- ・ケアセンターの従業員
- ・同じ病気の人

男女別でみると『男性』は「配偶者」が最も高くなっている。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人＜男女別＞】



上段:実数、下段:%

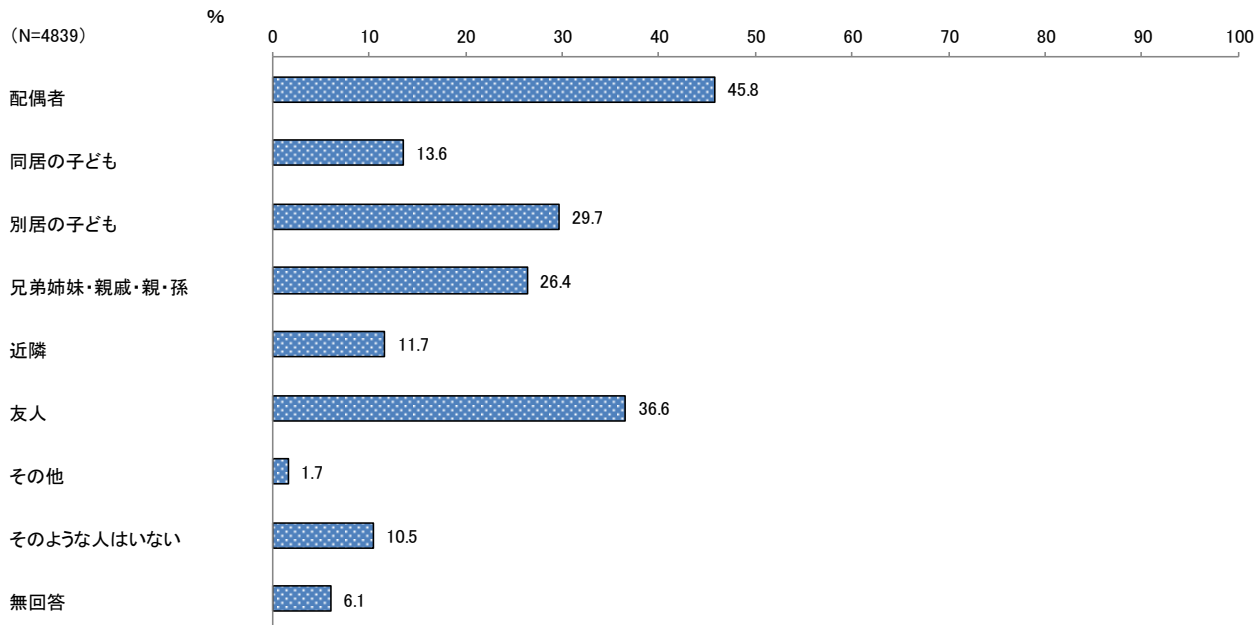
		心配事や愚痴を聞いてくれる人								
		全 体								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
男女別	全 体	4839	2389	791	1650	1222	491	1754	157	336
		100.0	49.4	16.3	34.1	25.3	10.1	36.2	3.2	6.9
	男性	2413	1497	314	672	450	139	566	81	221
		100.0	62.0	13.0	27.8	18.6	5.8	23.5	3.4	9.2
男女別	女性	2420	891	477	978	770	352	1188	76	111
		100.0	36.8	19.7	40.4	31.8	14.5	49.1	3.1	4.6
	不明	6	1	-	-	2	-	-	-	4
		100.0	16.7	-	-	33.3	-	-	-	66.7

問 6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 45.8%と最も高く、次いで「友人」が 36.6%、「別居の子ども」が 29.7%となっている。

前回の調査では、「配偶者」が 51.7%と最も高く、次いで「友人」が 46.3%となっている。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人】



上段:実数、下段:%

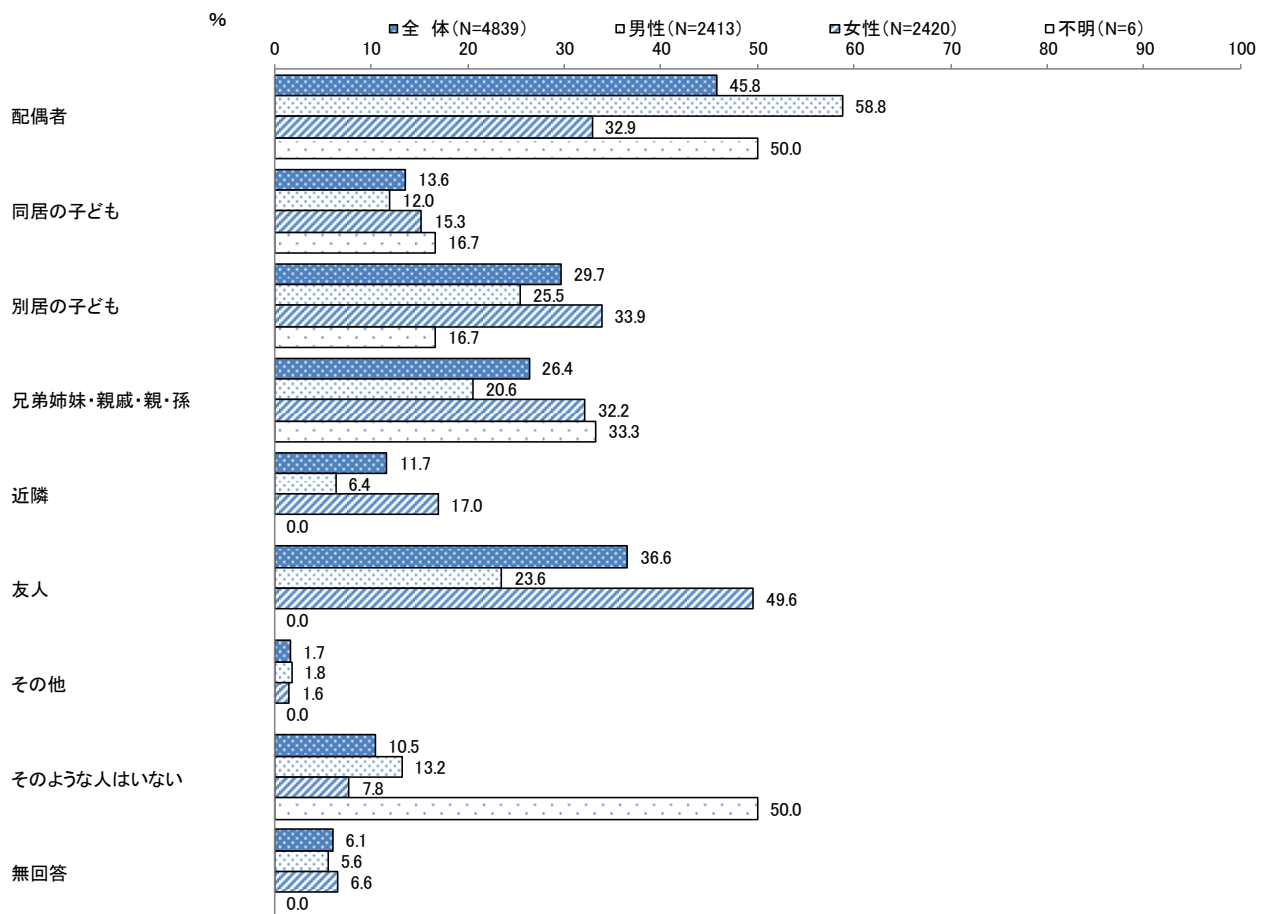
全 体	心配事や愚痴を聞いてあげる人								
	配偶者	同居の子ど も	別居の子ど も	兄弟姉妹・親 戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
4839	2217	660	1437	1278	566	1770	83	510	294
100.0	45.8	13.6	29.7	26.4	11.7	36.6	1.7	10.5	6.1

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・同僚
- ・同じクラブの人
- ・デイサービスの仲間

男女別でみると『男性』は「配偶者」が、『女性』は「友人」が最も高くなっている。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人＜男女別＞】



上段：実数、下段：%

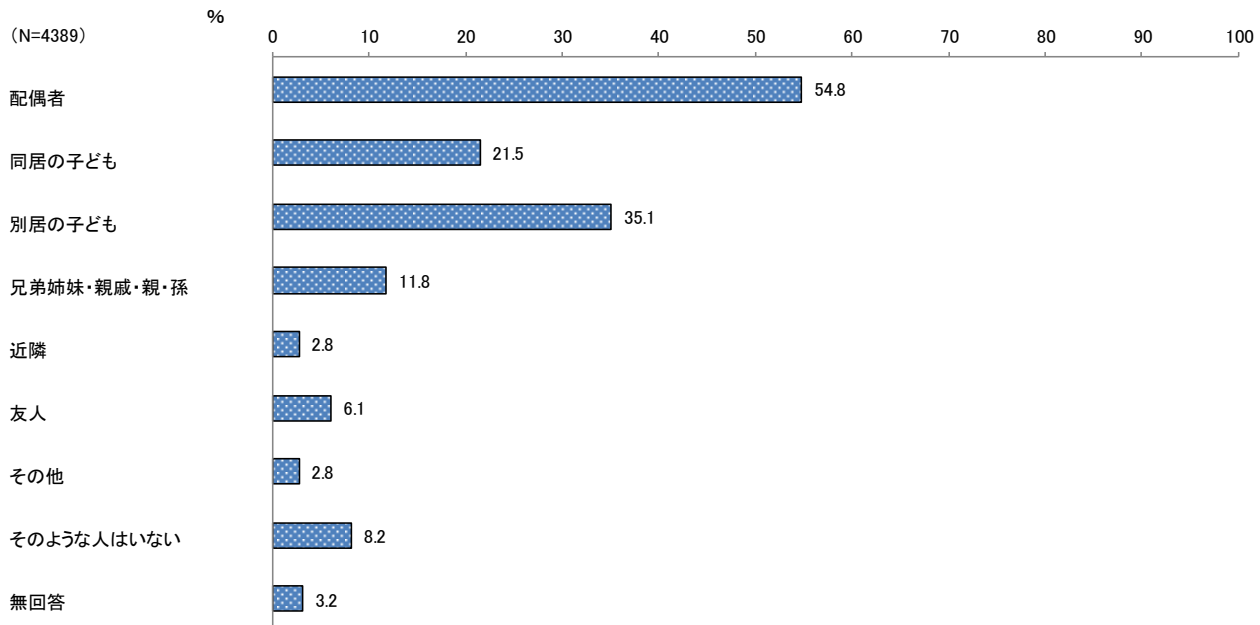
		全 体	心配事や愚痴を聞いてあげる人							
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全 体		4839	2217	660	1437	1278	566	1770	83	510
		100.0	45.8	13.6	29.7	26.4	11.7	36.6	1.7	10.5
男女別	男性	2413	1418	289	616	497	155	569	44	319
		100.0	58.8	12.0	25.5	20.6	6.4	23.6	1.8	13.2
	女性	2420	796	370	820	779	411	1201	39	188
		100.0	32.9	15.3	33.9	32.2	17.0	49.6	1.6	7.8
不明		6	3	1	1	2	—	—	—	3
		100.0	50.0	16.7	16.7	33.3	—	—	—	50.0

問 6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)

病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 54.8%と最も高く、「別居の子ども」が 35.1%、次いで「同居の子ども」が 21.5%となっている。

前回の調査では、「配偶者」が 62.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 33.3%となっている。

【看病や世話をしてくれる人】



上段:実数、下段:%

全 体	看病や世話をしてくれる人								
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
4839	2651	1039	1700	573	136	293	136	398	157
100.0	54.8	21.5	35.1	11.8	2.8	6.1	2.8	8.2	3.2

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

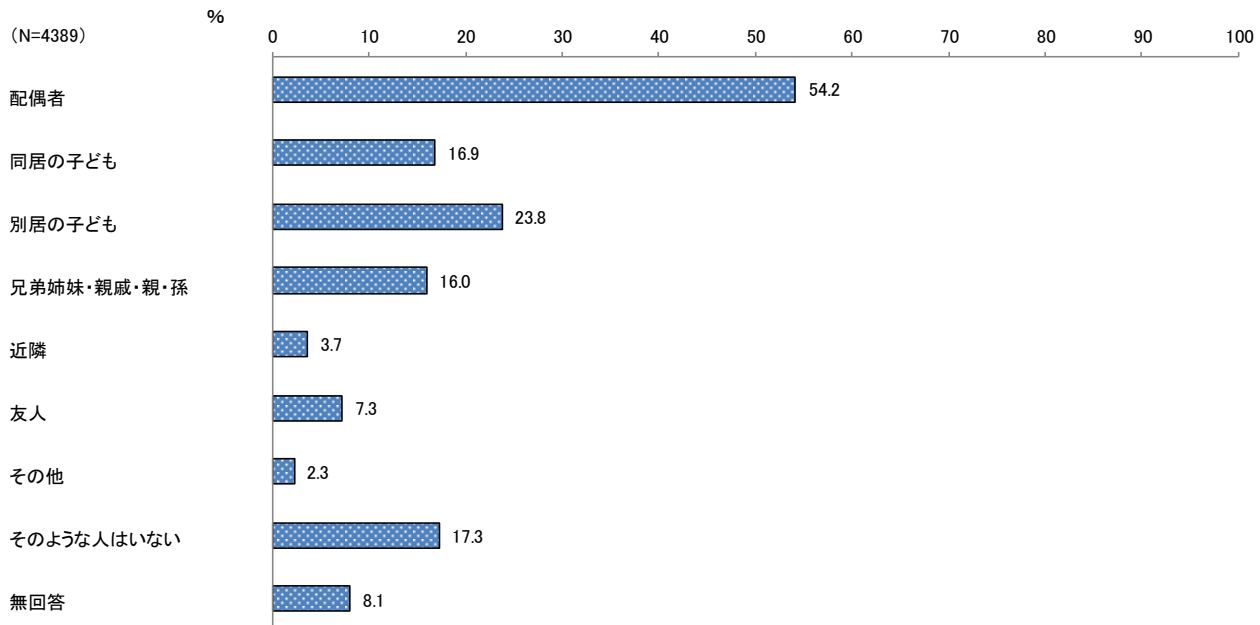
- ・ヘルパー
- ・子どもの配偶者
- ・訪問看護師

問 6 (4) 反対に、看病や世話をしあける人 (○はいくつでも)

病気で寝込んだときに看病や世話をしあける人について、「配偶者」が 54.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 23.8%、「そのような人はいない」が 17.3%となっている。

前回の調査では、「配偶者」が 61.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 29.8%となっている。

【看病や世話をしあける人】



上段:実数、下段:%

全 体	看病や世話をしあける人								
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
4839	2625	817	1150	773	178	355	112	835	392
100.0	54.2	16.9	23.8	16.0	3.7	7.3	2.3	17.3	8.1

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

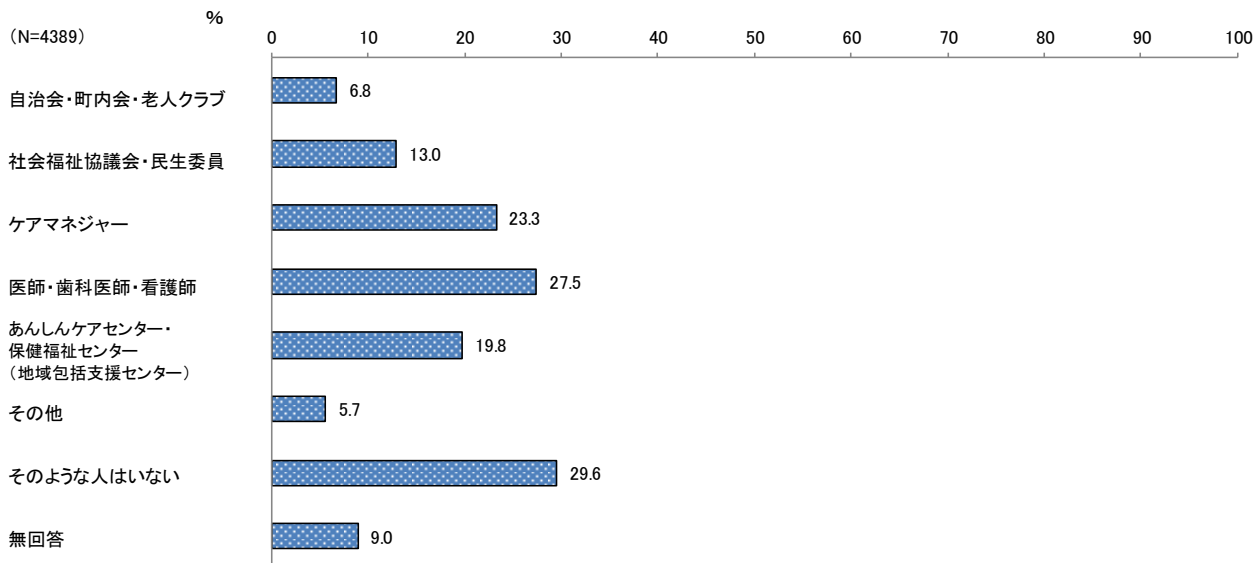
- ・子どもの配偶者
- ・福祉のお世話になっている人
- ・病人仲間

問 6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(○はいくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、「そのような人はいない」が 29.6%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 27.5%、「ケアマネジャー」が 23.3%となっている。

前回の調査では、「そのような人はいない」が 39.9%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 25.6%、「ケアマネジャー」が 5.7%、「あんしんケアセンター・保健福祉センター」が 8.7%となっている。

【家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手】



上段:実数、下段:%

全 体	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手							
	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	あんしんケアセンター・保健福祉センター (地域包括支援センター)	その他	そのような人はいない	無回答
4839	327	629	1128	1330	960	278	1431	434
100.0	6.8	13.0	23.3	27.5	19.8	5.7	29.6	9.0

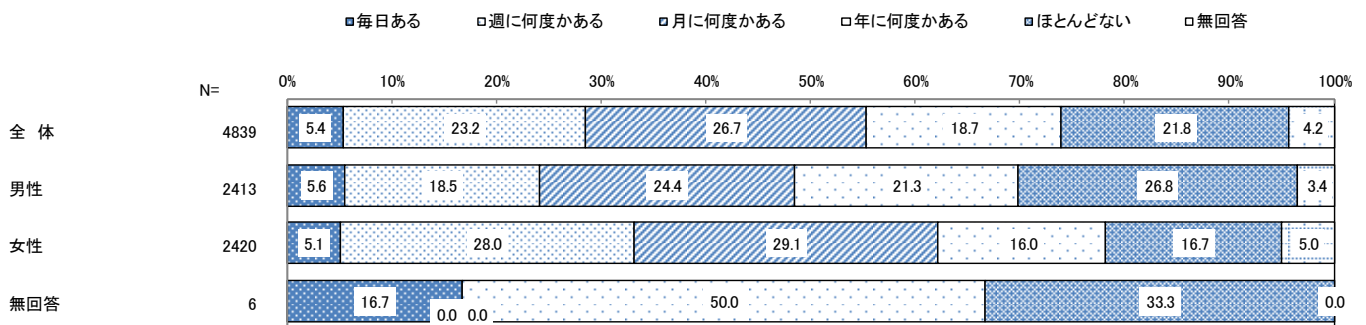
問 6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が 26.7%と最も高く、「週に何度かある」が 23.2%、「ほとんどない」が 21.8%となっている。

前回の調査では、「週に何度かある」が 28.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 28.1%であり、「ほとんどない」は 13.2%となっている。

また、男女別でみると『男性』は「ほとんどない」が、『女性』は「月に何度かある」が最も高くなっている。

【友人・知人と会う頻度＜男女別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	友人・知人と会う頻度					
			毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体		4839	261	1123	1293	905	1053	204
		100.0	5.4	23.2	26.7	18.7	21.8	4.2
男 女 別	男性	2413	136	446	589	514	646	82
		100.0	5.6	18.5	24.4	21.3	26.8	3.4
	女性	2420	124	677	704	388	405	122
		100.0	5.1	28.0	29.1	16.0	16.7	5.0
	不明	6	1	—	—	3	2	—
		100.0	16.7	—	—	50.0	33.3	—

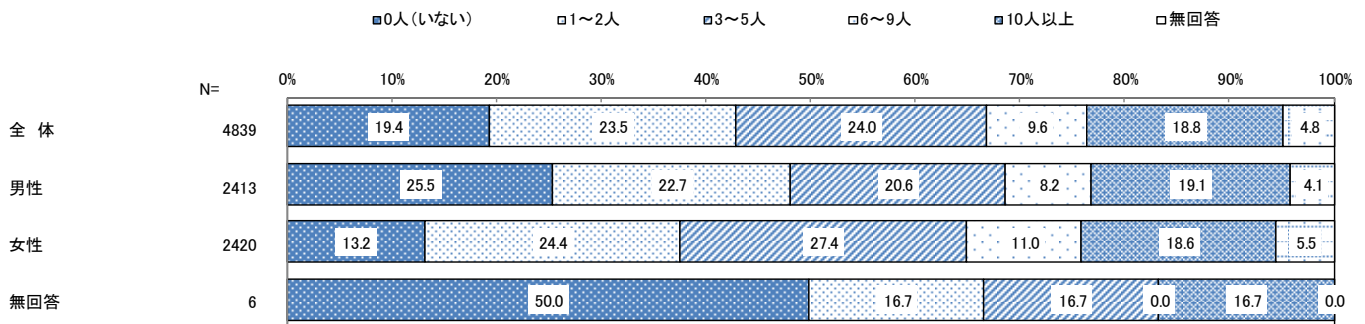
問 6 (7) この 1 か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は 1 つ)
(同じ人には何度会っても 1 人と数えることとします)

この 1 か月間に会った友人・知人の数について、「3～5 人」が 24.0%と最も高く、次いで「1～2 人」が 23.5%、「0 人 (いない)」が 19.4%となっている。

前回の調査では、「10 人以上」が 29.4%と最も高く、次いで「3～5 人」が 23.5%であり、「0 人 (いない)」も 12.2%となっている。

また、男女別でみると『男性』は「0 人 (いない)」が、『女性』は「3～5 人」が最も高くなっている。

【1 か月間にあった友人・知人の数＜男女別＞】



上段:実数、下段:%

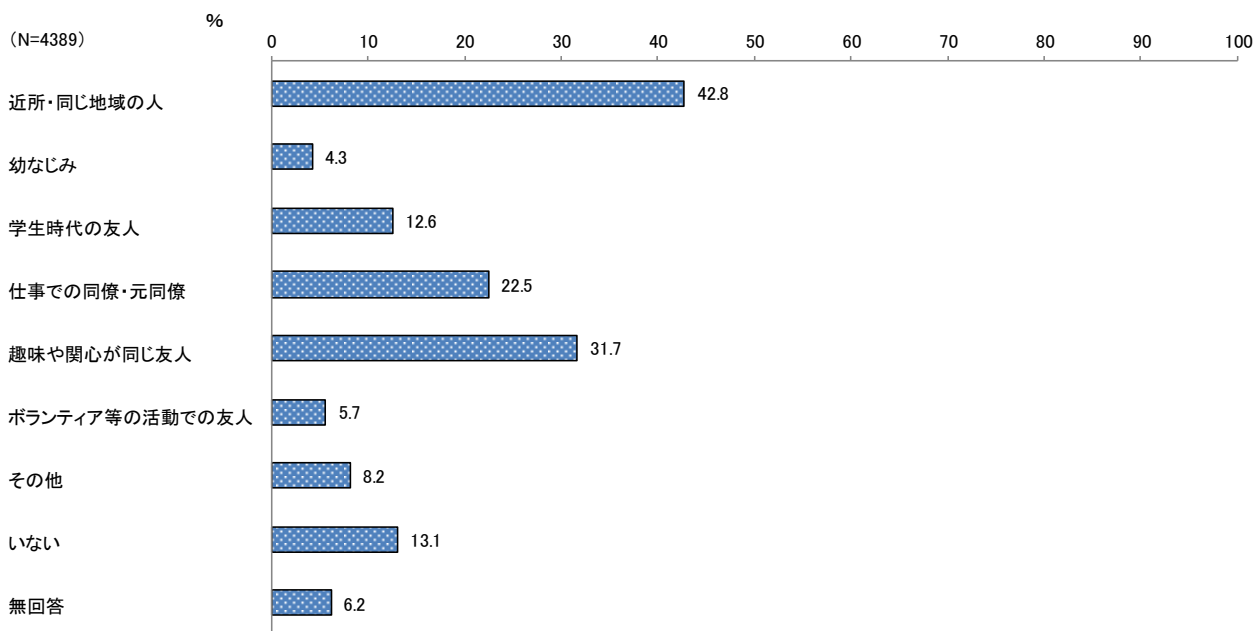
		全 体	1 か月間にあった友人・知人の数					
			0 人(いない)	1 ～ 2 人	3 ～ 5 人	6 ～ 9 人	10人以上	無回答
全 体		4839	937	1138	1159	463	910	232
		100.0	19.4	23.5	24.0	9.6	18.8	4.8
男 女 別	男性	2413	615	547	496	197	460	98
		100.0	25.5	22.7	20.6	8.2	19.1	4.1
	女性	2420	319	590	662	266	449	134
		100.0	13.2	24.4	27.4	11.0	18.6	5.5
不明		6	3	1	1	—	1	—
		100.0	50.0	16.7	16.7	—	16.7	—

問 6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)

よく会う友人・知人との関係性について、「近所・同じ地域の人」が 42.8%と最も高く、「趣味や関心
が同じ友人」が 31.7%、「仕事での同僚・元同僚」が 22.5%となっている。

前回の調査では、「近所・同じ地域の人」が 46.0%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が
41.5%となっている。

【よく会う友人・知人との関係性】

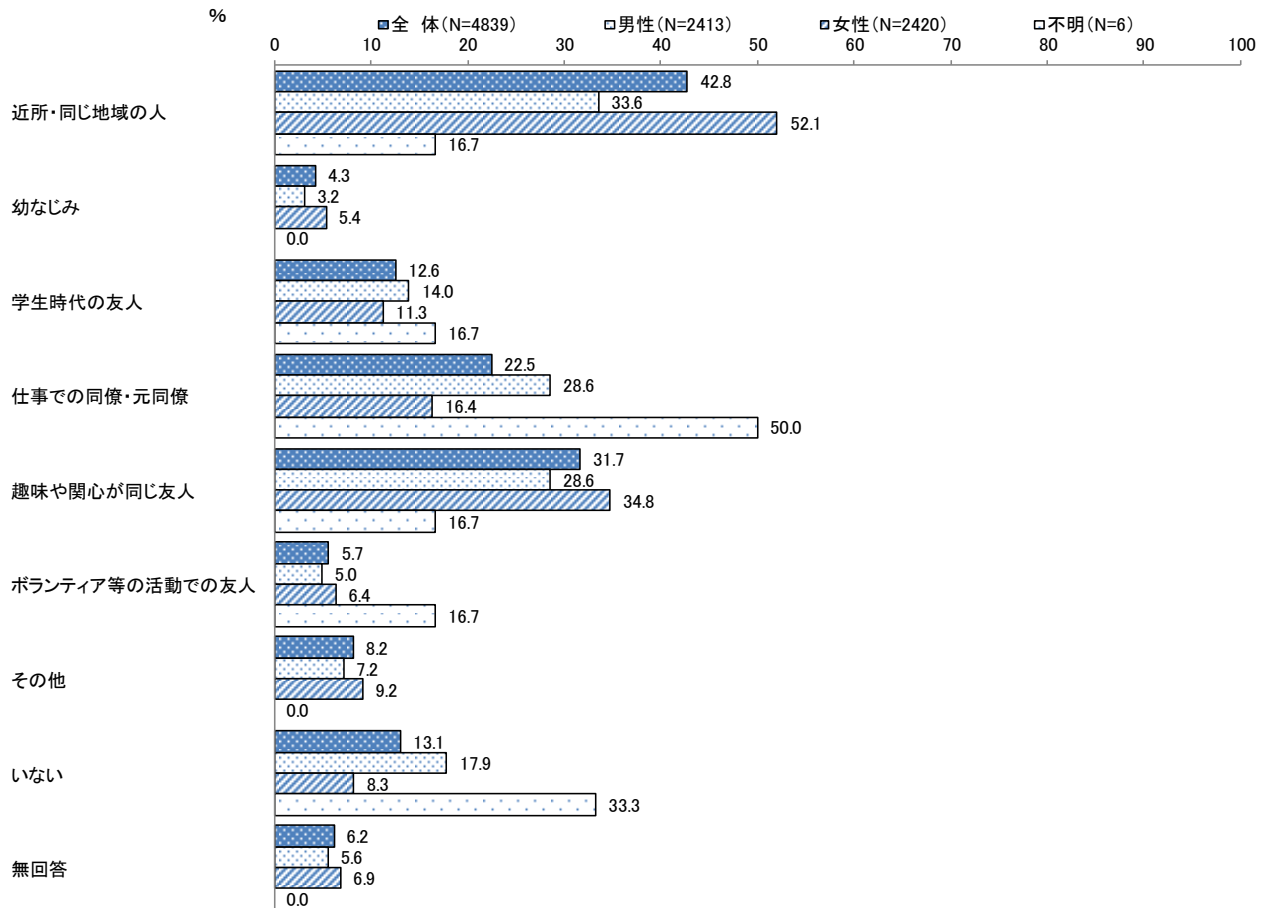


上段:実数、下段:%

全 体	よく会う友人・知人との関係性								
	近所・同じ地 域の人	幼なじみ	学生時代の 友人	仕事での同 僚・元同僚	趣味や関心 が同じ友人	ボランティア 等の活動で の友人	その他	いない	無回答
4839	2073	209	612	1091	1533	276	397	633	302
100.0	42.8	4.3	12.6	22.5	31.7	5.7	8.2	13.1	6.2

男女別でみると「近所・同じ地域の人」が『女性』では52.1%と半数を超えており、『男性』の33.6%に対して18ポイント以上高くなっている。また、「仕事での同僚・元同僚」は『男性』が28.6%と『女性』の16.4%に対して12ポイント以上高くなっている。

【よく会う友人・知人との関係性＜男女別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	よく会う友人・知人との関係性								
			近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全 体		4839	2073	209	612	1091	1533	276	397	633	302
		100.0	42.8	4.3	12.6	22.5	31.7	5.7	8.2	13.1	6.2
男 女 別	男性	2413	811	78	338	690	690	120	174	431	136
		100.0	33.6	3.2	14.0	28.6	28.6	5.0	7.2	17.9	5.6
	女性	2420	1261	131	273	398	842	155	223	200	166
		100.0	52.1	5.4	11.3	16.4	34.8	6.4	9.2	8.3	6.9
	不明	6	1	—	1	3	1	1	—	2	—
		100.0	16.7	—	16.7	50.0	16.7	16.7	—	33.3	—

問7 健康について

【設問の意図】

要介護状態になる前の主観的健康感、主観的幸福感、うつ傾向について問い、これらの関係性を想定する。

飲酒、喫煙の習慣について問い、健康寿命に影響を与えと考えられる他項目との関係性を把握する。

また、認定を受けていない高齢者の既往及び将来介護が必要になった時の生活について問い、要介護状態になる原因及び将来の生活希望等を把握し、事業の対象者や実施内容の検討、ニーズ把握やサービス整備の検討の際に活用するものである。

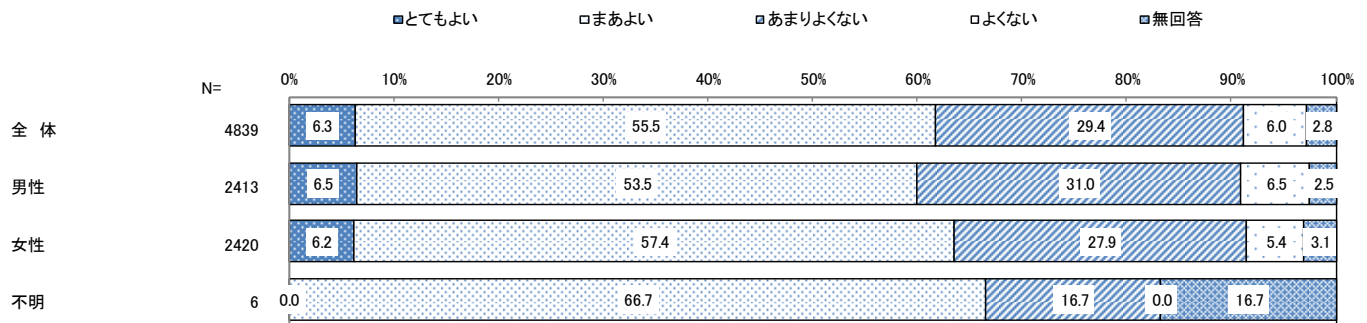
問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか（○は1つ）

現在の健康状態について、「とてもよい」「まあよい」の合計が61.8%であり、「あまりよくない」「よくない」の合計が35.4%となっている。

前回調査では「とてもよい」「まあよい」の合計が77.9%、「あまりよくない」「よくない」の合計が18.9%となっている。

また、男女別でみると「まあよい」が『女性』では57.4%と『男性』の53.5%に対して3ポイント以上高くなっている。

【現在の健康状態＜男女別＞】

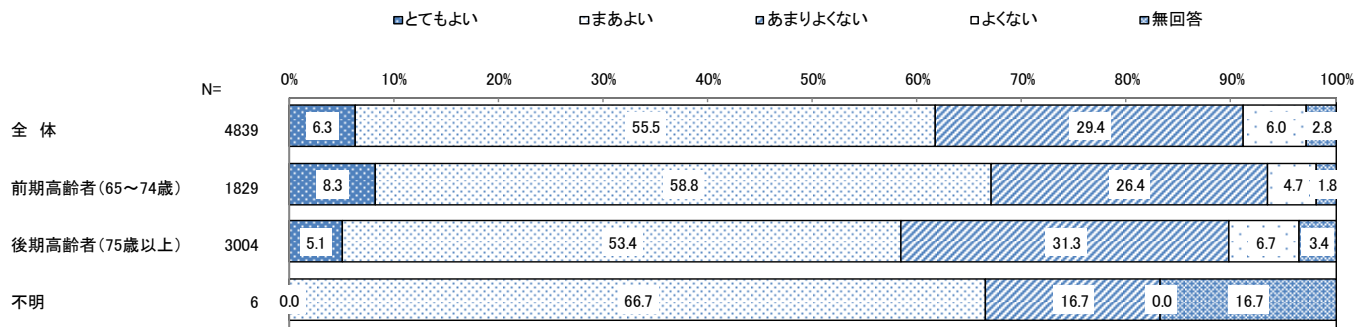


上段:実数、下段: %

		全 体	現在の健康状態				
			とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全 体		4839	305	2684	1425	288	137
		100.0	6.3	55.5	29.4	6.0	2.8
男 女 別	男性	2413	156	1292	748	157	60
		100.0	6.5	53.5	31.0	6.5	2.5
	女性	2420	149	1388	676	131	76
		100.0	6.2	57.4	27.9	5.4	3.1
	不明	6	—	4	1	—	1
		100.0	—	66.7	16.7	—	16.7

前期・後期高齢者別でみると大きな差はみられなかった。

【現在の健康状態＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	現在の健康状態				
			とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全 体		4839	305	2684	1425	288	137
		100.0	6.3	55.5	29.4	6.0	2.8
前期・後期 高齢者別	前期高齢者(65～74歳)	1829	152	1075	483	86	33
		100.0	8.3	58.8	26.4	4.7	1.8
	後期高齢者(75歳以上)	3004	153	1605	941	202	103
		100.0	5.1	53.4	31.3	6.7	3.4
不明		6	—	4	1	—	1
		100.0	—	66.7	16.7	—	16.7

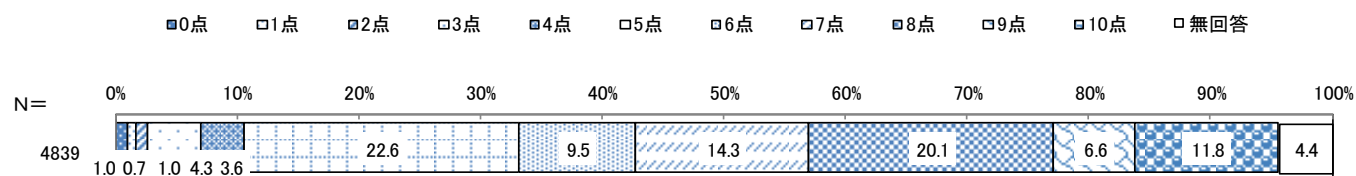
問 7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○は1つ)

現在の幸福度について、「5点」が22.6%と最も高く、次いで「8点」が20.1%、「7点」が14.3%となっている。

前回の調査では、「8点」が23.0%と最も高く、次いで「5点」が18.7%となっている。

【現在の幸福度】



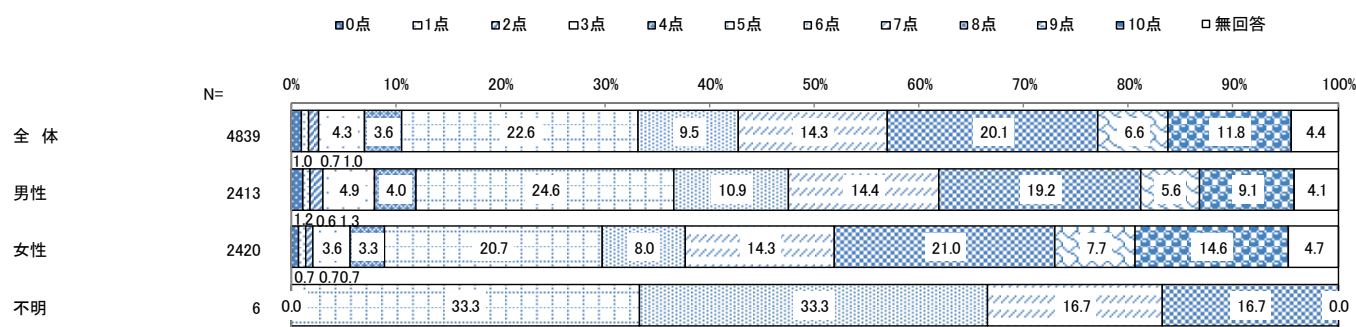
上段:実数、下段: %

全 体	現在の幸福度											
	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
4839	48	32	48	207	175	1095	459	694	974	321	572	214
100.0	1.0	0.7	1.0	4.3	3.6	22.6	9.5	14.3	20.1	6.6	11.8	4.4

男女別でみると「10点」が『女性』では14.6%と『男性』の9.1%に対して5ポイント以上高くなっている。

平均値は『男性』が6.4点、『女性』が6.9点、全体が6.7点であり、前回の調査結果の7.2点を下回った。

【現在の幸福度＜男女別＞】

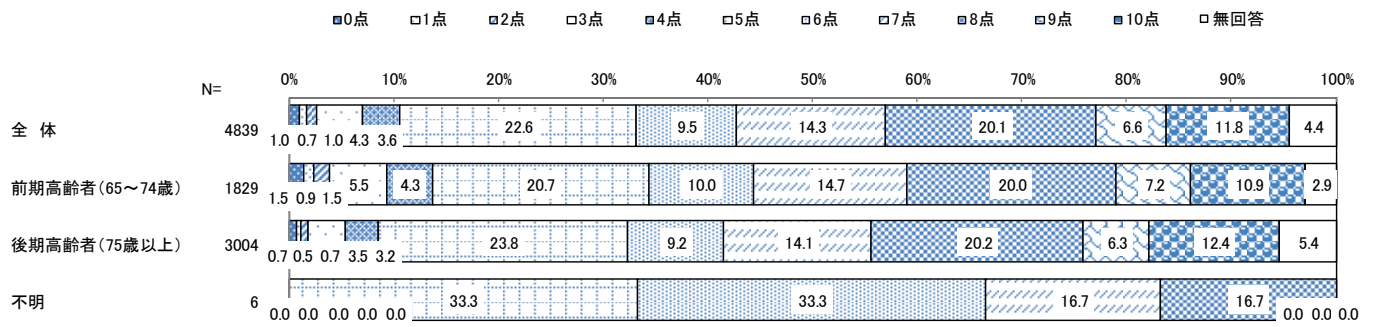


上段:実数、下段: %

		全 体	現在の程度率ですか											
			0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10点	無回答
全 体		4839	48	32	48	207	175	1095	459	694	974	321	572	214
		100.0	1.0	0.7	1.0	4.3	3.6	22.6	9.5	14.3	20.1	6.6	11.8	4.4
男 女 別	男性	2413	30	14	32	119	96	593	264	347	464	135	219	100
		100.0	1.2	0.6	1.3	4.9	4.0	24.6	10.9	14.4	19.2	5.6	9.1	4.1
	女性	2420	18	18	16	88	79	500	193	346	509	186	353	114
		100.0	0.7	0.7	0.7	3.6	3.3	20.7	8.0	14.3	21.0	7.7	14.6	4.7
	不明	6	-	-	-	-	-	2	2	1	1	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-

前期・後期高齢者別でみると大きな差はみられなかった。

【現在の幸福度＜前期・後期高齢者別＞】

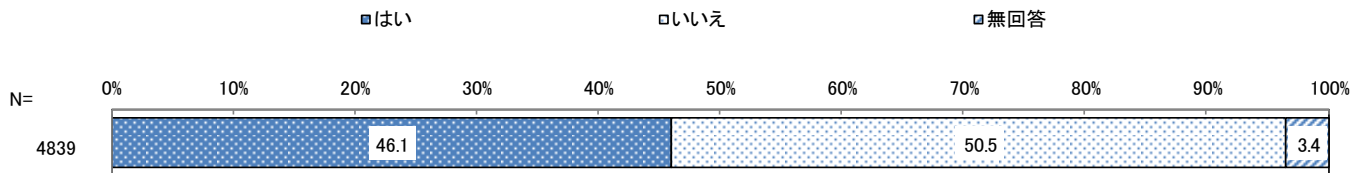


		現在の幸福度												上段:実数、下段:%	
		全 体	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10点	無回答	
高 齢 者 別	全 体	4839	48	32	48	207	175	1095	459	694	974	321	572	214	
		100.0	1.0	0.7	1.0	4.3	3.6	22.6	9.5	14.3	20.1	6.6	11.8	4.4	
	前期高齢者(65～74歳)	1829	27	17	27	101	79	378	182	268	366	132	199	53	
		100.0	1.5	0.9	1.5	5.5	4.3	20.7	10.0	14.7	20.0	7.2	10.9	2.9	
	後期高齢者(75歳以上)	3004	21	15	21	106	96	715	275	425	607	189	373	161	
		100.0	0.7	0.5	0.7	3.5	3.2	23.8	9.2	14.1	20.2	6.3	12.4	5.4	
高 齢 者 別	不明	6	-	-	-	-	-	2	2	1	1	-	-	-	
		100.0	-	-	-	-	-	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-	

問 7 (3) この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(○は 1 つ)

1 か月間に気分が沈んだかの有無について、「いいえ」が 50.5%、「はい」が 46.1%となっている。
前回の調査では、「いいえ」が 59.0%、「はい」が 36.6%となっている。

【1 か月間に気分が沈んだかの有無】



上段: 実数、下段: %

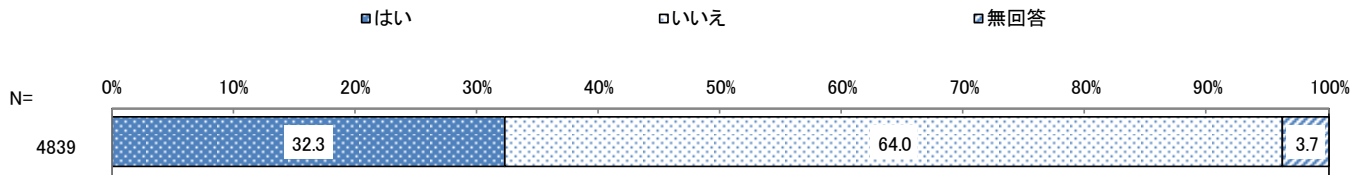
全 体	1 か月間に気分が沈んだかの有無		
	はい	いいえ	無回答
4839	2232	2444	163
100.0	46.1	50.5	3.4

問 7（４） この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（○は 1 つ）

1 か月間に心から楽しめない感覚の有無について、「いいえ」が 64.0%、「はい」が 32.3%となっている。

前回の調査では、「いいえ」が 74.2%、「はい」が 21.7%となっている。

【1 か月間に心から楽しめない感覚の有無】



上段: 実数、下段: %

全 体	1 か月間に心から楽しめない感覚の有無		
	はい	いいえ	無回答
4839	1564	3098	177
100.0	32.3	64.0	3.7

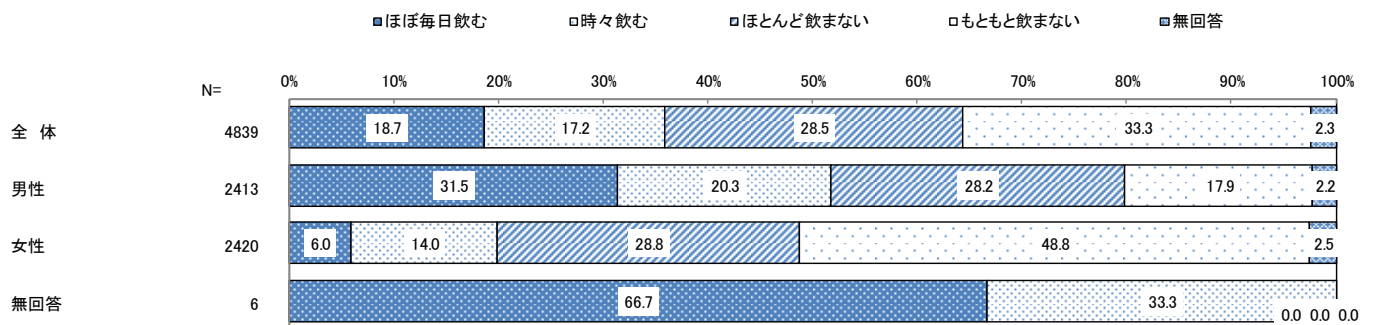
問 7 (5) お酒は飲みますか (○は1つ)

お酒を飲む頻度について、「もともと飲まない」が33.3%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が28.5%、「ほぼ毎日飲む」が18.7%となっている。

前回の調査では、「もともと飲まない」が33.2%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が25.3%、「ほぼ毎日飲む」が21.2%となっている。

また、男女別でみると『男性』は「ほぼ毎日飲む」が、『女性』は「もともと飲まない」が最も高くなっている。

【お酒を飲む頻度＜男女別＞】



上段:実数、下段:%

		全 体	お酒を飲む頻度				
			ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全 体		4839	907	830	1378	1611	113
		100.0	18.7	17.2	28.5	33.3	2.3
男 女 別	男性	2413	759	490	680	431	53
		100.0	31.5	20.3	28.2	17.9	2.2
	女性	2420	144	338	698	1180	60
		100.0	6.0	14.0	28.8	48.8	2.5
	不明	6	4	2	—	—	—
		100.0	66.7	33.3	—	—	—

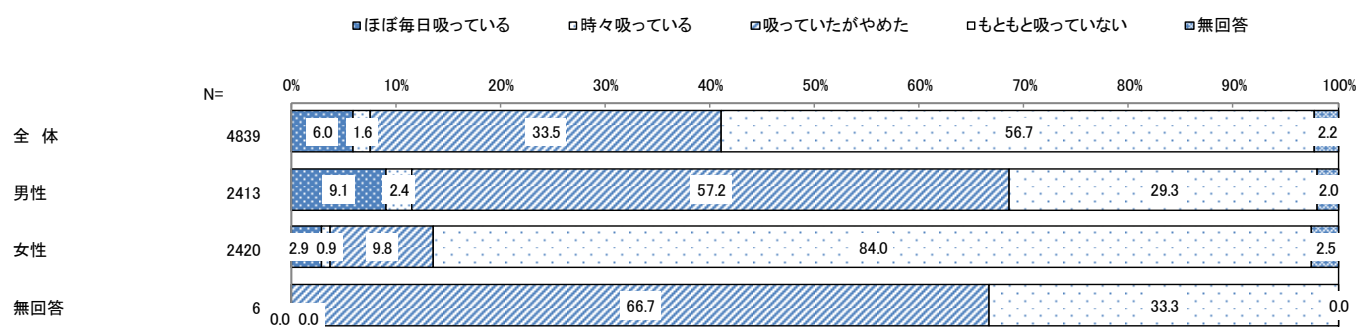
問 7 (6) タバコは吸っていますか (○は1つ)

タバコを吸う頻度について、「もともと吸っていない」が56.7%と最も高く、「吸っていたがやめた」が33.5%、「ほぼ毎日吸っている」が6.0%となっている。

前回の調査では、「もともと吸っていない」が58.5%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が28.2%となっている。

また、男女別でみると『男性』は「吸っていたがやめた」が5割以上、『女性』は「もともと吸っていない」が8割以上を占めており、どちらも最も高くなっている。

【タバコを吸う頻度＜男女別＞】



上段:実数、下段:%

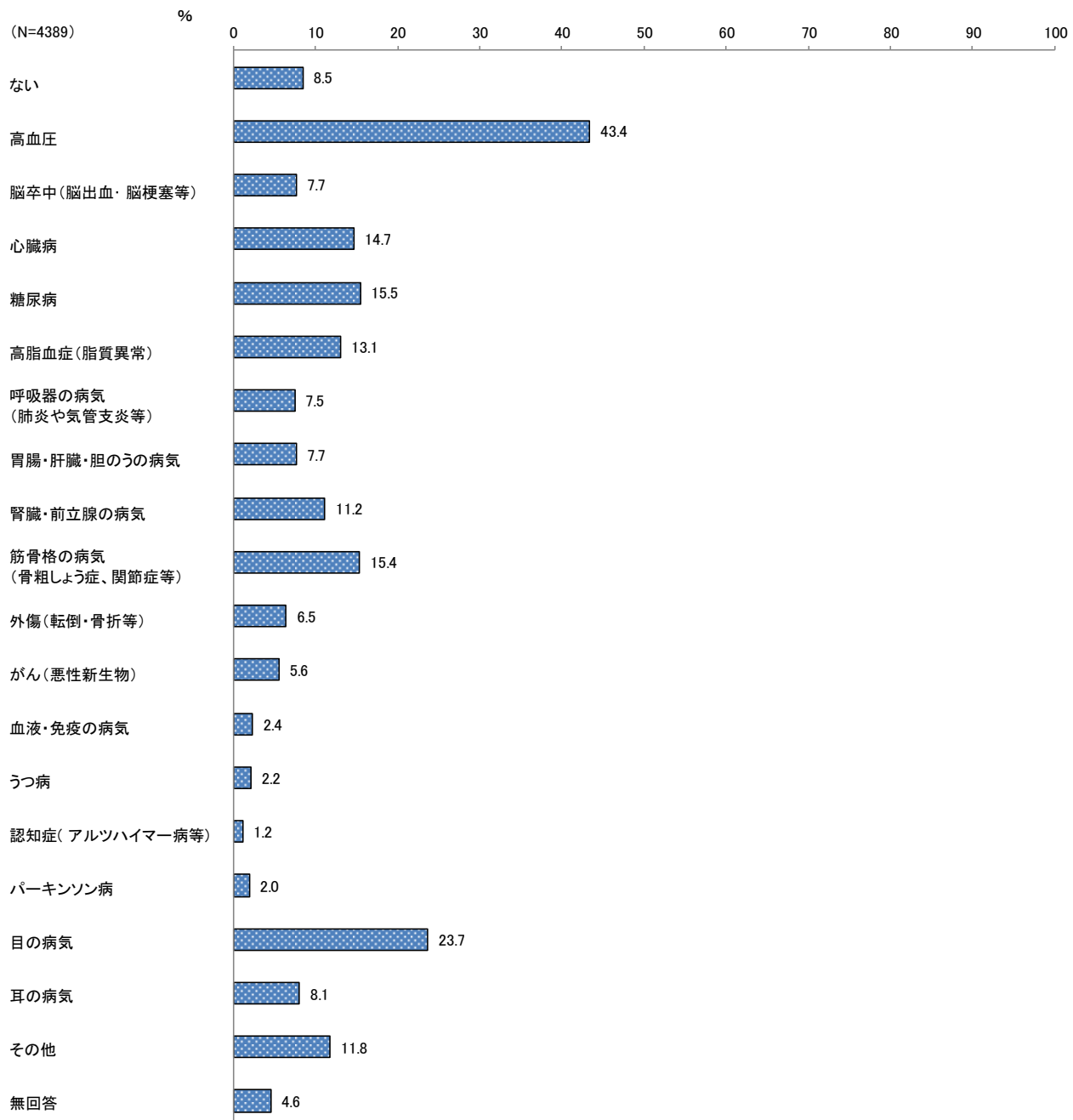
		全 体	タバコを吸う頻度				
			ほぼ毎日 吸っている	時々吸って いる	吸っていたが やめた	もともと吸っ ていない	無回答
全 体		4839	288	78	1622	2743	108
		100.0	6.0	1.6	33.5	56.7	2.2
男 女 別	男性	2413	219	57	1381	708	48
		100.0	9.1	2.4	57.2	29.3	2.0
	女性	2420	69	21	237	2033	60
		100.0	2.9	0.9	9.8	84.0	2.5
	不明	6	—	—	4	2	—
		100.0	—	—	66.7	33.3	—

問 7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が43.4%と最も高く、次いで「目の病気」が23.7%、「糖尿病」が15.5%となっている。

前回の調査では、「高血圧」が38.2%と最も高く、次いで「目の病気」が19.0%となっている。

【現在治療中、または後遺症のある病気】



上段：実数、下段：％

全 体	現在治療中、または後遺症のある病気									
	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
4839	412	2100	371	709	752	633	361	374	541	744
100.0	8.5	43.4	7.7	14.7	15.5	13.1	7.5	7.7	11.2	15.4

全 体	現在治療中、または後遺症のある病気									
	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
4839	316	273	116	105	58	98	1148	392	570	224
100.0	6.5	5.6	2.4	2.2	1.2	2.0	23.7	8.1	11.8	4.6

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

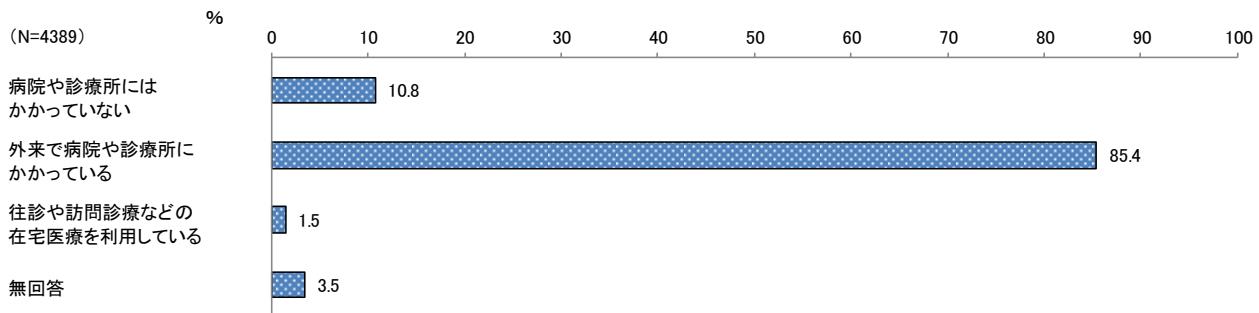
- ・ 歯周病
- ・ 不眠症
- ・ 脊髄腫瘍

問 7 (8) 現在、病院や診療所にかかっていますか (○はいくつでも)

現在、病院や診療所にかかっているかについて、「外来で病院や診療所にかかっている」の合計が 85.4% と最も高く、次いで「病院や診療所にはかかっていない」が 10.8%、「往診や訪問診療などの在宅医療を利用している」が 1.5%となっている。

前回の調査では、「外来で病院や診療所にかかっている」が 76.8%と最も高く、次いで「病院や診療所にはかかっていない」が 18.1%となっている。

【現在、病院や診療所にかかっているか】



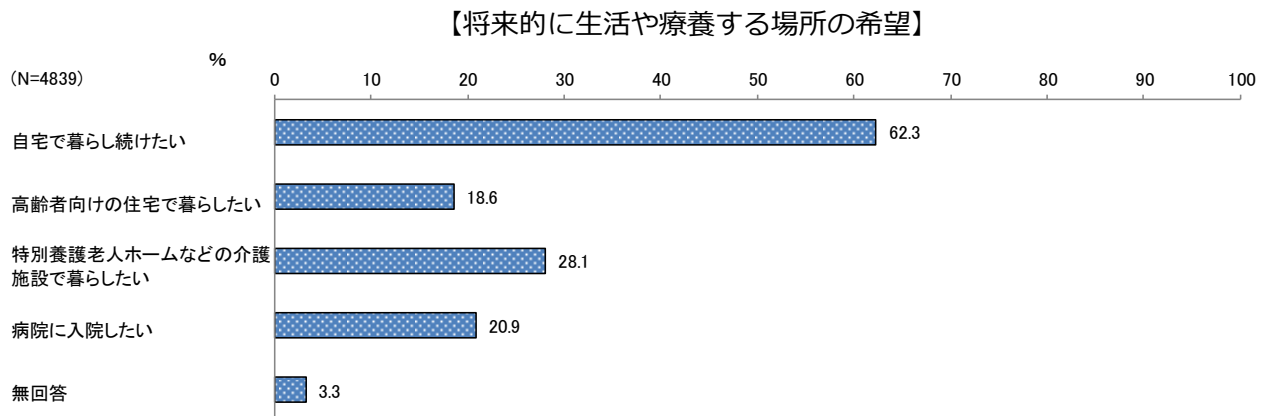
上段: 実数、下段: %

全 体	現在、病院や診療所にかかっているか			
	病院や診療所にはかかっていない	外来で病院や診療所にかかっている	往診や訪問診療などの在宅医療を利用している	無回答
4839	525	4134	72	167
100.0	10.8	85.4	1.5	3.5

問 7 (9) 将来、病気や日常生活動作等の低下によって医療や介護が必要になった時、どのような場所で生活や療養をしたいと思いますか (○はいくつでも)

将来的に生活や療養する場所の希望について、「自宅で暮らし続けたい」が 62.3%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしたい」が 28.1%、「病院に入院したい」が 20.9%となっている。

前回の調査でも同様に、「自宅で暮らし続けたい」が 63.8%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしたい」が 26.4%となっている。



上段:実数、下段:%

全 体	将来的に生活や療養する場所の希望				
	自宅で暮らし続けたい	高齢者向けの住宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしたい	病院に入院したい	無回答
4839	3017	900	1361	1010	159
100.0	62.3	18.6	28.1	20.9	3.3

また、男女・家族構成別でみると「自宅で暮らし続けたい」は男女ともに『1人暮らし』の場合、他の区分より低くなっている。

【将来的に生活や療養する場所の希望＜男女・家族構成別＞】

上段：件数、下段：％

		全 体	将来的に生活や療養する場所の希望				
			自宅で暮らし続けたい	高齢者向けの住宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしたい	病院に入院したい	無回答
全 体		4839	3017	900	1361	1010	159
		100.0	62.3	18.6	28.1	20.9	3.3
男 女 ・ 家 族 構 成 別	男性・1人暮らし	480	221	113	157	111	21
		100.0	46.0	23.5	32.7	23.1	4.4
	女性・1人暮らし	705	356	166	225	174	35
		100.0	50.5	23.5	31.9	24.7	5.0
	男性・夫婦2人暮らし配偶者65歳以上	1156	810	178	313	223	24
		100.0	70.1	15.4	27.1	19.3	2.1
	女性・夫婦2人暮らし配偶者65歳以上	862	564	198	244	170	17
		100.0	65.4	23.0	28.3	19.7	2.0
	男性・夫婦2人暮らし配偶者64歳以下	121	79	19	32	14	3
		100.0	65.3	15.7	26.4	11.6	2.5
	女性・夫婦2人暮らし配偶者64歳以下	40	29	9	11	4	－
		100.0	72.5	22.5	27.5	10.0	－
	男性・息子・娘との2世帯	304	204	44	83	65	8
		100.0	67.1	14.5	27.3	21.4	2.6
	女性・息子・娘との2世帯	355	219	55	91	83	13
		100.0	61.7	15.5	25.6	23.4	3.7
	男性・その他	296	208	40	83	59	8
		100.0	70.3	13.5	28.0	19.9	2.7
	女性・その他	349	221	50	87	72	17
		100.0	63.3	14.3	24.9	20.6	4.9
	無回答	171	106	28	35	35	13
		100.0	61.6	16.4	20.5	20.5	7.6

問 8 認知症にかかる相談窓口について

【設問の意図】

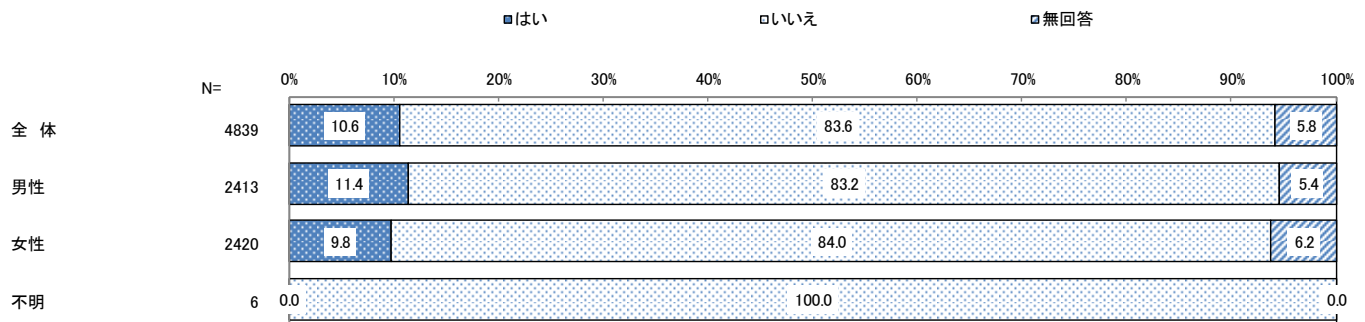
認知症施策推進大綱において、認知症に関する相談体制を地域ごとに整備していくことが求められている相談窓口及び関連制度の認知度等について問い、事業の対象者や実施内容の検討、ニーズ把握やサービス整備の検討の際に活用するものである。

問 8（１） 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（○は１つ）

自身や家族における認知症の症状の有無について、「いいえ」が 83.6%、「はい」が 10.6%となっている。

また、男女別でみると「はい」が『男性』では 11.4%と『女性』の 9.8%に対して 1 ポイント以上高くなっている。

【自身や家族における認知症の症状の有無＜男女別＞】



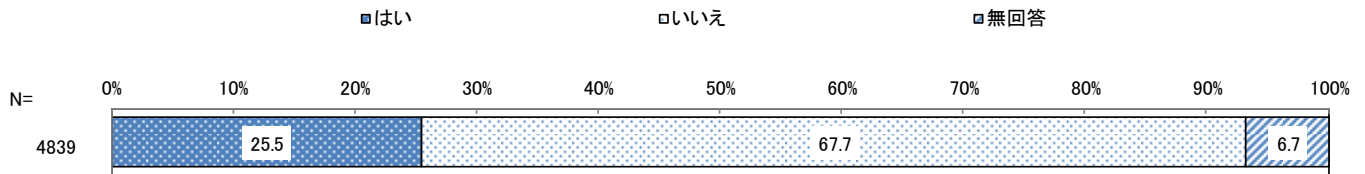
上段：実数、下段：%

		全 体	自身や家族における 認知症の症状の有無		
			はい	いいえ	無回答
全 体		4839	512	4045	282
		100.0	10.6	83.6	5.8
男 女 別	男性	2413	275	2007	131
		100.0	11.4	83.2	5.4
	女性	2420	237	2032	151
		100.0	9.8	84.0	6.2
不明		6	—	6	—
		100.0	—	100.0	—

問 8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

認知症に関する相談窓口の認知について、「いいえ」が67.7%、「はい」が25.5%となっている。

【認知症に関する相談窓口の認知】



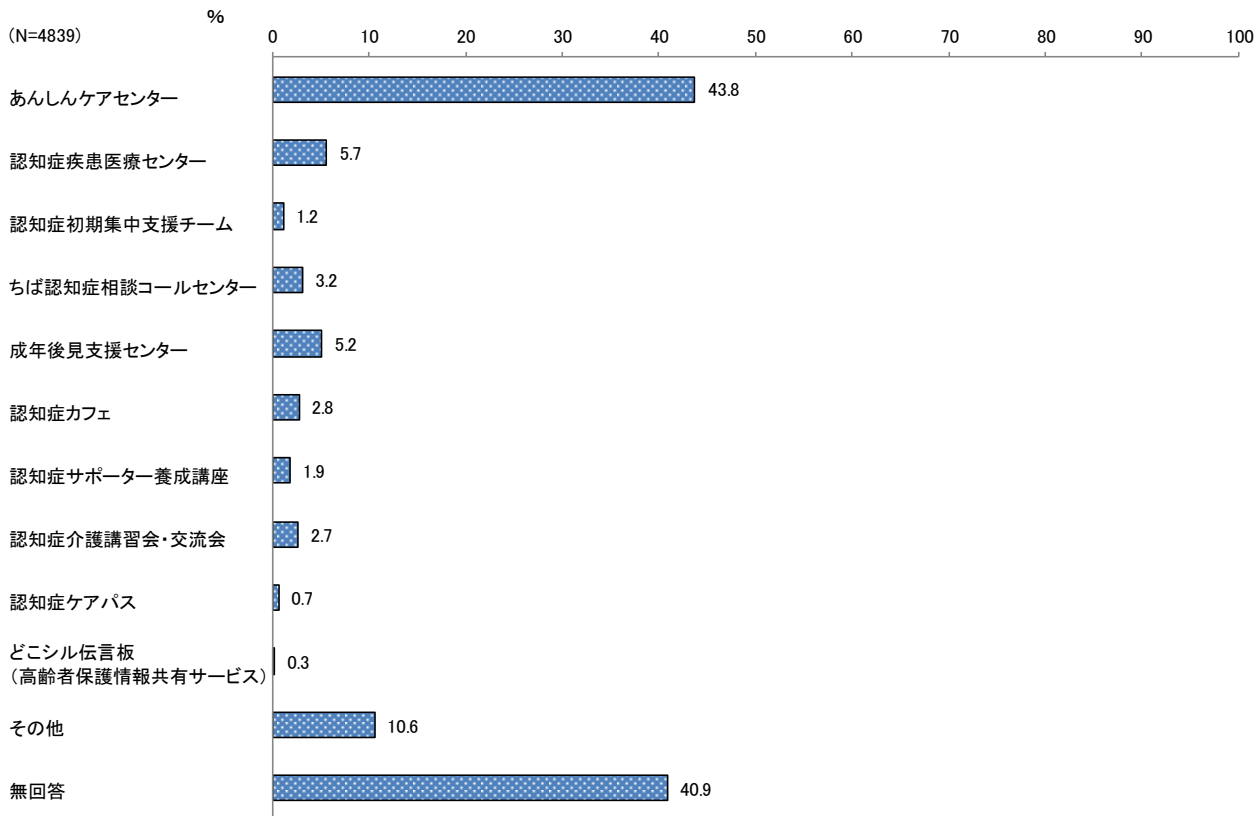
上段: 実数、下段: %

全 体	認知症に関する相談窓口の認知		
	はい	いいえ	無回答
4839	1236	3278	325
100.0	25.5	67.7	6.7

問 8 (3) 認知症に関するサービスを知っていますか (〇はいくつでも)

認知症に関するサービスの認知について、「あんしんケアセンター」が 43.8%と最も高く、次いで「認知症疾患医療センター」が 5.7%、「成年後見支援センター」が 5.2%となっている。

【認知症に関するサービスの認知】



上段:実数、下段:%

全 体	認知症に関するサービスの認知											その他	無回答
	あんしんケアセンター	認知症疾患医療センター	認知症初期集中支援チーム	ちば認知症相談コールセンター	成年後見支援センター	認知症カフェ	認知症サポーター養成講座	認知症介護講習会・交流会	認知症ケアパス	どこシル伝言板（高齢者保護情報共有サービス）			
4839	2121	275	58	156	250	137	91	129	36	16	513	1978	
100.0	43.8	5.7	1.2	3.2	5.2	2.8	1.9	2.7	0.7	0.3	10.6	40.9	

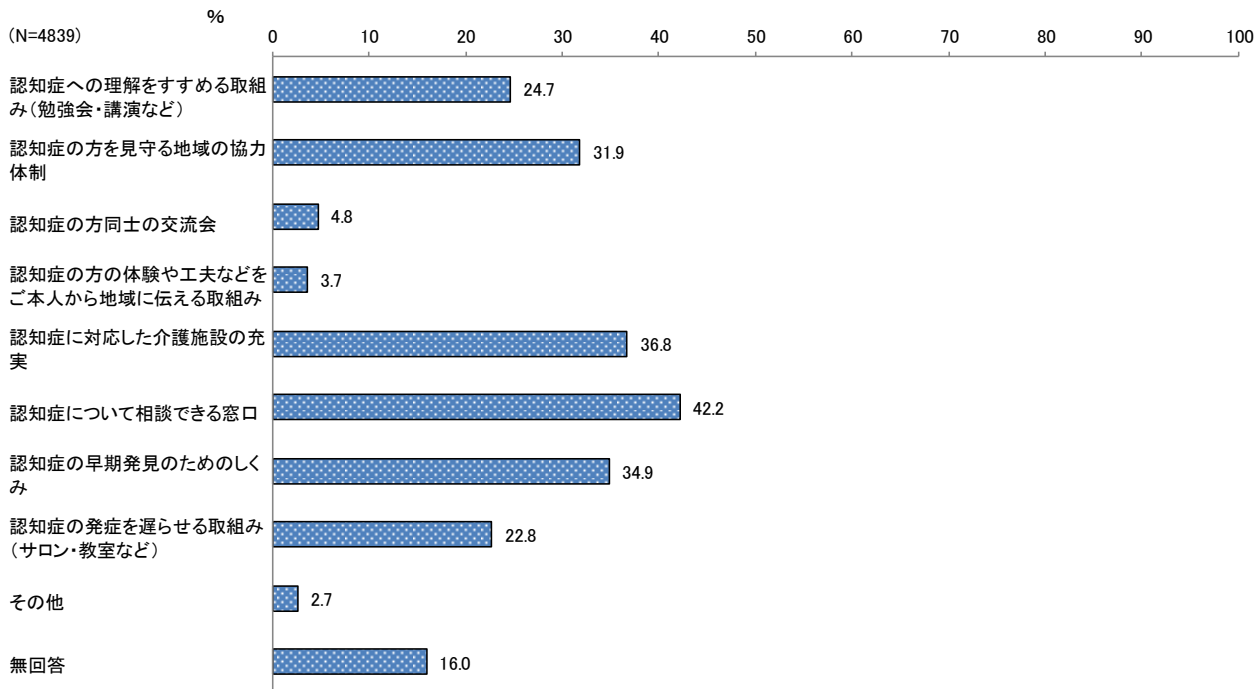
注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・知らない
- ・看護師に相談している
- ・ケアマネジャーに相談している

問 8 (4) 認知症の人が住み慣れた地域で生活するために必要な取組みは、どれだと考えますか
(○は3つまで)

認知症の人が住み慣れた地域で生活するために必要な取組みについて、「認知症について相談できる窓口」が 42.2%と最も高く、次いで「認知症に対応した介護施設の充実」が 36.8%、「認知症の早期発見のためのしくみ」が 34.9%となっている。

【認知症の人が住み慣れた地域で生活するために必要な取組み】



上段: 実数、下段: %

全 体	認知症の人が住み慣れた地域で生活するために必要な取組み									
	認知症への理解をすすめる取組み(勉強会・講演など)	認知症の方を見守る地域の協力体制	認知症の方同士の交流会	認知症の方の体験や工夫などをご本人から地域に伝える取組み	認知症に対応した介護施設の充実	認知症について相談できる窓口	認知症の早期発見のためのしくみ	認知症の発症を遅らせる取組み(サロン・教室など)	その他	無回答
4839	1195	1544	234	177	1782	2041	1688	1101	129	776
100.0	24.7	31.9	4.8	3.7	36.8	42.2	34.9	22.8	2.7	16.0

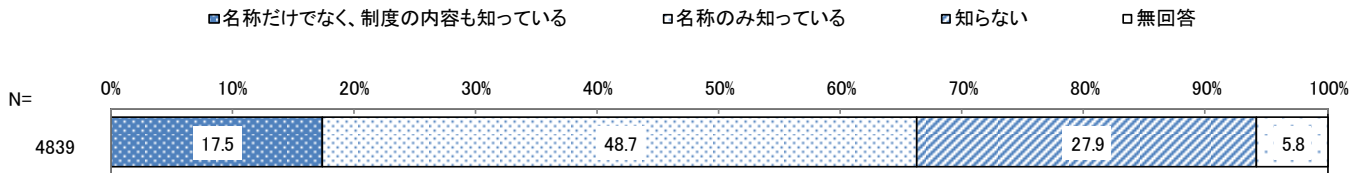
注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・ 認知症の方とのより深い学びたい
- ・ 認知症カフェはとても良いと思います
- ・ 治療法の開発プロジェクト推進

問 8 (5) あなたは「成年後見制度」を知っていますか (○は 1 つ)

成年後見制度の認知について、「名称のみ知っている」が 48.7%で最も高く、次いで「知らない」が 27.9%、「名称だけでなく、制度の内容も知っている」が 17.5%となっている。

【「成年後見制度」の認知】



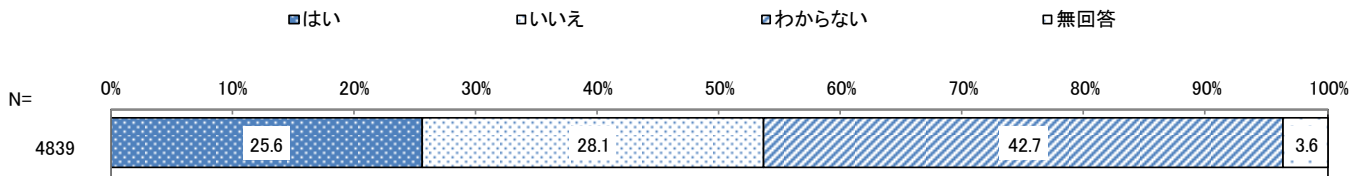
上段: 実数、下段: %

全 体	「成年後見制度」の認知			
	名称だけでなく、制度の内容も知っている	名称のみ知っている	知らない	無回答
4839	848	2358	1350	283
100.0	17.5	48.7	27.9	5.8

問 8 (6) あなたは、あなた自身の判断能力が低下し、自分で身の回りの契約行為や財産管理などができなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか (○は1つ)

成年後見制度を利用したいと思うかについて、「わからない」が 42.7%と最も高く、「いいえ」が 28.1%、「はい」が 25.6%となっている。

【成年後見制度の利用意向】



上段: 実数、下段: %

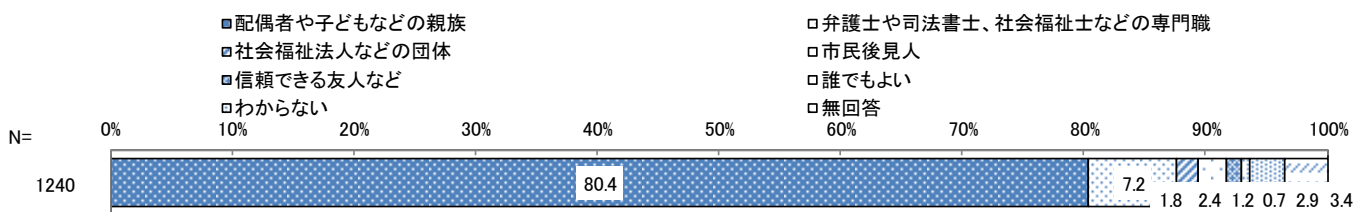
全 体	成年後見制度の利用意向			
	はい	いいえ	わからない	無回答
4839	1240	1358	2067	174
100.0	25.6	28.1	42.7	3.6

【問 8 (6) で「1. はい」と回答された方のみ】

問 8 (6) ①将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、だれに後見人となって支援してほしいですか (○は1つ)

後見人となって支援してほしい相手について、「配偶者や子どもなどの親族」が 80.4%と最も高く、「弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職」が 7.2%、「わからない」が 2.9%となっている。

【後見人となって支援してほしい相手】



上段: 実数、下段: %

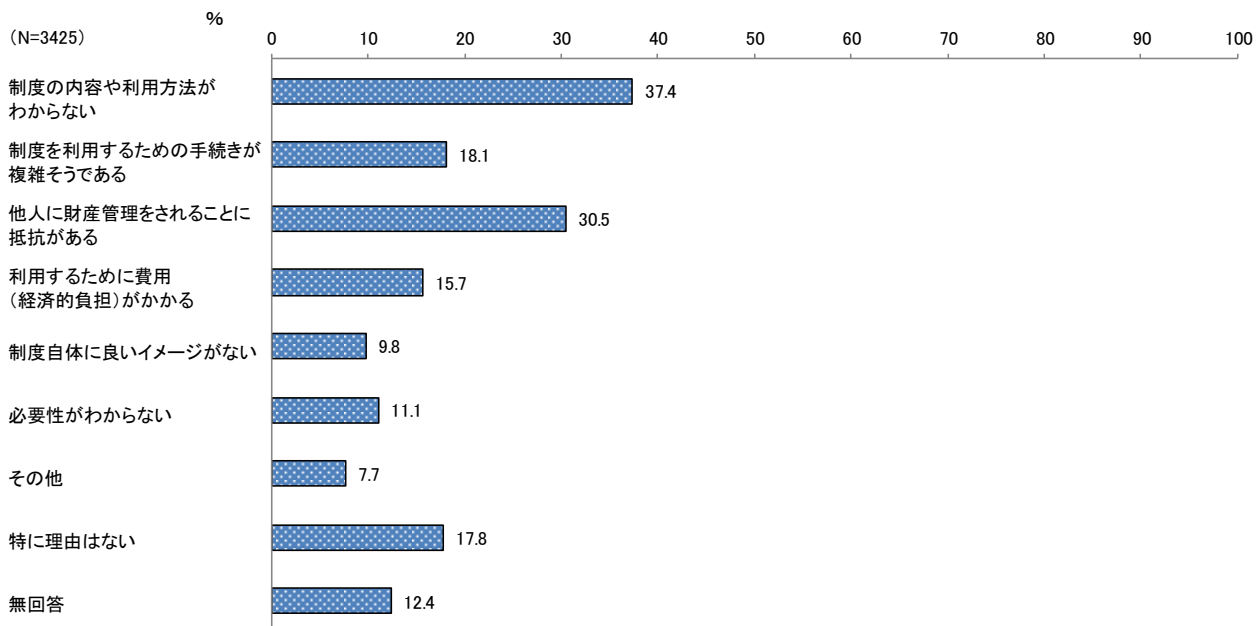
全 体	後見人となって支援してほしい相手							
	配偶者や子どもなどの親族	弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職	社会福祉士などの専門職	市民後見人	信頼できる友人など	誰でもよい	わからない	無回答
1240	997	89	22	30	15	9	36	42
100.0	80.4	7.2	1.8	2.4	1.2	0.7	2.9	3.4

【問 8（6）で「2. いいえ」または「3. わからない」と回答された方のみ】

問 8（6）②あなたが、「利用したいと思わない」または「わからない」と答えた理由は何ですか
（○はいくつでも）

成年後見制度を「利用したいと思わない」または「わからない」と答えた理由について、「制度の内容や利用方法がわからない」が 37.4%と最も高く、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が 30.5%、「制度を利用するための手続きが複雑そうである」が 18.1%となっている。

【「利用したいと思わない」または「わからない」と答えた理由】



上段：実数、下段：%

全 体	「利用したいと思わない」または「わからない」と答えた理由								
	制度の内容や利用方法がわからない	制度を利用するための手続きが複雑そうである	他人に財産管理をされることに抵抗がある	利用するために費用（経済的負担）がかかる	制度自体に良いイメージがない	必要性がわからない	その他	特に理由はない	無回答
3425	1280	620	1044	537	334	381	263	608	425
100.0	37.4	18.1	30.5	15.7	9.8	11.1	7.7	17.8	12.4

注）「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・子どもに頼む
- ・財産がない
- ・家族信託制度の利用で十分と思っている

問9 施策検討のためのニーズ把握について

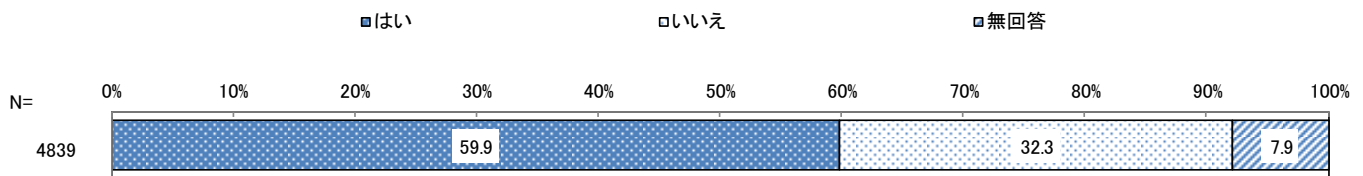
【設問の意図】

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、また要介護高齢者の増加が見込まれている反面、生産年齢人口は減少しており、今後、ますます介護人材の確保が困難になることや8050問題等様々な課題がある中、介護保険サービスが必要になった場合の考えを問い、事業の対象者や実施内容の検討、ニーズ把握やサービス整備の検討の際に活用するものである。

問9（1） あんしんケアセンター（地域包括支援センター）を知っていますか（○は1つ）

あんしんケアセンターの認知について、「はい」が59.9%、「いいえ」が32.3%となっている。

【あんしんケアセンターの認知】



上段:実数、下段: %

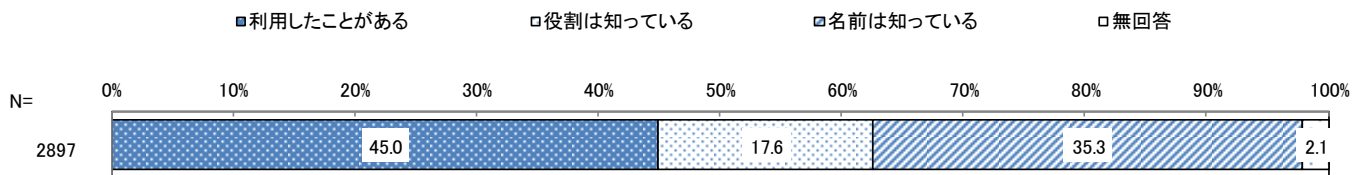
全 体	あんしんケアセンターの認知		
	はい	いいえ	無回答
4839	2897	1562	380
100.0	59.9	32.3	7.9

【問 9（1）で「1. はい」と回答された方のみ】

問 9（1）①あんしんケアセンターをどの程度知っていますか（○は1つ）

あんしんケアセンターについての理解度について、「利用したことがある」が 45.0%と最も高く、次いで「名前は知っている」が 35.3%、「役割は知っている」が 17.6%となっている。

【あんしんケアセンターについての理解度】



上段：実数、下段：%

全 体	あんしんケアセンターについての理解度			
	利用したことがある	役割は知っている	名前は知っている	無回答
2897	1304	510	1023	60
100.0	45.0	17.6	35.3	2.1

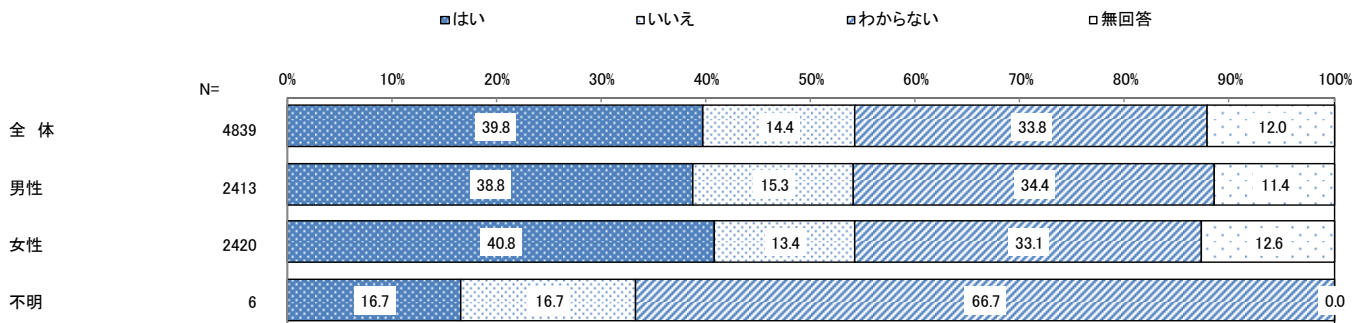
問 9 (2) 掃除、買い物など専門職（介護福祉士等）でなくてもできるサービスについて、専門職ではないが、市の研修を修了し、介護事業者から派遣される方でも利用しますか（○は 1 つ）

掃除、買い物など専門職（介護福祉士等）でなくてもできるサービスについて、専門職ではないが、市の研修を修了した人によるサービスの利用意向について、「はい」が 39.8%と最も高く、次いで「わからない」が 33.8%、「いいえ」が 14.4%となっている。

前回の調査では、「はい」が 52.8%と最も高く、次いで「わからない」が 34.2%、「いいえ」が 8.8%となっている。

また、男女別でみると「はい」が『女性』では 40.8%と『男性』の 38.8%に対して 2 ポイント高くなっているが、大きな差はみられなかった。

【専門職ではない方の利用意向＜男女別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	専門職ではない方の利用意向			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全 体		4839	1926	696	1636	581
		100.0	39.8	14.4	33.8	12.0
男 女 別	男性	2413	937	370	830	276
		100.0	38.8	15.3	34.4	11.4
	女性	2420	988	325	802	305
		100.0	40.8	13.4	33.1	12.6
	不明	6	1	1	4	—
		100.0	16.7	16.7	66.7	—

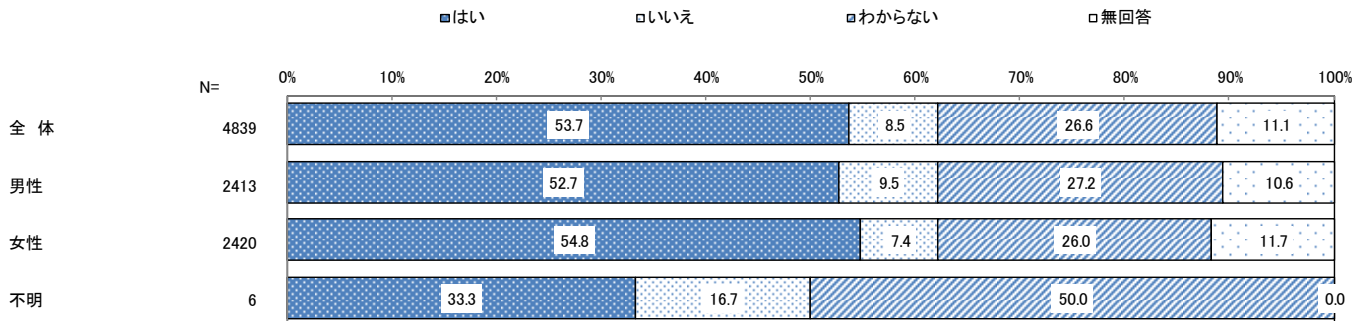
問 9 (3) 介護事業者でなくてもできるゴミ出し等の軽作業について、ボランティア、NPO、地域住民などが地域の支え合い活動として提供するサービスを利用してもよいと思いますか
(○は1つ)

介護事業者でなくてもできるゴミ出し等の軽作業について、ボランティア、NPO、地域住民などが地域の支え合い活動として提供するサービスの利用意向について、「はい」が53.7%と最も高く、次いで「わからない」が26.6%、「いいえ」が8.5%となっている。

前回の調査では、「はい」が60.6%と最も高く、次いで「わからない」が27.1%となっている。

また、男女別でみると「いいえ」が『男性』では9.5%と『女性』の7.4%に対して2ポイント以上高くなっているが、大きな差はみられなかった。

【専門職でない方の提供するサービスの利用意向<男女別>】



上段:実数、下段: %

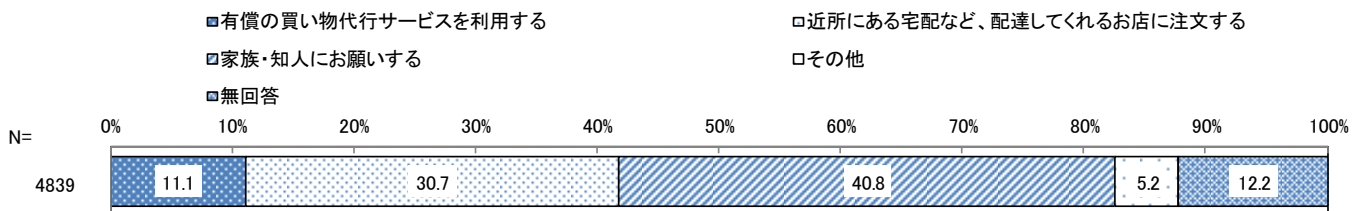
		全 体	専門職でない方の提供するサービスの利用意向			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全 体		4839	2600	411	1289	539
		100.0	53.7	8.5	26.6	11.1
男 女 別	男性	2413	1271	230	657	255
		100.0	52.7	9.5	27.2	10.6
	女性	2420	1327	180	629	284
		100.0	54.8	7.4	26.0	11.7
	不明	6	2	1	3	—
		100.0	33.3	16.7	50.0	—

問 9（４） 高齢により自分で買い物に行けなくなったときに、食品や日用雑貨などを購入する際、希望される方法はどれですか（○は１つ）

高齢により自分で買い物に行けなくなったときに、食品や日用雑貨などを購入する際、希望する方法について、「家族・知人にお願いする」が 40.8%と最も高く、次いで「近所にある宅配など、配達してくれるお店に注文する」が 30.7%、「有償のお買い物代行サービスを利用する」が 11.1%となっている。

前回の調査では、「近所にある宅配など、配達してくれるお店に注文する」が 49.3%と約半数を占め、次いで「家族・知人にお願いする」が 45.6%となっている。

【食品や日用雑貨などを購入する際、希望する方法】



上段：実数、下段：%

全 体	食品や日用雑貨などを購入する際、希望する方法				
	有償の買い物代行サービスを利用する	近所にある宅配など、配達してくれるお店に注文する	家族・知人にお願いする	その他	無回答
4839	535	1486	1976	250	592
100.0	11.1	30.7	40.8	5.2	12.2

注)「その他」の内容として、以下が挙げられた。

- ・オンラインショップを利用する
- ・生協の宅配サービスを利用する
- ・ケアマネジャーに相談する

問 9（５） 外国人介護士による介護サービスの提供に大きな抵抗や不安はありますか。

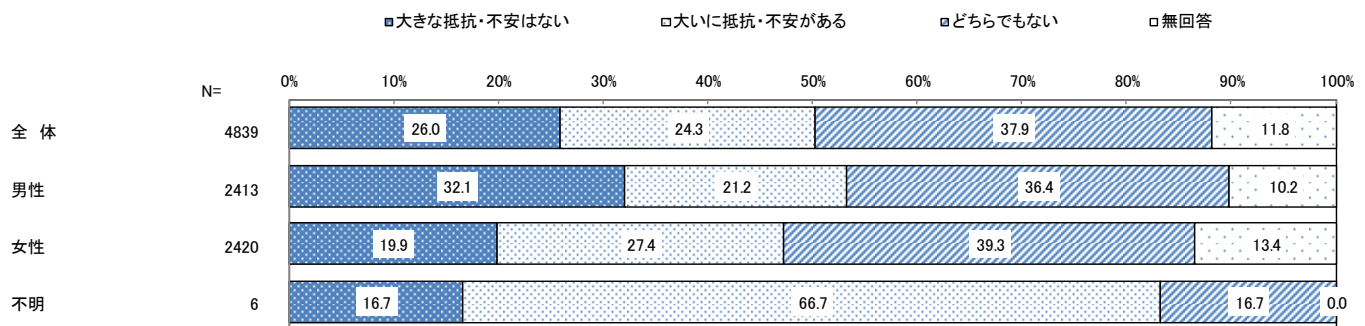
また、何が不安ですか（○は１つ）

外国人介護士のサービスへの抵抗や不安の有無について、「どちらでもない」が 37.9%と最も高く、次いで「大きな抵抗・不安はない」が 26.0%、「大いに抵抗・不安がある」が 24.3%となっている。

前回の調査では、「どちらでもない」が 41.0%と最も高く、次いで「大きな抵抗・不安はない」が 28.6%、「大いに抵抗・不安がある」が 24.3%となっている。

また、男女別でみると「大きな抵抗・不安はない」が『男性』では 32.1%と『女性』の 19.9%に対して 12 ポイント以上高くなっている。

【外国人介護士のサービスへの抵抗や不安の有無＜男女別＞】



上段：実数、下段：%

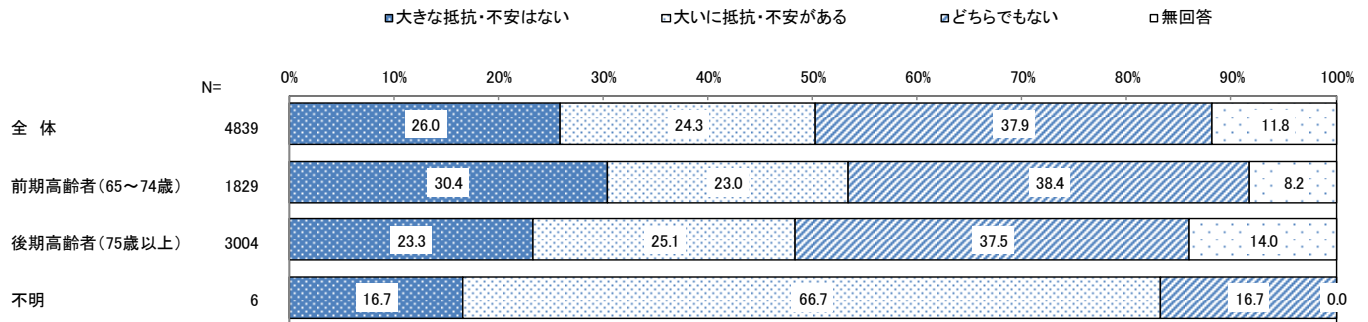
		全 体	外国人介護士のサービスへの抵抗や不安の有無			
			大きな抵抗・不安はない	大いに抵抗・不安がある	どちらでもない	無回答
全 体		4839	1258	1178	1832	571
		100.0	26.0	24.3	37.9	11.8
男 女 別	男性	2413	775	512	879	247
		100.0	32.1	21.2	36.4	10.2
	女性	2420	482	662	952	324
		100.0	19.9	27.4	39.3	13.4
	不明	6	1	4	1	—
		100.0	16.7	66.7	16.7	—

具体的に不安な点として、以下が挙げられた。

- ・言葉の問題でコミュニケーションが十分に取れないおそれがある
- ・文化の違う日本の高齢者を理解できるかが不安
- ・今まで日本人としか付き合いがなかったので、外国人というだけで不安

さらに、前期・後期高齢者別でみると「大きな抵抗・不安はない」が『前期高齢者』では30.4%と『後期高齢者』の23.3%に対して7ポイント以上高くなっている。

【外国人介護士のサービスへの抵抗や不安の有無＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	外国人介護士のサービスへの抵抗や不安の有無			
			大きな抵抗・不安はない	大いに抵抗・不安がある	どちらでもない	無回答
全 体		4839	1258	1178	1832	571
		100.0	26.0	24.3	37.9	11.8
前期・後期 高齢者別	前期高齢者(65～74歳)	1829	556	420	703	150
		100.0	30.4	23.0	38.4	8.2
	後期高齢者(75歳以上)	3004	701	754	1128	421
		100.0	23.3	25.1	37.5	14.0
	不明	6	1	4	1	—
		100.0	16.7	66.7	16.7	—

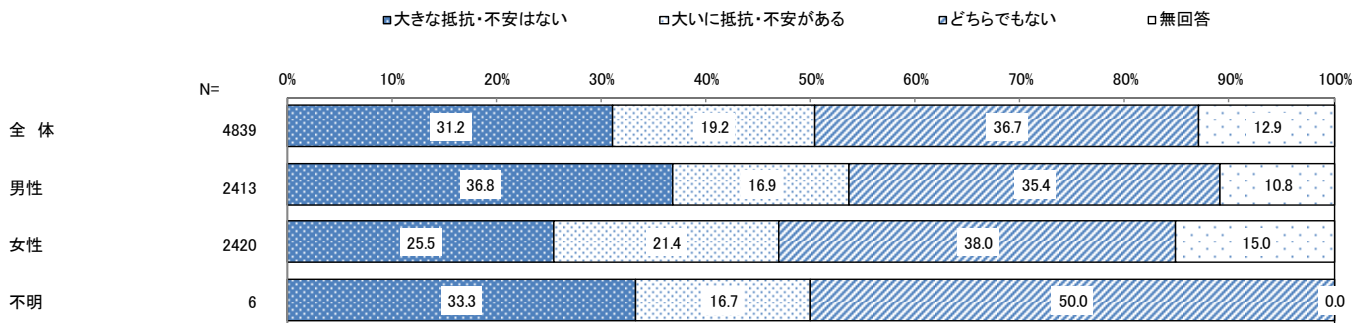
問 9 (6) 介護ロボットを使った介護サービスを受けることに大きな抵抗や不安はありますか
(○は1つ)

介護ロボットを使ったサービスへの抵抗や不安の有無について、「どちらでもない」が36.7%と最も高く、次いで「大きな抵抗・不安はない」が31.2%、「大いに抵抗・不安がある」が19.2%となっている。

前回の調査では、「大きな抵抗・不安はない」が42.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」が37.5%、「大いに抵抗・不安がある」が13.9%であった。

また、男女別でみると「大きな抵抗・不安はない」が『男性』では36.8%と『女性』の25.5%に対して11ポイント以上高くなっている。

【介護ロボットを使ったサービスへの抵抗や不安の有無＜男女別＞】



上段:実数、下段: %

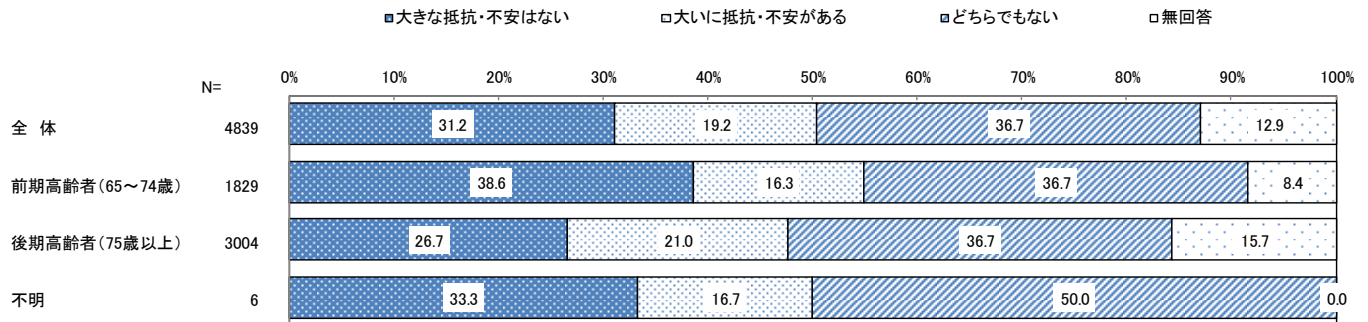
		全 体	介護ロボットを使ったサービスへの抵抗や不安の有無			
			大きな抵抗・不安はない	大いに抵抗・不安がある	どちらでもない	無回答
全 体		4839	1509	929	1777	624
		100.0	31.2	19.2	36.7	12.9
男 女 別	男性	2413	889	409	855	260
		100.0	36.8	16.9	35.4	10.8
	女性	2420	618	519	919	364
		100.0	25.5	21.4	38.0	15.0
	不明	6	2	1	3	—
		100.0	33.3	16.7	50.0	—

具体的に不安な点として、以下が挙げられた。

- ・誤作動や機器を操作する側の誤操作による事故が起きないかが怖い
- ・コミュニケーションや笑顔など、介護者の思いやる心がなくなるのではないかと不安
- ・実際に介護ロボットを活用した事例を知らないのが不安

さらに、前期・後期高齢者別でみると『前期高齢者』では「大きな抵抗・不安はない」が、『後期高齢者』では「どちらでもない」が最も高くなっている。

【介護ロボットを使ったサービスへの抵抗や不安の有無＜前期・後期高齢者別＞】



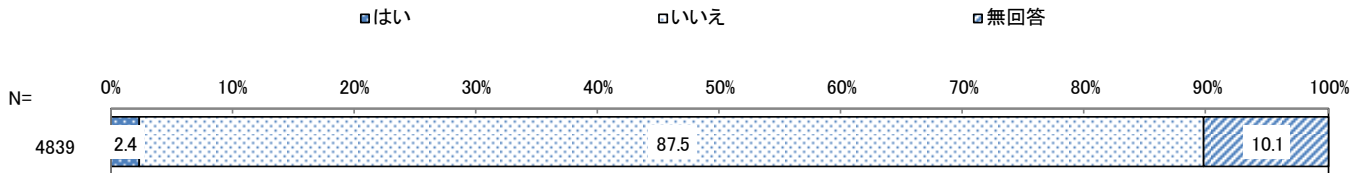
上段:実数、下段: %

		全 体	介護ロボットを使ったサービスへの抵抗や不安の有無			
			大きな抵抗・不安はない	大いに抵抗・不安がある	どちらでもない	無回答
全 体		4839	1509	929	1777	624
		100.0	31.2	19.2	36.7	12.9
前期・後期 高齢者別	前期高齢者(65～74歳)	1829	706	298	672	153
		100.0	38.6	16.3	36.7	8.4
	後期高齢者(75歳以上)	3004	801	630	1102	471
		100.0	26.7	21.0	36.7	15.7
不明		6	2	1	3	—
		100.0	33.3	16.7	50.0	—

問 9（7） ご家庭に、ひきこもり状態（家や自室から全く出ない、もしくは自らの趣味に係ること、および近隣のコンビニ等のみ外出する状態）にある子どもはいますか（○は1つ）

ひきこもり状態にある子どもの有無について、「いいえ」が 87.5%、「はい」が 2.4%となっている。

【ひきこもり状態にある子どもの有無】



上段: 実数、下段: %

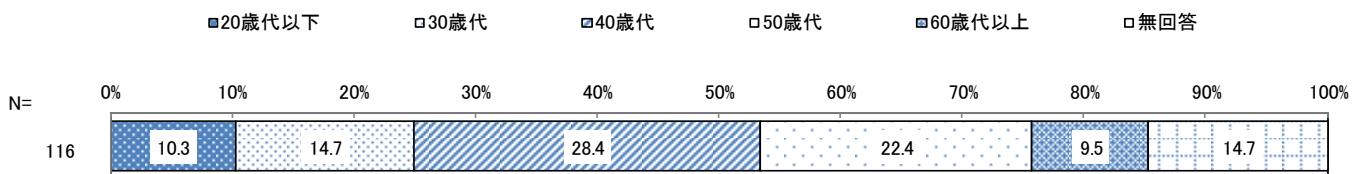
全 体	ひきこもり状態にある子どもの有無		
	はい	いいえ	無回答
4839	116	4236	487
100.0	2.4	87.5	10.1

【問 9（7）で「1. はい」と回答された方のみ】

問 9（7）①ひきこもり状態にある子どもの年齢を教えてください（○は1つ）

ひきこもり状態にある子どもの年齢について、「40 歳代」が 28.4%と最も高く、次いで「50 歳代」が 22.4%、「30 歳代」が 14.7%となっている。

【ひきこもり状態にある子どもの年齢】



上段: 実数、下段: %

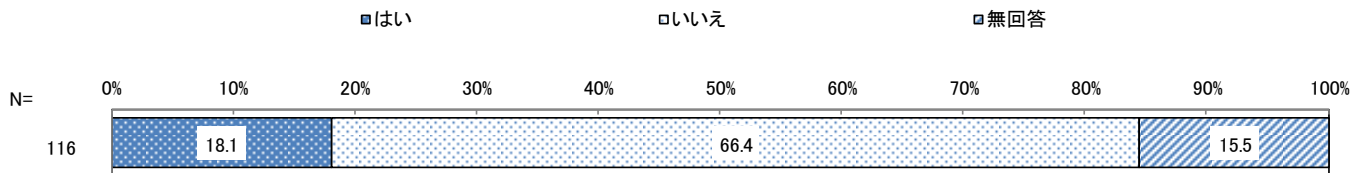
全 体	ひきこもり状態にある子どもの年齢					
	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	無回答
116	12	17	33	26	11	17
100.0	10.3	14.7	28.4	22.4	9.5	14.7

【問 9（7）で「1. はい」と回答された方のみ】

問 9（7）②ひきこもり地域支援センターなどの相談機関に相談していますか（○は1つ）

ひきこもり地域支援センターなどの相談機関に相談しているかについて、「いいえ」が 66.4%、「はい」が 18.1%となっている。

【相談機関への相談の有無】



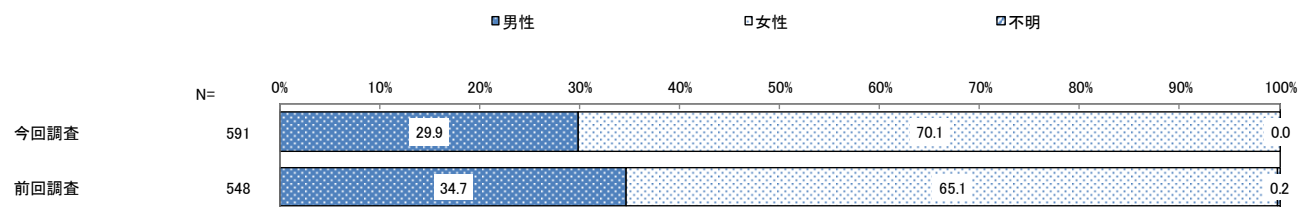
上段: 実数、下段: %

全 体	相談機関への相談の有無		
	はい	いいえ	無回答
116	21	77	18
100.0	18.1	66.4	15.5

2 在宅介護実態調査

(1) 回答者の概要

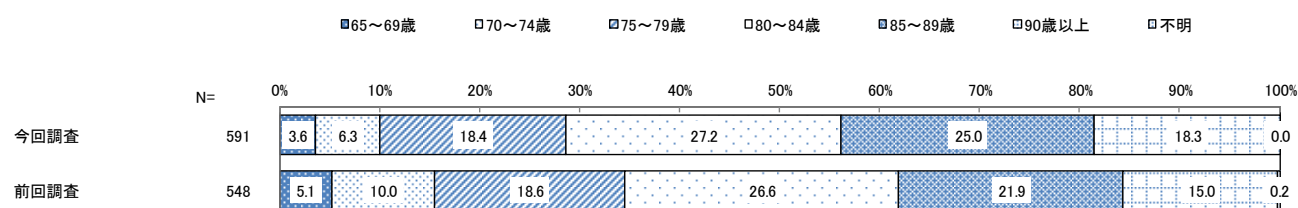
①男女別



男女別については、「男性」が29.9%、「女性」が70.1%となっている。

前回の調査では、「男性」が34.7%、「女性」が65.1%となっており、今回の調査は前回よりも女性の回答者の割合が増えている。

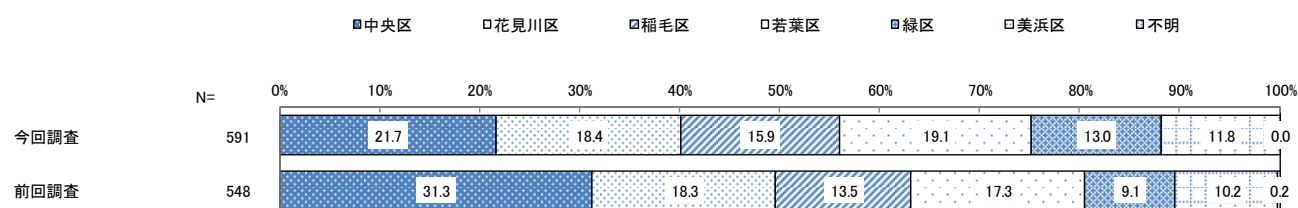
②年齢別



年齢別については、「80~84歳」が27.2%と最も高く、次いで「85~89歳」が25.0%、「75~79歳」が18.3%となっている。

前回の調査では、「80~84歳」が26.6%と最も高く、次いで「85~89歳」が21.9%、「75~79歳」が18.6%となっており、今回の調査は前回と同様に高齢の回答者が多い。

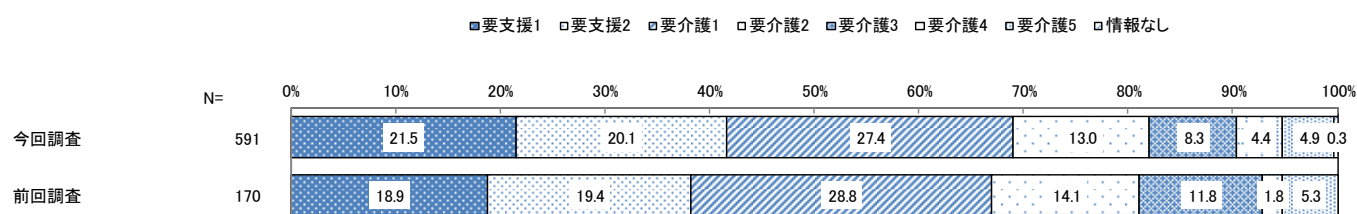
③行政区別



行政区別については、「中央区」が21.7%と最も高く、次いで「若葉区」が19.1%、「花見川区」が18.4%となっている。

前回の調査では、「中央区」が31.3%と最も高く、次いで「花見川区」が18.3%、「若葉区」が17.3%となっている。

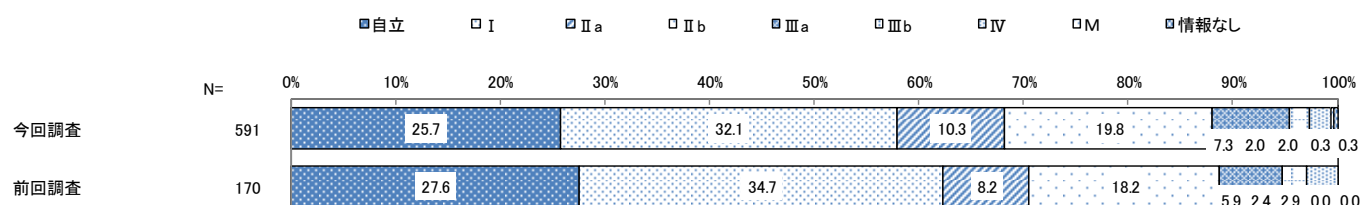
④要介護度別



要介護度別については、「要介護1」が27.4%、「要支援1」が21.5%、「要支援2」が20.1%となっている。

前回の調査では、「要介護1」が28.8%、「要支援2」が19.4%、「要支援1」が18.9%となっており、今回の調査は、前回よりも各属性から相応の回答が得られた。

⑤認知症高齢者自立度別



(2) 回答結果

調査票の聞き取り対象

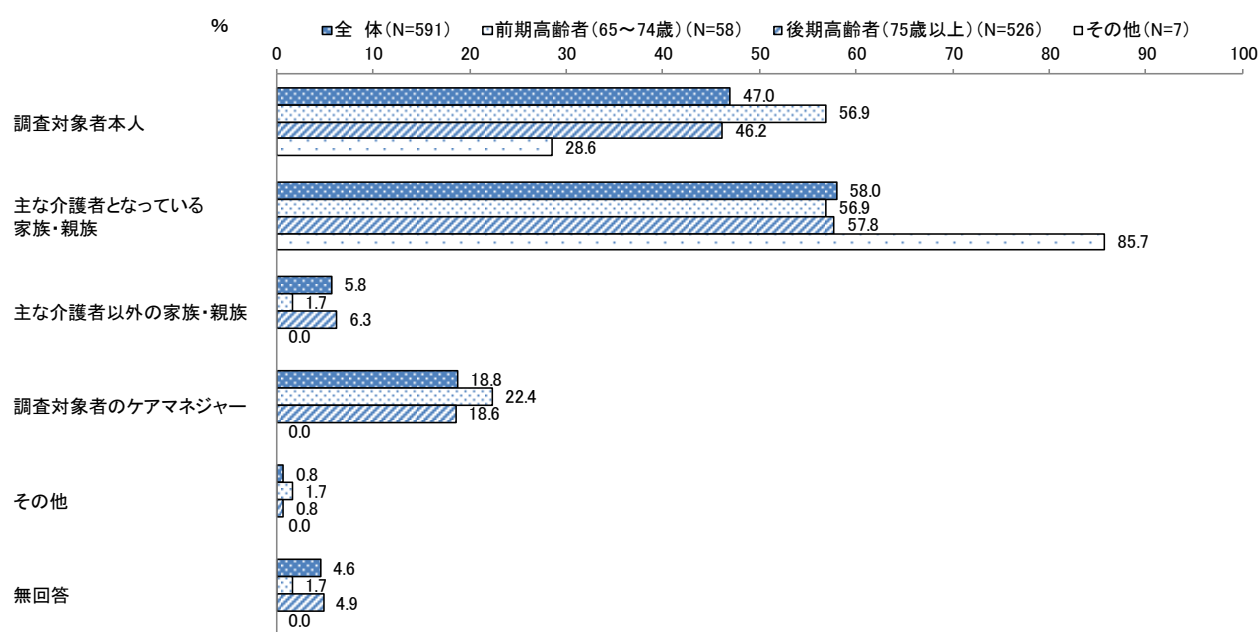
A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（複数回答可）

A票の聞き取りを行った相手について、「主な介護者となっている家族・親族」が58.0%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が47.0%、「調査対象者のケアマネジャー」が18.8%となっている。

前回の調査では、「調査対象者本人」が64.1%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が52.9%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「調査対象者本人」は『前期高齢者』が56.9%と『後期高齢者』の46.2%よりも10ポイント以上高くなっている。

【A票の聞き取りを行った相手＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	A 票の聞き取りを行った相手					
			調査対象者 本人	主な介護者 となっている 家族・親族	主な介護者 以外の家族・ 親族	調査対象者 のケアマネ ジャー	その他	無回答
全 体		591 100.0	278 47.0	343 58.0	34 5.8	111 18.8	5 0.8	27 4.6
高 前 齡 期・後 別 期	前期高齢者(65～74歳)	58 100.0	33 56.9	33 56.9	1 1.7	13 22.4	1 1.7	1 1.7
		526 100.0	243 46.2	304 57.8	33 6.3	98 18.6	4 0.8	26 4.9
	後期高齢者(75歳以上)	526 100.0	243 46.2	304 57.8	33 6.3	98 18.6	4 0.8	26 4.9
		その他	7 100.0	2 28.6	6 85.7	－ －	－ －	－ －

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

【設問の意図】

世帯類型、家族等の介護の有無とその介護内容、介護離職者の有無、副介護者の有無とその介護内容、介護保険サービスと介護保険以外のサービス・支援の利用状況及び利用していない理由、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス、施設等への入居・入所の希望、訪問診療の利用の有無等について問い、主として「要介護者の在宅生活の継続」に有効なサービスのあり方を検討する際に活用するものである。

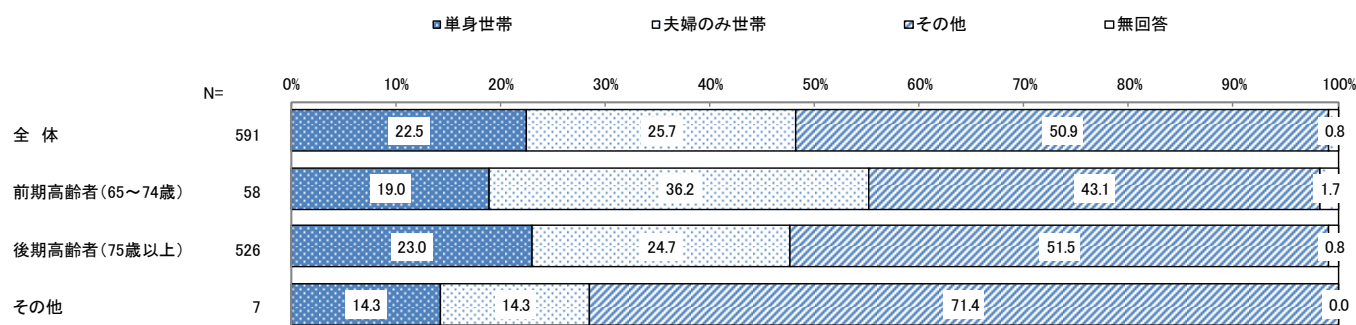
A問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

世帯類型について、「その他」が50.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が25.7%、「単身世帯」が22.5%となっている。

前回の調査では、「その他」が42.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が31.8%、「単身世帯」が24.7%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「夫婦のみ世帯」は、『前期高齢者』が36.2%と『後期高齢者』の24.7%より11ポイント以上高くなっている。

【世帯類型＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	世帯類型			
			単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全 体		591 100.0	133 22.5	152 25.7	301 50.9	5 0.8
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65~74歳)	58 100.0	11 19.0	21 36.2	25 43.1	1 1.7
	後期高齢者 (75歳以上)	526 100.0	121 23.0	130 24.7	271 51.5	4 0.8
	その他	7	1	1	5	—
		100.0	14.3	14.3	71.4	—

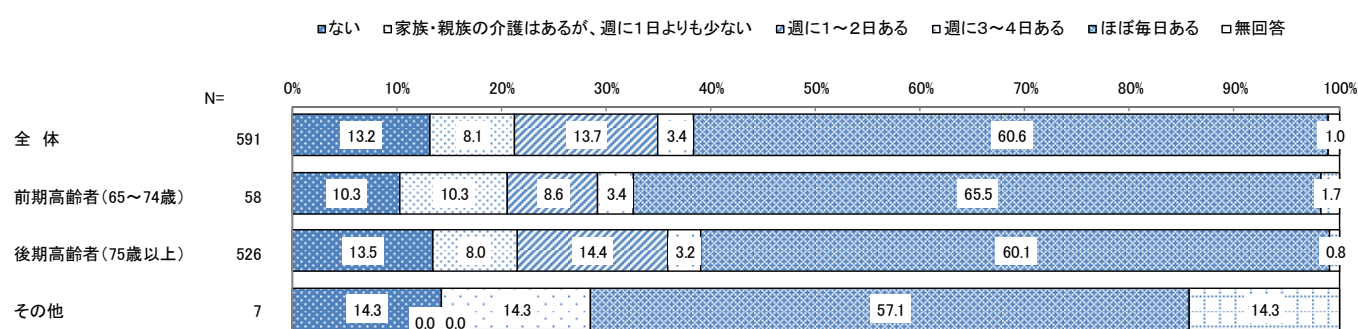
A問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む（1つを選択）

ご家族やご親族の方からの介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が60.6%で最も高く、次いで「週に1～2日ある」が13.7%、「ない」が13.2%となっている。

前回の調査でも同様に、「ほぼ毎日ある」が62.9%と最も高く、次いで「週に1～2日ある」が13.5%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「ほぼ毎日ある」は、『前期高齢者』が65.5%と『後期高齢者』の60.1%より5ポイント以上高くなっている。

【ご家族やご親族の方からの介護の頻度＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段:%

		全 体	ご家族やご親族の方からの介護の頻度					
			ない	家族・親族の 介護はある が、週に1日 よりも少ない	週に1～2日 ある	週に3～4日 ある	ほぼ毎日あ る	無回答
全 体		591 100.0	78 13.2	48 8.1	81 13.7	20 3.4	358 60.6	6 1.0
前期・後期 高齢者別	前期高齢者(65～74歳)	58 100.0	6 10.3	6 10.3	5 8.6	2 3.4	38 65.5	1 1.7
		526 100.0	71 13.5	42 8.0	76 14.4	17 3.2	316 60.1	4 0.8
	その他	7 100.0	1 14.3	－ －	－ －	1 14.3	4 57.1	1 14.3

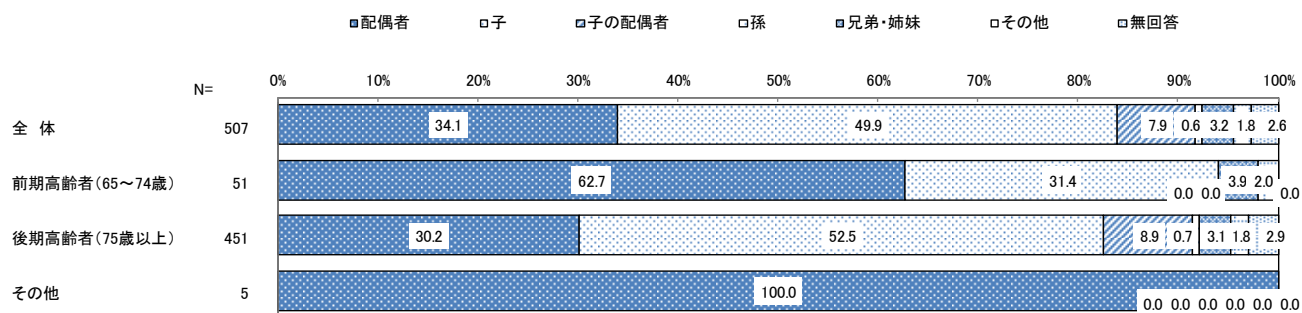
A問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

主な介護者の続柄について、「子」が49.9%と最も高く、次いで「配偶者」が34.1%、「子の配偶者」が7.9%となっている。

前回の調査では、「子」が45.3%と最も高く、次いで「配偶者」が38.5%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「配偶者」は、『前期高齢者』が62.7%と『後期高齢者』の30.2%と比べて2倍以上の割合となっている。

【主な介護者の続柄＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段:%

		全 体	主な介護者の続柄						
			配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全 体		507	173	253	40	3	16	9	13
		100.0	34.1	49.9	7.9	0.6	3.2	1.8	2.6
高 齢 者 別	前期高齢者 (65～74歳)	51	32	16	—	—	2	1	—
		100.0	62.7	31.4	—	—	3.9	2.0	—
	後期高齢者 (75歳以上)	451	136	237	40	3	14	8	13
		100.0	30.2	52.5	8.9	0.7	3.1	1.8	2.9
後 期	その他	5	5	—	—	—	—	—	—
		100.0	100.0	—	—	—	—	—	—

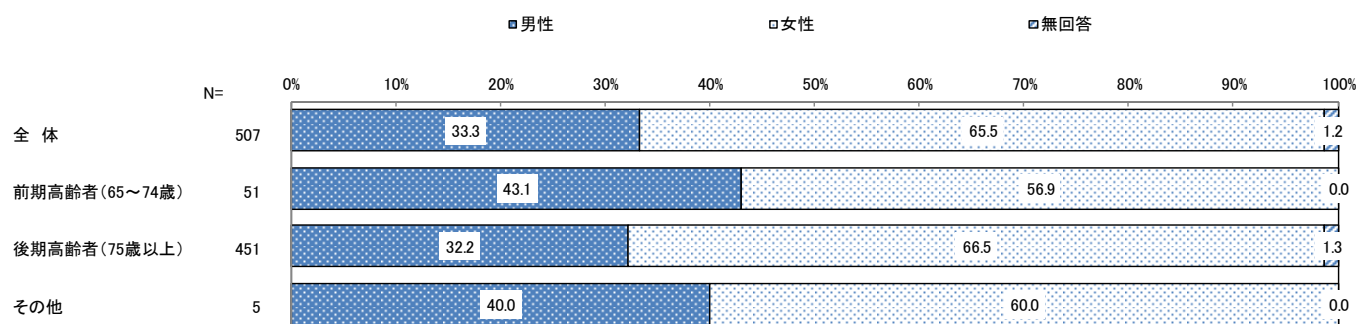
A 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の性別について、「女性」が65.5%、「男性」が33.3%となっている。

前回の調査では、「女性」が69.6%、「男性」が28.4%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「男性」は、『前期高齢者』が43.1%と『後期高齢者』の32.2%より10ポイント以上高くなっている。

【主な介護者の性別＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	主な介護者の性別		
			男性	女性	無回答
全 体		507	169	332	6
		100.0	33.3	65.5	1.2
高 期 ・ 後 期 高 齢 者 別	前期高齢者 (65～74歳)	51	22	29	—
		100.0	43.1	56.9	—
	後期高齢者 (75歳以上)	451	145	300	6
		100.0	32.2	66.5	1.3
その他		5	2	3	—
		100.0	40.0	60.0	—

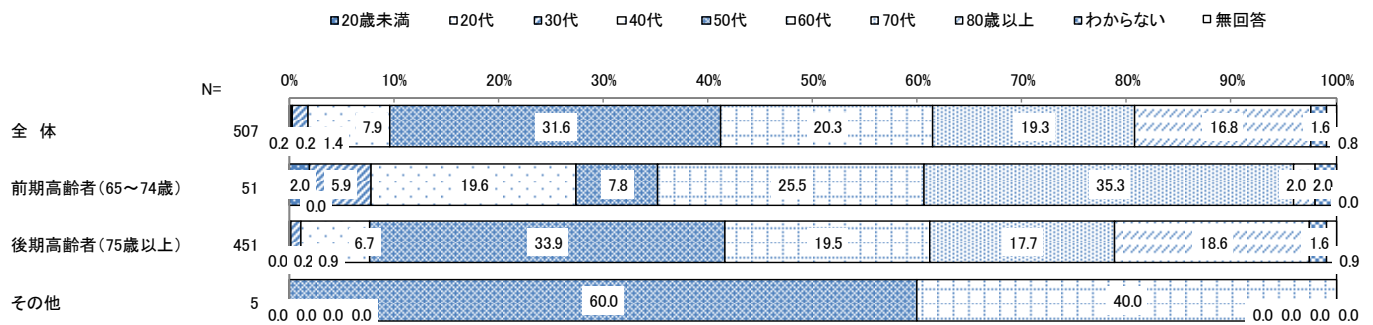
A 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の年齢について、「50代」が31.6%と最も高く、次いで「60代」が20.3%と、「70代」が19.3%となっている。

前回の調査では、「70代」が28.4%と最も高く、次いで「60代」「50代」がともに23.0%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、『前期高齢者』は「70代」が、『後期高齢者』は「50代」が最も高くなっている。

【主な介護者の年齢＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段:%

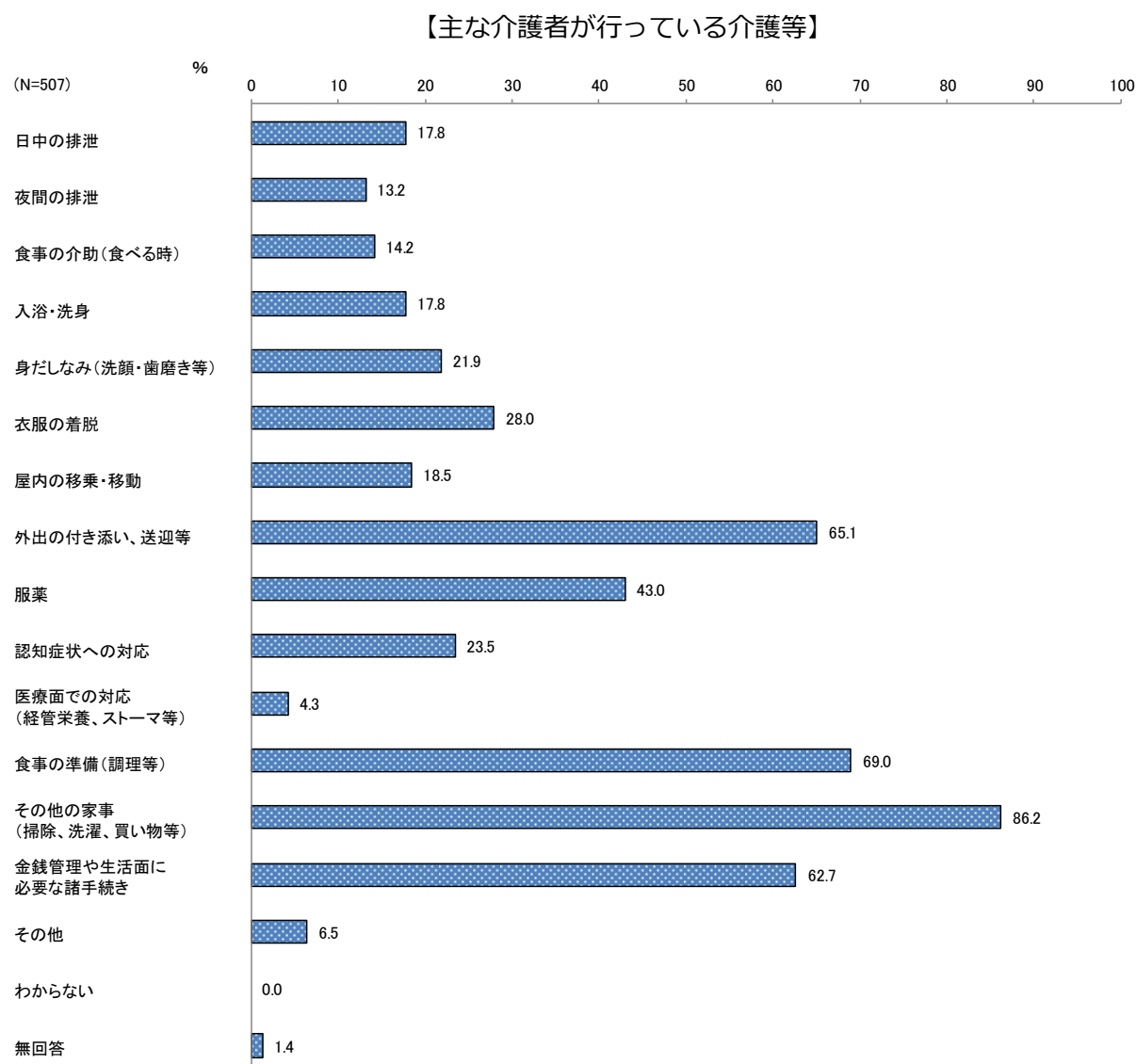
注：人数、1段、70

		全 体	主な介護者の年齢									
			20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全 体		507	1	1	7	40	160	103	98	85	8	4
		100.0	0.2	0.2	1.4	7.9	31.6	20.3	19.3	16.8	1.6	0.8
前期・後期 高齢者別	前期高齢者（65～74歳）	51	1	—	3	10	4	13	18	1	1	—
		100.0	2.0	—	5.9	19.6	7.8	25.5	35.3	2.0	2.0	—
	後期高齢者（75歳以上）	451	—	1	4	30	153	88	80	84	7	4
		100.0	—	0.2	0.9	6.7	33.9	19.5	17.7	18.6	1.6	0.9
	その他	5	—	—	—	—	3	2	—	—	—	—
		100.0	—	—	—	—	60.0	40.0	—	—	—	—

A 問6 現在、主な介護者の方が行なっている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

主な介護者が行なっている介護等について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 86.2%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 69.0%、「外出の付き添い、送迎等」が 65.1%となっている。

前回の調査でも同様に、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 83.1%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 67.6%、「外出の付き添い、送迎等」が 65.5%となっている。



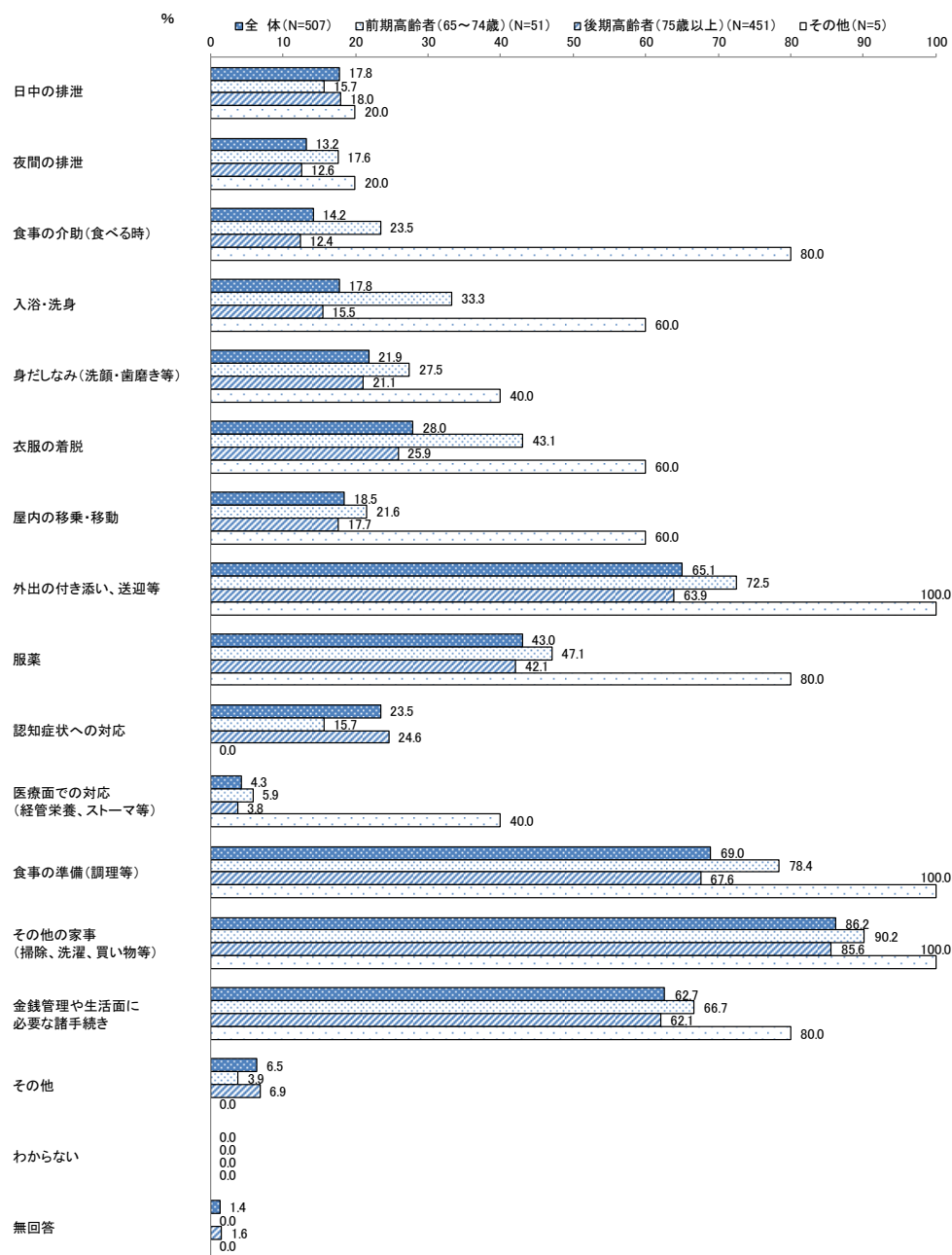
上段：件数、下段：%

全 体	主な介護者が行っている介護等								
	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
507	90	67	72	90	111	142	94	330	218
100.0	17.8	13.2	14.2	17.8	21.9	28.0	18.5	65.1	43.0

全 体	主な介護者が行っている介護等							
	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
507	119	22	350	437	318	33	-	7
100.0	23.5	4.3	69.0	86.2	62.7	6.5	-	1.4

前期・後期高齢者別でみると、『前期高齢者』では「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」がいずれも7割以上となっている。一方、『後期高齢者』で7割以上を占めたのは「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の85.6%のみとなっている。

【主な介護者が行っている介護等＜前期・後期高齢者別＞】



在宅介護実態調査

上段:実数、下段:%

		全 体	主な介護者が行っている介護等								
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨 き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・ 移動	外出の付き 添い、送迎 等	服薬
全 体		507 100.0	90 17.8	67 13.2	72 14.2	90 17.8	111 21.9	142 28.0	94 18.5	330 65.1	218 43.0
高 期 ・ 後 期 高 齢 者 別	前期高齢者(65～74歳)	51 100.0	8 15.7	9 17.6	12 23.5	17 33.3	14 27.5	22 43.1	11 21.6	37 72.5	24 47.1
		451 100.0	81 18.0	57 12.6	56 12.4	70 15.5	95 21.1	117 25.9	80 17.7	288 63.9	190 42.1
	後期高齢者(75歳以上)	5 100.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	5 100.0	4 80.0
		その他									

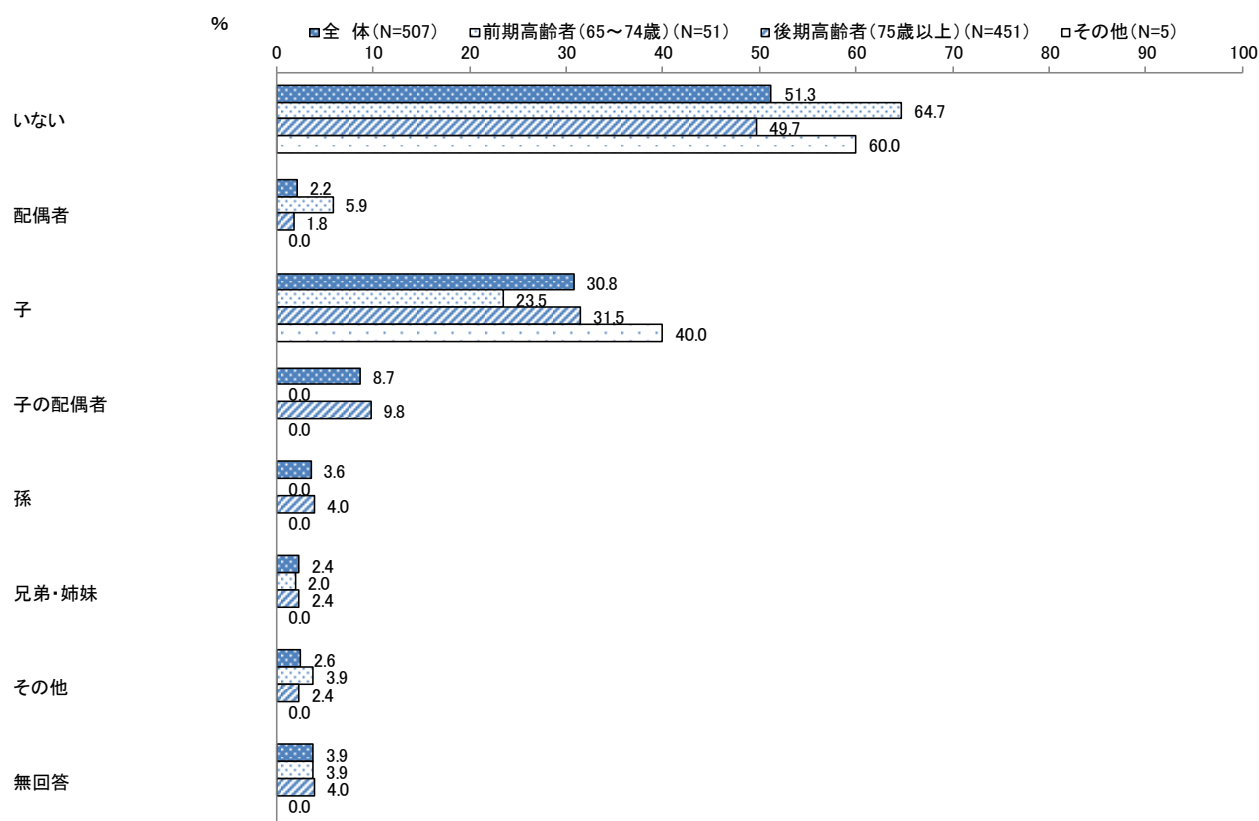
		全 体	主な介護者が行っている介護等							
			認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体		507 100.0	119 23.5	22 4.3	350 69.0	437 86.2	318 62.7	33 6.5	— —	7 1.4
高 前 期・後 期 高 齢 者 別	前期高齢者(65～74歳)	51 100.0	8 15.7	3 5.9	40 78.4	46 90.2	34 66.7	2 3.9	— —	— —
		451 100.0	111 24.6	17 3.8	305 67.6	386 85.6	280 62.1	31 6.9	— —	7 1.6
	後期高齢者(75歳以上)	5 100.0	— —	2 40.0	5 100.0	5 100.0	4 80.0	— —	— —	— —
		その他	5 100.0	— —	2 40.0	5 100.0	5 100.0	4 80.0	— —	— —

A 問7 主な介護者の方のほかに問6の項目と同様の介護を行っている家族や親族はいますか。
 いる場合は、介護を必要としている人から見た続柄を教えてください。
 (介護を分担している介護者を、以下の質問では副介護者と呼びます)

副介護者について、「いない」が51.3%と最も高く、次いで「子」が30.8%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「いない」は、『前期高齢者』が64.7%と『後期高齢者』の49.7%より15ポイント高くなっている。

【副介護者の続柄＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

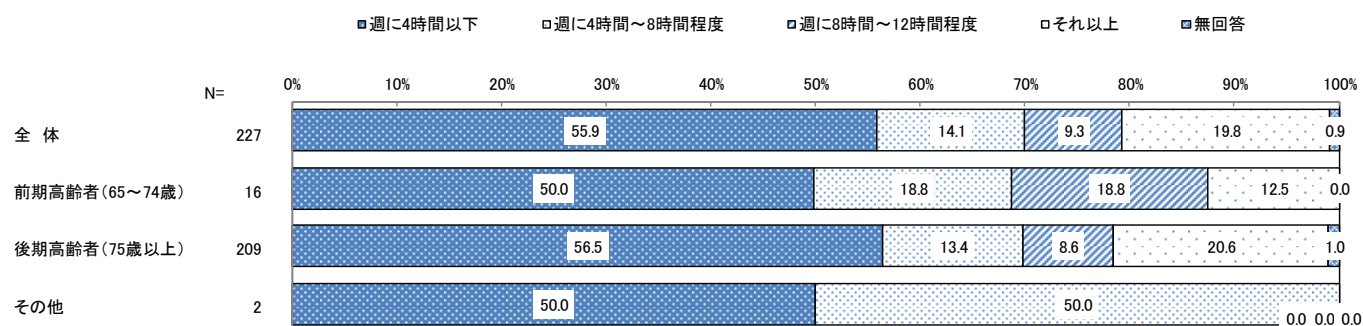
		全 体	副介護者の続柄						
			いない	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他
全 体		507	260	11	156	44	18	12	13
		100.0	51.3	2.2	30.8	8.7	3.6	2.4	2.6
前期・後期 高齢者別	前期高齢者(65~74歳)	51	33	3	12	-	-	1	2
		100.0	64.7	5.9	23.5	-	-	2.0	3.9
	後期高齢者(75歳以上)	451	224	8	142	44	18	11	11
		100.0	49.7	1.8	31.5	9.8	4.0	2.4	2.4
その他		5	3	-	2	-	-	-	-
		100.0	60.0	-	40.0	-	-	-	-

A 問 8 副介護者は週に何時間くらい介護をしていますか

副介護者の介護時間について、「週に 4 時間以下」が 55.9%と最も高く、次いで「それ以上」が 19.8%、「週に 4 時間～8 時間程度」が 14.1%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、どちらも半数程度が「週に 4 時間以下」であり、大きな差はなかった。

【副介護者の介護時間＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	副介護者の介護時間				
			週に4 時間 以下	週に4 時間 ～8 時間程 度	週に8 時間 ～12時間程 度	それ以上	無回答
全 体		227 100.0	127 55.9	32 14.1	21 9.3	45 19.8	2 0.9
前期・ 後期 高齢者 別	前期高齢者 (65～74歳)	16 100.0	8 50.0	3 18.8	3 18.8	2 12.5	— —
	後期高齢者 (75歳以上)	209 100.0	118 56.5	28 13.4	18 8.6	43 20.6	2 1.0
	その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —	— —

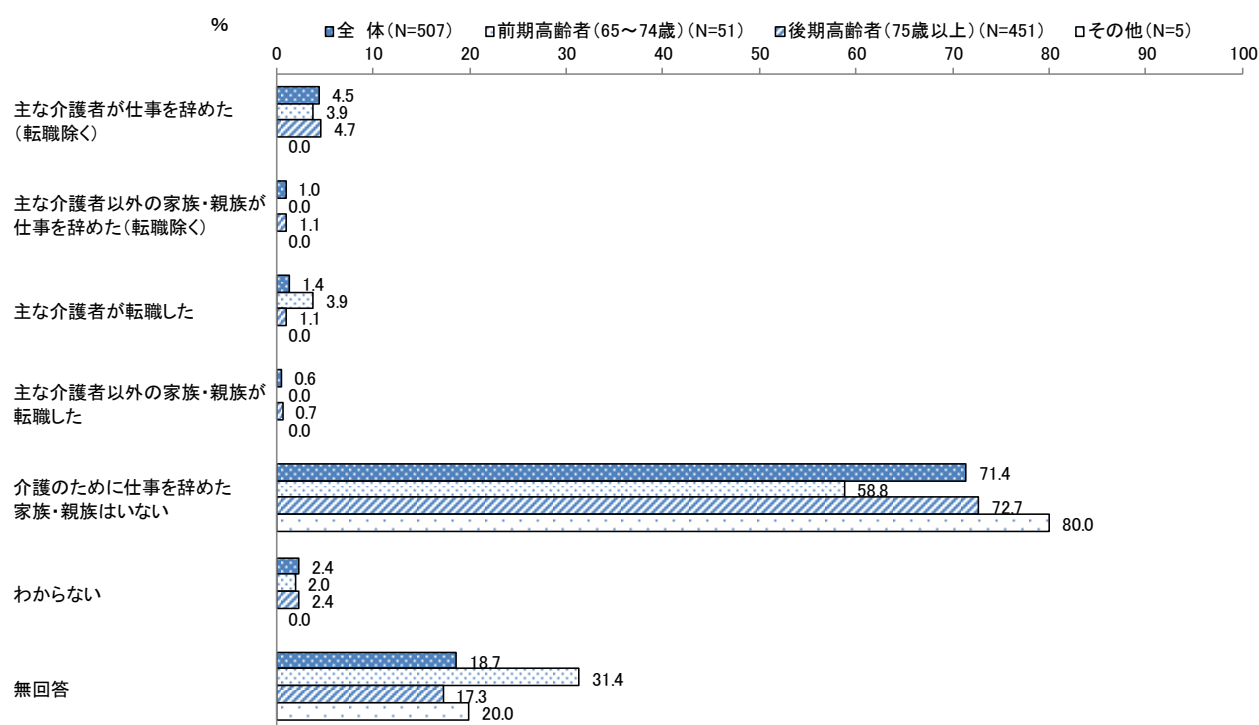
A 問9 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

介護を主な理由として過去1年に仕事をやめた家族・親族がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が71.4%と最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が4.5%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」は1.0%であわせて5.5%であった。

前回の調査では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が81.8%と最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が10.4%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」は2.0%であわせて12.4%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は、『後期高齢者』が72.7%と『前期高齢者』の58.8%より13ポイント以上高くなっている。

【介護を主な理由として過去1年に仕事をやめた家族・親族＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	介護を主な理由として過去1 年に仕事をやめた家族・親族					
			主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない
全 体		507	23	5	7	3	362	12
		100.0	4.5	1.0	1.4	0.6	71.4	2.4
高 齢 者 別 前 期・後 期	前期高齢者(65～74歳)	51	2	—	2	—	30	1
		100.0	3.9	—	3.9	—	58.8	2.0
	後期高齢者(75歳以上)	451	21	5	5	3	328	11
		100.0	4.7	1.1	1.1	0.7	72.7	2.4
	その他	5	—	—	—	—	4	—
		100.0	—	—	—	—	80.0	—

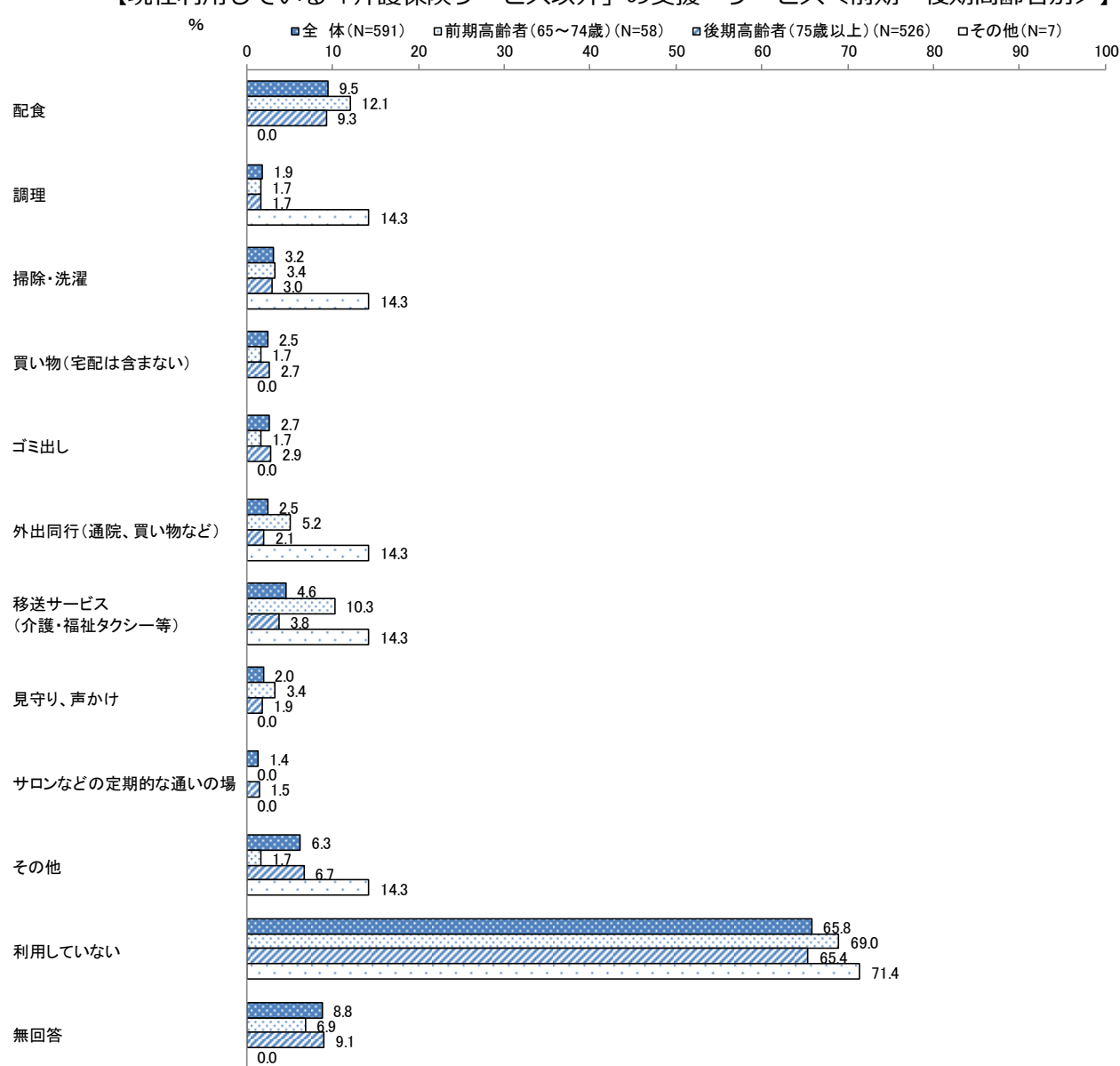
A 問 10 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(複数選択可)

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、「利用していない」が 65.8%と最も高く、次いで「配食」が 9.5%であり、他の全項目も 1 割を下回っている。

前回の調査でも同様に、「利用していない」が 68.2%で最も高く、次いで「その他」が 9.4%、「配食」が 8.2%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「利用していない」を除くと『前期高齢者』『後期高齢者』ともに「配食」が最も高い。

【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス＜前期・後期高齢者別＞】



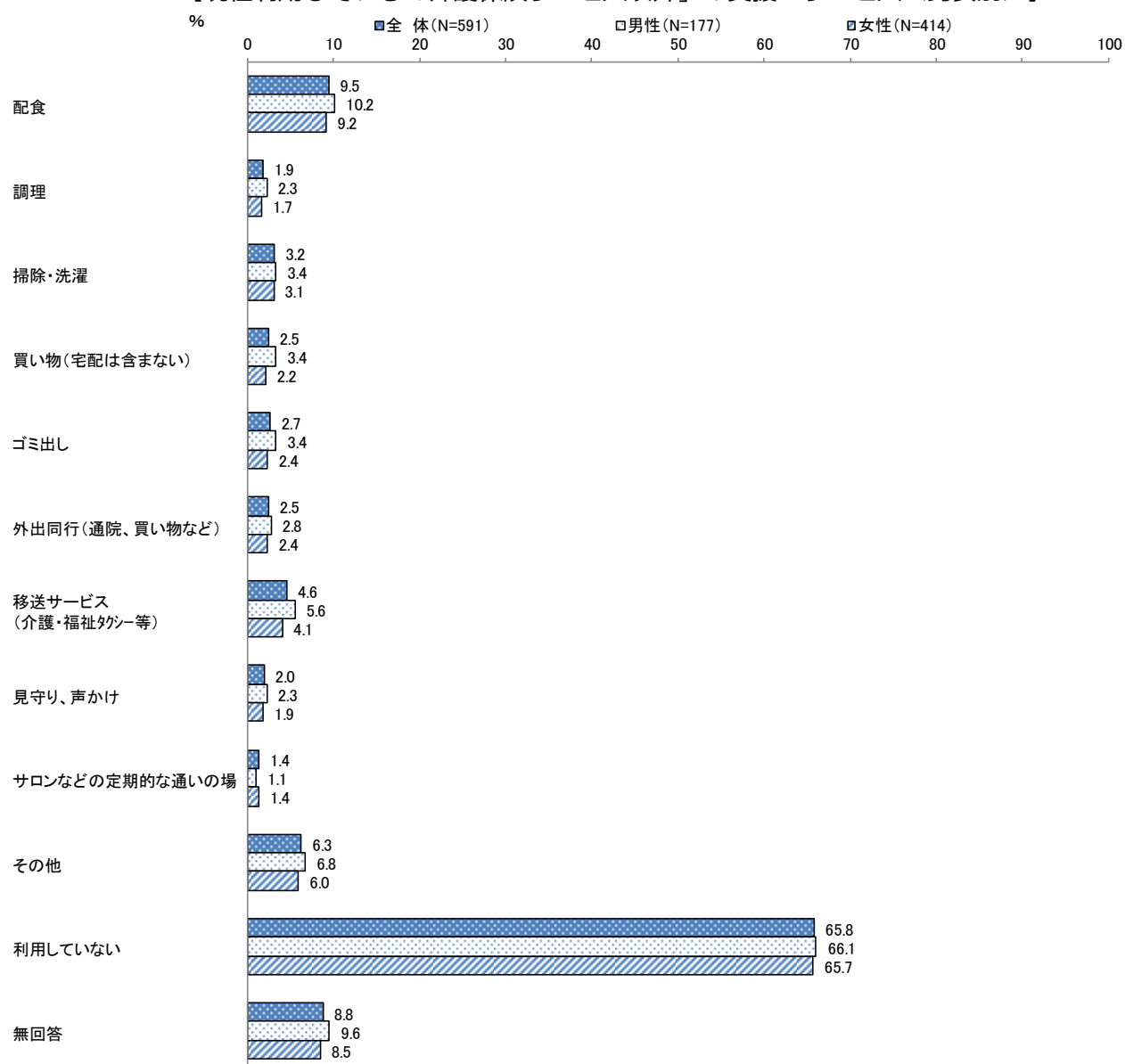
上段:実数、下段:%

		全 体	現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス					
			配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配 は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通 院、買い物な ど)
全 体		591 100.0	56 9.5	11 1.9	19 3.2	15 2.5	16 2.7	15 2.5
高 齢 者 別 前 期 ・ 後 期	前期高齢者(65～74歳)	58 100.0	7 12.1	1 1.7	2 3.4	1 1.7	1 1.7	3 5.2
		526 100.0	49 9.3	9 1.7	16 3.0	14 2.7	15 2.9	11 2.1
	後期高齢者(75歳以上)	7 100.0	－ －	1 14.3	1 14.3	－ －	－ －	1 14.3
		その他						

		全 体	現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス					
			移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体		591 100.0	27 4.6	12 2.0	8 1.4	37 6.3	389 65.8	52 8.8
高 齢 者 別 前期・後期	前期高齢者(65～74歳)	58 100.0	6 10.3	2 3.4	－ －	1 1.7	40 69.0	4 6.9
		526 100.0	20 3.8	10 1.9	8 1.5	35 6.7	344 65.4	48 9.1
	その他	7 100.0	1 14.3	－ －	－ －	1 14.3	5 71.4	－ －

男女別でも、「利用していない」を除くと『男性』『女性』ともに「配食」が最も高い。

【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス＜男女別＞】



上段:実数、下段:%

		全 体	現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス					
			配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)
全 体		591	56	11	19	15	16	15
		100.0	9.5	1.9	3.2	2.5	2.7	2.5
男 女 別	男性	177	18	4	6	6	6	5
		100.0	10.2	2.3	3.4	3.4	3.4	2.8
	女性	414	38	7	13	9	10	10
		100.0	9.2	1.7	3.1	2.2	2.4	2.4

		全 体	現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス					
			移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体		591	27	12	8	37	389	52
		100.0	4.6	2.0	1.4	6.3	65.8	8.8
男 女 別	男性	177	10	4	2	12	117	17
		100.0	5.6	2.3	1.1	6.8	66.1	9.6
	女性	414	17	8	6	25	272	35
		100.0	4.1	1.9	1.4	6.0	65.7	8.5

行政区別でも、すべての行政区において「利用していない」が最も高くなっているが、花見川区は、「配食」が16.5%と他の行政区と比べて高くなっている。

【現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス＜行政区別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス					
			配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)
全 体		591 100.0	56 9.5	11 1.9	19 3.2	15 2.5	16 2.7	15 2.5
行政区別	中央区	128 100.0	6 4.7	4 3.1	8 6.3	4 3.1	6 4.7	9 7.0
	花見川区	109 100.0	18 16.5	4 3.7	4 3.7	5 4.6	4 3.7	4 3.7
	稲毛区	94 100.0	6 6.4	1 1.1	2 2.1	1 1.1	1 1.1	－ －
	若葉区	113 100.0	12 10.6	2 1.8	2 1.8	3 2.7	4 3.5	1 0.9
	緑区	77 100.0	5 6.5	－ －	1 1.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3
	美浜区	70 100.0	9 12.9	－ －	2 2.9	1 1.4	－ －	－ －

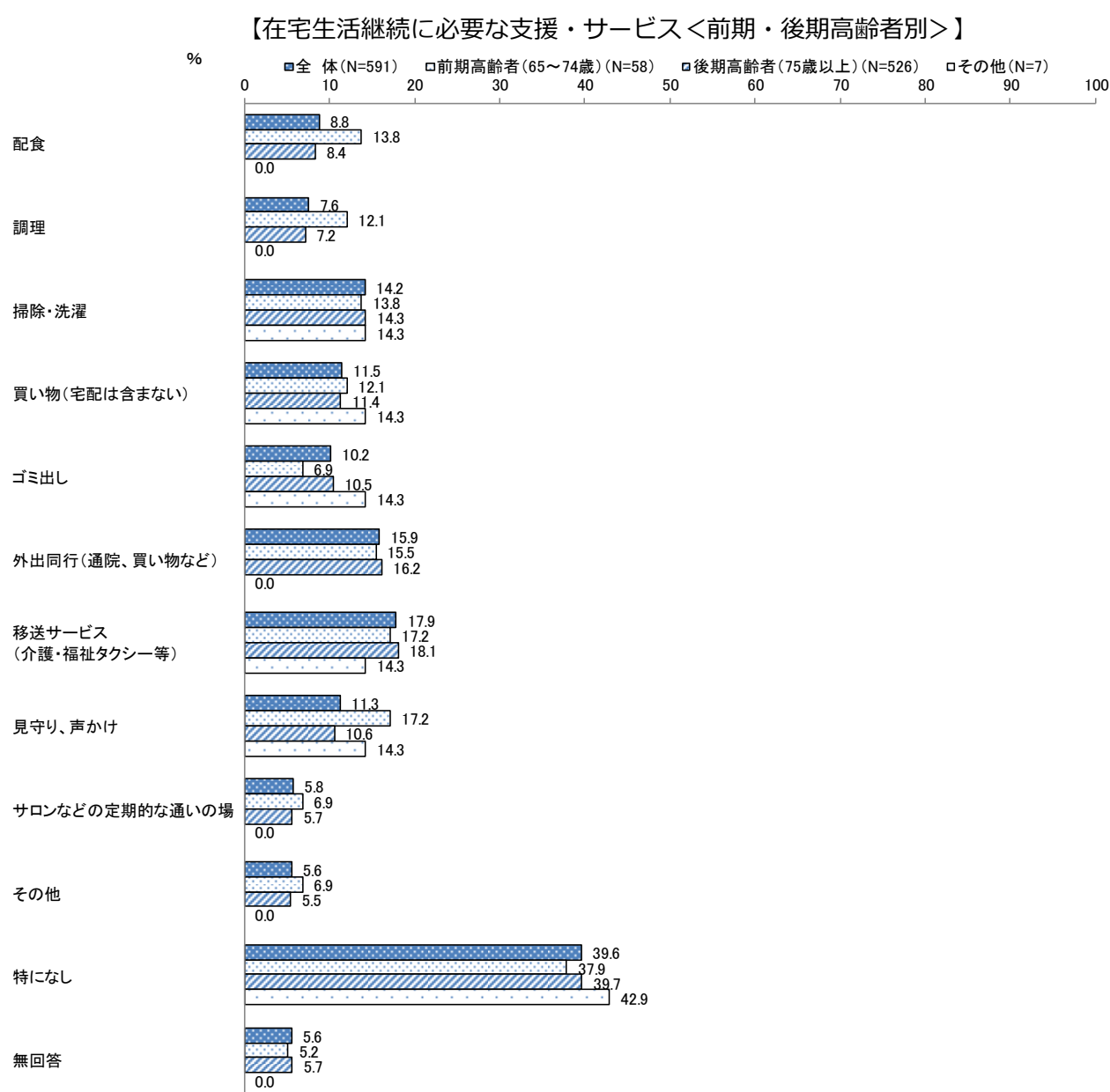
		全 体	現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス					
			移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体		591 100.0	27 4.6	12 2.0	8 1.4	37 6.3	389 65.8	52 8.8
行政区別	中央区	128 100.0	7 5.5	5 3.9	3 2.3	12 9.4	72 56.3	22 17.2
	花見川区	109 100.0	3 2.8	5 4.6	－ －	6 5.5	68 62.4	8 7.3
	稲毛区	94 100.0	3 3.2	－ －	1 1.1	5 5.3	70 74.5	8 8.5
	若葉区	113 100.0	5 4.4	－ －	1 0.9	4 3.5	77 68.1	8 7.1
	緑区	77 100.0	4 5.2	－ －	1 1.3	5 6.5	58 75.3	3 3.9
	美浜区	70 100.0	5 7.1	2 2.9	2 2.9	5 7.1	44 62.9	3 4.3

A 問 11 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」が 39.6%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 17.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が 15.9%となっている。

前回の調査では、「利用していない」（今回調査の「特になし」にあたる選択肢）が 40.6%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 15.9%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「特になし」を除くと『前期高齢者』では「移送サービス」「見守り、声かけ」が最も高く、『後期高齢者』では「移送サービス」が最も高く、「掃除・洗濯」が続く。

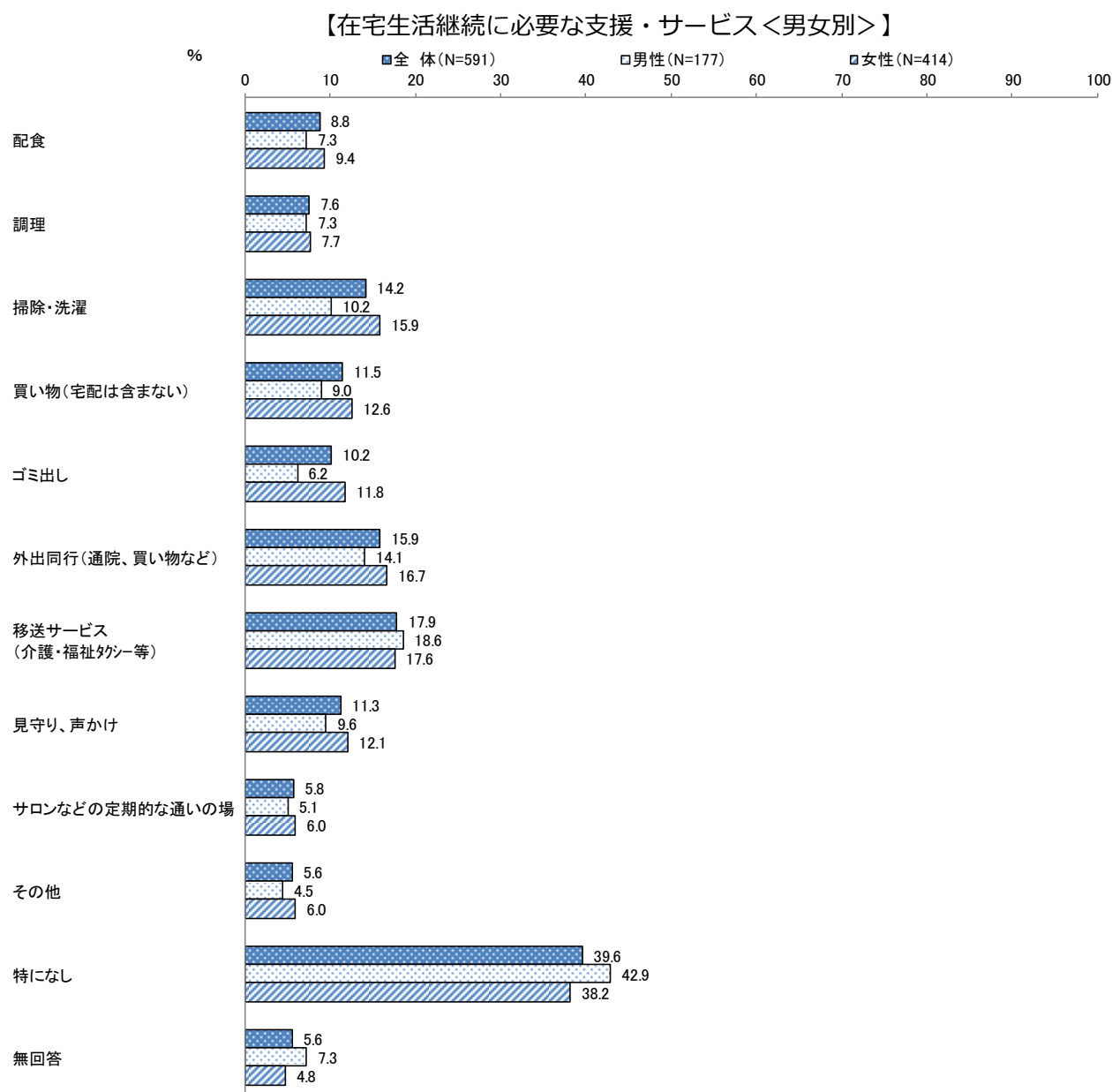


上段：実数、下段：%

		全 体	在宅生活継続に必要な支援・サービス					
			配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)
全 体		591 100.0	52 8.8	45 7.6	84 14.2	68 11.5	60 10.2	94 15.9
高 前 齢 期・後 者 期 別	前期高齢者(65～74歳)	58 100.0	8 13.8	7 12.1	8 13.8	7 12.1	4 6.9	9 15.5
		526 100.0	44 8.4	38 7.2	75 14.3	60 11.4	55 10.5	85 16.2
	後期高齢者(75歳以上)	7 100.0	－ －	－ －	1 14.3	1 14.3	1 14.3	－ －
		その他						

		全 体	在宅生活継続に必要な支援・サービス					
			移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体		591 100.0	106 17.9	67 11.3	34 5.8	33 5.6	234 39.6	33 5.6
高 前 齢 期・後 者 期 別	前期高齢者(65～74歳)	58 100.0	10 17.2	10 17.2	4 6.9	4 6.9	22 37.9	3 5.2
		526 100.0	95 18.1	56 10.6	30 5.7	29 5.5	209 39.7	30 5.7
	後期高齢者(75歳以上)	7 100.0	1 14.3	1 14.3	－ －	－ －	3 42.9	－ －
		その他						

男女別でも、「特になし」を除くと『男性』『女性』ともに「移送サービス」が最も高い。



上段:実数、下段:%

		全 体	在宅生活継続に必要な支援・サービス				
			配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し 外出同行(通院、買い物など)
全 体		591 100.0	52 8.8	45 7.6	84 14.2	68 11.5	60 10.2
男 女 別	男性	177 100.0	13 7.3	13 7.3	18 10.2	16 9.0	11 6.2
	女性	414 100.0	39 9.4	32 7.7	66 15.9	52 12.6	49 11.8

		全 体	在宅生活継続に必要な支援・サービス				
			移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし 無回答
全 体		591 100.0	106 17.9	67 11.3	34 5.8	33 5.6	234 39.6
男 女 別	男性	177 100.0	33 18.6	17 9.6	9 5.1	8 4.5	76 42.9
	女性	414 100.0	73 17.6	50 12.1	25 6.0	25 6.0	158 38.2

行政区別でも、「特になし」を除くと、花見川区と若葉区では「掃除・洗濯」が最も高く、他の行政区では「移送サービス」が最も高くなっている。

【在宅生活継続に必要な支援・サービス＜行政区別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	在宅生活継続に必要な支援・サービス					
			配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)
全 体		591 100.0	52 8.8	45 7.6	84 14.2	68 11.5	60 10.2	94 15.9
行政 区 別	中央区	128 100.0	9 7.0	10 7.8	13 10.2	14 10.9	9 7.0	17 13.3
	花見川区	109 100.0	8 7.3	5 4.6	18 16.5	9 8.3	9 8.3	9 8.3
	稲毛区	94 100.0	9 9.6	4 4.3	11 11.7	13 13.8	11 11.7	13 13.8
	若葉区	113 100.0	11 9.7	9 8.0	21 18.6	11 9.7	13 11.5	25 22.1
	緑区	77 100.0	6 7.8	9 11.7	10 13.0	13 16.9	7 9.1	16 20.8
	美浜区	70 100.0	9 12.9	8 11.4	11 15.7	8 11.4	11 15.7	14 20.0

		全 体	在宅生活継続に必要な支援・サービス					
			移送サービス(介護・福祉施設等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体		591 100.0	106 17.9	67 11.3	34 5.8	33 5.6	234 39.6	33 5.6
行政 区 別	中央区	128 100.0	25 19.5	18 14.1	9 7.0	12 9.4	47 36.7	5 3.9
	花見川区	109 100.0	17 15.6	6 5.5	6 5.5	3 2.8	48 44.0	8 7.3
	稲毛区	94 100.0	15 16.0	12 12.8	6 6.4	5 5.3	38 40.4	7 7.4
	若葉区	113 100.0	21 18.6	10 8.8	3 2.7	4 3.5	40 35.4	8 7.1
	緑区	77 100.0	15 19.5	13 16.9	5 6.5	4 5.2	33 42.9	1 1.3
	美浜区	70 100.0	13 18.6	8 11.4	5 7.1	5 7.1	28 40.0	4 5.7

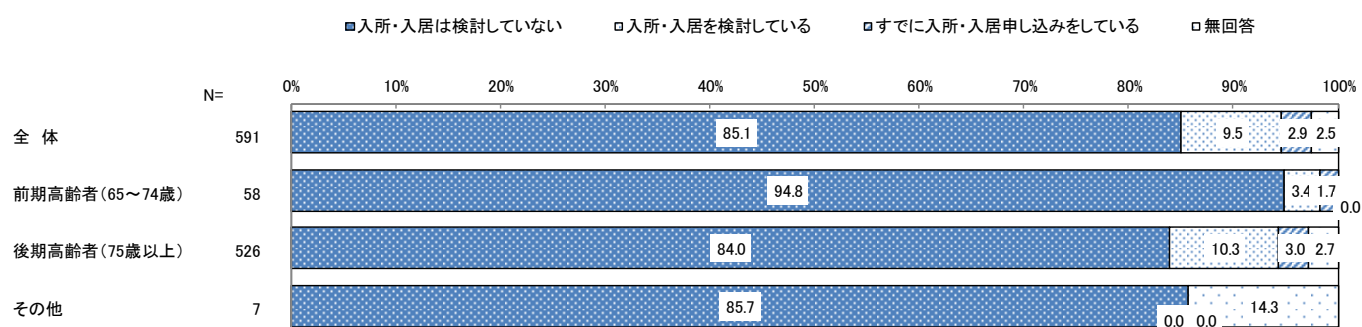
A 問 12 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が 85.1%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 9.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 2.9%となっている。

前回の調査でも同様に、「入所・入居は検討していない」が 82.9%と最も高かった。

また、前期・後期高齢者別でみると、「入所・入居は検討していない」は、『前期高齢者』が 94.8%と『後期高齢者』の 84.0%より 10 ポイント以上高くなっている。

【施設等への入所・入居の検討状況＜前期・後期高齢者別＞】



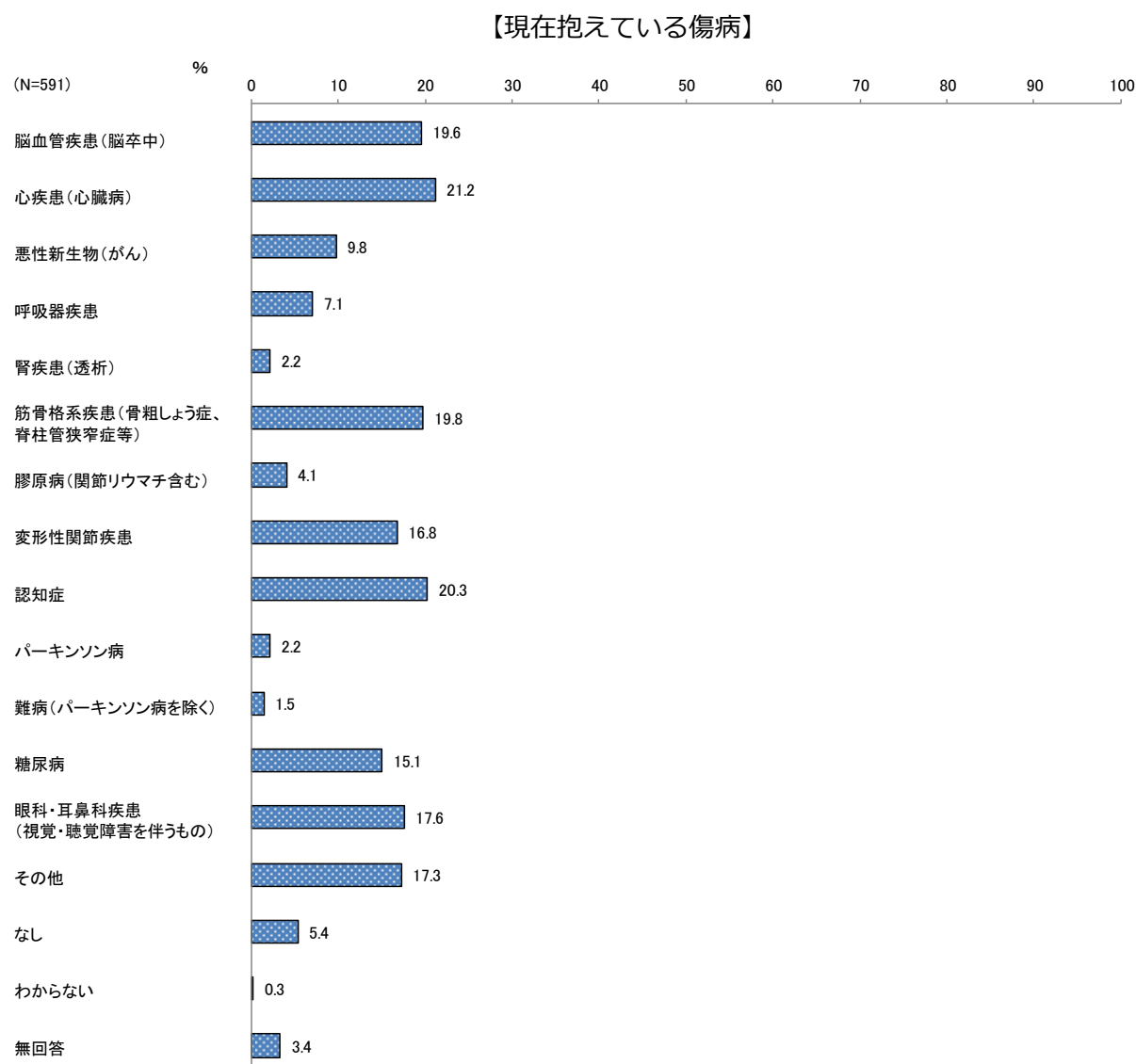
上段:実数、下段: %

		全 体	施設等への入所・入居の検討状況			
			入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全 体		591	503	56	17	15
		100.0	85.1	9.5	2.9	2.5
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	58	55	2	1	—
		100.0	94.8	3.4	1.7	—
	後期高齢者 (75歳以上)	526	442	54	16	14
		100.0	84.0	10.3	3.0	2.7
その他		7	6	—	—	1
		100.0	85.7	—	—	14.3

A 問 13 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

調査対象者が現在抱えている傷病について、「心疾患（心臓病）」が 21.2%と最も高く、次いで「認知症」が 20.3%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 19.8%となっている。

前回の調査でも同様に、「心疾患（心臓病）」が 22.9%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 22.4%となっている。

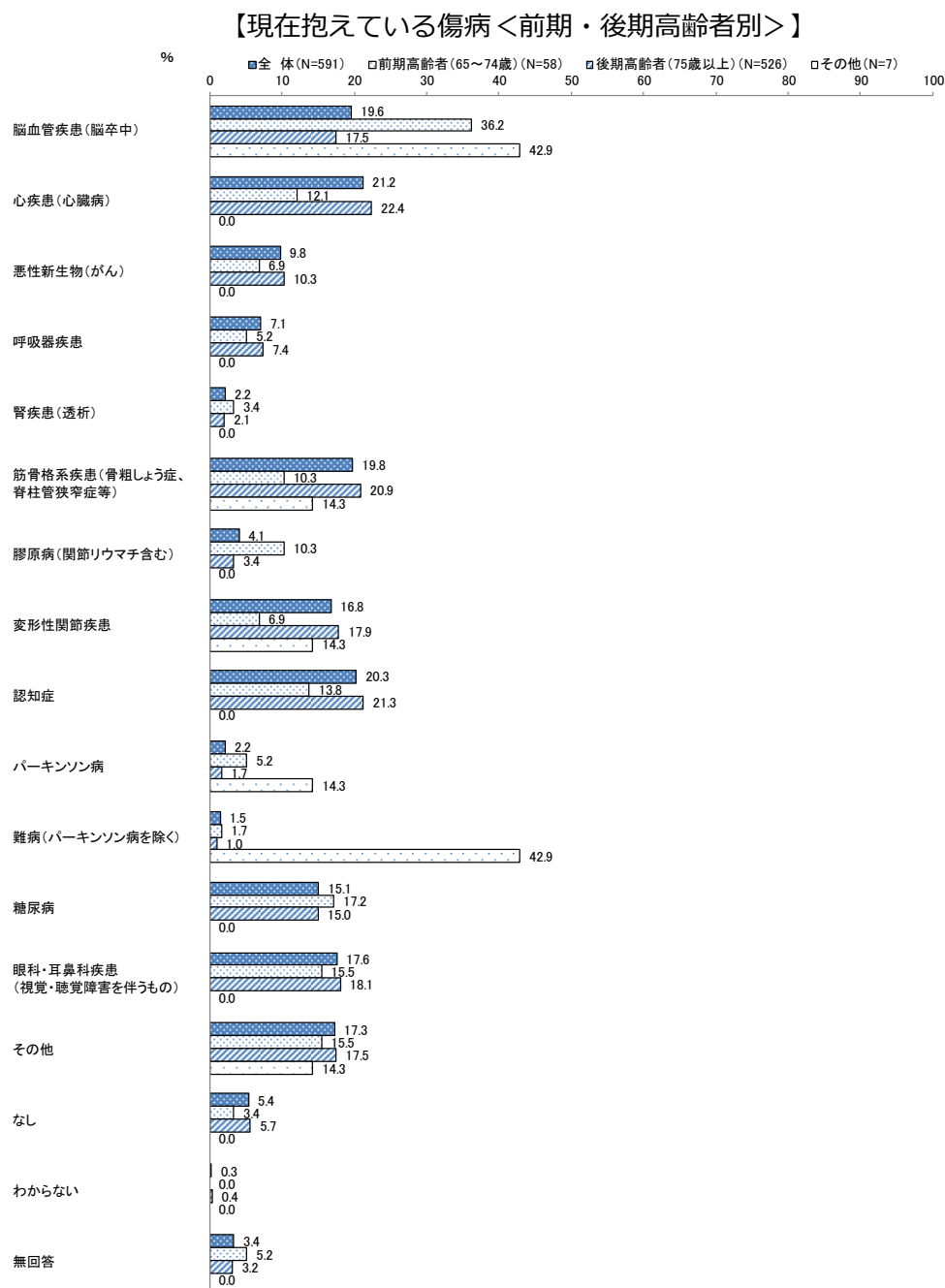


上段:件数、下段:%

全 体	現在抱えている傷病								
	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患(心臓 病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透 析)	筋骨格系疾 患(骨粗し う症、脊柱管 狭窄症等)	膠原病(関節 リウマチ含 む)	変形性関節 疾患	認知症
591	116	125	58	42	13	117	24	99	120
100.0	19.6	21.2	9.8	7.1	2.2	19.8	4.1	16.8	20.3

全 体	現在抱えている傷病							
	パーキンソン 病	難病(パーキ ンソン病を除 く)	糖尿病	眼科・耳鼻科 疾患(視覚・ 聴覚障害を 伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
591	13	9	89	104	102	32	2	20
100.0	2.2	1.5	15.1	17.6	17.3	5.4	0.3	3.4

前期・後期高齢者別でみると、『前期高齢者』は「脳血管疾患（脳卒中）」が、『後期高齢者』は「心疾患（心臓病）」が最も高くなっている。



上段:実数、下段:%

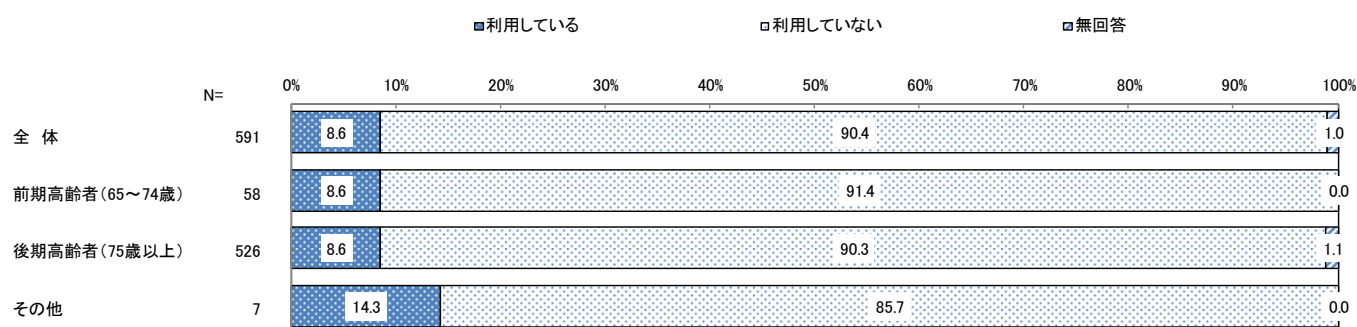
		全 体	現在抱えている傷病								
			脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患(心臓 病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透 析)	筋骨格系疾 患(骨粗し う症、脊柱管 狭窄症等)	膠原病(関節 リウマチ含 む)	変形性関節 疾患	認知症
全 体		591 100.0	116 19.6	125 21.2	58 9.8	42 7.1	13 2.2	117 19.8	24 4.1	99 16.8	120 20.3
高 齢 者 別	前期高齢者(65～74歳)	58 100.0	21 36.2	7 12.1	4 6.9	3 5.2	2 3.4	6 10.3	6 10.3	4 6.9	8 13.8
		526 100.0	92 17.5	118 22.4	54 10.3	39 7.4	11 2.1	110 20.9	18 3.4	94 17.9	112 21.3
	後期高齢者(75歳以上)	7 100.0	3 42.9	— —	— —	— —	— —	1 14.3	— —	1 14.3	— —
		その他	7 100.0	3 42.9	— —	— —	— —	— —	1 14.3	— —	1 14.3

		全 体	現在抱えている傷病							
			パーキンソン 病	難病(パーキ ンソン病を除 く)	糖尿病	眼科・耳鼻科 疾患(視覚・ 聴覚障害を 伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全 体		591 100.0	13 2.2	9 1.5	89 15.1	104 17.6	102 17.3	32 5.4	2 0.3	20 3.4
高 齢 者 別	前期高齢者(65～74歳)	58 100.0	3 5.2	1 1.7	10 17.2	9 15.5	9 15.5	2 3.4	— —	3 5.2
		526 100.0	9 1.7	5 1.0	79 15.0	95 18.1	92 17.5	30 5.7	2 0.4	17 3.2
	後期高齢者(75歳以上)	7 100.0	1 14.3	3 42.9	— —	— —	1 14.3	— —	— —	— —
		7 100.0	1 14.3	3 42.9	— —	— —	1 14.3	— —	— —	— —

A 問 14 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

訪問診療の利用状況について、「利用していない」が90.4%、「利用している」が8.6%となっている。
 前回の調査でも同様に、「利用していない」が90.0%、「利用している」が8.8%となっている。
 また、前期・後期高齢者別でみても、大きな差はみられなかった。

【訪問診療の利用状況＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	訪問診療の利用状況		
			利用している	利用していない	無回答
全 体		591 100.0	51 8.6	534 90.4	6 1.0
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65~74歳)	58 100.0	5 8.6	53 91.4	— —
	後期高齢者 (75歳以上)	526 100.0	45 8.6	475 90.3	6 1.1
	その他	7 100.0	1 14.3	6 85.7	— —

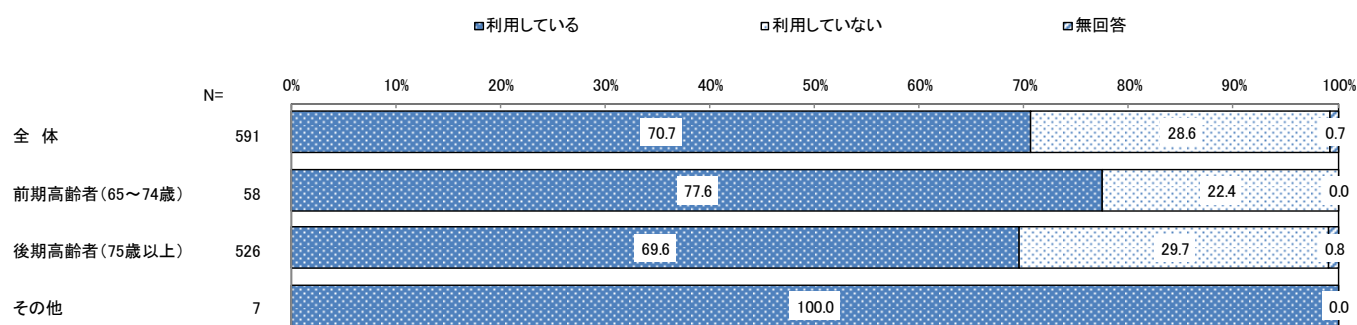
A 問 15 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか
(1つを選択)

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が 70.7%、「利用していない」が 28.6%となっている。

前回の調査では、「利用している」が 79.4%、「利用していない」が 19.4%となっている。

前期・後期高齢者別でみると、「利用している」は、『前期高齢者』が 77.6%と『後期高齢者』の 69.6%より 8 ポイント高くなっている。

【介護保険サービスの利用状況＜前期・後期高齢者別＞】



上段: 実数、下段: %

		全 体	介護保険サービスの利用状況		
			利用している	利用していない	無回答
全 体		591	418	169	4
		100.0	70.7	28.6	0.7
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65~74歳)	58	45	13	—
		100.0	77.6	22.4	—
	後期高齢者 (75歳以上)	526	366	156	4
		100.0	69.6	29.7	0.8
	その他	7	7	—	—
		100.0	100.0	—	—

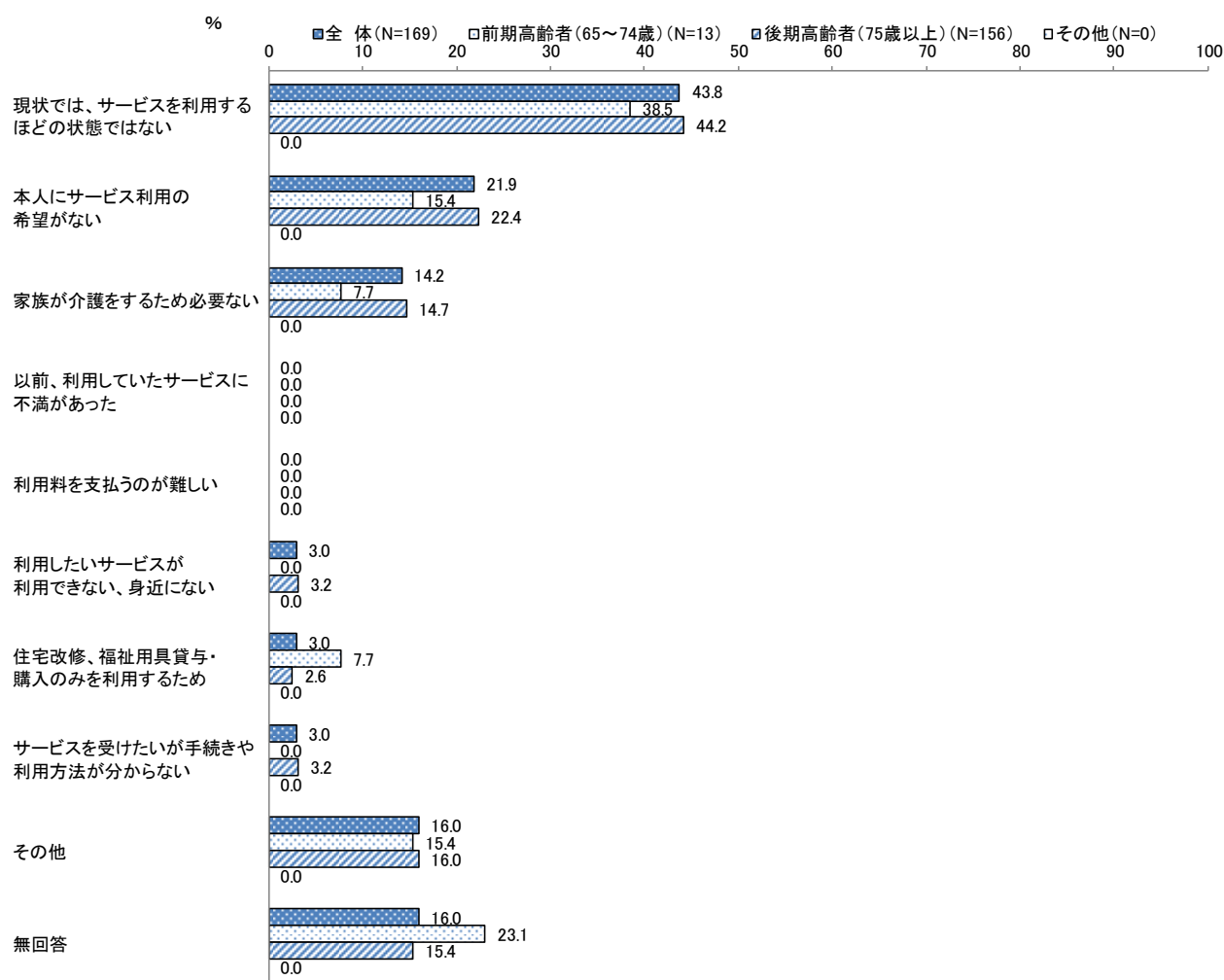
A 問 16 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が43.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が21.9%、「その他」が16.0%となっている。

前回の調査では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が30.3%と最も高く、次いで「その他」が21.2%、「本人にサービス利用の希望がない」が18.2%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「家族が介護をするため必要ない」は、『後期高齢者』では14.7%と『前期高齢者』の7.7%に比べて7ポイント高くなっている。

【介護保険サービスを利用していない理由＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	介護保険サービスを利用していない理由				
			現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい
全 体		169 100.0	74 43.8	37 21.9	24 14.2	－ －	－ －
高 前 齡 期 者 ・ 後 後 別 期	前期高齢者(65～74歳)	13 100.0	5 38.5	2 15.4	1 7.7	－ －	－ －
	後期高齢者(75歳以上)	156 100.0	69 44.2	35 22.4	23 14.7	－ －	－ －

		全 体	介護保険サービスを利用していない理由				
			利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全 体		169 100.0	5 3.0	5 3.0	5 3.0	27 16.0	27 16.0
高 前 齡 期 者 ・ 後 後 別 期	前期高齢者(65～74歳)	13 100.0	－ －	1 7.7	－ －	2 15.4	3 23.1
	後期高齢者(75歳以上)	156 100.0	5 3.2	4 2.6	5 3.2	25 16.0	24 15.4

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

【設問の意図】

介護者の勤務形態、利用している両立支援の制度・仕組み、効果があると思われる勤め先からの支援、就労継続の可否に係る意識、不安に感じる介護、ダブルケアの実態等について問い、主として「介護者の就労継続」に有効なサービスのあり方を検討する際に活用するものである。

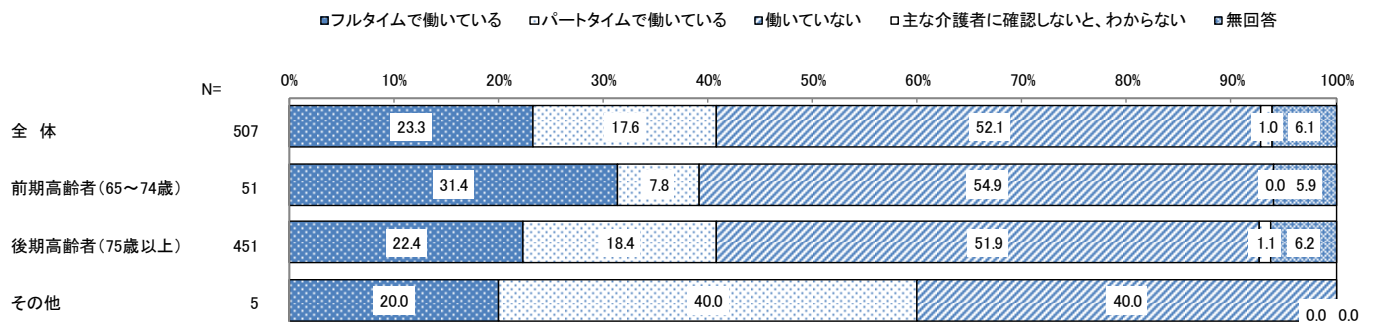
B 問 1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が 52.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が 23.3%、「パートタイムで働いている」が 17.6%となっている。

前回の調査では、「働いていない」が 60.1%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」が 20.5%、「フルタイムで働いている」が 18.9%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「フルタイムで働いている」は、『前期高齢者』が 31.4%と『後期高齢者』の 22.4%より 9 ポイント高くなっている。

【主な介護者の勤務形態＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	主な介護者の勤務形態				
			フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体		507 100.0	118 23.3	89 17.6	264 52.1	5 1.0	31 6.1
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	51 100.0	16 31.4	4 7.8	28 54.9	— —	3 5.9
	後期高齢者 (75歳以上)	451 100.0	101 22.4	83 18.4	234 51.9	5 1.1	28 6.2
	その他	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	— —	— —

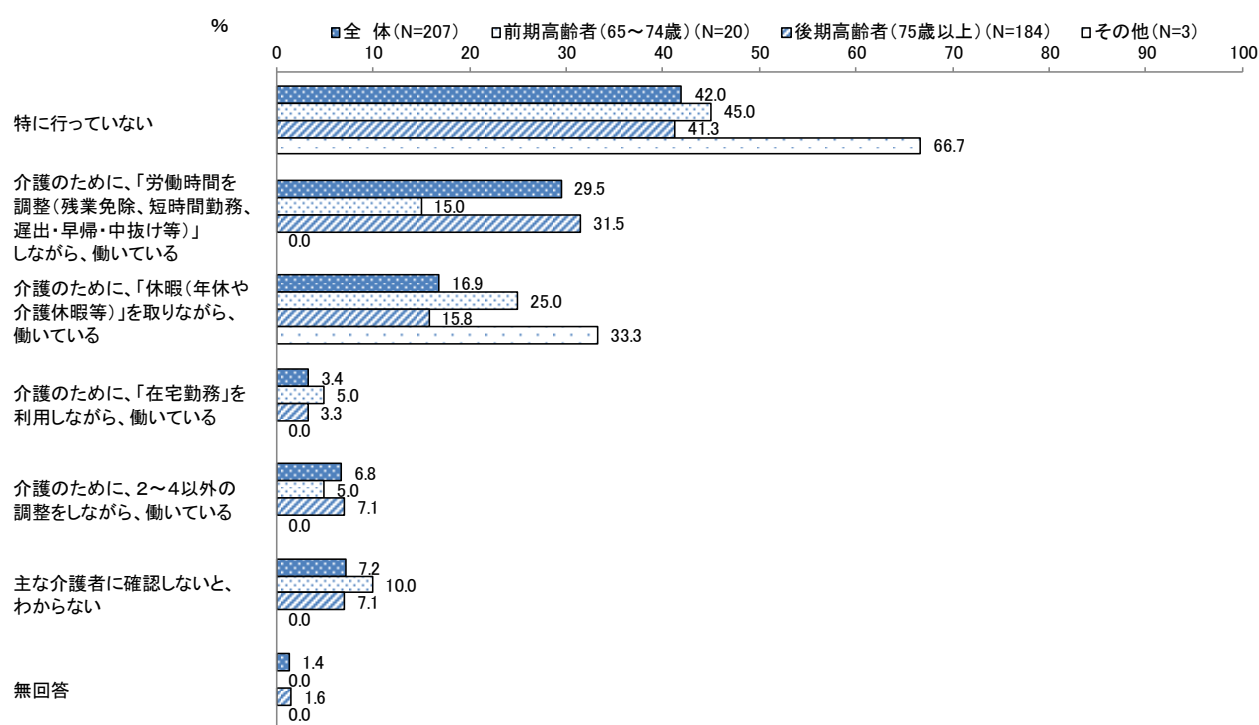
B 問 2 問 1 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか（複数選択可）

介護をするにあたって行っている働き方の調整について、「特に行っていない」が 42.0%と最も高く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 29.5%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 16.9%となっている。

前回の調査でも同様に、「特に行っていない」が 45.3%と最も高く、次いで「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 30.2%となっている。

前期・後期高齢者別でみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」は、『後期高齢者』が 31.5%と『前期高齢者』の 15.0%より 16 ポイント以上高くなっている。

【介護をするにあたって行っている働き方の調整＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段:%

		全 体	介護をするにあたって行っている働き方の調整						
			特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体		207 100.0	87 42.0	61 29.5	35 16.9	7 3.4	14 6.8	15 7.2	3 1.4
高 前 齢 期 者 後 別 期	前期高齢者(65～74歳)	20 100.0	9 45.0	3 15.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	－ －
	後期高齢者(75歳以上)	184 100.0	76 41.3	58 31.5	29 15.8	6 3.3	13 7.1	13 7.1	3 1.6
	その他	3	2	－	1	－	－	－	－
		100.0	66.7	－	33.3	－	－	－	－

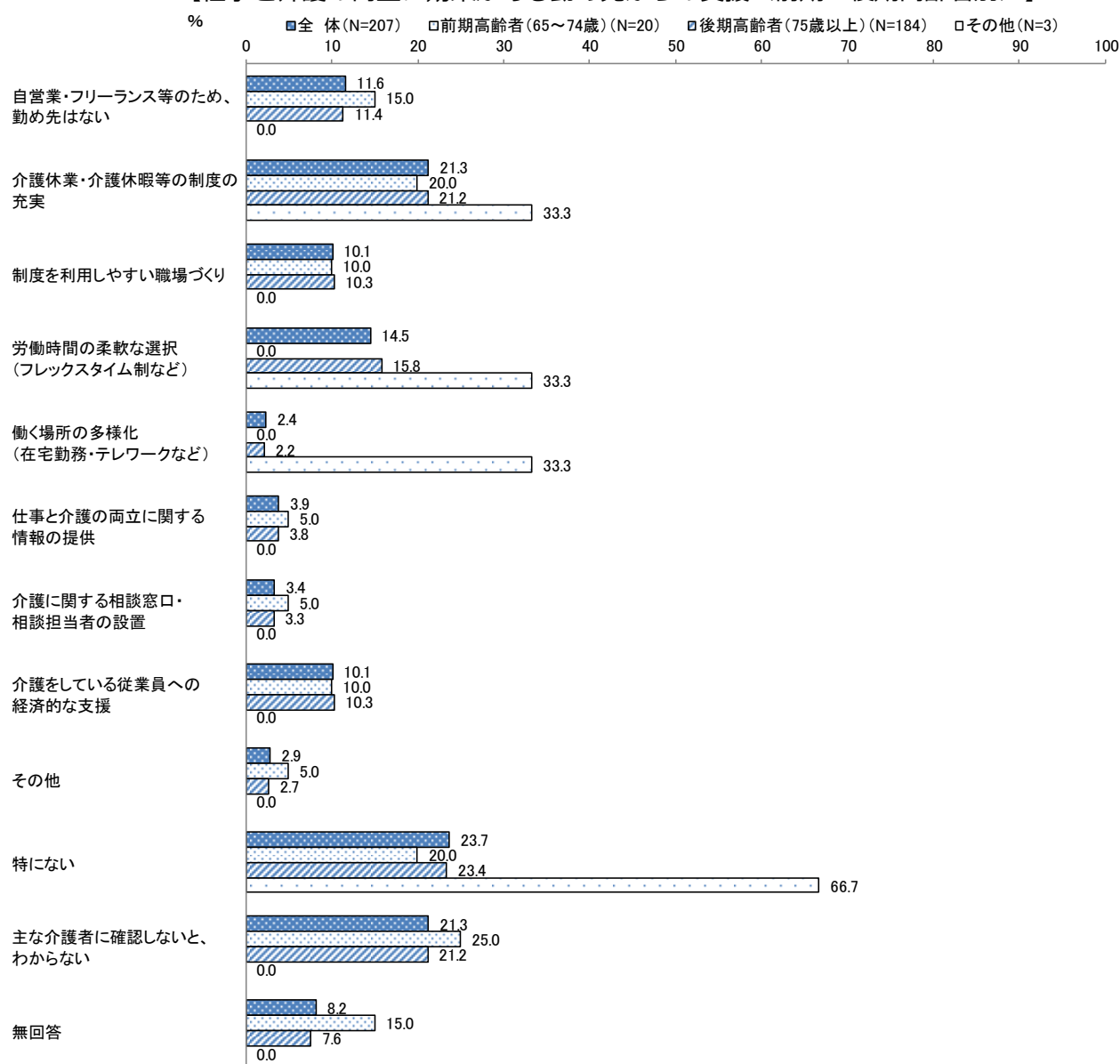
B 問 3 問 1 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3 つまで選択可）

仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援について、「特にない」が 23.7%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 21.3%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 14.5%となっている。

前回の調査では、「特にない」が 26.4%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 24.5%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」がともに 17.0%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「特にない」を除くと、ともに「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が最も高くなっている。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援					
			自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供
全 体		207 100.0	24 11.6	44 21.3	21 10.1	30 14.5	5 2.4	8 3.9
高 齢 者 別	前期高齢者（65～74歳）	20 100.0	3 15.0	4 20.0	2 10.0	－ －	－ －	1 5.0
		184 100.0	21 11.4	39 21.2	19 10.3	29 15.8	4 2.2	7 3.8
	後期高齢者（75歳以上）	3 100.0	－ －	1 33.3	－ －	1 33.3	1 33.3	－ －
		その他						

		全 体	仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援					
			介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体		207 100.0	7 3.4	21 10.1	6 2.9	49 23.7	44 21.3	17 8.2
高 齢 者 別	前期高齢者(65～74歳)	20 100.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	4 20.0	5 25.0	3 15.0
		184 100.0	6 3.3	19 10.3	5 2.7	43 23.4	39 21.2	14 7.6
	後期高齢者(75歳以上)	3 100.0	－ －	－ －	－ －	2 66.7	－ －	－ －
		その他						

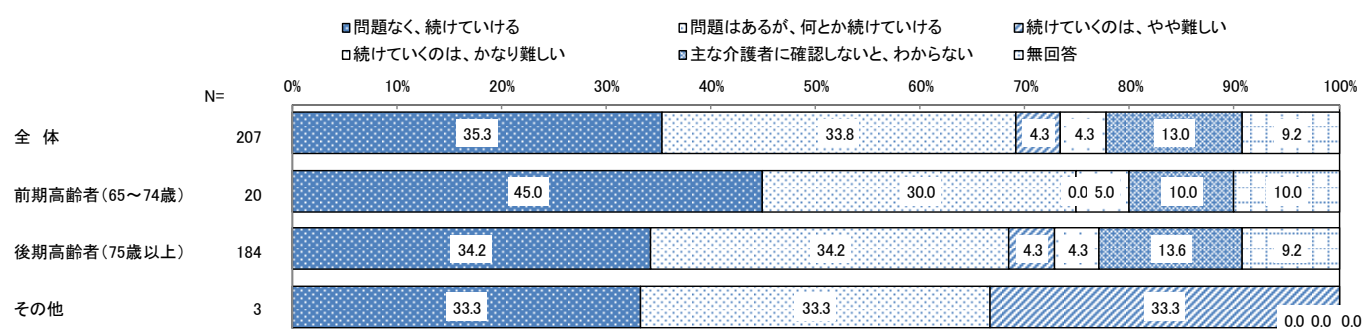
B 問4 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

今後も働きながら介護を続けていけそうかについて、「問題なく、続けていける」が35.3%と最も高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が33.8%となっている。

前回の調査では、「問題なく、続けていける」が35.8%と最も高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が28.3%となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「問題なく、続けていける」は、『前期高齢者』が45.0%と『後期高齢者』の34.2%より10ポイント以上高くなっている。

【今後も働きながら介護を続けていけそうか＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

		全 体	今後も働きながら介護を続けていけそうか					
			問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体		207 100.0	73 35.3	70 33.8	9 4.3	9 4.3	27 13.0	19 9.2
前期・後期 高齢者別	前期高齢者(65～74歳)	20 100.0	9 45.0	6 30.0	－ －	1 5.0	2 10.0	2 10.0
		184 100.0	63 34.2	63 34.2	8 4.3	8 4.3	25 13.6	17 9.2
	その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －	－ －

B票の問2との設問間クロス集計別でみると、今後の仕事について「問題なく、続けていける」を選択した回答者は、働き方の調整を「特に行っていない」が、「問題はあがあるが、何とか続けていける」を選択した回答者は、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が他と比べて高くなっている（※標本数10未満の項目は除く）。

【今後も働きながら介護を続けていけそうか＜B票・問2別＞】

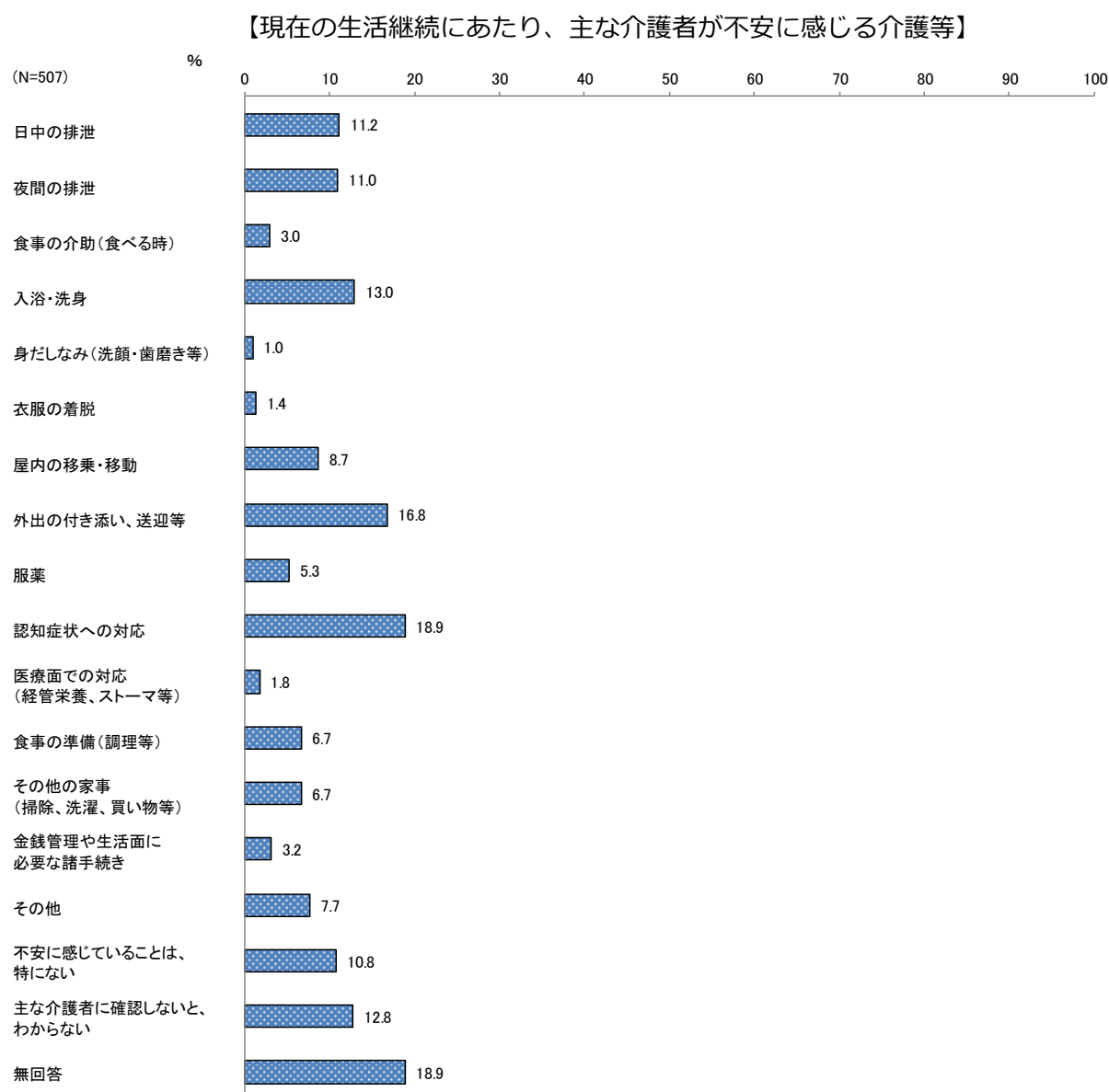
上段:実数、下段:%

		全 体	介護をするにあたって行っている働き方の調整						
			特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体		207 100.0	87 42.0	61 29.5	35 16.9	7 3.4	14 6.8	15 7.2	3 1.4
今後も働きながら介護を続けていけそうか	問題なく、続けていける	73 100.0	48 65.8	14 19.2	9 12.3	3 4.1	1 1.4	2 2.7	— —
	問題はあるが、何とか続けていける	70 100.0	12 17.1	34 48.6	13 18.6	4 5.7	13 18.6	— —	1 1.4
	続けていくのは、やや難しい	9 100.0	2 22.2	3 33.3	4 44.4	— —	— —	— —	— —
	続けていくのは、かなり難しい	9 100.0	2 22.2	6 66.7	3 33.3	— —	— —	— —	— —
	主な介護者に確認しないと、わからない	27 100.0	14 51.9	2 7.4	2 7.4	— —	— —	10 37.0	— —

B 問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が18.9%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が16.8%、「入浴・洗身」が13.0%となっている。

前回の調査では、「外出の付き添い、送迎等」が30.4%と最も高く、次いで「認知症状への対応」が23.6%、「入浴・洗身」が17.6%となっている。



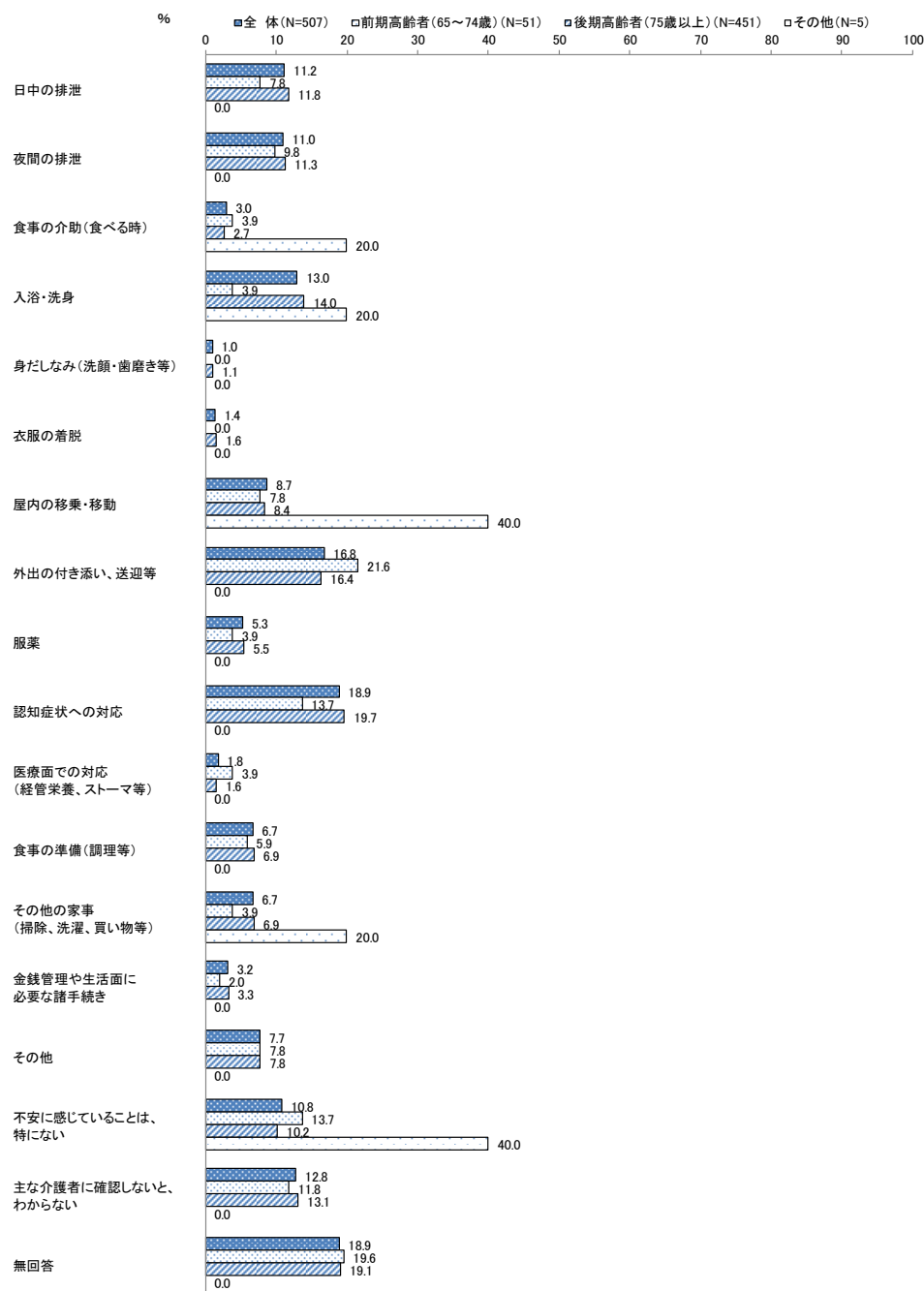
上段：件数、下段：%

全 体	現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等								
	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
507	57	56	15	66	5	7	44	85	27
100.0	11.2	11.0	3.0	13.0	1.0	1.4	8.7	16.8	5.3

全 体	現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等								
	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
507	96	9	34	34	16	39	55	65	96
100.0	18.9	1.8	6.7	6.7	3.2	7.7	10.8	12.8	18.9

前期・後期高齢者別でみると、『前期高齢者』では「外出の付き添い、送迎等」が、『後期高齢者』では「認知症状への対応」が最も高くなっている。

【現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等＜前期・後期高齢者別＞】



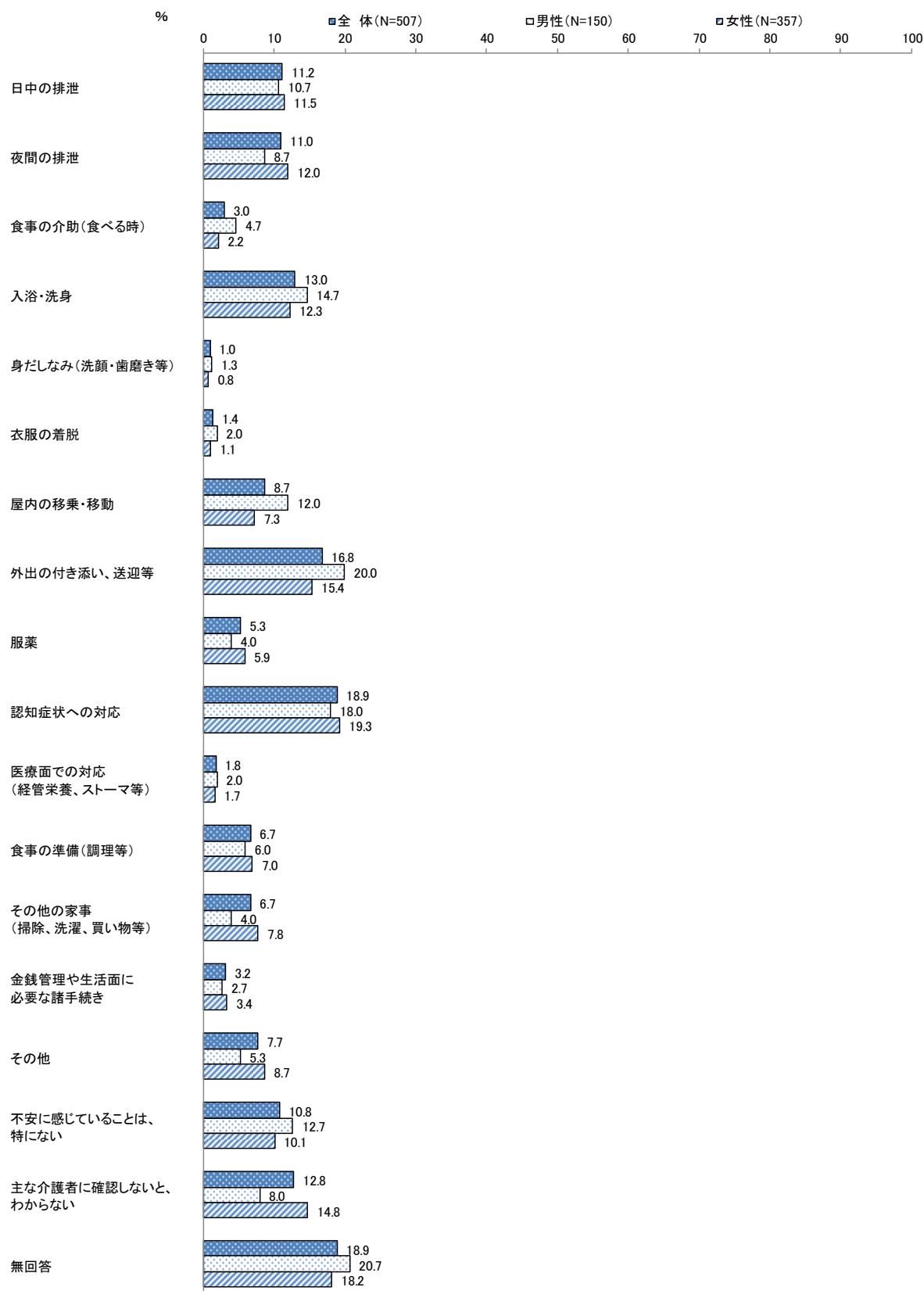
上段:実数、下段:%

		全 体	現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等								
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・ 移動	外出の付き 添い、送迎 等	服薬
全 体		507 100.0	57 11.2	56 11.0	15 3.0	66 13.0	5 1.0	7 1.4	44 8.7	85 16.8	27 5.3
前期・後期 高齢者別	前期高齢者(65～74歳)	51 100.0	4 7.8	5 9.8	2 3.9	2 3.9	－ －	－ －	4 7.8	11 21.6	2 3.9
		451 100.0	53 11.8	51 11.3	12 2.7	63 14.0	5 1.1	7 1.6	38 8.4	74 16.4	25 5.5
	その他	5 100.0	－ －	－ －	1 20.0	1 20.0	－ －	－ －	2 40.0	－ －	－ －

		全 体	現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等								
			認知症状への 対応	医療面での 対応(経管栄養、 ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や 生活面に必要な諸手 続き	その他	不安に感じ ていることは、特に ない	主な介護者 に確認しないと、 わからない	無回答
全 体		507 100.0	96 18.9	9 1.8	34 6.7	34 6.7	16 3.2	39 7.7	55 10.8	65 12.8	96 18.9
前期・後 期高齢者 別	前期高齢者(65～74歳)	51 100.0	7 13.7	2 3.9	3 5.9	2 3.9	1 2.0	4 7.8	7 13.7	6 11.8	10 19.6
		451 100.0	89 19.7	7 1.6	31 6.9	31 6.9	15 3.3	35 7.8	46 10.2	59 13.1	86 19.1
	その他	5 100.0	— —	— —	— —	1 20.0	— —	— —	2 40.0	— —	— —

男女別でみると、『男性』は「外出の付き添い、送迎等」が、『女性』は「認知症状への対応」が最も高くなっている。

【現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等＜男女別＞】



上段:実数、下段:%

		全 体	現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等								
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨 き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・ 移動	外出の付き 添い、送迎 等	服薬
全 体		507 100.0	57 11.2	56 11.0	15 3.0	66 13.0	5 1.0	7 1.4	44 8.7	85 16.8	27 5.3
男 女 別	男性	150	16	13	7	22	2	3	18	30	6
		100.0	10.7	8.7	4.7	14.7	1.3	2.0	12.0	20.0	4.0
	女性	357	41	43	8	44	3	4	26	55	21
		100.0	11.5	12.0	2.2	12.3	0.8	1.1	7.3	15.4	5.9

		全 体	現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等								
			認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にはない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体		507 100.0	96 18.9	9 1.8	34 6.7	34 6.7	16 3.2	39 7.7	55 10.8	65 12.8	96 18.9
男 女 別	男性	150 100.0	27 18.0	3 2.0	9 6.0	6 4.0	4 2.7	8 5.3	19 12.7	12 8.0	31 20.7
		女性	357 100.0	69 19.3	6 1.7	25 7.0	28 7.8	12 3.4	31 8.7	36 10.1	53 14.8

B 問6 育児と介護の同時進行（子育てを行いつつ、自分や配偶者の親などを介護すること）を「ダブルケア」といい、現役世代の方の社会での活躍をさまたげる原因の一つです。

このダブルケアについて、おたずねいたします。

（1）あなたはダブルケアをしていますか。または過去にしていたか。

（「子育て」の対象は、乳幼児から概ね中学生までのお子様としてお答えください。

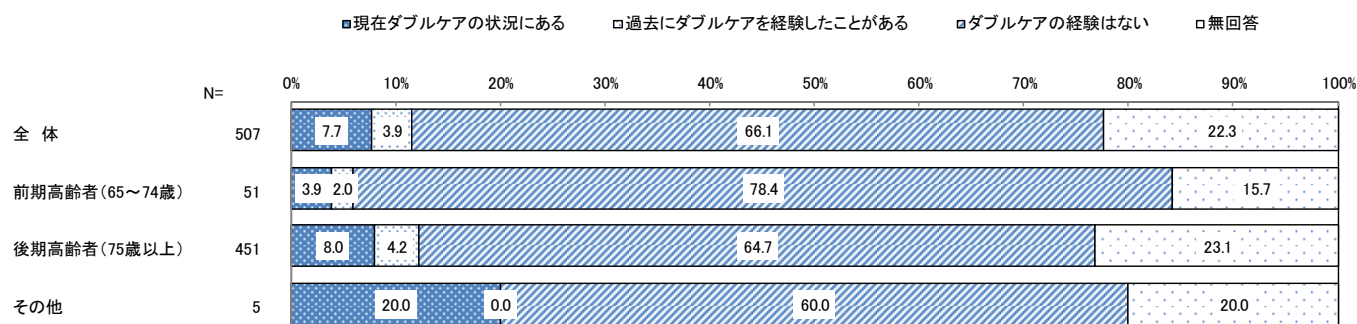
ただし、お子様が病気や障害をお持ちの場合は、高校生以上のお子様も含めます）

ダブルケアの経験について、「ダブルケアの経験はない」が66.1%で最も高く、次いで「現在ダブルケアの状況にある」が7.7%、「過去にダブルケアを経験したことがある」が3.9%となっている。

前回の調査では、「ダブルケアの経験はない」が69.6%と最も高く、そのほかの選択肢は1割未満となっている。

また、前期・後期高齢者別でみると、「ダブルケアの経験はない」は、『前期高齢者』が78.4%と『後期高齢者』の64.7%より13ポイント以上高くなっている。

【ダブルケアの経験＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数、下段：%

		全 体	ダブルケアの経験			
			現在ダブルケアの状況にある	過去にダブルケアを経験したことがある	ダブルケアの経験はない	無回答
全 体		507	39	20	335	113
		100.0	7.7	3.9	66.1	22.3
前期・後期高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	51	2	1	40	8
		100.0	3.9	2.0	78.4	15.7
	後期高齢者 (75歳以上)	451	36	19	292	104
		100.0	8.0	4.2	64.7	23.1
その他		5	1	—	3	1
		100.0	20.0	—	60.0	20.0

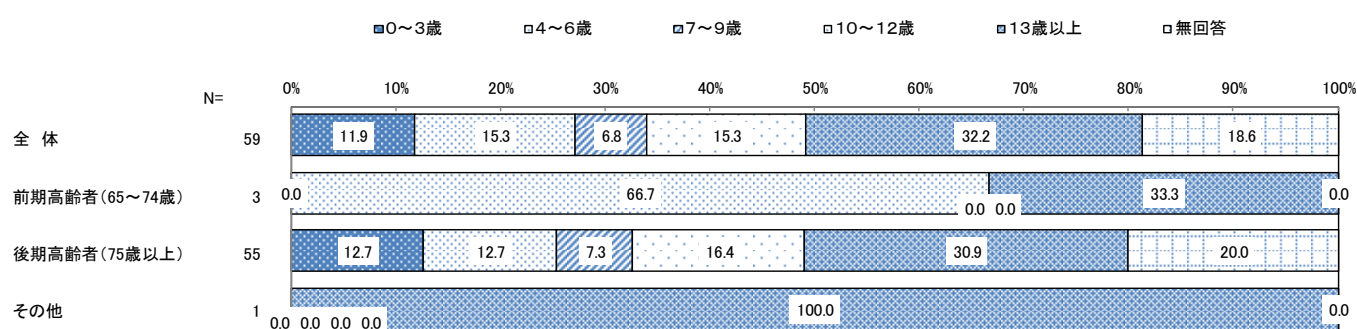
B 問 6 (2) ダブルケアを現在又は過去にご経験の方に、お子様の年齢や人数をおたずねします。
(現在でなく過去にダブルケアを経験していた方は、最も苦勞が大きかった時期のことについてお答えください)

ダブルケアを現在又は過去に経験した方が、ダブルケアで最も苦勞した時期の子どもの年齢について、「13歳以上」が32.2%、次いで「4～6歳」「10～12歳」がともに15.3%となっている。

前回の調査では、「7～9歳」が36.4%と最も高く、次いで「0～3歳」「13歳以上」がともに18.2%となっている(※ただし、前回の調査では該当者が11人と少なく、数値が偏っている可能性がある)。

また、前期・後期高齢者別でみると、ダブルケアを現在又は過去に経験したことがあるのは、『前期高齢者』では3名、『後期高齢者』では55名と該当者の数に大きな差がみられた。

【子どもの年齢＜前期・後期高齢者別＞】



上段:実数、下段: %

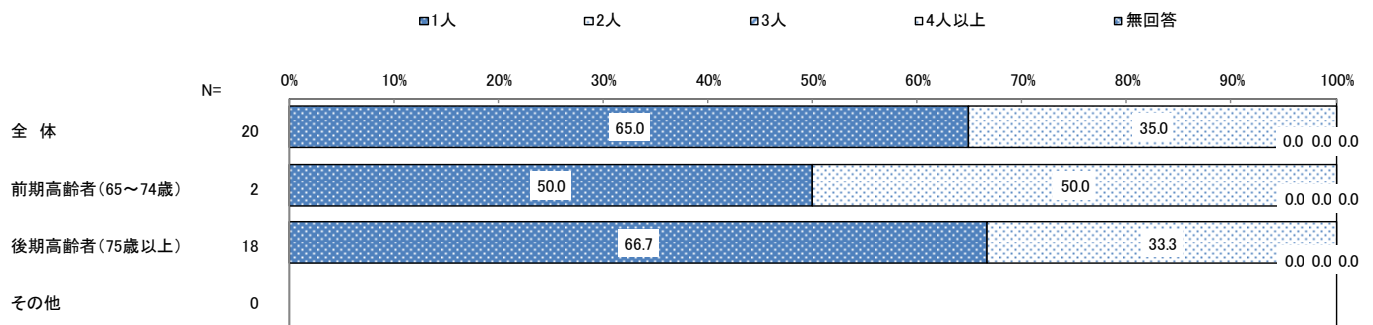
		全 体	子どもの年齢					
			0～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	13歳以上	無回答
全 体		59	7	9	4	9	19	11
		100.0	11.9	15.3	6.8	15.3	32.2	18.6
前期・後期 高齢者別	前期高齢者 (65～74歳)	3	—	2	—	—	1	—
		100.0	—	66.7	—	—	33.3	—
	後期高齢者 (75歳以上)	55	7	7	4	9	17	11
		100.0	12.7	12.7	7.3	16.4	30.9	20.0
その他		1	—	—	—	—	1	—
		100.0	—	—	—	—	100.0	—

小学校3年生以下の子どもの人数について、「1人」が65.0%で最も高く、次いで「2人」が35.0%となっている。

前回の調査では、「1人」が85.7%と最も高く、次いで「3人」が14.3%となっている（※ただし、前回の調査では該当者が7人と少なく、数値が偏っている可能性がある）。

また、前期・後期高齢者別でみると、小学校3年生以下の子どもがいるのは、『前期高齢者』では2名、『後期高齢者』では18名と該当者の数に大きな差がみられた。

【小学校3年生以下の子どもの人数＜前期・後期高齢者別＞】



上段：実数 下段：%

3 介護保険事業所向けアンケート調査

【設問の意図】

介護サービス事業所の現状や課題及びサービス提供にかかる意向等を問い、課題やニーズ等を把握し、サービス整備の検討の際に活用するものである。

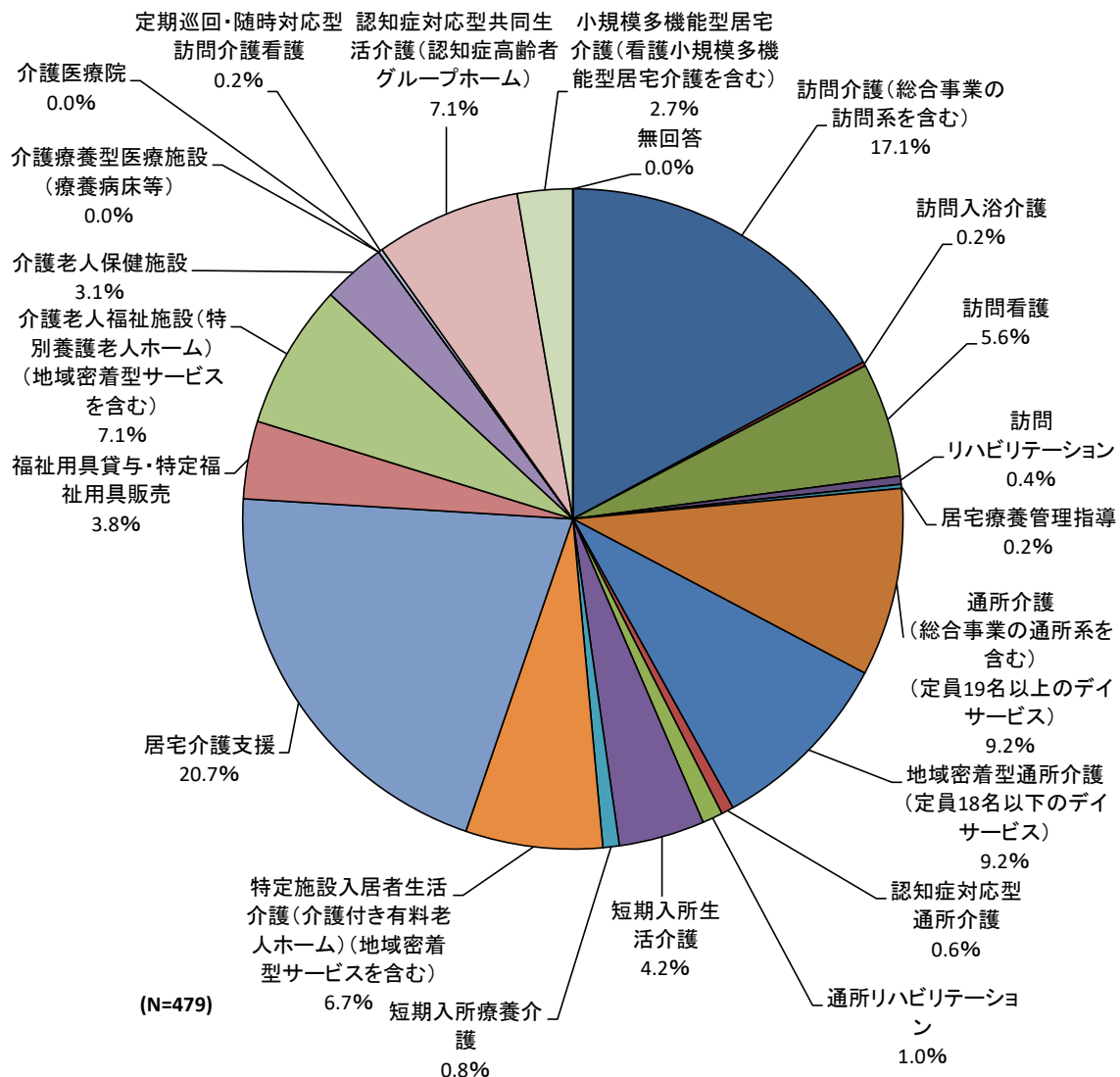
(1) 回答者の概要

基本項目3 サービス種別

3 貴事業所で令和元年12月の1か月間に提供実績のあるサービスを1つお答えください。

サービス種別について、「居宅介護支援」が20.7%と最も高く、次いで「訪問介護（総合事業の訪問系を含む）」が17.1%となっている。

【サービス種別】



介護保険事業所向けアンケート調査

上段：実数、下段：%

全 体	サービス種別									
	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（総合事業の通所系を含む）（定員19名以上のデイサービス）	地域密着型通所介護（定員18名以下のデイサービス）	認知症対応型通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護
479	82	1	27	2	1	44	44	3	5	20
100.0	17.1	0.2	5.6	0.4	0.2	9.2	9.2	0.6	1.0	4.2

全 体	サービス種別									
	短期入所療養介護	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	居宅介護支援	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	介護老人保健施設	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	無回答
479	4	32	99	18	34	15	1	34	13	-
100.0	0.8	6.7	20.7	3.8	7.1	3.1	0.2	7.1	2.7	-

行政区別でみると、中央区、稲毛区、若葉区は「居宅介護支援」が、花見川区は「訪問介護（総合事業の訪問系を含む）」が単独で最も高くなっている。また、緑区は「訪問介護（総合事業の訪問系を含む）」と「居宅介護支援」が、美浜区は「訪問介護（総合事業の訪問系を含む）」と「通所介護（総合事業の通所系を含む）（定員 19 名以上のデイサービス）」が同率で最も高くなっている。

【サービス種別＜行政区別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	サービス種別										
			訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	地域密着型通所介護（定員18名以下のデイサービス）	認知症対応型通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護
全 体		479 100.0	82 17.1	1 0.2	27 5.6	2 0.4	1 0.2	44 9.2	44 9.2	3 0.6	5 1.0	20 4.2	4 0.8
行政区別	中央区	156 100.0	22 14.1	1 0.6	27 17.3	2 1.3	1 0.6	6 3.8	11 7.1	－	5 3.2	2 1.3	3 1.9
	花見川区	77 100.0	20 26.0	－	－	－	－	9 11.7	8 10.4	1 1.3	－	1 1.3	－
	稲毛区	51 100.0	6 11.8	－	－	－	－	4 7.8	7 13.7	1 2.0	－	2 3.9	－
	若葉区	110 100.0	16 14.5	－	－	－	－	16 14.5	12 10.9	－	－	9 8.2	1 0.9
	緑区	55 100.0	13 23.6	－	－	－	－	4 7.3	4 7.3	－	－	4 7.3	－
	美浜区	27 100.0	5 18.5	－	－	－	－	5 18.5	2 7.4	1 3.7	－	2 7.4	－
	不明	3 100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

		全 体	サービス種別										
			特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	居宅介護支援	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(療養病床等)	介護医療院	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護を含む)	無回答
全 体		479 100.0	32 6.7	99 20.7	18 3.8	34 7.1	15 3.1	— —	— —	1 0.2	34 7.1	13 2.7	— —
行政区別	中央区	156 100.0	9 5.8	33 21.2	6 3.8	4 2.6	15 9.6	— —	— —	— —	6 3.8	3 1.9	— —
	花見川区	77 100.0	6 7.8	13 16.9	2 2.6	6 7.8	— —	— —	— —	— —	8 10.4	3 3.9	— —
	稲毛区	51 100.0	5 9.8	13 25.5	5 9.8	5 9.8	— —	— —	— —	— —	2 3.9	1 2.0	— —
	若葉区	110 100.0	4 3.6	23 20.9	3 2.7	15 13.6	— —	— —	— —	— —	10 9.1	1 0.9	— —
	緑区	55 100.0	4 7.3	13 23.6	2 3.6	2 3.6	— —	— —	— —	— —	6 10.9	3 5.5	— —
	美浜区	27 100.0	2 7.4	3 11.1	— —	2 7.4	— —	— —	— —	1 3.7	2 7.4	2 7.4	— —
	不明	3 100.0	2 66.7	1 33.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

(2) 回答結果

基本項目4 従業員の状況

4 貴事業所における（令和2年1月1日現在の）従業員の状況を職種別にお答えください。

※人数は、常勤換算によるおおよその人数を入力してください。

※該当がない場合は全て0人と入力してください。

※各職種に該当するサービス種別についてのみ掲載。よって全体数と一致しない。

従業員のうち、訪問介護員の状況について、『訪問介護（総合事業の訪問系を含む）』においては、「従業員数」と「理想とする従業員数」の平均の差が-3.22人であり、現状は理想を下回っている。

また、「1年間の採用者数」と「1年間の離職者数」の平均の差については、大きな差はみられなかった。

【従業員の状況/（1）訪問介護員＜サービス種別＞】

(1) 訪問介護員		従業員数(A)		理想とする従業員数(B)		A-B	1年間の採用者数(C)		1年間の離職者数(D)		C-D
		回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	現状と理想とする従業員数の平均の差	回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	採用者数と離職者数の平均の差
		上段:実数、下段:%		上段:実数、下段:%			上段:実数、下段:%		上段:実数、下段:%		
全 体		356 100.0	3.84	329 100.0	5.00	-1.16	324 100.0	0.63	324 100.0	0.59	0.04
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	81 22.8	10.88	79 24.0	14.10	-3.22	79 24.4	1.71	79 24.4	1.46	0.25
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 0.3	16.00	1 0.3	17.00	-1.00	1 0.3	3.00	1 0.3	2.00	1.00

従業員のうち、サービス提供責任者の状況について、『訪問介護（総合事業の訪問系を含む）』においては、「従業員数」と「理想とする従業員数」の平均の差は-0.44人であり、現状は理想を下回っている。

また、「1年間の採用者数」と「1年間の離職者数」の平均の差については大きな差はみられなかった。

【従業員の状況/（2）サービス提供責任者＜サービス種別＞】

(2) サービス提供責任者		従業員数(A)		理想とする従業員数(B)		A-B	1年間の採用者数(C)		1年間の離職者数(D)		C-D
		回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	現状と理想とする従業員数の平均の差	回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	採用者数と離職者数の平均の差
		上段:実数、下段:%		上段:実数、下段:%			上段:実数、下段:%		上段:実数、下段:%		
全 体		356 100.0	0.80	328 100.0	1.15	-0.35	323 100.0	0.11	323 100.0	0.07	0.04
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	81 22.8	2.49	80 24.4	2.93	-0.44	77 23.8	0.40	78 24.1	0.22	0.18

従業員のうち、介護職員について、10 事業所以上の回答があったサービス種別でみると「従業員数」と「理想とする従業員数」の平均の差を比較すると『訪問入浴介護』が 9.00 人と理想を上回ったが、そのほかのほぼすべてのサービスにおいて現状は理想を下回っている。

また、「1 年間の採用者数」と「1 年間の離職者数」の平均の差を比較すると『短期入所療養介護』が -1.00 人であり、離職者数が採用者数を上回っている。

【従業員の状況/（3）介護職員＜サービス種別＞】

上段：実数、下段：%

(3) 介護職員		従業員数(A)		理想とする従業員数(B)		A-B	1 年間の採用者数(C)		1 年間の離職者数(D)		C-D
		回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	現状と理想とする従業員数の平均の差	回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	採用者数と離職者数の平均の差
全 体		401 100.0	10.71	387 100.0	12.30	-1.59	390 100.0	2.21	389 100.0	1.84	0.37
サ ー ビ ス 種 別	訪問入浴介護	1 0.2	21.00	1 0.3	12.00	9.00	1 0.3	2.00	1 0.3	1.00	1.00
	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	43 10.7	8.67	43 11.1	9.79	-1.12	42 10.8	1.98	42 10.8	1.52	0.46
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	44 11.0	4.50	43 11.1	5.35	-0.85	44 11.3	0.89	43 11.1	0.74	0.15
	認知症対応型通所介護	3 0.7	4.33	2 0.5	4.50	-0.17	2 0.5	2.00	2 0.5	1.00	1.00
	通所リハビリテーション	5 1.2	9.20	5 1.3	8.60	0.60	5 1.3	1.20	5 1.3	0.60	0.60
	短期入所生活介護	19 4.7	16.42	18 4.7	17.72	-1.30	19 4.9	2.16	19 4.9	1.84	0.32
	短期入所療養介護	4 1.0	27.00	4 1.0	28.00	-1.00	4 1.0	4.25	4 1.0	5.25	-1.00
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	31 7.7	19.35	31 8.0	21.84	-2.49	31 7.9	4.90	31 8.0	4.00	0.90
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	13 3.2	0.62	13 3.4	0.69	-0.07	13 3.3	0.00	13 3.3	0.00	0.00
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) (地域密着型サービスを含む)	34 8.5	27.50	33 8.5	32.39	-4.89	34 8.7	4.50	34 8.7	3.50	1.00
	介護老人保健施設	15 3.7	36.53	15 3.9	38.27	-1.74	15 3.8	5.00	15 3.9	5.33	-0.33
	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	34 8.5	16.03	33 8.5	17.94	-1.91	34 8.7	4.56	34 8.7	2.74	1.82
	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護を含む)	13 3.2	14.38	13 3.4	16.54	-2.16	13 3.3	4.46	13 3.3	2.46	2.00

従業員のうち、看護職員の状況について、10 事業所以上の回答があったサービス種別でみると「従業員数」と「理想とする従業員数」の平均の差を比較すると『訪問看護』が-1.83 人と最も高く、次いで『介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）』が-0.88 人であり、ほぼすべてのサービスにおいて現状は理想を下回っている。

また、「1 年間の採用者数」と「1 年間の離職者数」の平均の差を比較すると『短期入所生活介護』が-0.22 人とマイナスが最も大きく、離職者数が採用者数を上回っている。

【従業員の状況/（４）看護職員＜サービス種別＞】

上段：実数、下段：%

(4) 看護職員		従業員数(A)		理想とする従業員数(B)		A-B	1 年間の採用者数(C)		1 年間の離職者数(D)		C-D
		回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	現状と理想とする従業員数の平均の差	回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	採用者数と離職者数の平均の差
全 体		393 100.0	2.34	379 100.0	2.78	-0.44	378 100.0	0.58	377 100.0	0.44	0.14
サ ー ビ ス 種 別	訪問入浴介護	1 0.3	10.00	1 0.3	12.00	-2.00	1 0.3	3.00	1 0.3	1.00	2.00
	訪問看護	27 6.9	5.67	26 6.9	7.50	-1.83	26 6.9	1.69	27 7.2	0.78	0.91
	居宅療養管理指導	1 0.3	0.00	1 0.3	0.00	0.00	1 0.3	0.00	1 0.3	0.00	0.00
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	43 10.9	2.19	43 11.3	2.49	-0.30	42 11.1	0.43	42 11.1	0.29	0.14
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	42 10.7	0.86	42 11.1	1.07	-0.21	42 11.1	0.14	42 11.1	0.10	0.04
	認知症対応型通所介護	1 0.3	0.00	1 0.3	0.00	0.00	1 0.3	0.00	1 0.3	0.00	0.00
	通所リハビリテーション	5 1.3	1.80	5 1.3	1.80	0.00	5 1.3	0.80	5 1.3	0.80	0.00
	短期入所生活介護	19 4.8	2.47	18 4.7	2.78	-0.31	18 4.8	0.28	18 4.8	0.50	-0.22
	短期入所療養介護	4 1.0	8.25	4 1.1	8.75	-0.50	3 0.8	3.33	3 0.8	2.33	1.00
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 8.1	5.22	32 8.4	5.75	-0.53	32 8.5	1.75	32 8.5	1.53	0.22
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	33 8.4	4.15	31 8.2	5.03	-0.88	33 8.7	1.12	32 8.5	0.91	0.21
	介護老人保健施設	15 3.8	10.07	15 4.0	10.87	-0.80	14 3.7	1.79	14 3.7	1.79	0.00
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 0.3	0.00	1 0.3	0.00	0.00	1 0.3	0.00	1 0.3	0.00	0.00
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	29 7.4	0.31	25 6.6	0.60	-0.29	25 6.6	0.04	25 6.6	0.00	0.04
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 3.3	2.85	13 3.4	3.31	-0.46	13 3.4	0.69	12 3.2	0.33	0.36

従業員のうち、生活相談員の状況について、10 事業所以上の回答があったサービス種別でみると「従業員数」と「理想とする従業員数」の平均の差を比較すると、大きな差はみられなかった。

また、「1 年間の採用者数」と「1 年間の離職者数」の平均の差についても大きな差はみられなかった。

【従業員の状況/（5）生活相談員＜サービス種別＞】

(5)生活相談員		従業員数(A)		理想とする従業員数(B)		A-B	1 年間の採用者数(C)		1 年間の離職者数(D)		C-D
		回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	現状と理想とする従業員数の平均の差	回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	採用者数と離職者数の平均の差
全 体		377 100.0	0.85	357 100.0	1.00	-0.15	357 100.0	0.12	355 100.0	0.10	0.02
サービス種別	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	43 11.4	1.93	43 12.0	2.21	-0.28	42 11.8	0.36	41 11.5	0.27	0.09
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	44 11.7	1.68	43 12.0	1.93	-0.25	43 12.0	0.19	43 12.1	0.16	0.03
	認知症対応型通所介護	3 0.8	1.00	2 0.6	1.00	0.00	2 0.6	0.00	2 0.6	0.00	0.00
	短期入所生活介護	19 5.0	1.32	18 5.0	1.56	-0.24	18 5.0	0.06	18 5.1	0.06	0.00
	短期入所療養介護	4 1.1	2.00	4 1.1	2.25	-0.25	4 1.1	0.00	4 1.1	0.25	-0.25
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	32 8.5	1.06	32 9.0	1.22	-0.16	32 9.0	0.31	31 8.7	0.19	0.12
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	34 9.0	1.44	32 9.0	1.63	-0.19	34 9.5	0.21	33 9.3	0.18	0.03
	介護老人保健施設	14 3.7	1.93	14 3.9	2.21	-0.28	13 3.6	0.15	13 3.7	0.23	-0.08

従業員のうち、P T（理学療法士）、O T（作業療法士）、S T（言語聴覚士）の状況について、10 事業所以上の回答があったサービス種別でみると「従業員数」と「理想とする従業員数」の平均の差を比較すると『訪問看護』が-2.66 人と最も高くなっており、ほぼすべてのサービスにおいて現状は理想を下回っている。

また、「1 年間の採用者数」と「1 年間の離職者数」の平均の差については、マイナスはなかった。

【従業員の状況/（6）P T（理学療法士）、O T（作業療法士）、S T（言語聴覚士）＜サービス種別＞】

(6)PT(理学療法士)、 OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)		従業員数(A)		理想とする従業員数(B)		A-B	1 年間の採用者数(C)		1 年間の離職者数(D)		C-D
		回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	現状と理想とする従業員数の平均の差	回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	採用者数と離職者数の平均の差
全 体		379 100.0	0.77	363 100.0	1.09	-0.32	360 100.0	0.18	359 100.0	0.08	0.10
サービス種別	訪問看護	24 6.3	3.38	23 6.3	6.04	-2.66	22 6.1	1.18	22 6.1	0.32	0.86
	訪問リハビリテーション	2 0.5	4.50	2 0.6	5.00	-0.50	2 0.6	0.50	2 0.6	0.50	0.00
	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	43 11.3	0.53	42 11.6	0.86	-0.33	41 11.4	0.15	41 11.4	0.12	0.03
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	38 10.0	0.29	38 10.5	0.42	-0.13	38 10.6	0.03	37 10.3	0.00	0.03
	認知症対応型通所介護	3 0.8	0.67	2 0.6	0.50	0.17	2 0.6	0.00	2 0.6	0.00	0.00
	通所リハビリテーション	5 1.3	4.20	5 1.4	4.20	0.00	5 1.4	1.40	5 1.4	1.00	0.40
	短期入所生活介護	18 4.7	0.33	17 4.7	0.59	-0.26	17 4.7	0.00	17 4.7	0.00	0.00
	短期入所療養介護	3 0.8	2.67	3 0.8	3.00	-0.33	3 0.8	0.33	3 0.8	0.00	0.33
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	31 8.2	0.55	31 8.5	0.81	-0.26	30 8.3	0.13	31 8.6	0.06	0.07
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	32 8.4	0.44	30 8.3	0.57	-0.13	30 8.3	0.03	30 8.4	0.03	0.00
	介護老人保健施設	15 4.0	5.73	15 4.1	6.20	-0.47	14 3.9	0.64	14 3.9	0.57	0.07
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 0.3	0.00	1 0.3	0.00	0.00	1 0.3	0.00	1 0.3	0.00	0.00

従業員のうち、介護支援専門員の状況について、10 事業所以上の回答があったサービス種別でみると「従業員数」と「理想とする従業員数」の平均の差を比較すると『小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）』が-1.00 人と最も高く、次いで『居宅介護支援』が-0.73 人であり、ほぼすべてのサービスにおいて現状は理想を下回っている。

また、「1 年間の採用者数」と「1 年間の離職者数」の平均の差を比較すると大きな差はみられなかった。

【従業員の状況/（7）介護支援専門員＜サービス種別＞】

上段：実数、下段：%

(7) 介護支援専門員		従業員数(A)		理想とする従業員数(B)		A-B	1 年間の採用者数(C)		1 年間の離職者数(D)		C-D
		回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	現状と理想とする従業員数の平均の差	回答事業所数	回答人数の平均	回答事業所数	回答人数の平均	採用者数と離職者数の平均の差
全 体		407	1.15	393	1.41	-0.26	389	0.16	386	0.13	0.03
		100.0		100.0			100.0		100.0		
サービス種別	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	37	0.27	34	0.50	-0.23	32	0.06	32	0.09	-0.03
		9.1		8.7			8.2		8.3		
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	32	0.13	31	0.10	0.03	30	0.07	30	0.00	0.07
		7.9		7.9			7.7		7.8		
	認知症対応型通所介護	2	1.00	1	0.00	1.00	1	0.00	1	0.00	0.00
		0.5		0.3			0.3		0.3		
	短期入所生活介護	17	0.24	17	0.24	0.00	16	0.00	16	0.00	0.00
		4.2		4.3			4.1		4.1		
	短期入所療養介護	4	1.25	4	1.50	-0.25	4	0.50	4	0.50	0.00
		1.0		1.0			1.0		1.0		
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	32	1.28	32	1.34	-0.06	32	0.31	32	0.25	0.06
		7.9		8.1			8.2		8.3		
	居宅介護支援	99	2.67	98	3.40	-0.73	98	0.34	95	0.21	0.13
		24.3		24.9			25.2		24.6		
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) (地域密着型サービスを含む)	33	0.91	31	0.94	-0.03	32	0.03	32	0.06	-0.03
		8.1		7.9			8.2		8.3		
	介護老人保健施設	15	2.27	15	1.87	0.40	14	0.29	14	0.57	-0.28
		3.7		3.8			3.6		3.6		
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0.00	1	0.00	0.00	1	0.00	1	0.00	0.00
		0.2		0.3			0.3		0.3		
	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	32	1.09	31	1.10	-0.01	30	0.13	30	0.10	0.03
		7.9		7.9			7.7		7.8		
	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護を含む)	13	1.31	13	2.31	-1.00	13	0.31	13	0.08	0.23
		3.2		3.3			3.3		3.4		

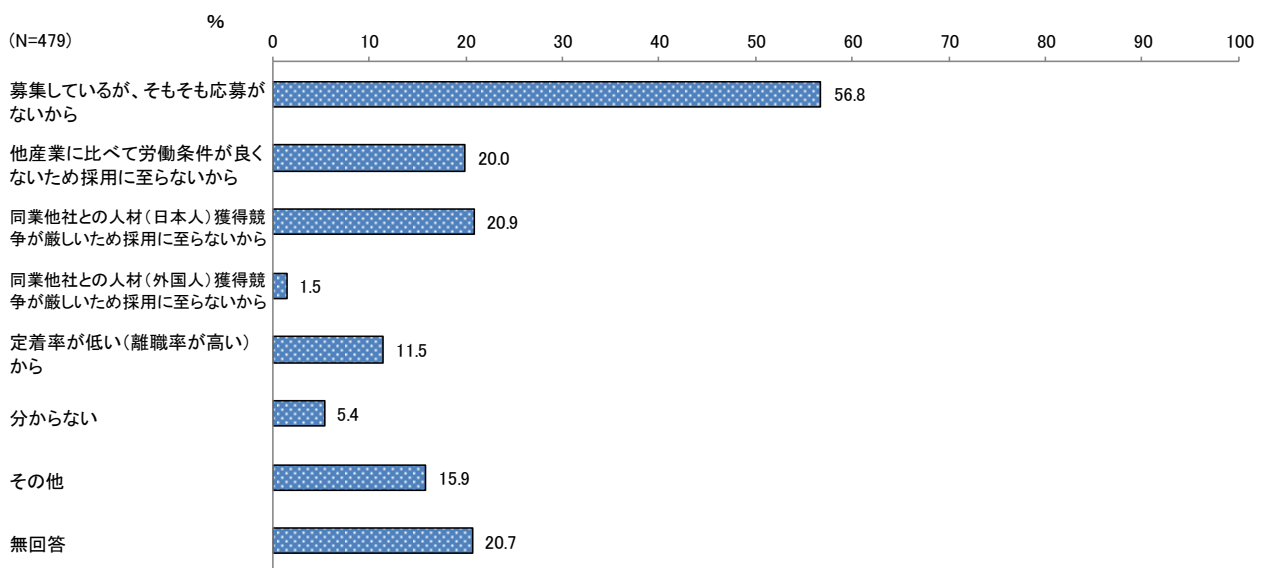
基本項目 5 現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある理由

5 【4において、現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある事業者】

その理由をお答えください。（複数回答可）

現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある理由について、「募集しているが、そもそも応募がないから」が 56.8%と最も高く、次いで「同業他社との人材（日本人）獲得競争が厳しいため採用に至らないから」が 20.9%、「他産業に比べて労働条件が良くないため採用に至らないから」が 20.0%となっている。

【現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある理由】



【現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある理由＜サービス種別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある理由							
			募集しているが、そもそも応募がないから	他産業に比べて労働条件が良くないため採用に至らないから	同業他社との人材(日本人)獲得競争が厳しいため採用に至らないから	同業他社との人材(外国人)獲得競争が厳しいため採用に至らないから	定着率が低い(離職率が高い)から	分らない	その他	無回答
全 体		479 100.0	272 56.8	96 20.0	100 20.9	7 1.5	55 11.5	26 5.4	76 15.9	99 20.7
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	59 72.0	12 14.6	17 20.7	— —	9 11.0	4 4.9	10 12.2	12 14.6
	訪問入浴介護	1 100.0	1 100.0	— —	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	11 40.7	4 14.8	3 11.1	— —	1 3.7	2 7.4	6 22.2	6 22.2
	訪問リハビリテーション	2 100.0	2 100.0	— —	— —	— —	1 50.0	1 50.0	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 100.0	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	25 56.8	8 18.2	7 15.9	1 2.3	7 15.9	1 2.3	8 18.2	10 22.7
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	27 61.4	11 25.0	9 20.5	— —	8 18.2	1 2.3	4 9.1	12 27.3
	認知症対応型通所介護	3 100.0	1 33.3	1 33.3	— —	— —	— —	— —	1 33.3	2 66.7
	通所リハビリテーション	5 100.0	3 60.0	1 20.0	— —	— —	— —	— —	— —	2 40.0
	短期入所生活介護	20 100.0	12 60.0	8 40.0	10 50.0	— —	1 5.0	1 5.0	1 5.0	5 25.0
	短期入所療養介護	4 100.0	2 50.0	1 25.0	— —	— —	— —	— —	1 25.0	1 25.0
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	24 75.0	7 21.9	12 37.5	2 6.3	5 15.6	2 6.3	4 12.5	2 6.3
	居宅介護支援	99 100.0	35 35.4	10 10.1	6 6.1	— —	2 2.0	6 6.1	28 28.3	29 29.3
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	3 16.7	4 22.2	— —	1 5.6	4 22.2	3 16.7	2 11.1	6 33.3
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	27 79.4	10 29.4	21 61.8	1 2.9	4 11.8	1 2.9	2 5.9	4 11.8
	介護老人保健施設	15 100.0	10 66.7	2 13.3	3 20.0	— —	3 20.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	20 58.8	12 35.3	8 23.5	1 2.9	7 20.6	1 2.9	5 14.7	6 17.6
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	9 69.2	4 30.8	2 15.4	— —	2 15.4	1 7.7	2 15.4	— —

行政区別でみると、すべての行政区で「募集しているが、そもそも応募がないから」が最も高くなっており、いずれも半数を上回っている。

【現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある理由＜行政区別＞】

上段:実数、下段:%

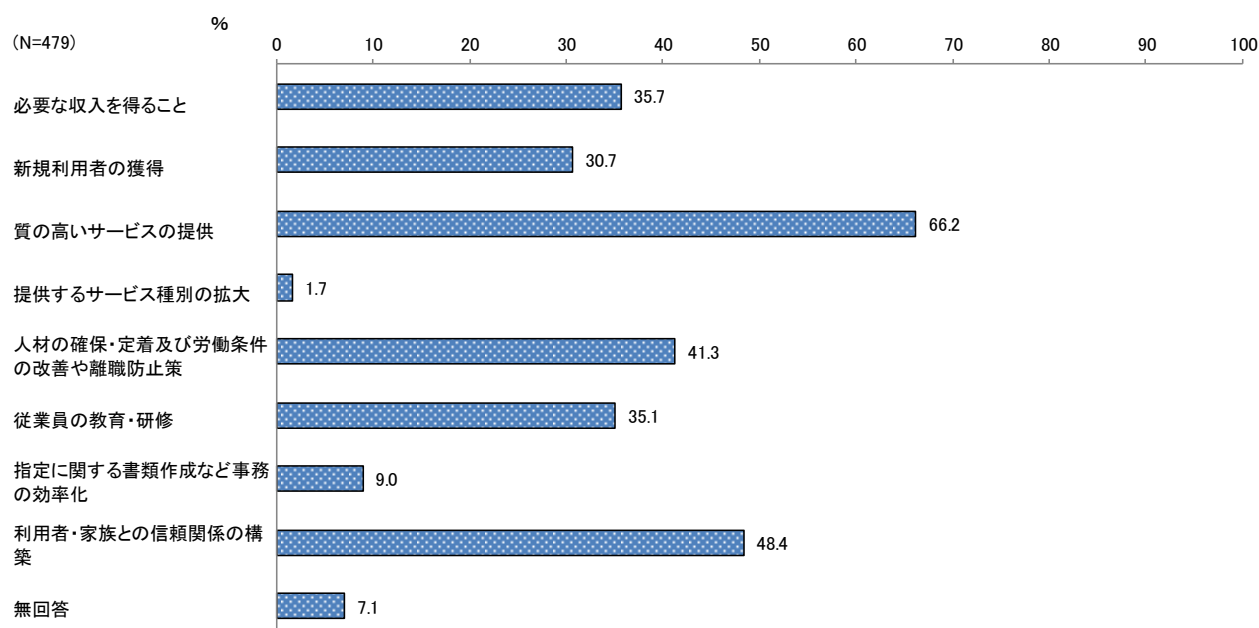
		全 体	現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある理由							
			募集している が、そもそも 応募がない から	他産業に比 べて労働条 件が良くない ため採用に 至らないから	同業他社と の人材（日本 人）獲得競争 が厳しいため 採用に至ら ないから	同業他社と の人材（外国 人）獲得競争 が厳しいため 採用に至ら ないから	定着率が低い （離職率が高 い）から	分からない	その他	無回答
全 体		479 100.0	272 56.8	96 20.0	100 20.9	7 1.5	55 11.5	26 5.4	76 15.9	99 20.7
行政 区 別	中央区	156 100.0	88 56.4	32 20.5	21 13.5	3 1.9	15 9.6	12 7.7	25 16.0	28 17.9
	花見川区	77 100.0	49 63.6	19 24.7	22 28.6	－ －	10 13.0	6 7.8	6 7.8	17 22.1
	稲毛区	51 100.0	32 62.7	10 19.6	8 15.7	1 2.0	7 13.7	2 3.9	6 11.8	9 17.6
	若葉区	110 100.0	57 51.8	15 13.6	27 24.5	－ －	7 6.4	2 1.8	26 23.6	26 23.6
	緑区	55 100.0	28 50.9	14 25.5	12 21.8	－ －	12 21.8	4 7.3	4 7.3	12 21.8
	美浜区	27 100.0	16 59.3	5 18.5	9 33.3	3 11.1	3 11.1	－ －	8 29.6	6 22.2
	不明	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	－ －	1 33.3	－ －	1 33.3	1 33.3

質問 1 介護事業を運営する上で、重視して取り組んでいること

質問 1 貴事業所において、介護事業を運営する上で、重視して取り組んでいることを3つまでお答えください。

介護事業を運営する上で、重視して取り組んでいることについて、「質の高いサービスの提供」が66.2%と最も高く、次いで「利用者・家族との信頼関係の構築」が48.4%、「人材の確保・定着及び労働条件の改善や離職防止策」が41.3%となっている。

【介護事業を運営する上で、重視して取り組んでいること】



【介護事業を運営する上で、重視して取り組んでいること＜サービス種別＞】

上段：実数、下段：%

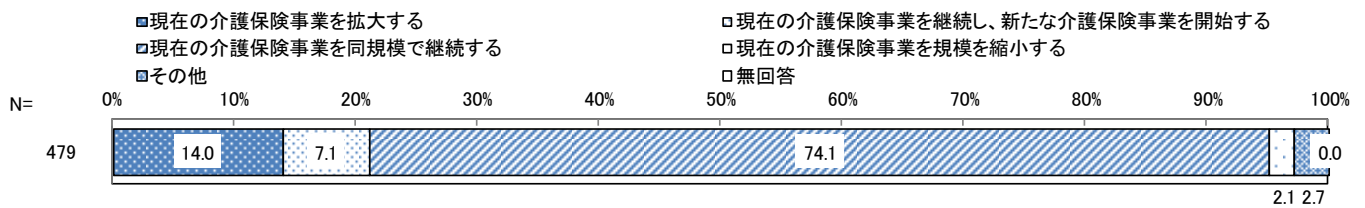
		介護事業を運営する上で、重視して取り組んでいること									
		全 体	必要な収入 を得ること	新規利用者の 獲得	質の高い サービスの 提供	提供する サービス種 別の拡大	人材の確保・ 定着及び労働 条件の改善や 離職防止策	従業員の教育・ 研修	指定に関する 書類作成など 事務の効率化	利用者・家族 との信頼関係 の構築	無回答
全 体		479 100.0	171 35.7	147 30.7	317 66.2	8 1.7	198 41.3	168 35.1	43 9.0	232 48.4	34 7.1
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	32 39.0	23 28.0	54 65.9	— —	41 50.0	33 40.2	10 12.2	29 35.4	4 4.9
	訪問入浴介護	1 100.0	— —	— —	— —	— —	1 100.0	1 100.0	1 100.0	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	11 40.7	11 40.7	22 81.5	— —	7 25.9	10 37.0	1 3.7	13 48.1	1 3.7
	訪問リハビリテーション	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	2 100.0	— —	— —	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —	— —	— —	1 100.0	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	13 29.5	15 34.1	34 77.3	— —	14 31.8	19 43.2	3 6.8	21 47.7	4 9.1
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	10 22.7	20 45.5	31 70.5	3 6.8	16 36.4	8 18.2	4 9.1	23 52.3	3 6.8
	認知症対応型通所介護	3 100.0	1 33.3	— —	3 100.0	— —	2 66.7	1 33.3	— —	2 66.7	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	— —	2 40.0	3 60.0	— —	3 60.0	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	8 40.0	5 25.0	11 55.0	— —	11 55.0	5 25.0	— —	7 35.0	4 20.0
	短期入所療養介護	4 100.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	— —	2 50.0	1 25.0	— —	3 75.0	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	8 25.0	10 31.3	21 65.6	— —	20 62.5	11 34.4	1 3.1	16 50.0	3 9.4
	居宅介護支援	99 100.0	42 42.4	31 31.3	62 62.6	3 3.0	20 20.2	30 30.3	15 15.2	59 59.6	6 6.1
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	6 33.3	7 38.9	13 72.2	1 5.6	4 22.2	6 33.3	6 33.3	7 38.9	1 5.6
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	16 47.1	6 17.6	14 41.2	— —	24 70.6	9 26.5	— —	18 52.9	4 11.8
	介護老人保健施設	15 100.0	9 60.0	7 46.7	8 53.3	1 6.7	10 66.7	5 33.3	— —	5 33.3	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	6 17.6	4 11.8	25 73.5	— —	15 44.1	18 52.9	— —	18 52.9	4 11.8
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	2 15.4	3 23.1	10 76.9	— —	7 53.8	8 61.5	2 15.4	7 53.8	— —

質問 2 今後 3 年間の経営方針

質問 2 貴事業所の今後 3 年間の経営方針について、あてはまるものを 1 つお答えください。

今後 3 年間の経営方針について、「現在の介護保険事業を同規模で継続する」が 74.1%と最も高く、次いで「現在の介護保険事業を拡大する」が 14.0%、「現在の介護保険事業を継続し、新たな介護保険事業を開始する」が 7.1%となっている。

【今後 3 年間の経営方針】



【今後3年間の経営方針＜サービス種別＞】

上段：実数、下段：%

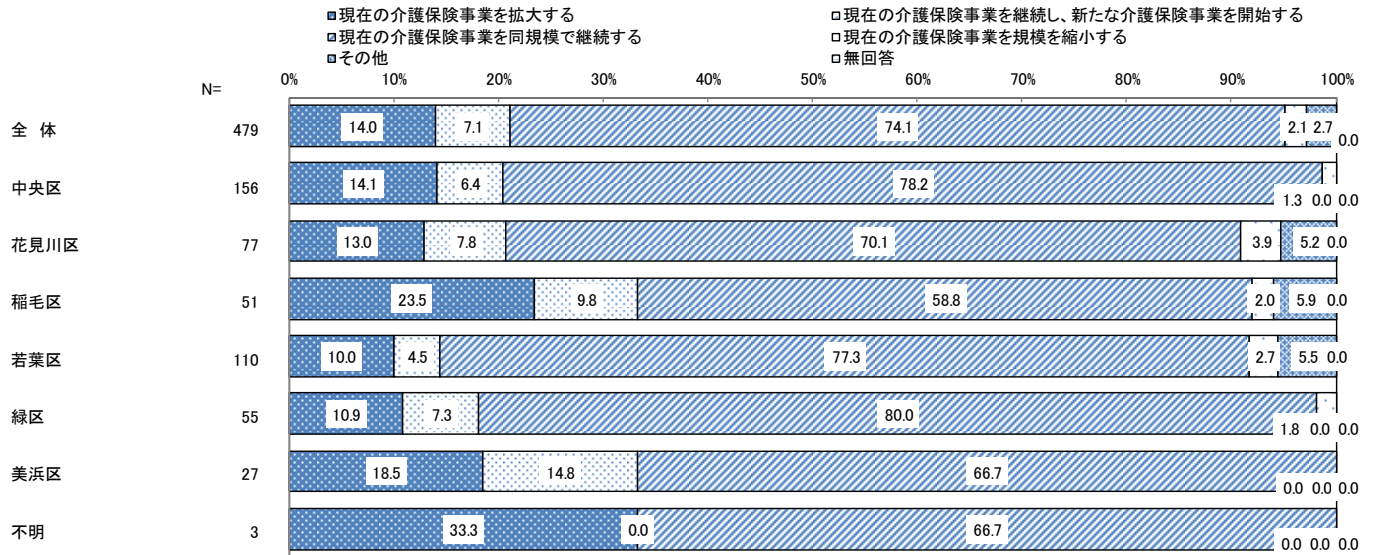
		全 体	今後3年間の経営方針					
			現在の介護 保険事業を 拡大する	現在の介護 保険事業を 継続し、新た な介護保険 事業を開始 する	現在の介護 保険事業を 同規模で継 続する	現在の介護 保険事業を 規模を縮小 する	その他	無回答
全 体		479 100.0	67 14.0	34 7.1	355 74.1	10 2.1	13 2.7	- -
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	16 19.5	7 8.5	52 63.4	6 7.3	1 1.2	- -
	訪問入浴介護	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	訪問看護	27 100.0	6 22.2	4 14.8	17 63.0	- -	- -	- -
	訪問リハビリテーション	2 100.0	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -
	居宅療養管理指導	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	5 11.4	3 6.8	34 77.3	- -	2 4.5	- -
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	4 9.1	5 11.4	34 77.3	1 2.3	- -	- -
	認知症対応型通所介護	3 100.0	- -	- -	3 100.0	- -	- -	- -
	通所リハビリテーション	5 100.0	1 20.0	- -	4 80.0	- -	- -	- -
	短期入所生活介護	20 100.0	2 10.0	- -	18 90.0	- -	- -	- -
	短期入所療養介護	4 100.0	- -	- -	4 100.0	- -	- -	- -
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老 人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	3 9.4	2 6.3	26 81.3	- -	1 3.1	- -
	居宅介護支援	99 100.0	11 11.1	4 4.0	78 78.8	1 1.0	5 5.1	- -
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	8 44.4	- -	8 44.4	2 11.1	- -	- -
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	4 11.8	1 2.9	27 79.4	- -	2 5.9	- -
	介護老人保健施設	15 100.0	1 6.7	- -	14 93.3	- -	- -	- -
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢 者グループホーム）	34 100.0	5 14.7	5 14.7	22 64.7	- -	2 5.9	- -
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多 機能型居宅介護を含む）	13 100.0	- -	3 23.1	10 76.9	- -	- -	- -

また、「その他」に関して以下の回答等が挙げられた。

- ・介護保険事業以外の事業の拡大
- ・経営方針は本社部門が検討・決定している為、詳細はわからない
- ・介護保険事業以外の事務所を併設する

行政区別でみると、すべての行政区で「現在の介護保険事業を同規模で継続する」が最も高くなっている。また、稲毛区は「現在の介護保険事業を拡大する」が他の行政区と比べて高くなっている。

【今後3年間の経営方針＜行政区別＞】



上段:実数、下段:%

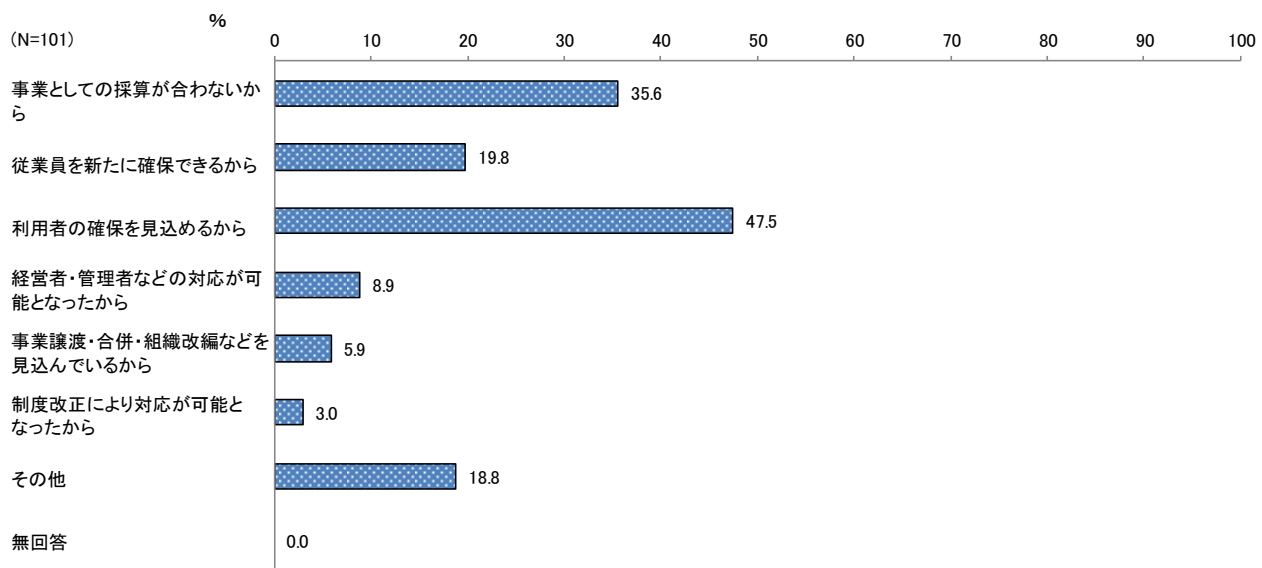
		全 体	今後3年間の経営方針				
			現在の介護保険事業を拡大する	現在の介護保険事業を継続し、新たな介護保険事業を開始する	現在の介護保険事業を同規模で継続する	現在の介護保険事業を規模を縮小する	その他
全 体		479	67	34	355	10	13
		100.0	14.0	7.1	74.1	2.1	2.7
行政区別	中央区	156	22	10	122	2	-
		100.0	14.1	6.4	78.2	1.3	-
	花見川区	77	10	6	54	3	4
		100.0	13.0	7.8	70.1	3.9	5.2
	稲毛区	51	12	5	30	1	3
		100.0	23.5	9.8	58.8	2.0	5.9
	若葉区	110	11	5	85	3	6
		100.0	10.0	4.5	77.3	2.7	5.5
	緑区	55	6	4	44	1	-
		100.0	10.9	7.3	80.0	1.8	-
	美浜区	27	5	4	18	-	-
		100.0	18.5	14.8	66.7	-	-
	不明	3	1	-	2	-	-
		100.0	33.3	-	66.7	-	-

質問3 経営方針の理由

質問3-1 【質問2において、事業を拡大する・新たに開始すると回答した事業者】
その経営方針とした理由をお答えください。

事業を拡大する・新たに開始する経営方針の理由について、「利用者の確保を見込めるから」が47.5%と最も高く、次いで「事業としての採算が合わないから」が35.6%、「従業員を新たに確保できるから」が19.8%となっている。

【事業を拡大する・新たに開始する経営方針の理由】



【事業を拡大する・新たに開始する経営方針の理由＜サービス種別＞】

上段：実数、下段：%

	全 体	事業を拡大する・新たに開始する経営方針の理由							
		事業としての 採算が合わないから	従業員を新 たに確保で きるから	利用者の確 保を見込める から	経営者・管理 者などの対 応が可能と なったから	事業譲渡・合 併・組織改編 などを見込ん でいるから	制度改正に より対応が 可能となった から	その他	無回答
全 体	101 100.0	36 35.6	20 19.8	48 47.5	9 8.9	6 5.9	3 3.0	19 18.8	- -
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	23 100.0	7 30.4	7 30.4	13 56.5	4 17.4	2 8.7	3 4.3	- 13.0
	訪問看護	10 100.0	3 30.0	4 40.0	6 60.0	- -	1 10.0	- -	4 40.0
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	8 100.0	3 37.5	- -	3 37.5	3 37.5	- -	- -	- -
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	9 100.0	4 44.4	1 11.1	1 11.1	- -	2 22.2	1 11.1	2 22.2
	通所リハビリテーション	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	短期入所生活介護	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老 人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	5 100.0	- -	2 40.0	5 100.0	- -	- -	- -	- -
	居宅介護支援	15 100.0	9 60.0	2 13.3	6 40.0	1 6.7	1 6.7	- -	1 6.7
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	8 100.0	4 50.0	- -	4 50.0	- -	- -	- -	2 25.0
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	5 100.0	1 20.0	2 40.0	4 80.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0
	介護老人保健施設	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢 者グループホーム）	10 100.0	2 20.0	- -	5 50.0	- -	- 10.0	1 20.0	2 -
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多 機能型居宅介護を含む）	3 100.0	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- 66.7	2 -

また、「その他」に関して以下の回答等が挙げられた。

- ・ 地域に貢献できるから
- ・ 地域福祉を活性化させるため
- ・ 近年、訪問介護事業所数が減少傾向にあること。それに伴い訪問介護サービスを必要とする利用者へ適切なサービス提供が行われないことが懸念されることから、可能な限りサポートしていきたいと考えているため

行政区別でみると、すべての行政区で「利用者の確保を見込めるから」が最も高くなっている（※回答事業所数 10 未満の美浜区を除く）。また、花見川区では「利用者の確保を見込めるから」と同率で「事業としての採算が合わないから」も最も高くなっている。

【事業を拡大する・新たに開始する経営方針の理由〈行政区別〉】

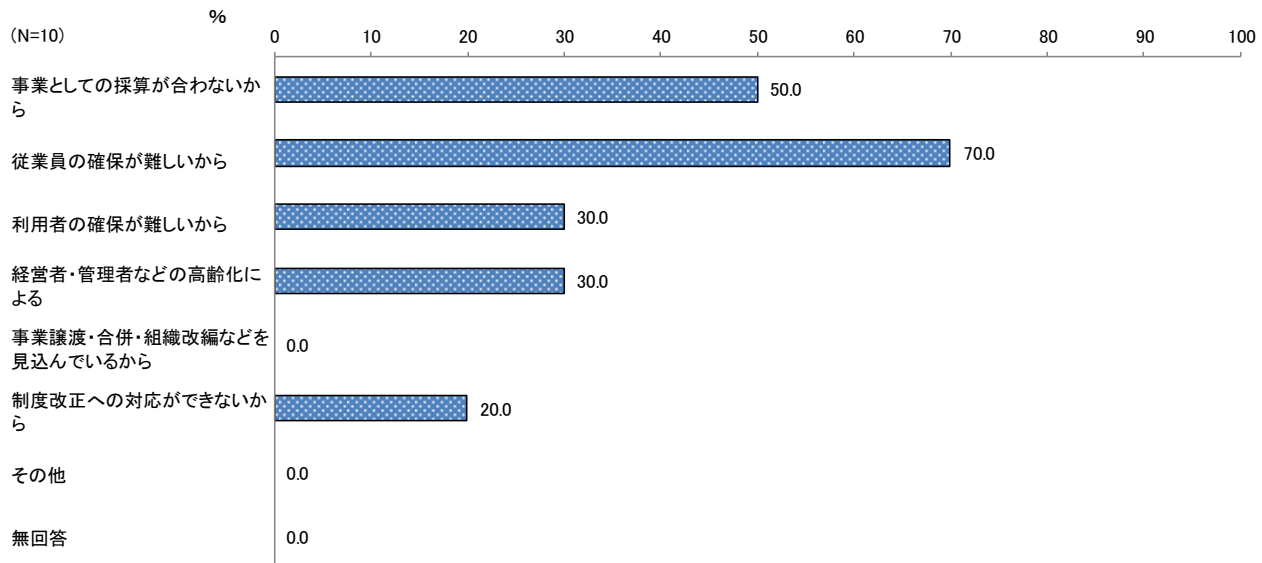
上段:実数、下段:%

		全 体	事業を拡大する・新たに開始する経営方針の理由							
			事業としての採算が合わないから	従業員を新たに確保できるから	利用者の確保を見込めるから	経営者・管理者などの対応が可能となったから	事業譲渡・合併・組織改編などを見込んでいるから	制度改正により対応が可能となったから	その他	無回答
全 体		101 100.0	36 35.6	20 19.8	48 47.5	9 8.9	6 5.9	3 3.0	19 18.8	- -
行政区別	中央区	32 100.0	10 31.3	7 21.9	16 50.0	3 9.4	3 9.4	- -	9 28.1	- -
	花見川区	16 100.0	6 37.5	2 12.5	6 37.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3	3 18.8	- -
	稲毛区	17 100.0	6 35.3	5 29.4	9 52.9	2 11.8	1 5.9	1 5.9	3 17.6	- -
	若葉区	16 100.0	7 43.8	2 12.5	9 56.3	2 12.5	- -	1 6.3	1 6.3	- -
	緑区	10 100.0	3 30.0	1 10.0	5 50.0	- -	1 10.0	- -	1 10.0	- -
	美浜区	9 100.0	4 44.4	3 33.3	2 22.2	- -	- -	- -	2 22.2	- -
	不明	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

質問３－２ 【質問２において、事業を縮小すると回答した事業者】
その経営方針とした理由をお答えください。（複数回答可）

事業を縮小する経営方針の理由について、「従業員の確保が難しいから」が70.0%と最も高く、次いで「事業としての採算が合わないから」が50.0%となっている。

【事業を縮小する経営方針の理由】



【事業を縮小する経営方針の理由＜サービス種別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	事業を縮小する経営方針の理由						
			事業としての採算が合わないから	従業員の確保が難しいから	利用者の確保が難しいから	経営者・管理者などの高齢化による	事業譲渡・合併・組織改編などを見込んでいるから	制度改正への対応ができないから	その他
全 体		10	5	7	3	3	-	2	-
		100.0	50.0	70.0	30.0	30.0	-	20.0	-
サービス種別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	6	3	5	2	2	-	1	-
		100.0	50.0	83.3	33.3	33.3	-	16.7	-
	地域密着型通所介護（定員18名以下のデイサービス）	1	1	1	1	-	-	1	-
		100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-
サービス種別	居宅介護支援	1	-	-	-	1	-	-	-
		100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
サービス種別	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	2	1	1	-	-	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-

行政区別でみると、すべての行政区で「従業員の確保が難しいから」が選択されていた（※すべての行政区が回答事業所数 10 未満となるため参考程度の数値とする）。

【事業を縮小する経営方針の理由＜行政区別＞】

上段：実数、下段：%

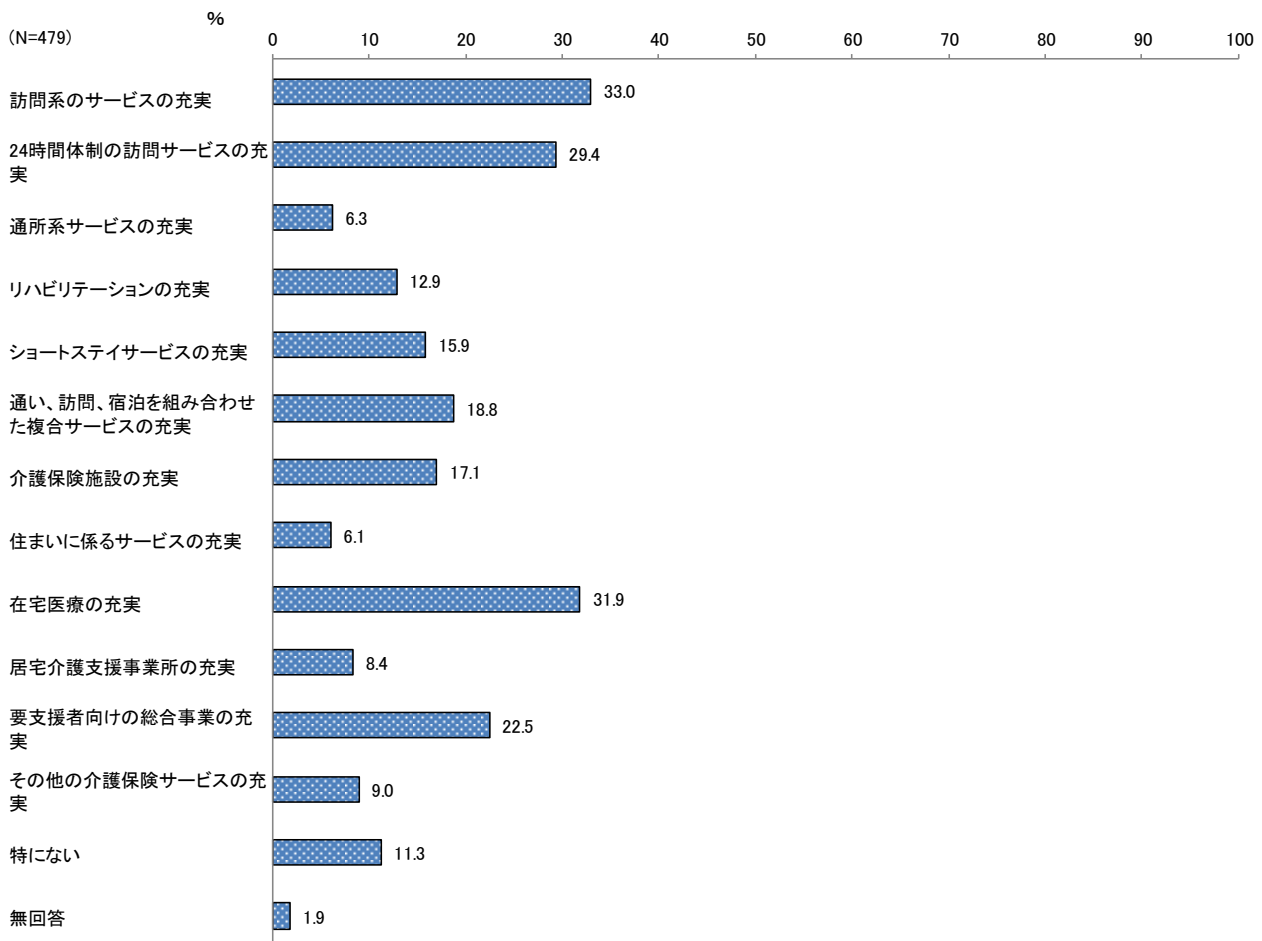
		全 体	事業を縮小する経営方針の理由							
			事業としての採算が合わないから	従業員の確保が難しいから	利用者の確保が難しいから	経営者・管理者などの高齢化による	事業譲渡・合併・組織改編などを見込んでいるから	制度改正への対応ができないから	その他	無回答
全 体		10 100.0	5 50.0	7 70.0	3 30.0	3 30.0	- -	2 20.0	- -	- -
行政区別	中央区	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	花見川区	3 100.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -	- -
	稲毛区	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -
	若葉区	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -
	緑区	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	美浜区	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	不明	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

質問4 市内で充実が必要と思われるサービス

質問4 利用者の生活を支えるために不足しているなど、今後、市内で充実（量的充実）が必要と思われるサービスを3つまでお答えください。

市内で充実が必要と思われるサービスについて、「訪問系のサービスの充実」が33.0%と最も高く、次いで「在宅医療の充実」が31.9%、「24時間体制の訪問サービスの充実」が29.4%となっている。

【市内で充実が必要と思われるサービス】



【市内で充実が必要と思われるサービス＜サービス別＞】

上段:実数、下段:%

		全 体	市内で充実が必要と思われるサービス						
			訪問系のサービスの充実(訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、夜間対応型訪問介護、居宅療養管理指導)	24時間体制の訪問サービスの充実(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)	通所系サービスの充実(通所介護、認知症対応型通所介護等)	リハビリテーションの充実(訪問、通所)	ショートステイサービスの充実(短期入所生活介護、短期入所療養介護等)	通い、訪問、宿泊を組み合わせた複合サービスの充実((看護)小規模多機能型居宅介護サービス等)	介護保険施設の充実(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、認知症高齢者グループホーム等)
全 体		479 100.0	158 33.0	141 29.4	30 6.3	62 12.9	76 15.9	90 18.8	82 17.1
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護(総合事業の訪問系を含む)	82 100.0	46 56.1	17 20.7	4 4.9	9 11.0	10 12.2	12 14.6	13 15.9
	訪問入浴介護	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	訪問看護	27 100.0	14 51.9	5 18.5	-	1 3.7	4 14.8	8 29.6	3 11.1
	訪問リハビリテーション	2 100.0	1 50.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0
	居宅療養管理指導	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	44 100.0	15 34.1	12 27.3	7 15.9	6 13.6	8 18.2	11 25.0	7 15.9
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	44 100.0	12 27.3	14 31.8	8 18.2	7 15.9	9 20.5	10 22.7	4 9.1
	認知症対応型通所介護	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	1 33.3
	通所リハビリテーション	5 100.0	-	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0
	短期入所生活介護	20 100.0	6 30.0	5 25.0	-	2 10.0	2 10.0	5 25.0	3 15.0
	短期入所療養介護	4 100.0	-	-	-	-	-	-	2 50.0
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	32 100.0	4 12.5	8 25.0	-	3 9.4	4 12.5	4 12.5	3 9.4
	居宅介護支援	99 100.0	32 32.3	37 37.4	7 7.1	14 14.1	21 21.2	15 15.2	17 17.2
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	3 16.7	8 44.4	-	7 38.9	2 11.1	4 22.2	2 11.1
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	34 100.0	8 23.5	13 38.2	-	4 11.8	5 14.7	4 11.8	8 23.5
	介護老人保健施設	15 100.0	3 20.0	3 20.0	-	3 20.0	4 26.7	3 20.0	3 20.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	34 100.0	8 23.5	10 29.4	1 2.9	3 8.8	3 8.8	7 20.6	11 32.4
	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護を含む)	13 100.0	3 23.1	5 38.5	1 7.7	2 15.4	1 7.7	6 46.2	1 7.7

⇒次頁に続く

介護保険事業所向けアンケート調査

上段:実数、下段:%

		全 体	市内で充実が必要と思われるサービス						特にない	無回答
			住まいに係 るサービスの 充実(有料老 人ホーム、 サービス付き 高齢者向け 住宅等)	在宅医療の 充実(訪問診 療・看護・服 薬管理等)	居宅介護支 援事業所の 充実	要支援者向 けの総合事 業の充実	その他の介 護保険サー ビスの充実			
全 体		479 100.0	29 6.1	153 31.9	40 8.4	108 22.5	43 9.0	54 11.3	9 1.9	
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護(総合事業の訪問系を含む)	82 100.0	5 6.1	27 32.9	8 9.8	21 25.6	8 9.8	4 4.9	- -	
	訪問入浴介護	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	
	訪問看護	27 100.0	- -	16 59.3	1 3.7	3 11.1	1 3.7	1 3.7	1 3.7	
	訪問リハビリテーション	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	
	居宅療養管理指導	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	
	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	44 100.0	2 4.5	14 31.8	6 13.6	6 13.6	4 9.1	8 18.2	- -	
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	44 100.0	1 2.3	7 15.9	6 13.6	14 31.8	8 18.2	2 4.5	1 2.3	
	認知症対応型通所介護	3 100.0	- -	1 33.3	- -	- -	2 66.7	- -	- -	
	通所リハビリテーション	5 100.0	- -	- -	- -	1 20.0	- -	1 20.0	- -	
	短期入所生活介護	20 100.0	1 5.0	5 25.0	1 5.0	2 10.0	- -	7 35.0	- -	
	短期入所療養介護	4 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 50.0	- -	
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老 人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	32 100.0	8 25.0	11 34.4	- -	7 21.9	2 6.3	8 25.0	1 3.1	
	居宅介護支援	99 100.0	2 2.0	26 26.3	8 8.1	29 29.3	6 6.1	8 8.1	3 3.0	
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	- -	7 38.9	5 27.8	8 44.4	3 16.7	- -	- -	
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) (地域密着型サービスを含む)	34 100.0	3 8.8	11 32.4	2 5.9	2 5.9	4 11.8	8 23.5	- -	
	介護老人保健施設	15 100.0	3 20.0	6 40.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3	1 6.7	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢 者グループホーム)	34 100.0	2 5.9	13 38.2	1 2.9	9 26.5	3 8.8	3 8.8	1 2.9	
	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多 機能型居宅介護を含む)	13 100.0	2 15.4	7 53.8	- -	4 30.8	- -	- -	1 7.7	

行政区別でみると、花見川区、若葉区、美浜区では「訪問系のサービスの充実（訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、夜間対応型訪問介護、居宅療養管理指導）」が、中央区、花見川区、緑区では「在宅医療の充実（訪問診療・看護・服薬管理等）」が、稲毛区では「24 時間体制の訪問サービスの充実（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」が最も高くなっている（※花見川区は 2 項目が同率で最も高い）。

【市内で充実が必要と思われるサービス＜行政区別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	市内で充実が必要と思われるサービス						
			訪問系のサービスの充実(訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、夜間対応型訪問介護、居宅療養管理指導)	24時間体制の訪問サービスの充実(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)	通所系サービスの充実(通所介護、認知症対応型通所介護等)	リハビリテーションの充実(訪問、通所)	ショートステイサービスの充実(短期入所生活介護、短期入所療養介護等)	通い、訪問、宿泊を組み合わせた複合サービスの充実((看護)小規模多機能型居宅介護サービス等)	介護保険施設の充実(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、認知症高齢者グループホーム等)
全 体		479 100.0	158 33.0	141 29.4	30 6.3	62 12.9	76 15.9	90 18.8	82 17.1
行政区別	中央区	156 100.0	48 30.8	44 28.2	7 4.5	20 12.8	27 17.3	29 18.6	25 16.0
	花見川区	77 100.0	35 45.5	19 24.7	6 7.8	11 14.3	15 19.5	16 20.8	10 13.0
	稲毛区	51 100.0	14 27.5	18 35.3	7 13.7	9 17.6	7 13.7	8 15.7	8 15.7
	若葉区	110 100.0	38 34.5	32 29.1	5 4.5	9 8.2	14 12.7	21 19.1	22 20.0
	緑区	55 100.0	12 21.8	19 34.5	3 5.5	10 18.2	9 16.4	12 21.8	12 21.8
	美浜区	27 100.0	10 37.0	8 29.6	2 7.4	3 11.1	4 14.8	4 14.8	5 18.5
	不明	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -

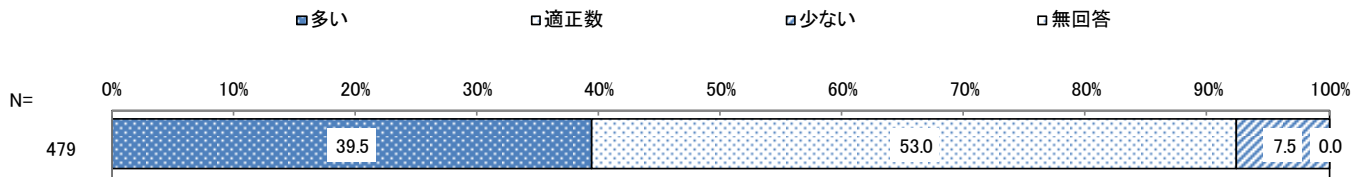
		全 体	市内で充実が必要と思われるサービス						
			住まいに係 るサービスの 充実(有料老 人ホーム、 サービス付き 高齢者向け 住宅等)	在宅医療の 充実(訪問診 療・看護・服 薬管理等)	居宅介護支 援事業所の 充実	要支援者向 けの総合事 業の充実	その他の介 護保険サー ビスの充実	特にない	無回答
全 体		479 100.0	29 6.1	153 31.9	40 8.4	108 22.5	43 9.0	54 11.3	9 1.9
行政 区 別	中央区	156 100.0	8 5.1	56 35.9	17 10.9	35 22.4	14 9.0	11 7.1	4 2.6
	花見川区	77 100.0	4 5.2	35 45.5	7 9.1	15 19.5	8 10.4	6 7.8	1 1.3
	稲毛区	51 100.0	4 7.8	13 25.5	2 3.9	13 25.5	8 15.7	3 5.9	－
	若葉区	110 100.0	6 5.5	21 19.1	8 7.3	24 21.8	5 4.5	26 23.6	2 1.8
	緑区	55 100.0	6 10.9	22 40.0	4 7.3	14 25.5	5 9.1	2 3.6	1 1.8
	美浜区	27 100.0	1 3.7	5 18.5	2 7.4	7 25.9	3 11.1	4 14.8	1 3.7
	不明	3 100.0	－	1 33.3	－	－	－	2 66.7	－

質問5 地理的範囲内の競合事業者数

質問5 貴事業所がサービスを提供する地理的範囲内の競合事業者数について、あてはまるものを1つお答えください。

地理的範囲内の競合事業者数について、「適正数」が53.0%と最も高く、次いで「多い」が39.5%、「少ない」が7.5%となっている。

【地理的範囲内の競合事業者数】



上段:実数、下段: %

全 体	地理的範囲内の競合事業者数			
	多い	適正数	少ない	無回答
479	189	254	36	—
100.0	39.5	53.0	7.5	—

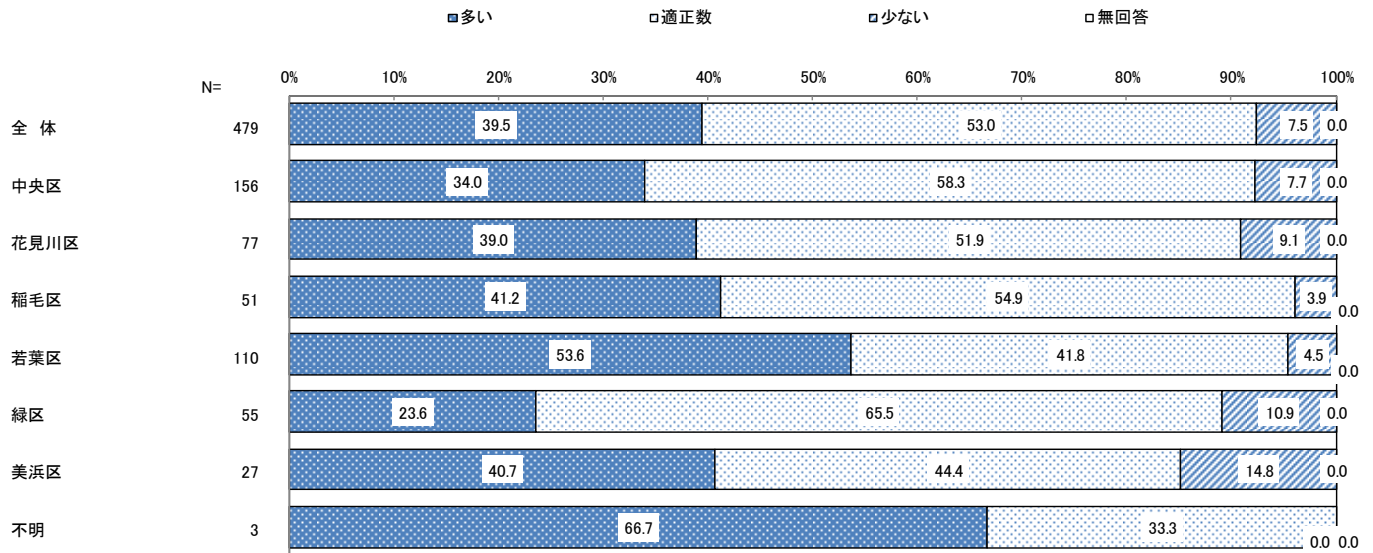
【地理的範囲内の競合事業者数＜サービス別＞】

上段:実数、下段:%

		全 体	地理的範囲内の競合事業者数			
			多い	適正数	少ない	無回答
全 体		479 100.0	189 39.5	254 53.0	36 7.5	— —
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	30 36.6	47 57.3	5 6.1	— —
	訪問入浴介護	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	14 51.9	12 44.4	1 3.7	— —
	訪問リハビリテーション	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	28 63.6	15 34.1	1 2.3	— —
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	22 50.0	19 43.2	3 6.8	— —
	認知症対応型通所介護	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	— —	5 100.0	— —	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	12 60.0	7 35.0	1 5.0	— —
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	3 75.0	— —	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	11 34.4	18 56.3	3 9.4	— —
	居宅介護支援	99 100.0	20 20.2	69 69.7	10 10.1	— —
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	13 72.2	5 27.8	— —	— —
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	17 50.0	16 47.1	1 2.9	— —
	介護老人保健施設	15 100.0	8 53.3	7 46.7	— —	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	10 29.4	22 64.7	2 5.9	— —
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	— —	5 38.5	8 61.5	— —

行政区別でみると、若葉区では「多い」が最も高く、そのほかすべての行政区では「適正数」が最も高くなっている。また、緑区は「多い」が他の行政区と比べて低くなっている。

【地理的範囲内の競合事業者数＜行政区別＞】



上段:実数、下段: %

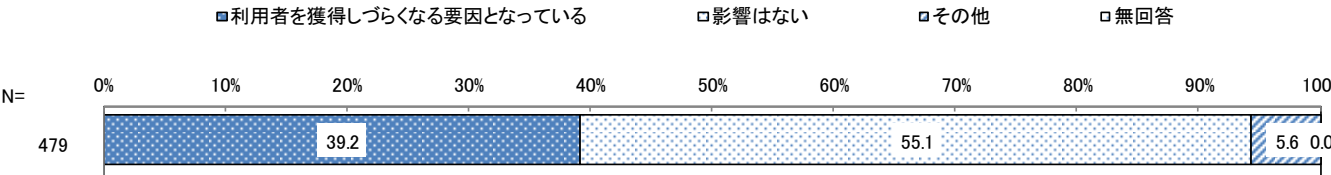
		全 体	地理的範囲内の競合事業者数			
			多い	適正数	少ない	無回答
全 体		479	189	254	36	—
		100.0	39.5	53.0	7.5	—
行政区別	中央区	156	53	91	12	—
		100.0	34.0	58.3	7.7	—
	花見川区	77	30	40	7	—
		100.0	39.0	51.9	9.1	—
	稲毛区	51	21	28	2	—
		100.0	41.2	54.9	3.9	—
	若葉区	110	59	46	5	—
		100.0	53.6	41.8	4.5	—
	緑区	55	13	36	6	—
		100.0	23.6	65.5	10.9	—
	美浜区	27	11	12	4	—
		100.0	40.7	44.4	14.8	—
	不明	3	2	1	—	—
		100.0	66.7	33.3	—	—

質問 6 競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響

質問 6 競合事業者があったことによる利用者獲得への影響について、あてはまるもの 1 つお答えください。

競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響について、「影響はない」が 55.1%と最も高く、次いで「利用者を獲得しづらくなる要因となっている」が 39.2%となっている。

【競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響】



上段：実数、下段：%				
全 体	競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響			
	利用者を獲得しづらくなる要因となっている	影響はない	その他	無回答
479	188	264	27	—
100.0	39.2	55.1	5.6	—

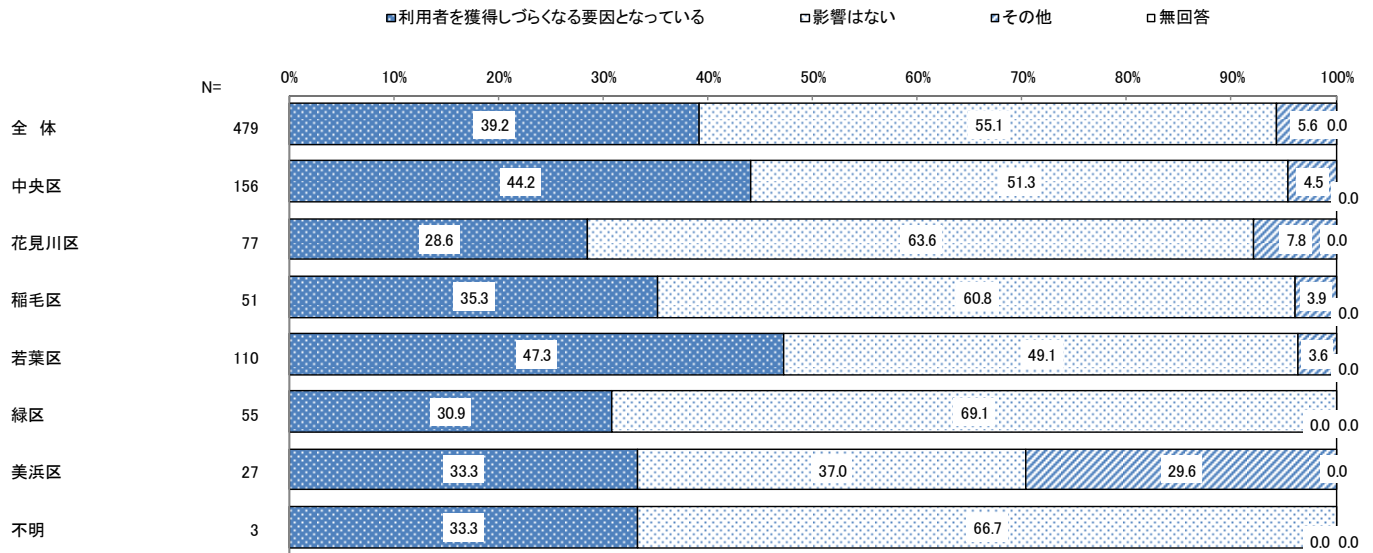
【競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響＜サービス別＞】

上段:実数、下段:%

		全 体	競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響			
			利用者を獲得しづらくなる要因となっている	影響はない	その他	無回答
全 体		479 100.0	188 39.2	264 55.1	27 5.6	— —
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	27 32.9	49 59.8	6 7.3	— —
	訪問入浴介護	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	15 55.6	12 44.4	— —	— —
	訪問リハビリテーション	2 100.0	2 100.0	— —	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	21 47.7	18 40.9	5 11.4	— —
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	22 50.0	19 43.2	3 6.8	— —
	認知症対応型通所介護	3 100.0	— —	3 100.0	— —	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	11 55.0	8 40.0	1 5.0	— —
	短期入所療養介護	4 100.0	4 100.0	— —	— —	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	9 28.1	22 68.8	1 3.1	— —
	居宅介護支援	99 100.0	19 19.2	76 76.8	4 4.0	— —
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	13 72.2	4 22.2	1 5.6	— —
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	19 55.9	14 41.2	1 2.9	— —
	介護老人保健施設	15 100.0	13 86.7	1 6.7	1 6.7	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	6 17.6	26 76.5	2 5.9	— —
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	2 15.4	10 76.9	1 7.7	— —

行政区別でみると、すべての行政区で「影響はない」が最も高く、ほとんどが半数を超えている。ただし、美浜区は「影響はない」が37.0%と他の行政区と比べて低くなっている。

【競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響＜行政区別＞】



上段：実数、下段：%

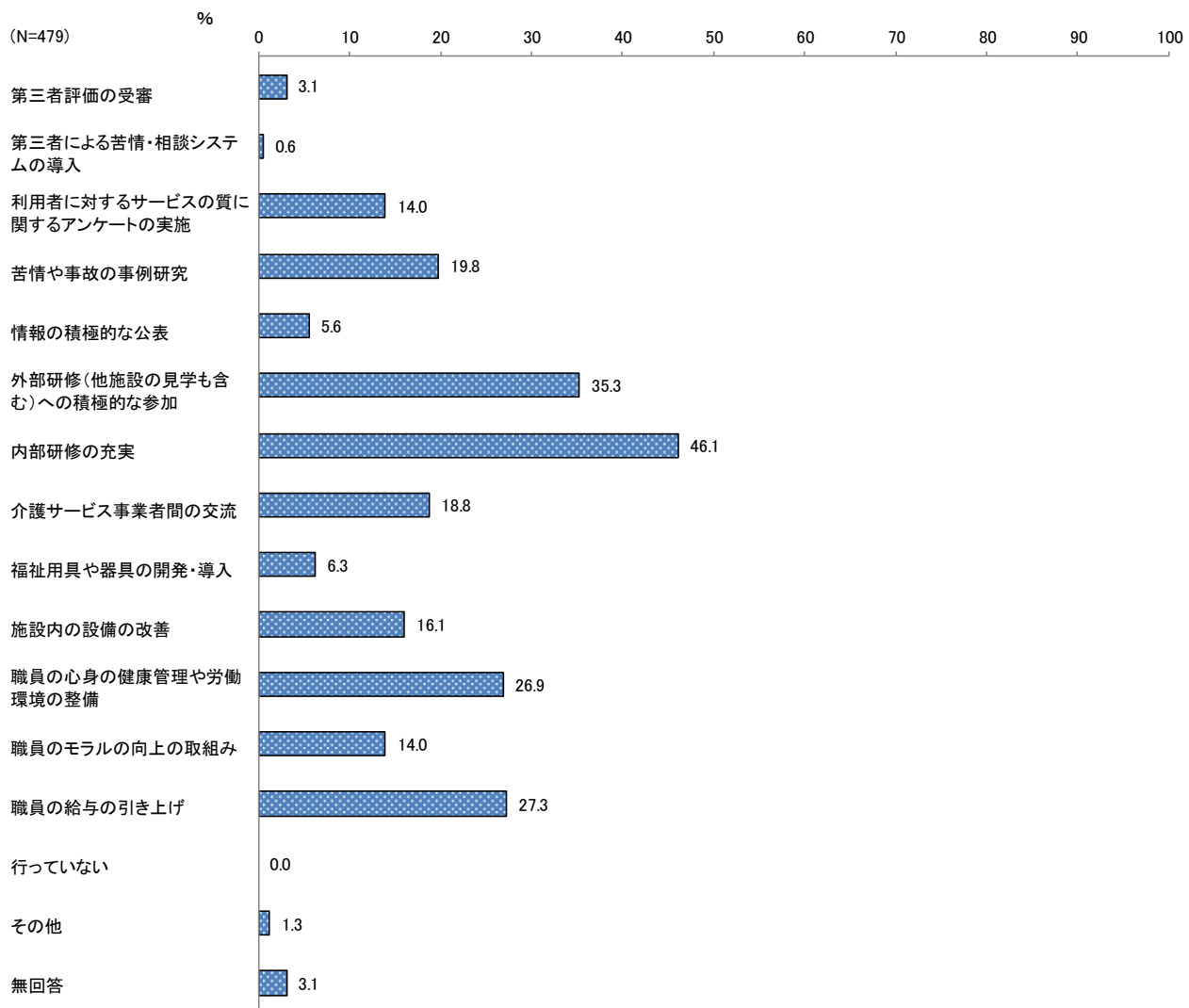
		全 体	競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響			
			利用者を獲得しづらくなる要因となっている	影響はない	その他	無回答
全 体		479 100.0	188 39.2	264 55.1	27 5.6	— —
行政区別	中央区	156 100.0	69 44.2	80 51.3	7 4.5	— —
		花見川区	77 100.0	22 28.6	49 63.6	6 7.8
	稲毛区		51 100.0	18 35.3	31 60.8	2 3.9
		若葉区	110 100.0	52 47.3	54 49.1	4 3.6
	緑区		55 100.0	17 30.9	38 69.1	— —
		美浜区	27 100.0	9 33.3	10 37.0	8 29.6
	不明		3 100.0	1 33.3	2 66.7	— —

質問7 介護サービス向上のために実施し、効果があったもの

質問7 貴事業所において、介護サービス向上のために実施（平成31年1月1日～令和元年12月31日）し、効果があったものを3つまでお答えください。

介護サービス向上のために実施し、効果があったものについて、「内部研修の充実」が46.1%と最も高く、次いで「外部研修（他施設の見学も含む）への積極的な参加」が35.3%、「職員の給与の引き上げ」が27.3%となっている。

【介護サービス向上のために実施し、効果があったもの】



【介護サービス向上のために実施し、効果があったもの＜サービス別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	介護サービス向上のために実施し、効果があったもの							
			第三者評価 の受審	第三者評価 委員やオン ズ・パーソン 等の第三者 による苦情・ 相談システ ムの導入	利用者に対 するサービス の質に関す るアンケート の実施	苦情や事故 の事例研究	情報の積極 的な公表	外部研修（他 施設の見学 も含む）への 積極的な参 加	内部研修の 充実	介護サービ ス事業者間 の交流
全 体		479 100.0	15 3.1	3 0.6	67 14.0	95 19.8	27 5.6	169 35.3	221 46.1	90 18.8
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	- -	- -	11 13.4	19 23.2	4 4.9	21 25.6	44 53.7	17 20.7
	訪問入浴介護	1 100.0	- -	- -	- 100.0	1 -	- -	- -	1 100.0	- -
	訪問看護	27 100.0	- -	- -	1 3.7	7 25.9	2 7.4	14 51.9	10 37.0	10 37.0
	訪問リハビリテーション	2 100.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
	居宅療養管理指導	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	1 2.3	- -	10 22.7	14 31.8	4 9.1	8 18.2	19 43.2	3 6.8
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	- -	- -	11 25.0	8 18.2	6 13.6	5 11.4	19 43.2	5 11.4
	認知症対応型通所介護	3 100.0	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -	1 33.3	- -	1 33.3
	通所リハビリテーション	5 100.0	- -	- -	- -	- -	1 20.0	2 40.0	3 60.0	- -
	短期入所生活介護	20 100.0	- -	- -	4 20.0	3 15.0	2 10.0	9 45.0	10 50.0	- -
	短期入所療養介護	4 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 50.0	2 50.0	- -
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老 人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	1 3.1	- -	9 28.1	11 34.4	- -	6 18.8	18 56.3	2 6.3
	居宅介護支援	99 100.0	- -	- -	6 6.1	13 13.1	4 4.0	58 58.6	36 36.4	34 34.3
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	1 5.6	- -	3 16.7	7 38.9	- -	2 11.1	9 50.0	3 16.7
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	1 2.9	1 2.9	5 14.7	4 11.8	- -	18 52.9	18 52.9	3 8.8
	介護老人保健施設	15 100.0	1 6.7	1 6.7	4 26.7	1 6.7	- -	6 40.0	7 46.7	2 13.3
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢 者グループホーム）	34 100.0	8 23.5	1 2.9	1 2.9	3 8.8	2 5.9	12 35.3	17 50.0	4 11.8
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多 機能型居宅介護を含む）	13 100.0	1 7.7	- -	1 7.7	3 23.1	2 15.4	4 30.8	6 46.2	6 46.2

⇒次頁に続く

介護保険事業所向けアンケート調査

上段：実数、下段：%

		全 体	介護サービス向上のために実施し、効果があったもの							
			福祉用具や 器具の開発・ 導入	施設内の設 備の改善	職員の心身 の健康管理 や労働環境 の整備	職員のモラ ルの向上の 取組み	職員の給与 の引き上げ	行っていない	その他	無回答
全 体		479 100.0	30 6.3	77 16.1	129 26.9	67 14.0	131 27.3	－ －	6 1.3	15 3.1
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	1 1.2	7 8.5	29 35.4	14 17.1	32 39.0	－ －	1 1.2	2 2.4
	訪問入浴介護	1 100.0	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	訪問看護	27 100.0	－ －	4 14.8	7 25.9	4 14.8	6 22.2	－ －	－ －	1 3.7
	訪問リハビリテーション	2 100.0	－ －	－ －	1 50.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	居宅療養管理指導	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	3 6.8	10 22.7	9 20.5	7 15.9	15 34.1	－ －	1 2.3	3 6.8
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	1 2.3	12 27.3	19 43.2	6 13.6	18 40.9	－ －	－ －	1 2.3
	認知症対応型通所介護	3 100.0	－ －	－ －	2 66.7	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －
	通所リハビリテーション	5 100.0	－ －	－ －	2 40.0	1 20.0	1 20.0	－ －	1 20.0	－ －
	短期入所生活介護	20 100.0	4 20.0	5 25.0	4 20.0	－ －	6 30.0	－ －	－ －	－ －
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	－ －	1 25.0	－ －	－ －	－ －
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老 人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	2 6.3	5 15.6	5 15.6	10 31.3	9 28.1	－ －	－ －	2 6.3
	居宅介護支援	99 100.0	4 4.0	8 8.1	21 21.2	12 12.1	17 17.2	－ －	1 1.0	3 3.0
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	6 33.3	1 5.6	6 33.3	4 22.2	2 11.1	－ －	－ －	－ －
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	5 14.7	10 29.4	5 14.7	3 8.8	13 38.2	－ －	－ －	－ －
	介護老人保健施設	15 100.0	－ －	5 33.3	4 26.7	1 6.7	4 26.7	－ －	1 6.7	－ －
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢 者グループホーム）	34 100.0	2 5.9	5 14.7	8 23.5	3 8.8	4 11.8	－ －	1 2.9	3 8.8
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多 機能型居宅介護を含む）	13 100.0	－ －	4 30.8	4 30.8	2 15.4	1 7.7	－ －	－ －	－ －

また、「その他」に関して以下の回答等が挙げられた。

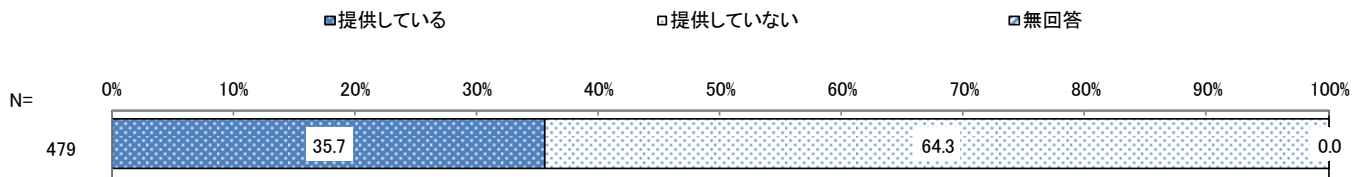
- ・ 業務内容の見直し
- ・ 行っている事業の成果を外部で発表することや外部向けに勉強会を開催する
- ・ 施設長による職員の個別面談

質問 8 介護保険外サービスの提供

質問 8 介護保険制度の被保険者に対する介護保険外サービス（全額利用者負担）の提供についてお答えください。

介護保険外サービスの提供について、「提供していない」が 64.3%、「提供している」が 35.7%となっている。

【介護保険外サービスの提供】



上段: 実数、下段: %

全 体	介護保険外サービスの提供		
	提供している	提供していない	無回答
479	171	308	—
100.0	35.7	64.3	—

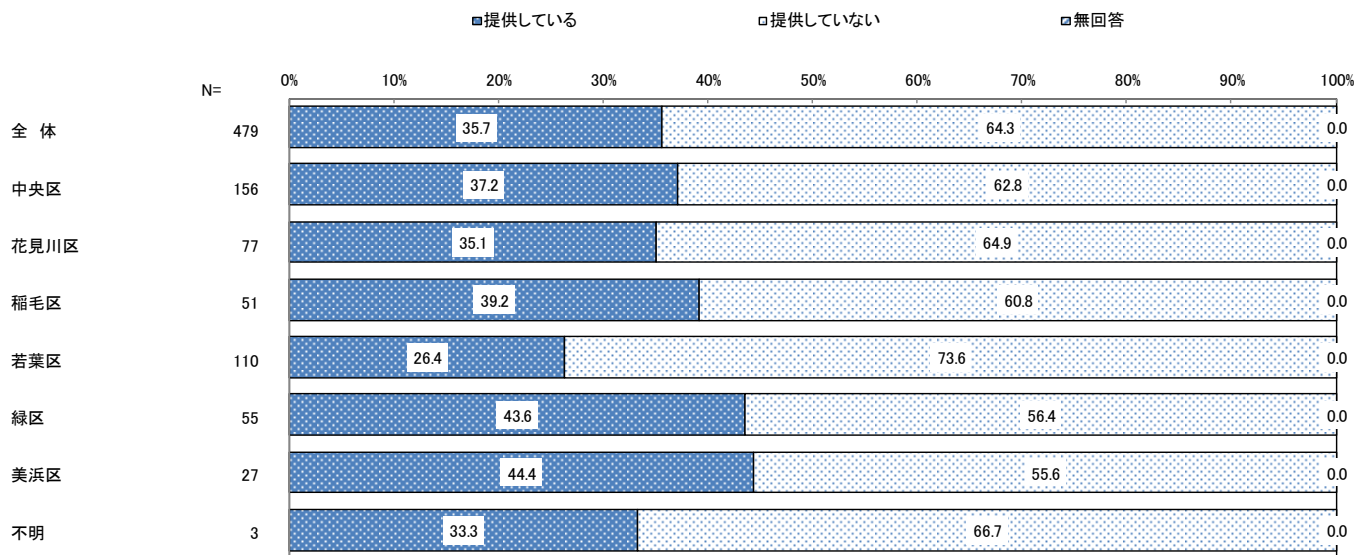
【介護保険外サービスの提供＜サービス別＞】

上段：実数、下段：％

		全 体	介護保険外サービスの提供		
			提供している	提供していない	無回答
全 体		479 100.0	171 35.7	308 64.3	— —
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	59 72.0	23 28.0	— —
	訪問入浴介護	1 100.0	1 100.0	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	6 22.2	21 77.8	— —
	訪問リハビリテーション	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	1 100.0	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	5 11.4	39 88.6	— —
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	17 38.6	27 61.4	— —
	認知症対応型通所介護	3 100.0	— —	3 100.0	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	— —	5 100.0	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	1 5.0	19 95.0	— —
	短期入所療養介護	4 100.0	— —	4 100.0	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	18 56.3	14 43.8	— —
	居宅介護支援	99 100.0	28 28.3	71 71.7	— —
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	16 88.9	2 11.1	— —
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	3 8.8	31 91.2	— —
	介護老人保健施設	15 100.0	5 33.3	10 66.7	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	— —	1 100.0	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	8 23.5	26 76.5	— —
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	3 23.1	10 76.9	— —

行政区別でみると、すべての行政区で「提供していない」が「提供している」を上回っている。

【介護保険外サービスの提供＜行政区別＞】



上段:実数、下段: %

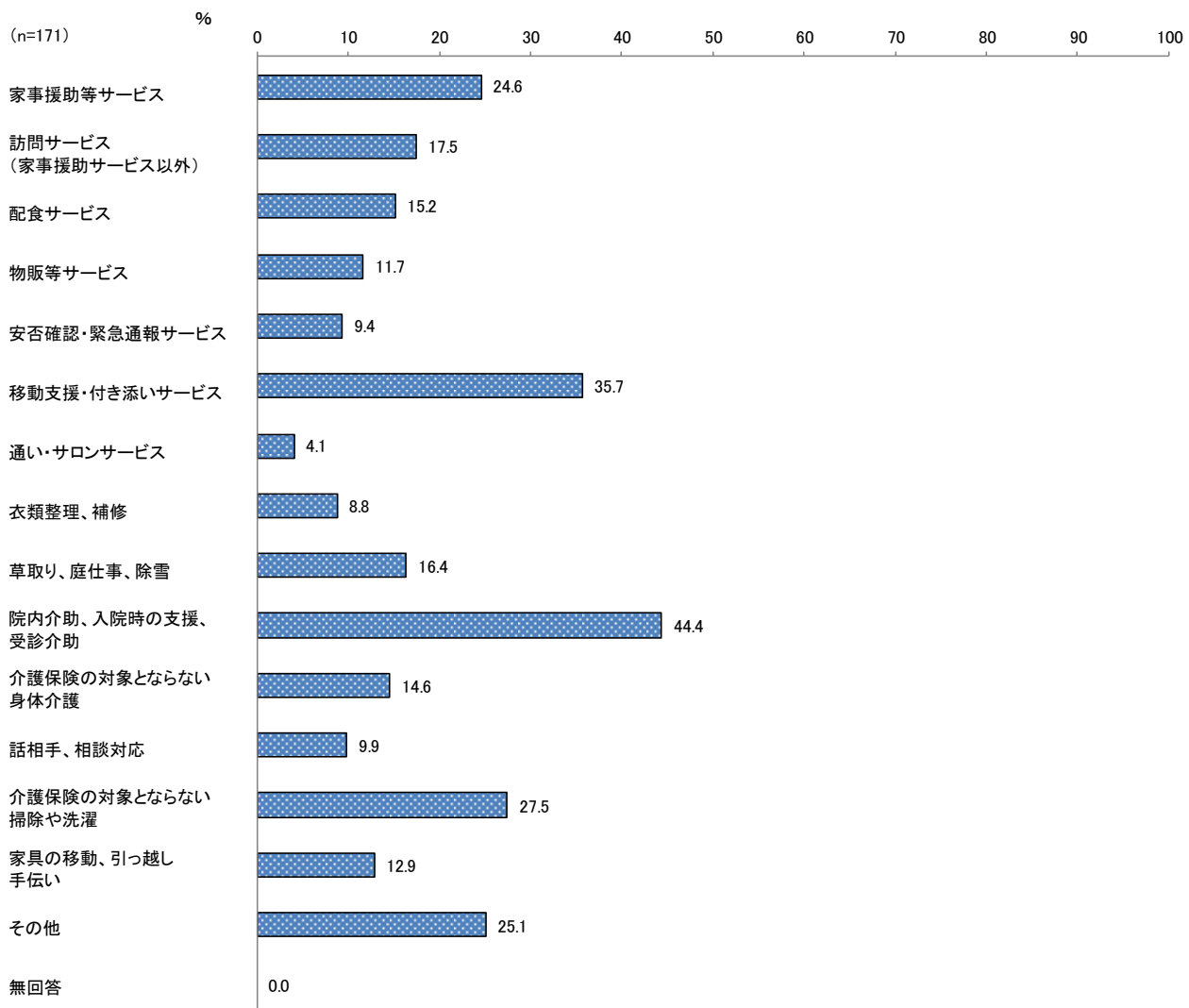
		全 体	介護保険外サービスの提供		
			提供している	提供してない	無回答
全 体		479	171	308	—
		100.0	35.7	64.3	—
行政区別	中央区	156	58	98	—
		100.0	37.2	62.8	—
	花見川区	77	27	50	—
		100.0	35.1	64.9	—
	稲毛区	51	20	31	—
		100.0	39.2	60.8	—
	若葉区	110	29	81	—
		100.0	26.4	73.6	—
	緑区	55	24	31	—
		100.0	43.6	56.4	—
	美浜区	27	12	15	—
		100.0	44.4	55.6	—
	不明	3	1	2	—
		100.0	33.3	66.7	—

質問9 提供している介護保険外サービスの種類

質問9 【質問8において、介護保険外サービスを提供していると回答した事業者】
提供している介護保険外サービスの種類をお答えください。(複数回答可)

提供している介護保険外サービスの種類について、「院内介助、入院時の支援、受診介助」が44.4%と最も高く、次いで「移動支援・付き添いサービス」が35.7%、「介護保険の対象とならない掃除や洗濯」が27.5%となっている。

【提供している介護保険外サービスの種類】



【提供している介護保険外サービスの種類＜サービス別＞】

上段：実数、下段：%

		提供している介護保険外サービスの種類								
		全 体	家事援助等 サービス	訪問サービ ス（家事援助 サービス以 外）	配食サービ ス	物販等サー ビス	安否確認・緊 急通報サー ビス	移動支援・付 き添いサー ビス	通い・サロ ンサービス	衣類整理、 補修
全 体		171 100.0	42 24.6	30 17.5	26 15.2	20 11.7	16 9.4	61 35.7	7 4.1	15 8.8
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	59 100.0	30 50.8	20 33.9	2 3.4	－ －	5 8.5	24 40.7	1 1.7	11 18.6
	訪問入浴介護	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	訪問看護	6 100.0	－ －	1 16.7	－ －	－ －	－ －	1 16.7	－ －	－ －
	訪問リハビリテーション	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	－ －	－ －	－ －	－ －
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	17 100.0	1 5.9	2 11.8	1 5.9	2 11.8	－ －	2 11.8	1 5.9	1 5.9
	短期入所生活介護	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老 人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	18 100.0	－ －	－ －	3 16.7	6 33.3	1 5.6	14 77.8	2 11.1	1 5.6
	居宅介護支援	28 100.0	10 35.7	4 14.3	16 57.1	1 3.6	9 32.1	11 39.3	1 3.6	－ －
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	16 100.0	－ －	－ －	－ －	6 37.5	－ －	－ －	－ －	－ －
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	3 100.0	－ －	－ －	－ －	3 100.0	－ －	2 66.7	2 66.7	－ －
	介護老人保健施設	5 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	2 40.0	－ －	－ －
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢 者グループホーム）	8 100.0	－ －	1 12.5	－ －	1 12.5	－ －	4 50.0	－ －	2 25.0
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多 機能型居宅介護を含む）	3 100.0	－ －	－ －	2 66.7	－ －	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －

⇒次頁に続く

介護保険事業所向けアンケート調査

上段:実数、下段:%

		全 体	提供している介護保険外サービスの種類							
			草取り、庭仕事、除雪	院内介助、入院時の支援、受診介助	介護保険の対象とならない身体介護	話相手、相談対応	介護保険の対象とならない掃除や洗濯	家具の移動、引っ越し手伝い	その他	無回答
全 体		171 100.0	28 16.4	76 44.4	25 14.6	17 9.9	47 27.5	22 12.9	43 25.1	- -
サービス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	59 100.0	17 28.8	42 71.2	18 30.5	6 10.2	33 55.9	11 18.6	3 5.1	- -
	訪問入浴介護	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- 100.0	1 -	- -
	訪問看護	6 100.0	- -	- -	1 16.7	- -	- -	- 66.7	4 -	- -
	訪問リハビリテーション	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- 100.0	1 -	- -
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	5 100.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0	- -	- -	- -
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	17 100.0	1 5.9	3 17.6	2 11.8	- -	2 11.8	1 5.9	12 70.6	- -
	短期入所生活介護	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- 100.0	1 -	- -
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	18 100.0	- -	11 61.1	- -	2 11.1	5 27.8	4 22.2	3 16.7	- -
	居宅介護支援	28 100.0	9 32.1	17 60.7	4 14.3	6 21.4	4 14.3	4 14.3	1 3.6	- -
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	16 100.0	- -	- -	- -	1 6.3	1 6.3	2 12.5	11 68.8	- -
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	介護老人保健施設	5 100.0	- -	1 20.0	- -	- -	1 20.0	- -	2 40.0	- -
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	8 100.0	- -	1 12.5	- -	1 12.5	- -	- -	3 37.5	- -
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -

行政区別でみると、美浜区では「移動支援・付き添いサービス」が最も高く、それ以外の行政区では「院内介助、入院時の支援、受診介助」が最も高くなっている。

【提供している介護保険外サービスの種類＜行政区別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	提供している介護保険外サービスの種類							
			家事援助等サービス	訪問サービス(家事援助サービス以外)	配食サービス	物販等サービス	安否確認・緊急通報サービス	移動支援・付き添いサービス	通い・サロンサービス	衣類整理、補修
全 体		171 100.0	42 24.6	30 17.5	26 15.2	20 11.7	16 9.4	61 35.7	7 4.1	15 8.8
行政区別	中央区	58 100.0	10 17.2	5 8.6	9 15.5	7 12.1	6 10.3	18 31.0	－ －	6 10.3
	花見川区	27 100.0	9 33.3	5 18.5	2 7.4	3 11.1	2 7.4	14 51.9	1 3.7	3 11.1
	稲毛区	20 100.0	5 25.0	4 20.0	3 15.0	6 30.0	4 20.0	5 25.0	－ －	1 5.0
	若葉区	29 100.0	7 24.1	3 10.3	7 24.1	2 6.9	3 10.3	8 27.6	5 17.2	－ －
	緑区	24 100.0	7 29.2	7 29.2	2 8.3	1 4.2	－ －	7 29.2	－ －	－ －
	美浜区	12 100.0	4 33.3	6 50.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	8 66.7	1 8.3	5 41.7
	不明	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －

		全 体	提供している介護保険外サービスの種類							
			草取り、庭仕事、除雪	院内介助、入院時の支援、受診介助	介護保険の対象とならない身体介護	話相手、相談対応	介護保険の対象とならない掃除や洗濯	家具の移動、引っ越し手伝い	その他	無回答
全 体		171 100.0	28 16.4	76 44.4	25 14.6	17 9.9	47 27.5	22 12.9	43 25.1	— —
行政区別	中央区	58 100.0	6 10.3	22 37.9	8 13.8	8 13.8	12 20.7	4 6.9	21 36.2	— —
	花見川区	27 100.0	5 18.5	16 59.3	5 18.5	2 7.4	11 40.7	3 11.1	6 22.2	— —
	稲毛区	20 100.0	3 15.0	7 35.0	2 10.0	1 5.0	5 25.0	4 20.0	4 20.0	— —
	若葉区	29 100.0	7 24.1	15 51.7	5 17.2	— —	7 24.1	4 13.8	6 20.7	— —
	緑区	24 100.0	3 12.5	10 41.7	2 8.3	5 20.8	7 29.2	2 8.3	4 16.7	— —
	美浜区	12 100.0	4 33.3	6 50.0	3 25.0	1 8.3	5 41.7	5 41.7	2 16.7	— —
	不明	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

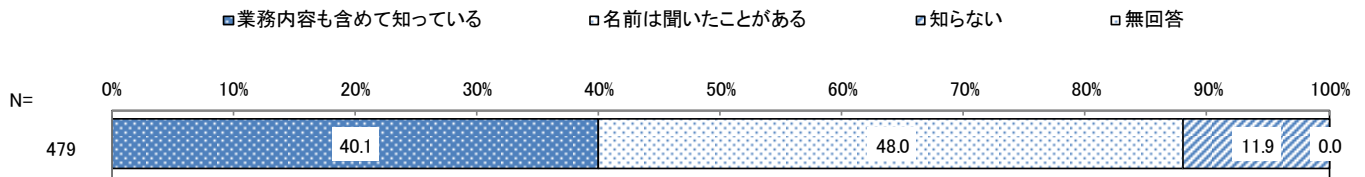
質問 10 在宅医療・介護連携支援センターの認知

質問 10 「在宅医療と介護の連携」

在宅医療・介護連携支援センターについて、あてはまるものを1つお答えください。

在宅医療・介護連携支援センターの認知について、「名前は聞いたことがある」が48.0%と最も高く、次いで「業務内容も含めて知っている」が40.1%、「知らない」が11.9%となっている。

【在宅医療・介護連携支援センターの認知】



上段: 実数、下段: %

全 体	在宅医療・介護連携支援センターの認知			
	業務内容も含めて知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
479	192	230	57	—
100.0	40.1	48.0	11.9	—

【在宅医療・介護連携支援センターの認知＜サービス別＞】

上段:実数、下段:%

		全 体	在宅医療・介護連携支援センターの認知			
			業務内容も 含めて知って いる	名前は聞いた ことがある	知らない	無回答
全 体		479 100.0	192 40.1	230 48.0	57 11.9	— —
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	38 46.3	37 45.1	7 8.5	— —
	訪問入浴介護	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	20 74.1	7 25.9	— —	— —
	訪問リハビリテーション	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	17 38.6	23 52.3	4 9.1	— —
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	11 25.0	31 70.5	2 4.5	— —
	認知症対応型通所介護	3 100.0	2 66.7	1 33.3	— —	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	3 15.0	13 65.0	4 20.0	— —
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老 人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	9 28.1	14 43.8	9 28.1	— —
	居宅介護支援	99 100.0	57 57.6	38 38.4	4 4.0	— —
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	9 50.0	6 33.3	3 16.7	— —
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	4 11.8	22 64.7	8 23.5	— —
	介護老人保健施設	15 100.0	4 26.7	9 60.0	2 13.3	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢 者グループホーム）	34 100.0	6 17.6	20 58.8	8 23.5	— —
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多 機能型居宅介護を含む）	13 100.0	8 61.5	4 30.8	1 7.7	— —

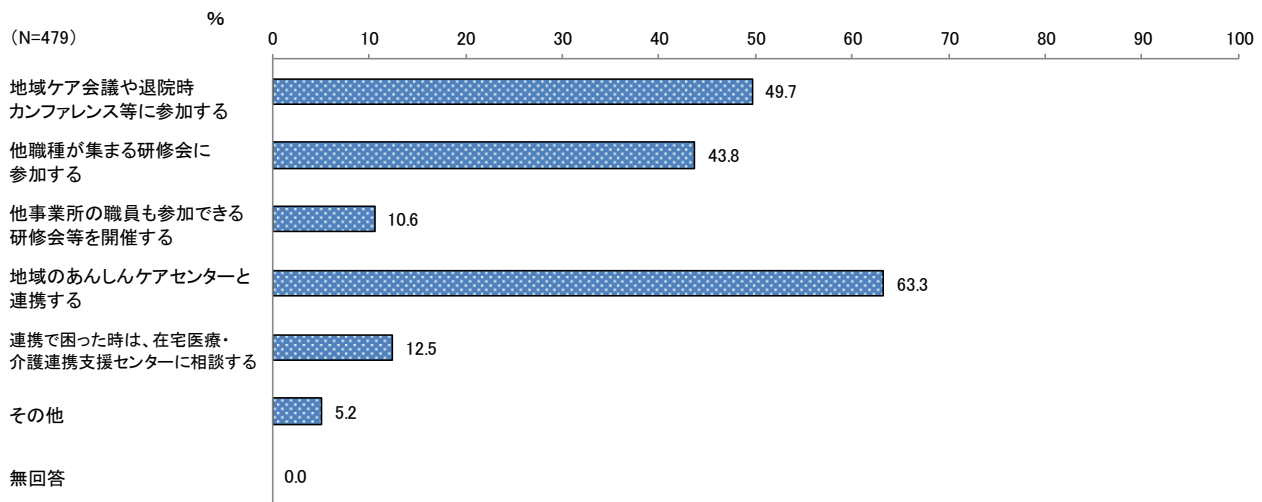
質問 11 他事業所や他職種と連携するために取り組んでいること

質問 11 「在宅医療と介護の連携」

他事業所や他職種と連携するために取り組んでいることをお答えください。(複数回答可)

他事業所や他職種と連携するために取り組んでいることについて、「地域のあんしんケアセンターと連携する」が 63.3%と最も高く、次いで「地域ケア会議や退院時カンファレンス等に参加する」が 49.7%、「他職種が集まる研修会に参加する」が 43.8%となっている。

【他事業所や他職種と連携するために取り組んでいること】



【他事業所や他職種と連携するために取り組んでいること<サービス別>】

上段:実数、下段:%

		全 体	他事業所や他職種と連携するために取り組んでいること						
			地域ケア会議や退院時カンファレンス等に参加する	他職種が集まる研修会に参加する	他事業所の職員も参加できる研修会等を開催する	地域のあんしんケアセンターと連携する	連携で困った時は、在宅医療・介護連携支援センターに相談する	その他	無回答
全 体		479 100.0	238 49.7	210 43.8	51 10.6	303 63.3	60 12.5	25 5.2	— —
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	45 54.9	30 36.6	5 6.1	34 41.5	10 12.2	7 8.5	— —
	訪問入浴介護	1 100.0	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	23 85.2	21 77.8	6 22.2	18 66.7	9 33.3	1 3.7	— —
	訪問リハビリテーション	2 100.0	2 100.0	2 100.0	— —	1 50.0	1 50.0	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	— —	— —	— —	1 100.0	— —	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	15 34.1	18 40.9	3 6.8	22 50.0	7 15.9	1 2.3	— —
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	17 38.6	15 34.1	2 4.5	30 68.2	2 4.5	3 6.8	— —
	認知症対応型通所介護	3 100.0	3 100.0	2 66.7	— —	1 33.3	— —	— —	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	5 100.0	— —	— —	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	6 30.0	6 30.0	4 20.0	13 65.0	1 5.0	— —	— —
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	— —	1 25.0	3 75.0	— —	— —	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	13 40.6	6 18.8	2 6.3	14 43.8	4 12.5	4 12.5	— —
	居宅介護支援	99 100.0	71 71.7	64 64.6	16 16.2	77 77.8	16 16.2	3 3.0	— —
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	10 55.6	9 50.0	4 22.2	12 66.7	2 11.1	2 11.1	— —
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	34 100.0	8 23.5	15 44.1	5 14.7	21 61.8	— —	2 5.9	— —
	介護老人保健施設	15 100.0	5 33.3	6 40.0	— —	15 100.0	1 6.7	— —	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	— —	— —	1 100.0	— —	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	8 23.5	8 23.5	2 5.9	25 73.5	3 8.8	2 5.9	— —
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	6 46.2	6 46.2	— —	11 84.6	3 23.1	— —	— —

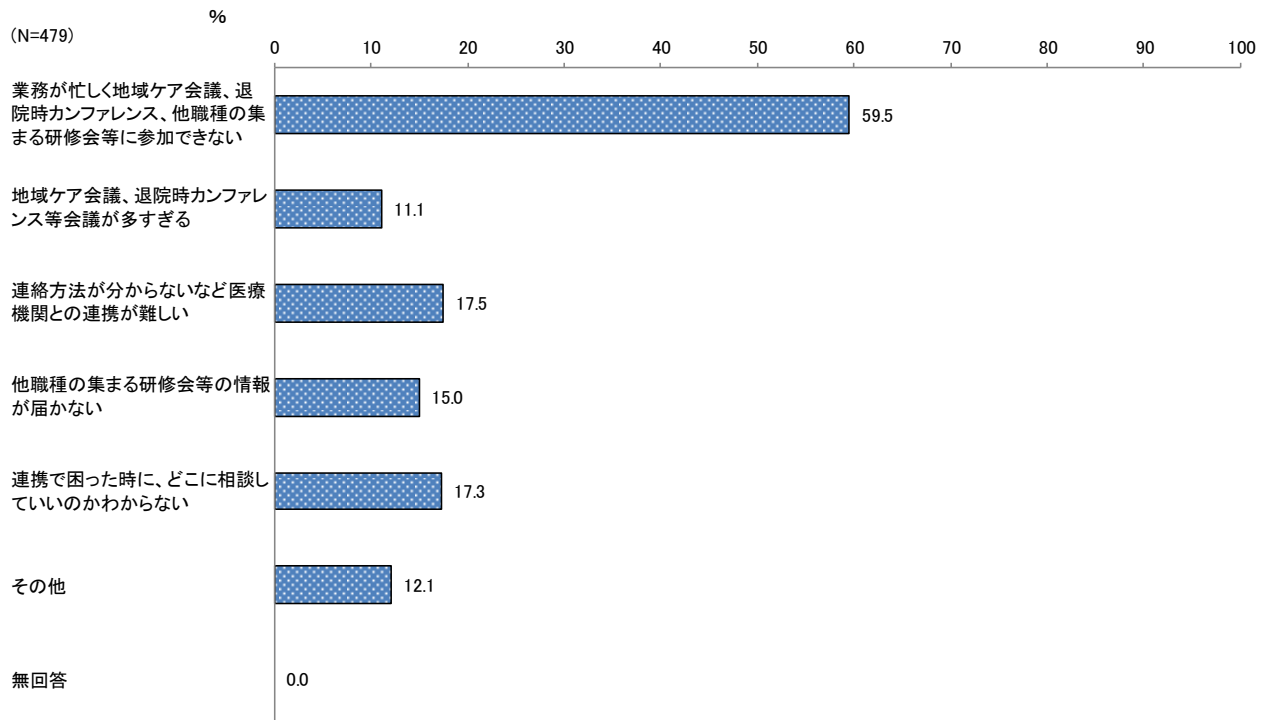
質問 12 他事業所や他職種との連携における課題

質問 12 「在宅医療と介護の連携」

他事業所や他職種との連携における課題をお答えください。（複数回答可）

他事業所や他職種との連携における課題について、「業務が忙しく地域ケア会議、退院時カンファレンス、他職種の集まる研修会等に参加できない」が 59.5%と最も高く、他の項目の3倍以上となっている。

【他事業所や他職種との連携における課題】



【他事業所や他職種との連携における課題＜サービス別＞】

上段:実数、下段:%

		全 体	他事業所や他職種との連携における課題						
			業務が忙しく 地域ケア会 議、退院時カ ンファレン ス、他職種 の集まる研 修会等に参加 できない	地域ケア会 議、退院時カ ンファレンス 等会議が多 すぎる	連絡方法が 分からないな ど医療機関 との連携が 難しい	他職種の集 まる研修会 等の情報が 届かない	連携で困っ た時に、どこ に相談してい いのかかわか らない	その他	無回答
全 体		479 100.0	285 59.5	53 11.1	84 17.5	72 15.0	83 17.3	58 12.1	— —
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	54 65.9	7 8.5	7 8.5	9 11.0	15 18.3	9 11.0	— —
	訪問入浴介護	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	11 40.7	8 29.6	2 7.4	2 7.4	1 3.7	6 22.2	— —
	訪問リハビリテーション	2 100.0	2 100.0	1 50.0	— —	1 50.0	— —	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	33 75.0	4 9.1	8 18.2	10 22.7	7 15.9	— —	— —
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	23 52.3	7 15.9	10 22.7	7 15.9	7 15.9	8 18.2	— —
	認知症対応型通所介護	3 100.0	2 66.7	— —	— —	— —	— —	1 33.3	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	— —	2 40.0	— —	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	14 70.0	3 15.0	7 35.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0	— —
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	— —	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老 人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	17 53.1	1 3.1	3 9.4	6 18.8	4 12.5	7 21.9	— —
	居宅介護支援	99 100.0	58 58.6	12 12.1	23 23.2	9 9.1	17 17.2	16 16.2	— —
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	7 38.9	2 11.1	6 33.3	8 44.4	5 27.8	— —	— —
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	21 61.8	2 5.9	9 26.5	3 8.8	9 26.5	5 14.7	— —
	介護老人保健施設	15 100.0	10 66.7	2 13.3	3 20.0	— —	2 13.3	1 6.7	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	— —	— —	— —	1 100.0	— —	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢 者グループホーム）	34 100.0	21 61.8	— —	2 5.9	9 26.5	8 23.5	2 5.9	— —
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多 機能型居宅介護を含む）	13 100.0	8 61.5	— —	2 15.4	2 15.4	1 7.7	1 7.7	— —

また、「その他」に関して以下の回答等が挙げられた。

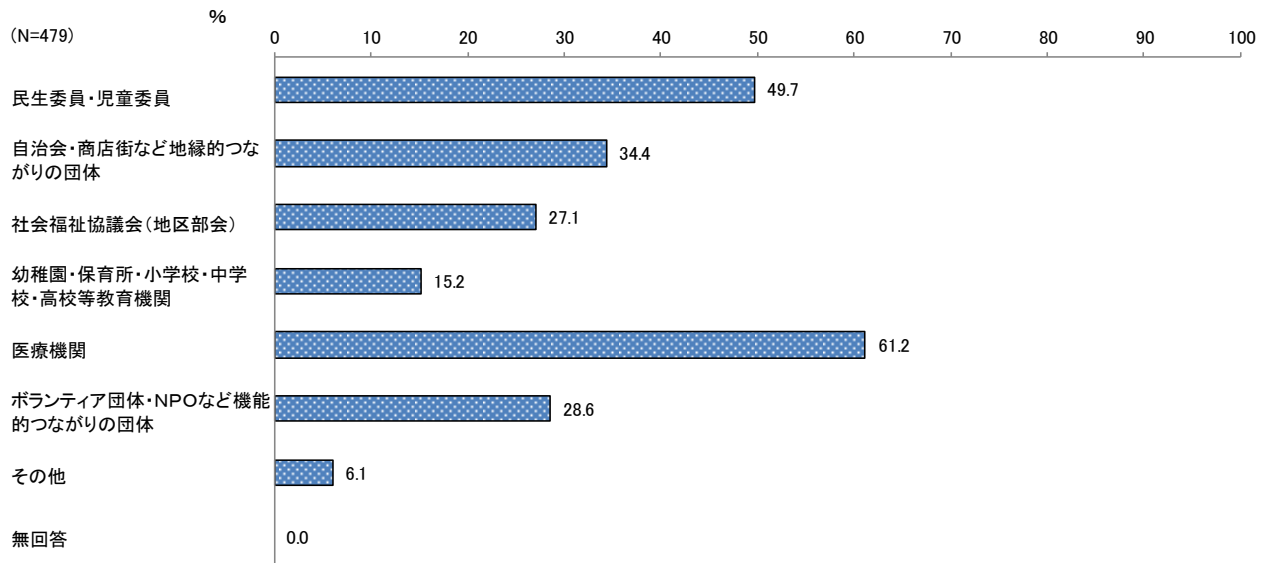
- ・医療と介護の間に介護保険制度に関する周知の差がある
- ・地域ケア会議や研修会に関しては着地点の見えない意味のない議論が多いので次回以降の参加を考えてしまう
退院時カンファレンスは在宅生活を送るうえで必要な話し合いという目的があるため、利用者との意見のすり合わせ、現状の課題について共有は有意義だと思う
- ・対面や電話、FAX での連携しかできておらず、無駄なことが多い、WEB 会議や SNS の利用を推進できないのか

質問 13 事業所と連携している地域の各種団体や組織

質問 13 貴事業所と連携している地域の各種団体や組織をお答えください。（複数選択可）

事業所と連携している地域の各種団体や組織について、「医療機関」が 61.2%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」が 49.7%、「自治会・商店街など地縁的つながりの団体」が 34.4%となっている。

【事業所と連携している地域の各種団体や組織】



【事業所と連携している地域の各種団体や組織＜サービス別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	事業所と連携している地域の各種団体や組織							
			民生委員・児童委員	自治会・商店街など地縁的つながりの団体	社会福祉協議会（地区部会）	幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校等教育機関	医療機関	ボランティア団体・NPOなど機能的つながりの団体	その他	無回答
全 体		479 100.0	238 49.7	165 34.4	130 27.1	73 15.2	293 61.2	137 28.6	29 6.1	－
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	35 42.7	22 26.8	17 20.7	4 4.9	48 58.5	14 17.1	7 8.5	－
	訪問入浴介護	1 100.0	－	－	－	－	1 100.0	－	－	－
	訪問看護	27 100.0	9 33.3	4 14.8	4 14.8	2 7.4	26 96.3	11 40.7	1 3.7	－
	訪問リハビリテーション	2 100.0	－	1 50.0	－	－	2 100.0	－	－	－
	居宅療養管理指導	1 100.0	－	－	－	－	1 100.0	－	－	－
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	14 31.8	16 36.4	12 27.3	11 25.0	14 31.8	16 36.4	3 6.8	－
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	33 75.0	18 40.9	6 13.6	8 18.2	9 20.5	6 13.6	3 6.8	－
	認知症対応型通所介護	3 100.0	1 33.3	－	－	－	1 33.3	1 33.3	－	－
	通所リハビリテーション	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	－	3 60.0	2 40.0	－	－
	短期入所生活介護	20 100.0	14 70.0	10 50.0	12 60.0	5 25.0	12 60.0	6 30.0	－	－
	短期入所療養介護	4 100.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	－	3 75.0	－	－	－
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	6 18.8	8 25.0	4 12.5	7 21.9	27 84.4	12 37.5	－	－
	居宅介護支援	99 100.0	56 56.6	18 18.2	25 25.3	7 7.1	73 73.7	30 30.3	8 8.1	－
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	5 27.8	5 27.8	5 27.8	－	9 50.0	4 22.2	4 22.2	－
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	21 61.8	18 52.9	20 58.8	13 38.2	24 70.6	11 32.4	2 5.9	－
	介護老人保健施設	15 100.0	2 13.3	4 26.7	1 6.7	4 26.7	13 86.7	4 26.7	－	－
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	－	1 100.0	1 100.0	－	－
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	27 79.4	27 79.4	13 38.2	9 26.5	22 64.7	13 38.2	－	－
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	11 84.6	8 61.5	7 53.8	3 23.1	4 30.8	6 46.2	1 7.7	－

また、「その他」に関して以下の回答等が挙げられた。

- ・訪問看護事業所
- ・あんしんケアセンター
- ・介護支援専門員

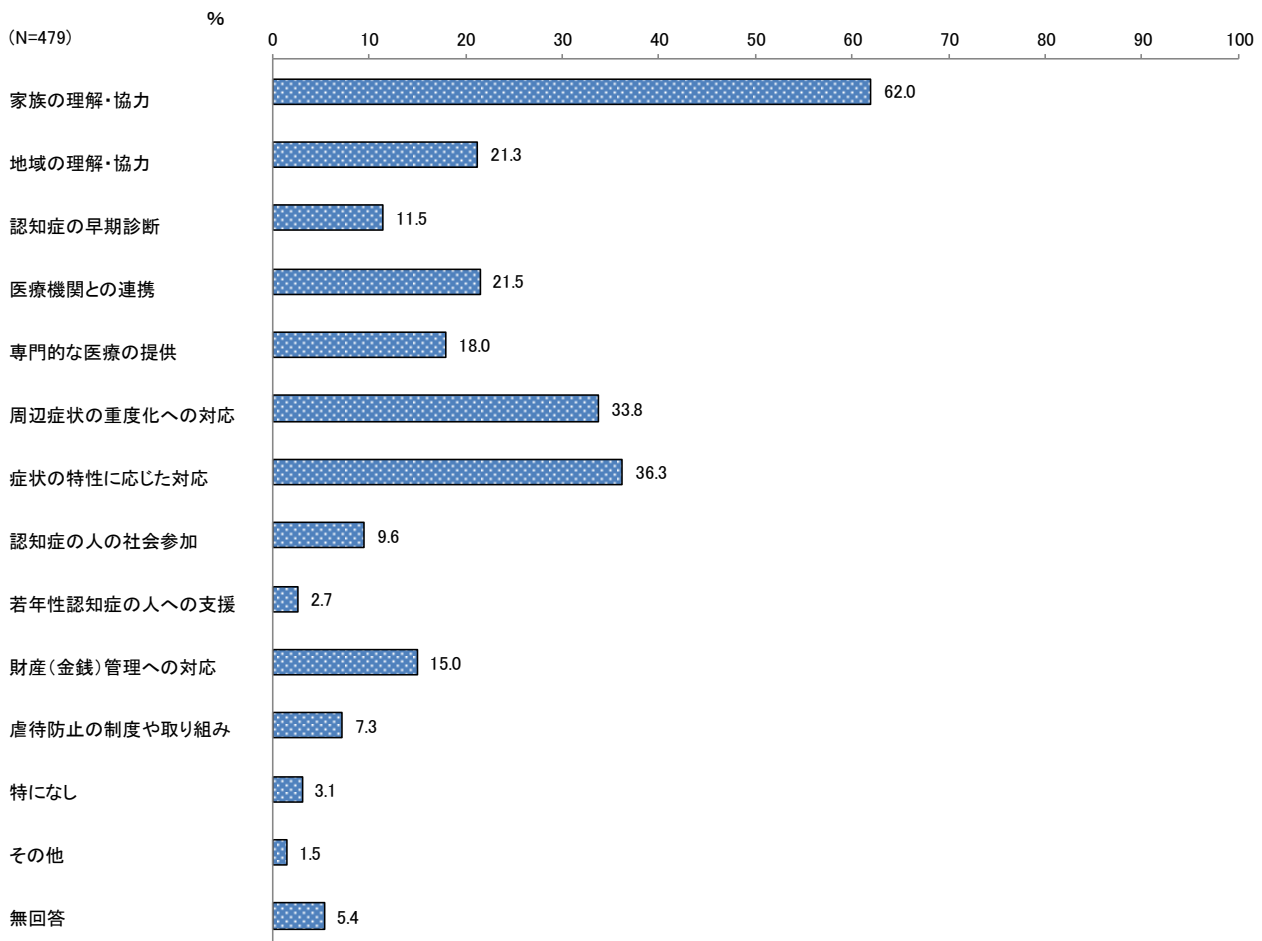
質問 14 認知症の方への対応についての課題

質問 14 「認知症の方への支援」

貴事業所で認知症の方への対応について課題となっていることを3つまでお答えください。

認知症の方への対応についての課題について、「家族の理解・協力」が62.0%と最も高く、次いで「症状の特性に応じた対応」が36.3%、「周辺症状の重度化への対応」が33.8%となっている。

【認知症の方への対応についての課題】



【認知症の方への対応についての課題＜サービス別＞】

上段:実数、下段:%

		全 体	認知症の方への対応についての課題						
			家族の理解・協力	地域の理解・協力	認知症の早期診断	医療機関との連携	専門的な医療の提供	周辺症状の重度化への対応	症状の特性に応じた対応
全 体		479 100.0	297 62.0	102 21.3	55 11.5	103 21.5	86 18.0	162 33.8	174 36.3
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護(総合事業の訪問系を含む)	82 100.0	55 67.1	14 17.1	11 13.4	14 17.1	14 17.1	19 23.2	34 41.5
	訪問入浴介護	1 100.0	— —	— —	— —	1 100.0	— —	— —	1 100.0
	訪問看護	27 100.0	17 63.0	7 25.9	2 7.4	9 33.3	3 11.1	5 18.5	10 37.0
	訪問リハビリテーション	2 100.0	1 50.0	— —	1 50.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	— —	— —	— —	1 100.0	1 100.0	1 100.0
	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	44 100.0	22 50.0	8 18.2	4 9.1	6 13.6	5 11.4	18 40.9	19 43.2
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	44 100.0	34 77.3	11 25.0	6 13.6	6 13.6	2 4.5	16 36.4	23 52.3
	認知症対応型通所介護	3 100.0	3 100.0	— —	— —	1 33.3	— —	1 33.3	2 66.7
	通所リハビリテーション	5 100.0	2 40.0	— —	— —	3 60.0	— —	2 40.0	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	10 50.0	4 20.0	3 15.0	7 35.0	5 25.0	9 45.0	10 50.0
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	— —	— —	2 50.0	1 25.0	2 50.0	— —
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	32 100.0	19 59.4	4 12.5	4 12.5	11 34.4	7 21.9	16 50.0	7 21.9
	居宅介護支援	99 100.0	71 71.7	27 27.3	20 20.2	18 18.2	26 26.3	26 26.3	27 27.3
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	14 77.8	7 38.9	2 11.1	2 11.1	2 11.1	1 5.6	5 27.8
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) (地域密着型サービスを含む)	34 100.0	16 47.1	3 8.8	— —	6 17.6	7 20.6	20 58.8	14 41.2
	介護老人保健施設	15 100.0	10 66.7	2 13.3	1 6.7	7 46.7	3 20.0	7 46.7	5 33.3
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	34 100.0	13 38.2	11 32.4	— —	5 14.7	5 14.7	16 47.1	11 32.4
	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護を含む)	13 100.0	8 61.5	3 23.1	1 7.7	4 30.8	4 30.8	3 23.1	5 38.5

⇒次頁に続く

介護保険事業所向けアンケート調査

上段:実数、下段:%

		全 体	認知症の方への対応についての課題					
			認知症の人の 社会参加	若年性認知 症の人への 支援	財産(金銭) 管理への対 応	虐待防止の 制度や取り 組み	特になし	その他
全 体		479 100.0	46 9.6	13 2.7	72 15.0	35 7.3	15 3.1	7 1.5
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護(総合事業の訪問系を含む)	82 100.0	6 7.3	-	15 18.3	5 6.1	4 4.9	1 1.2
	訪問入浴介護	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-
	訪問看護	27 100.0	4 14.8	2 7.4	6 22.2	4 14.8	-	1 3.7
	訪問リハビリテーション	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-
	居宅療養管理指導	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	44 100.0	7 15.9	6 13.6	2 4.5	5 11.4	-	-
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	44 100.0	4 9.1	-	2 4.5	5 11.4	-	-
	認知症対応型通所介護	3 100.0	-	-	-	-	-	-
	通所リハビリテーション	5 100.0	2 40.0	-	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0
	短期入所生活介護	20 100.0	2 10.0	-	3 15.0	-	-	-
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	-	2 50.0	-	1 25.0	-
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老 人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	32 100.0	2 6.3	-	1 3.1	1 3.1	1 3.1	-
	居宅介護支援	99 100.0	5 5.1	4 4.0	19 19.2	3 3.0	1 1.0	3 3.0
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	2 11.1	-	4 22.2	2 11.1	2 11.1	1 5.6
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) (地域密着型サービスを含む)	34 100.0	3 8.8	-	6 17.6	3 8.8	2 5.9	-
	介護老人保健施設	15 100.0	1 6.7	1 6.7	2 13.3	-	1 6.7	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢 者グループホーム)	34 100.0	6 17.6	-	4 11.8	5 14.7	2 5.9	-
	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多 機能型居宅介護を含む)	13 100.0	1 7.7	-	4 30.8	-	-	-

また、「その他」に関して以下の回答等が挙げられた。

- ・警察、消防との連携
- ・認知症の方からの暴力や暴言
- ・GPS の活用

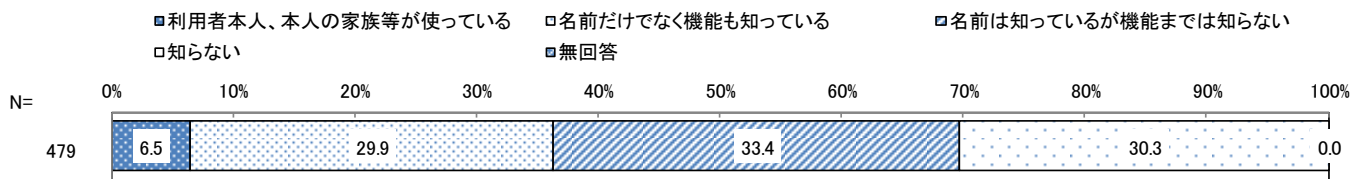
質問 15 高齢者保護情報共有サービスの認知

質問 15 「認知症の方への支援」

高齢者保護情報共有サービス（どこシル伝言板）について、あてはまるものを1つお答えください。

高齢者保護情報共有サービスの認知について、「名前は知っているが機能までは知らない」が33.4%と最も高く、次いで「知らない」が30.3%、「名前だけでなく機能も知っている」が29.9%となっている。

【高齢者保護情報共有サービスの認知】



上段: 実数、下段: %

全 体	高齢者保護情報共有サービスの認知				
	利用者本人、本人の家族等が使っている	名前だけでなく機能も知っている	名前は知っているが機能までは知らない	知らない	無回答
479	31	143	160	145	—
100.0	6.5	29.9	33.4	30.3	—

【高齢者保護情報共有サービスの認知＜サービス別＞】

上段：実数、下段：%

		全 体	高齢者保護情報共有サービスの認知				
			利用者本人、本人の家族等が使っている	名前だけでなく機能も知っている	名前は知っているが機能までは知らない	知らない	無回答
全 体		479 100.0	31 6.5	143 29.9	160 33.4	145 30.3	— —
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	6 7.3	22 26.8	32 39.0	22 26.8	— —
	訪問入浴介護	1 100.0	— —	— —	1 100.0	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	1 3.7	12 44.4	9 33.3	5 18.5	— —
	訪問リハビリテーション	2 100.0	— —	— —	1 50.0	1 50.0	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	6 13.6	10 22.7	12 27.3	16 36.4	— —
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	1 2.3	11 25.0	18 40.9	14 31.8	— —
	認知症対応型通所介護	3 100.0	2 66.7	— —	— —	1 33.3	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	— —	— —	1 20.0	4 80.0	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	1 5.0	3 15.0	5 25.0	11 55.0	— —
	短期入所療養介護	4 100.0	— —	— —	— —	4 100.0	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	1 3.1	8 25.0	15 46.9	8 25.0	— —
	居宅介護支援	99 100.0	9 9.1	48 48.5	28 28.3	14 14.1	— —
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	1 5.6	6 33.3	5 27.8	6 33.3	— —
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	2 5.9	7 20.6	9 26.5	16 47.1	— —
	介護老人保健施設	15 100.0	— —	2 13.3	4 26.7	9 60.0	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	— —	— —	1 100.0	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	1 2.9	6 17.6	16 47.1	11 32.4	— —
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	— —	7 53.8	3 23.1	3 23.1	— —

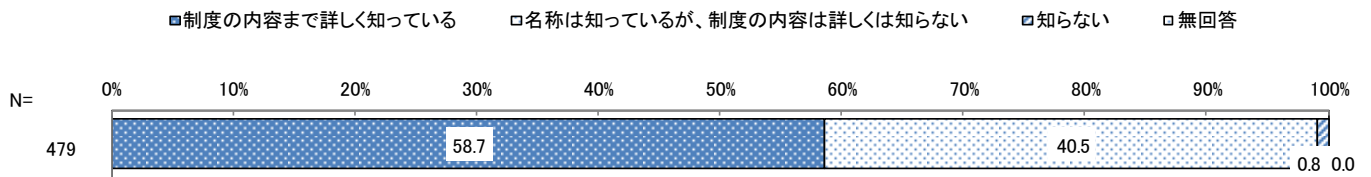
質問 16 成年後見制度の認知

質問 16 「認知症の方への支援」

成年後見制度について、あてはまるものを1つお答えください。

成年後見制度の認知について、「制度の内容まで詳しく知っている」が58.7%と最も高く、次いで「名称は知っているが、制度の内容は詳しくは知らない」が40.5%となっている。

【成年後見制度の認知】



上段:実数、下段: %

全 体	成年後見制度の認知			
	制度の内容まで詳しく知っている	名称は知っているが、制度の内容は詳しくは知らない	知らない	無回答
479	281	194	4	—
100.0	58.7	40.5	0.8	—

【成年後見制度の認知＜サービス別＞】

上段:実数、下段:%

		全 体	成年後見制度の認知			
			制度の内容 まで詳しく 知っている	名称は知っ ているが、制 度の内容は 詳しくは知ら ない	知らない	無回答
全 体		479 100.0	281 58.7	194 40.5	4 0.8	— —
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	44 53.7	37 45.1	1 1.2	— —
	訪問入浴介護	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —
	訪問看護	27 100.0	15 55.6	12 44.4	— —	— —
	訪問リハビリテーション	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —
	居宅療養管理指導	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	22 50.0	21 47.7	1 2.3	— —
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	20 45.5	23 52.3	1 2.3	— —
	認知症対応型通所介護	3 100.0	2 66.7	1 33.3	— —	— —
	通所リハビリテーション	5 100.0	2 40.0	3 60.0	— —	— —
	短期入所生活介護	20 100.0	11 55.0	9 45.0	— —	— —
	短期入所療養介護	4 100.0	2 50.0	2 50.0	— —	— —
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老 人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	20 62.5	11 34.4	1 3.1	— —
	居宅介護支援	99 100.0	67 67.7	32 32.3	— —	— —
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	8 44.4	10 55.6	— —	— —
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	17 50.0	17 50.0	— —	— —
	介護老人保健施設	15 100.0	11 73.3	4 26.7	— —	— —
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢 者グループホーム）	34 100.0	25 73.5	9 26.5	— —	— —
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多 機能型居宅介護を含む）	13 100.0	12 92.3	1 7.7	— —	— —

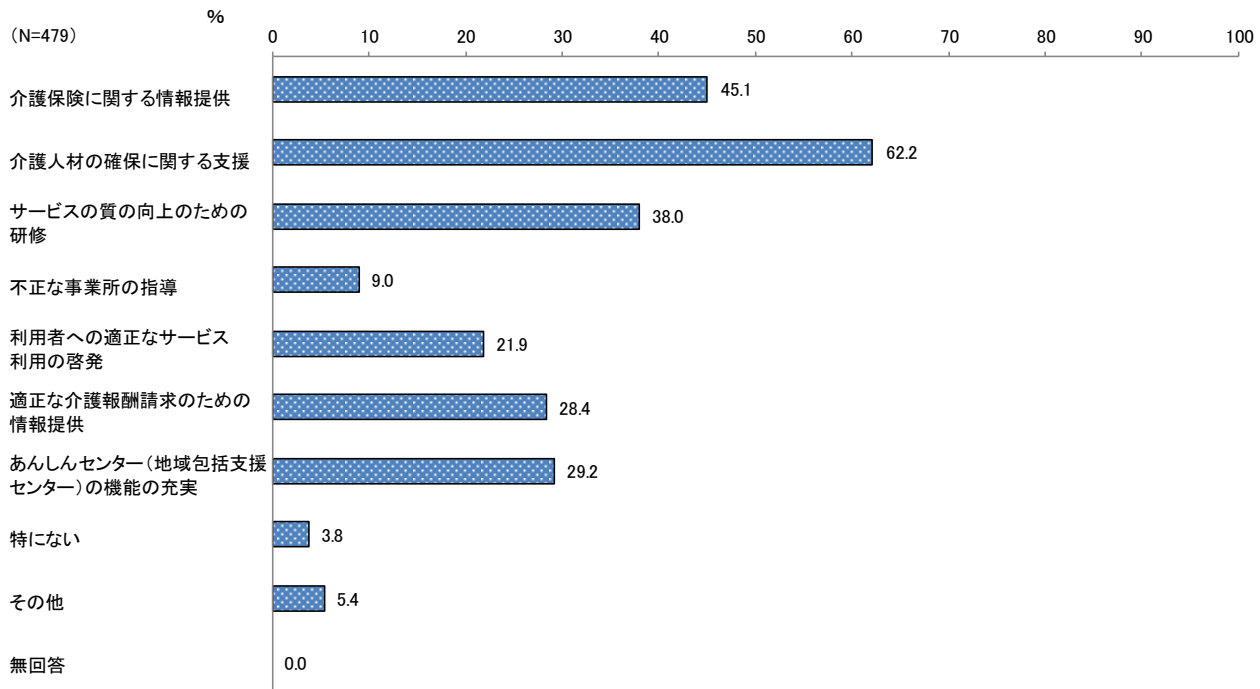
質問 17 千葉市に対して望むこと

質問 17 「市の施策」

事業者の立場から、保険者である千葉市に対して望むことをお答えください。(複数回答可)

千葉市に対して望むことについて、「介護人材の確保に関する支援」が 62.2%と最も高く、次いで「介護保険に関する情報提供」が 45.1%、「サービスの質の向上のための研修」が 38.0%となっている。

【千葉市に対して望むこと】



【千葉市に対して望むこと<サービス別>】

上段：実数、下段：%

		全 体	事業者の立場から、保険者である千葉市に対して望むこと				
			介護保険に関する情報提供	介護人材の確保に関する支援	サービスの質の向上のための研修	不正な事業所の指導	利用者への適正なサービス利用の啓発
全 体		479 100.0	216 45.1	298 62.2	182 38.0	43 9.0	105 21.9
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護(総合事業の訪問系を含む)	82 100.0	29 35.4	51 62.2	22 26.8	7 8.5	24 29.3
	訪問入浴介護	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －
	訪問看護	27 100.0	17 63.0	11 40.7	10 37.0	6 22.2	7 25.9
	訪問リハビリテーション	2 100.0	－ －	1 50.0	1 50.0	－ －	－ －
	居宅療養管理指導	1 100.0	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －	1 100.0
	通所介護(総合事業の通所系を含む) (定員19名以上のデイサービス)	44 100.0	21 47.7	33 75.0	24 54.5	4 9.1	12 27.3
	地域密着型通所介護 (定員18名以下のデイサービス)	44 100.0	20 45.5	26 59.1	17 38.6	2 4.5	9 20.5
	認知症対応型通所介護	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	－ －	－ －
	通所リハビリテーション	5 100.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	－ －	1 20.0
	短期入所生活介護	20 100.0	9 45.0	16 80.0	10 50.0	2 10.0	2 10.0
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	4 100.0	1 25.0	－ －	－ －
	特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)(地域密着型サービスを含む)	32 100.0	14 43.8	23 71.9	9 28.1	2 6.3	7 21.9
	居宅介護支援	99 100.0	53 53.5	45 45.5	41 41.4	10 10.1	25 25.3
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	10 55.6	9 50.0	10 55.6	3 16.7	3 16.7
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) (地域密着型サービスを含む)	34 100.0	14 41.2	29 85.3	18 52.9	5 14.7	3 8.8
	介護老人保健施設	15 100.0	8 53.3	11 73.3	3 20.0	－ －	4 26.7
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －
	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	34 100.0	11 32.4	24 70.6	9 26.5	2 5.9	4 11.8
	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護を含む)	13 100.0	3 23.1	8 61.5	4 30.8	－ －	3 23.1

⇒次頁に続く

上段：実数、下段：%

		全 体	千葉市に対して望むこと				
			適正な介護報酬請求のための情報提供	あんしんセンター（地域包括支援センター）の機能の充実	特にない	その他	無回答
全 体		479 100.0	136 28.4	140 29.2	18 3.8	26 5.4	- -
サ ー ビ ス 種 別	訪問介護（総合事業の訪問系を含む）	82 100.0	24 29.3	25 30.5	5 6.1	3 3.7	- -
	訪問入浴介護	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	訪問看護	27 100.0	9 33.3	10 37.0	- -	2 7.4	- -
	訪問リハビリテーション	2 100.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -
	居宅療養管理指導	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	通所介護（総合事業の通所系を含む） （定員19名以上のデイサービス）	44 100.0	17 38.6	9 20.5	- -	1 2.3	- -
	地域密着型通所介護 （定員18名以下のデイサービス）	44 100.0	14 31.8	13 29.5	1 2.3	4 9.1	- -
	認知症対応型通所介護	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	通所リハビリテーション	5 100.0	- -	2 40.0	- -	1 20.0	- -
	短期入所生活介護	20 100.0	4 20.0	4 20.0	- -	- -	- -
	短期入所療養介護	4 100.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -	- -
	特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）	32 100.0	10 31.3	6 18.8	1 3.1	1 3.1	- -
	居宅介護支援	99 100.0	23 23.2	32 32.3	5 5.1	10 10.1	- -
	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	18 100.0	6 33.3	6 33.3	- -	- -	- -
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （地域密着型サービスを含む）	34 100.0	10 29.4	11 32.4	- -	2 5.9	- -
	介護老人保健施設	15 100.0	4 26.7	5 33.3	- -	1 6.7	- -
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）	34 100.0	11 32.4	10 29.4	4 11.8	- -	- -
	小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）	13 100.0	2 15.4	4 30.8	1 7.7	1 7.7	- -

Ⅳ 考察

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 介護・生活支援

<実態>

将来、介護が必要になった時、どのような場所で生活や療養をしたいかについては、「自宅で暮らし続けたい」が62.3%と最も高かった（問7（9））。

調査時点で介護・介助を受けている方の主な介護者・介助者は、「配偶者（夫・妻）」が34.9%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が24.5%、「娘」が19.9%となっている（問1（2））。

高齢により自分で買い物に行けなくなった場合の食品等の購入方法については、「家族・知人にお願いする」が40.8%と最も高く、次いで「近所にある宅配など、配達してくれるお店に注文する」が30.7%、「有償のお買い物代行サービスを利用する」が11.1%となっている（問9（4））。

専門職ではない人によるサービスを利用してもよいと思うかについては、「はい」が39.8%と最も高く、次いで「わからない」が33.8%、「いいえ」が14.4%となっている（問9（2））。

また、ボランティアなどが地域の支えあい活動として提供するサービスを利用してもよいと思うかについては、「はい」が53.7%と最も高く、次いで「わからない」が26.6%、「いいえ」が8.5%となっている（問9（3））。

外国人介護士による介護サービスへの抵抗や不安については、「どちらでもない」が37.9%と最も高く、次いで「大きな抵抗・不安はない」が26.0%、「大いに抵抗・不安がある」が24.3%となっている（問9（5））。

また、介護ロボットを使った介護サービスへの抵抗や不安については、「どちらでもない」が36.7%と最も高く、次いで「大きな抵抗・不安はない」が31.2%、「大いに抵抗・不安がある」が19.2%となっている（問9（6））。

自身や家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「いいえ」が83.6%、「はい」が10.6%となっており（問8（1））、認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「いいえ」が67.7%、「はい」が25.5%となっている（問8（2））。

「成年後見制度」を知っているかについては、「名称のみ知っている」が48.7%で最も高く、「名称だけでなく、制度の内容も知っている」は17.5%となっている（問8（5））。また、「成年後見制度」を利用したいと思わない理由としては、「制度の内容や利用方法がわからない」が37.4%、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が30.5%と3割を超えている（問8（6））。

<課題と方向性>

約 6 割の人が、介護が必要になっても自宅で暮らしたいと思っている。調査時点での主な介護者・介助者は、親族が多いものの、介護サービスのヘルパーも 4 分の 1 の割合となっている。前回の調査時点での主な介護者・介助者は配偶者・娘・息子が上位を占めていたことを考えると、今回の調査までに介護サービス利用者は増えていると思われる。家族の負担の軽減という面を含め、引き続き必要なサービスが受けられるよう環境を整えていく必要がある。

自分で買い物に行けなくなった時に有償のサービスを利用する意向は、前回の調査と同様に低い割合にとどまった。しかしながら、前回の調査においても懸念点として挙げられたように、今後高齢化の更なる進展、ひとり暮らし高齢者の増加により、有償サービスを利用するケースが増加すると見込まれる。

加えて、今回の調査では、前回の調査よりも非専門職の人によるサービスの利用意向が低くなっている。今後、介護・介助の担い手が不足することを考えると、ボランティアによるサービス提供への理解促進および市の支援が重要である。

外国人介護士および介護ロボットによる介護サービスについては、抵抗・不安がある割合は約 2 割となっている。ただし、いずれも「どちらでもない」の割合が最も高くなっていることから、外国人介護士および介護ロボットによる介護サービスについて、具体的にイメージができていないケースも多い可能性がある。実際のサービスの質はもちろん、サービス内容の周知等が今後のイメージの向上につながるため、慎重に進めていく必要がある。

また、外国人介護士および介護ロボットによる介護サービスへの抵抗・不安は、女性の方が男性よりも強く感じている傾向がみられた。性別で対応を分けるなどの施策も重要となる。

認知症については、約 1 割の人が自身や家族に症状が出ていると回答している。割合としては少ないが、今後増えていく可能性がある点には留意が必要である。相談窓口については、約 7 割が知らないと回答しているため、さらなる周知が必要である。

また、認知症などにより判断能力が低下した方のための制度である「成年後見制度」については、認知度がまだ低いだけでなく、抵抗感をもつ人も少なくないことが課題となっている。

認知症だけではなく介護が必要となった場合に、適切に成年後見制度が利用できるよう、周知・啓発をしていく必要がある。

(2) 介護予防

<実態>

現在の健康状態は、「あまりよくない」「よくない」の合計が 35.4%となっている（問 7 (1)）。

「介護予防」への取り組みについては、「日頃より意識して取り組んでいる」が 57.5%と最も高く、次いで「関心はあるが、まだ取り組んでいない」が 36.1%、「関心がない」が 3.8%となっている（問 2(10)）。

介護予防として行う軽く汗をかく程度の運動（30 分以上）の頻度については、「週に 2 回以上」が 55.4%と最も高く、次いで「週に 1 回」が 21.0%となっている（問 2 (10) ①）。

お酒を飲む頻度については、「もともと飲まない」が 33.3%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 28.5%、「ほぼ毎日飲む」が 18.7%となっている（問 7 (5)）。ただし、男女別でみると男性は「ほぼ毎日飲む」割合が 31.5%と約 3 割を占めている。

また、タバコを吸う頻度については、「もともと吸っていない」が 56.7%と最も高く、「吸っていたがやめた」が 33.5%、「ほぼ毎日吸っている」が 6.0%となっている（問 7 (6)）。

<課題と方向性>

健康状態がよくない人が前回の調査では約 2 割であったが、今回の調査においては約 3 割と増加傾向にある一方、前回の調査と比べて、介護予防に取り組んでいる割合は約 3 割から約 6 割に増えている。

健康や介護予防に関する意識の高まりはみえるが、介護予防としての運動の頻度については、「週に 2 回以上」の割合がやや前回よりも低くなっているため、意識を行動につなげる取組みについて検討する必要がある。

(3) 医療

<実態>

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が 43.4%、「目の病気」が 23.7%と高くなっている。一方、「ない」の割合は 8.5%と低い（問 7 (7)）。

現在の受診状況は、「外来で病院や診療所にかかっている」が 85.4%と大部分を占めた。一方、「往診や訪問診療などの在宅医療を利用している」は 1.5%にとどまっている（問 7 (8)）。

また、将来、介護が必要になった時、どのような場所で生活や療養をしたいかについては、「自宅で暮らし続けたい」が 62.3%と最も高かった（問 7 (9)）。

<課題と方向性>

持病については、9 割以上の人が何らかの病気にかかっている状態である。

また、8 割以上の人、病院または診療所に通っている。一方、在宅医療については、前回の調査と同じく、利用が 1 割を下回っている状況である。しかし、約 6 割の人が自宅での介護を希望していることから、在宅医療の潜在的なニーズはがあると推測できる。いずれ在宅医療が必要となった時に、適切な在宅医療の提供ができるよう備える必要がある。

(4) 住まい

<実態>

居住形態については、「持家（一戸建て）」が 55.4%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 21.9%、「公営賃貸住宅」が 8.9%となっている。集合住宅をまとめると 37.2%（持家・民間賃貸の集合住宅と公営賃貸住宅の合計）、賃貸・借家をまとめると 17.3%となっている（公営・民間の賃貸住宅と借家の合計）（問 1（4））。

<課題と方向性>

居住形態は前回の調査と比べてほぼ差がでなかった。今後も大きくは割合が変わらないと推測できる。また、将来的に生活や療養する場所の希望について、「自宅で暮らし続けたい」が最も多い。高齢になると身体状況に合わせたバリアフリー対応や公共交通機関の利用の必要性が高まることから、住宅改修・住み替えや外出への支援が必要となる。

(5) 社会参加、地域共生

<実態>

地域活動への参加状況については、「参加していない」が約 5 割から約 8 割と高くなっている（問 5(1)）。男女別でみると、基本的には男性の方が女性よりも「参加していない」割合が高い。

住民有志の地域活動への参加希望について、「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している（前回選択項目なし）」の合計をみると、一般の参加者として参加する意向は 56.0%、企画・運営者として参加する意向は 31.9%となった（問 5（2）（3））。こちらは男女別でみても大きな差はみられなかった。

<課題と方向性>

地域活動については、前回の調査とほぼ同様の割合であり、基本的には半数以上が参加していない状況が続いている。

一方で、参加意向としては前回調査と大きくは変わらず、決して低くない割合となっている。ただし、前回および今回の調査において、「是非参加したい」の割合は約 1 割もしくは 1 割未満であることには留意が必要である。

高齢者の地域活動への参加を促すのであれば、どのような活動であれば、「参加してもよい」と思っている人を動かすことができるのか検討していく必要があり、このことが「地域共生社会」の実現に向けた取組みにもつながる。

そのためには、魅力的な活動をつくることだけでなく、高齢者自身の健康状態等も参加の要素となることから、複合的な課題解決の取組みが求められる。

(6) まとめ

各設問に対する回答について、今回の調査では、前回よりも健康度や社会参加活動等の状況が、総じて低下しているように見受けられる。

しかしこれは、前回の調査対象及び回答者が、前期高齢者や一般高齢者が多かったことに比べ、今回は、年齢構成や要介護度状況等において、各区分から相応に抽出して回答を得たものであるため、そこから得た回答は、状況が低下したように感じられる結果になったとも考えられる。

そのような回答状況を鑑みれば、主観的な幸福度は低下しているとまでは言えず（問 7（2））、介護予防に取り組む意欲は高まっていると言える（問 2（10））。

重要なことは一人ひとりの心持ちであり、各人がこの心持ちを維持すること、また年齢を重ねても維持し続けること、さらには家族、友人、地域の方々へ影響を与え、より多くの高齢者がこのような心持ちで生活できることが、人生 100 年時代を迎える中で目指す姿であると言える。

また、各人が意欲的に健康づくりや介護予防に取り組む中で、人と人、人と地域のつながりが深められることは、地域共生社会の実現に向けた取組みとなる。

団塊の世代が全て 75 歳以上となる 2025 年、更には高齢者人口がピークを迎え、現役世代が急激に減少する 2040 年を見据え、目指す姿の実現に向けて必要なこととして、調査結果から見えてきたことは、毎日の生活における健康に関する市民自らの心持ち・取組みの継続であると考えられる。

計画の策定にあたっては、市民が不安に思っていること等の解消に向けた取組み、市民が取り組む健康づくり等へのきっかけづくり、それを継続させるための取組み等を具現化していくことが必要である。

また、調査結果において、男女による関心の違い等が見えたことから、事業の対象者による違いを考慮した取組みも検討する必要がある。

さらに、取組み結果をデータベース化することによって、事業の効果検証を行うことも重要である。

2 在宅介護実態調査

(1) 在宅生活の継続

<実態>

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 85.1%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 9.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 2.9%となっている。前期・後期高齢者別でみると、後期高齢者では「入所・入居を検討している」および「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合がやや高まるが、大きな差はみられなかった（A 票 問 12）。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 17.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が 15.9%と高くなっている（A 票 問 11）。

現在の生活継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が 18.9%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 16.8%となっている。また、前期・後期高齢者別でみると、『前期高齢者』では「外出の付き添い、送迎等」が、『後期高齢者』では「認知症状への対応」が最も高くなっている。（B 票 問 5）。

<課題と方向性>

前期・後期高齢者ともに、大部分の人が施設等への入所・入居は検討していなかった。「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果と同様、本調査においても、自宅での生活を継続したいというニーズの高さがうかがえる結果となった。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスとしては、移送サービスや外出同行といった、外出に関するサービスへのニーズが高い割合を占めた。また、介護者にとって不安に感じる介護としては、「外出の付き添い、送迎等」に加えて、「認知症状への対応」が高い割合を占めている。

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果をみると、後期高齢者は、前期高齢者に比べて、健康状態や身体能力が低下している割合が高くなっている。そのため、在宅生活を続けていくために、外出への支援を充実していく必要がある。また、一般的に、認知症も年齢が高くなるにつれて有病率が高くなる病気である。そのため、認知症への対応を強化していくことが重要である。

(2) 介護保険サービスの利用状況

<実態>

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が 70.7%、「利用していない」が 28.6%となっている。（A 票 問 15）

介護保険サービスを利用しない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 43.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 21.9%、「その他」が 16.0%となっている。（A 票 問 16）

<課題と方向性>

介護保険サービスの利用状況は、約 7 割が利用している結果となった。

また、利用していない人のうち約半数は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」を、約 1 割は「家族が介護をするため必要ない」を選択している。

一方、「本人にサービス利用の希望がない」が約 2 割いる。なぜサービス利用の希望がないのか、個々の事情を確認していくとともに、サービス利用の周知を進めていくことも必要である。

(3) 介護保険サービス以外のサービスの必要性**<実態>**

介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「利用していない」が 65.8%と最も高くなっており、そのほかの選択肢は 1 割を下回っている。これは前期・後期高齢者別、男女別でみても大きな差はみられなかった。ただし、行政区別でみると、「利用していない」が最も高いことは変わらないが、「配食」サービスについて、花見川区が 16.5%、若葉区が 10.6%、美浜区が 12.9%と 1 割を超える結果となった（A 票 問 10）。

また、今後も在宅生活を継続していくために必要と思われる支援・サービスについては、「特になし」が 39.6%と最も高い。ただし、「掃除・洗濯」や「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院、買い物など）」など、複数の選択肢が 1 割を超えていることから、サービスについてのニーズはあることがうかがえる（A 票 問 11）。

<課題と方向性>

6 割以上の人が、介護保険サービスに含まれる支援・サービスのみを受けていることがわかった。ただし、行政区別でみると割合がそれぞれ異なることから、身近に利用したいサービスを提供する事業所があればサービスを利用する割合が増加する可能性があるとも考えられる。

少なくとも、介護保険サービス以外の支援・サービスについても潜在的なニーズはあることから、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院、買い物など）」などの実際の利用状況との差について検証する必要がある。

(4) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制**<実態>**

訪問診療の利用状況は、「利用していない」が 90.4%、「利用している」が 8.6%となっている。なお、前期・後期高齢者別にみても大きな差はみられない（A 票 問 14）。

<課題と方向性>

訪問診療を利用している人は1割未満にとどまった。前回の調査結果においても、ほぼ同程度の割合であり、大きな変化はみられなかった。ただし、調査結果では自宅での生活を望む割合が多いことから、訪問診療への潜在的なニーズは少なくないと考えられ、在宅医療の体制整備の充実が求められる。

(5) 主な介護者の就労の継続

<実態>

調査対象者の主な介護者は、「子」が49.9%と最も高く、次いで「配偶者」が34.1%、「子の配偶者」が7.9%となっている。男女別は「女性」が65.5%、「男性」が33.3%、年齢は「50代」が31.6%と最も高く、次いで「60代」が20.3%、「70代」が19.3%となっている（A票 問3・4・5）。

主な介護者が行っている介護の種類については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が86.2%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が69.0%、「外出の付き添い、送迎等」が65.1%となっている（A票 問6）。

介護を主な理由として過去1年に仕事を辞めた家族・親族がいるかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が71.4%で、それ以外の項目はいずれも1割未満となっている（A票 問9）。

主な介護者の勤務形態としては、「働いていない」が52.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が23.3%、「パートタイムで働いている」が17.6%となっている（B票 問1）。

フルタイムまたはパートタイムで働いている人について、働き方の調整は「特に行っていない」が42.0%と最も高く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が29.5%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が16.9%となっている（B票 問2）。

仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先からの支援については、「特にない」が23.7%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が21.3%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が14.5%となっている（B票 問3）。

今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題なく、続けていける」が35.3%と最も高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が33.8%となっている（B票 問4）。

また、主な介護者のほかに介護をする人（副介護者）がいるかについては、「いない」が51.3%と最も高く、次いで「子」が30.8%となっており、その介護時間は「週に4時間以下」が55.9%と最も高くなっている（A票 問7・8）。

<課題と方向性>

主な介護者は家族や親族であり、50代以上が約7割を占めていた。老々介護の問題が、今後さらなる高齢化が進むにつれて増えていく可能性がある。

介護が主な理由となって仕事を辞めた家族・親族は約 7 割が「いない」と回答しており、主な介護者の勤務形態としても「働いていない」が約半数を占めている。前述した老々介護の問題から、適切なサービスの利用や、家族介護者への支援が必要である。

今後、仕事と介護の両立を続けていけるかどうかは、「問題なく、続けていける」人は約 3 割であり、問題があるか、続けていくのが難しいと回答した人は約 4 割となった。

また、「問題なく、続けていける」人は、現状で働き方の調整を「特に行っていない」割合が高くなっている。一方、問題があるか、続けていくのが難しいと回答した人では、労働時間の調整や休暇をとっている割合が高い。両立を厳しいと感じている人は、何らかの仕事の調整を行っている割合が高い。

主な介護者が就労を継続していくためには、介護サービスや勤務先企業による支援を充実させていくことが必要となる。介護サービスについては、(1)～(4)で考察した介護保険サービスおよび介護保険外サービスの充実が求められる。企業からの支援については、勤務先からの支援に関する設問で高い割合を占めた「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」等の整備が重要となる。

(6) ダブルケアの状況

<実態>

現状または過去におけるダブルケアの経験については、「ダブルケアの経験はない」が 66.1%で最も高く、次いで「現在ダブルケアの状況にある」が 7.7%、「過去にダブルケアを経験したことがある」が 3.9%となっている（B票 問 6 (1)）。

ダブルケアで最も苦労した時期の子どもの年齢について、「13 歳以上」が 32.2%、次いで「4～6 歳」「10～12 歳」がともに 15.3%となっている（B票 問 6 (2)）。

<課題と方向性>

ダブルケアの経験者は、現在・過去を合わせて約 1 割となった。割合としては小さいが、介護に加えて育児が同時に発生することによる負担は大きなものと推測できる。前回の調査結果と比べても大きな差はないことから、ダブルケアを行っている人は一定数の割合で常に存在している可能性がうかがえる。

また、上記のように仕事と介護の両立については、続けていくのが難しいと回答した人は約 4 割となっている。ダブルケアに対しては、ダブルケアそのものの理解や行政の窓口による相談体制の充実、さらには、地域における取組みへの支援等が必要となってくる。

(7) まとめ

今回の調査からわかることは、在宅の要介護者の多くは、施設等への入所・入居を検討していないということである。「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」においても、将来的に医療や介護が必要になった時に生活や療養したい場所として「自宅で暮らし続けたい」と回答した高齢者が6割以上いたことを鑑みると、在宅生活を希望する高齢者は多いと言える。

介護が必要になっても住み慣れた自宅で暮らし続けたいという高齢者の希望をかなえるためには、介護が必要である。

今回の調査結果によると、介護者が配偶者や子である高齢者は8割以上であり、この重要な介護者が不安に感じる介護として最も多かった回答は、認知症状への対応であった。

令和元年6月に「認知症施策推進大綱」が取りまとめられたところであるが、大綱の基本的な考え方としては、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することとされている。

計画の策定にあたっては、高齢者の希望である在宅生活の継続に向けた施策を検討するとともに、家族介護者の視点で自宅介護における不安の解消に向けた施策を検討することが必要であり、また、家族以外による介護やサービスが身近な選択肢となる施策についても検討が必要である。

また、介護者が不安に感じることとして次に多かった回答は、外出の付き添い・送迎等であったが、このサービスを現在利用しているという回答はあまり多くはなかった。ニーズを分析したうえで、必要なサービスが必要としている高齢者に届くサービス提供体制を検討していく必要がある。

3 介護保険事業所向けアンケート調査

(1) 経営状況

<実態>

介護事業を運営する上で、重視して取り組んでいることについては、「質の高いサービスの提供」が66.2%と最も高く、次いで「利用者・家族との信頼関係の構築」が48.4%、「人材の確保・定着及び労働条件の改善や離職防止策」が41.3%となっている（質問1）。

介護サービス向上のために実施し、効果があったものについては、「内部研修の充実」が46.1%と最も高く、次いで「外部研修（他施設の見学も含む）への積極的な参加」が35.3%、「職員の給与の引き上げ」が27.3%となっている（質問7）。

今後3年間の経営方針について、「現在の介護保険事業を同規模で継続する」が74.1%と最も高く、次いで「現在の介護保険事業を拡大する」が14.0%、「現在の介護保険事業を継続し、新たな介護保険事業を開始する」が7.1%となっている。行政区別でみると、稲毛区は「現在の介護保険事業を拡大する」が、全体の数値より9ポイント以上高くなっている（質問2）。

また、事業を拡大する・新たに開始する経営方針の理由については、「利用者の確保を見込めるから」が47.5%と最も高く、次いで「事業としての採算が合わないから」が35.6%、「従業員を新たに確保できるから」が19.8%となっている（質問3-1）。

事業を縮小する経営方針の理由について、「従業員の確保が難しいから」が70.0%と最も高く、次いで「事業としての採算が合わないから」が50.0%となっている（質問3-2）。

<課題と方向性>

介護保険事業所が事業運営にあたって重視しているのは「質の高いサービスの提供」が約6割となっている。サービス向上のための施策は、内部・外部での研修が上位を占めており、介護保険サービスにおいて、人材の質が重要な要素であることがうかがえる結果となった。

今後の経営方針としては、基本的には現状維持もしくは拡大傾向にあることがわかった。具体的には、現状維持が約7割と大半を占めており、事業拡大および新事業の開始を合わせると約2割である。一方、事業を縮小する意向については1割未満となっている。

また、稲毛区は事業拡大の割合がやや多めに出ていたため、行政区別で経営状況が異なる可能性もある。

事業拡大の理由としては、「利用者の確保を見込めるから」が約半数となっている。高齢化に伴い、介護保険サービスの利用者が増加している現状を反映した結果ともいえる。

一方、事業縮小の理由としては、「従業員の確保が難しいから」が約7割となっている。上に挙げたサービス向上のための施策でもふれたが、やはり人材は重要な要素であり、経営方針にも影響を与えることがわかる。

（2）従業員の採用状況

<実態>

従業員の採用状況については、実際の従業員数の平均値と理想とする従業員数の平均値を比較したところ、全体として現状は理想を下回った。また、1年間の採用者数の平均値と離職者数の平均値の比較については、多少離職者数が採用者数を上回ったが、大きな差はみられない。

現在の従業員数と理想とする従業員数に差がある理由については、「募集しているが、そもそも応募がないから」が56.8%と最も高く、次いで「同業他社との人材（日本人）獲得競争が厳しいため採用に至らないから」が20.9%、「他産業に比べて労働条件が良くないため採用に至らないから」が20.0%となっている。（基本項目5）

また、人材確保については、千葉市に対して望むこととして、「介護人材の確保に関する支援」が62.2%と最も高くなっていた（質問17）。

<課題と方向性>

従業員の採用状況は、必要な人材の人数や能力など、事業所ごとに異なる状況がある。基本的には、採用においては事業所と応募者のマッチングが重要と思われる。そのため、対策の方向性としては、マッチングをめざす説明会を開催するとともに就職につなげることが必要となる。

従業員の採用における問題としては、「募集しているが、そもそも応募がないから」の割合が半数を超えている。採用については課題を抱えている事業所が少なくないようだ。千葉市に対して望むこととして、「介護人材の確保に関する支援」を求めている事業所も約6割に上った。

前述した経営状況の考察からみえてきたように、介護保険事業において人材の質は重要な要素と考えられる。地域の介護保険サービスの環境改善のためには、人材確保が必須となる。

（3）サービスの状況

<実態>

市内で充実が必要と思われるサービスについては、「訪問系のサービスの充実」が33.0%と最も高く、次いで「在宅医療の充実」が31.9%、「24時間体制の訪問サービスの充実」が29.4%となっている（質問4）。

介護サービス向上のために実施し、効果があったものについては、「内部研修の充実」が46.1%と最も高く、次いで「外部研修（他施設の見学も含む）への積極的な参加」が35.3%、「職員の給与の引き上げ」が27.3%となっている（質問7）。

また、千葉市に対して望むことについて、「サービスの質の向上のための研修」は38.0%となっている（質問17）。

<課題と方向性>

市内で充実すべきと感じているサービスについては、上位を訪問系のサービスが占める結果となった。多くの事業所が在宅医療への対応を課題と感じている可能性がうかがえる。

また、サービス向上に効果があった施策としては研修を挙げる事業所が多く、千葉市に対して望む事項としても研修を選択する事業所が4割弱と多くなっていた。そのため、市内の介護保険サービス向上のためには、研修の充実に対する市の支援を検討する必要がある。

(4) 他施設との連携

<実態>

他事業所や他職種と連携するために取り組んでいることについては、「地域のあんしんケアセンターと連携する」が63.3%と最も高く、次いで「地域ケア会議や退院時カンファレンス等に参加する」が49.7%、「他職種が集まる研修会に参加する」が43.8%となっている（質問11）。

現在、連携している組織については、「医療機関」が61.2%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」が49.7%、「自治会・商店街など地縁的つながりの団体」が34.4%となっている（質問13）。

他事業所や他職種との連携における課題については、「業務が忙しく地域ケア会議、退院時カンファレンス、他職種の集まる研修会等に参加できない」が59.5%と最も高く、次いで「連絡方法が分からないなど医療機関との連携が難しい」が17.5%、「連携で困った時に、どこに相談していいのかわからない」が17.3%となっている（質問12）。

<課題と方向性>

調査の結果、多くの介護保険事業所が、他施設と連携体制をとっていることがわかった。「その他」の回答（自由回答）をみても、まったく連携をとっていないというケースは少なく、全体的に他施設との連携について前向きな姿勢がうかがえる。

そのため、対策としては、前述の質問12で挙げられた課題を解決していくことが重要になる。特に「業務が忙しく地域ケア会議、退院時カンファレンス、他職種の集まる研修会等に参加できない」は約6割に上るため、対処が求められている課題だ。研修等はサービスの向上にもつながる可能性が高く、時間がなく参加できない状況はサービスの質の面でも影響を与えうる。

また、他施設との連携にあたって、連絡先・相談先がわからないという課題を抱えている事業所も少なくない。困った際に対応できるサポート体制を整えておく必要がある。

(5) まとめ

介護人材不足は全国的な課題であり、平成 31 年 3 月に取りまとめられた介護サービス利用者と介護現場のための「介護現場革新会議の基本方針」においては、①人手不足の時代に対応したマネジメントモデルの構築、②ロボット・センサー・ICT の活用、③介護業界のイメージ改善と人材確保・定着促進という課題に関係団体が一体となって取り組む必要があるとされている。

本市においても今回の調査により、「介護人材の確保」は、介護保険事業所における共通の大きな課題であることが明らかである。

人手不足は、サービス種別、職種を問わず同様の状況であったが、特に訪問介護（総合事業の訪問系を含む）における訪問介護員、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（地域密着型サービスを含む）における介護職員の不足が顕著であり、募集しても応募がない状況という回答であった。

また、今後 3 年間の経営方針として事業を縮小すると回答した事業所の理由の約 7 割が、「従業員の確保が難しい」との回答であったことから、人材の確保に向け、介護職員の処遇改善、魅力向上に向けた取組みを検討するとともに、離職防止及び定着支援の取組みの検討が重要となってくる。

介護は、介護者と利用者という人と人との関係が大切であり、人材の充実が欠かせない。また、介護はチームケアであり、従事者同士の良好な人間関係の構築も欠かせないものである。これらを構築するためには、共通の理念を持つことが対策の一つと考えられる。

今回の調査において、6 割以上の事業所が重視して取り組んでいると回答した「質の高いサービスの提供」など事業所の理念等について、8 割以上の事業所が介護サービス向上のために実施し効果があったと回答した「研修」において、従事者に伝え、共通の理念をもって従事することも定着に向けた対策の一つになると考えられる。

計画の策定にあたっては、多忙な業務の中にも取り入れられる取組みを検討する必要がある、これからの介護の担い手となる外国人介護人材の受入れ環境整備にもつながるものと考えられるため、重要となってくる。また、その際は「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」結果に見られるように、利用者の抵抗や不安感に配慮した対策としての検討も必要である。

V 資料編

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

千葉市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 アンケート調査ご協力のお願い

謹啓 日頃より、市政にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

千葉市では、令和3年度から5年度まで（2021年度から2023年度まで）の高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）を策定するための資料として、このたび市民の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

この調査は厚生労働省から示された項目を基に、今後の施策を検討するための重要な調査です。ご多用のところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力をお願いいたします。

謹白

令和元年12月 千葉市長 熊谷 俊人

【回答方法】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 特に指定のない限り、**2019年12月1日時点**の情報をご記入ください。

【回答期限】

- 回答後のこの調査票は、3つ折りにして同封の返信用封筒で、
2020年（令和2年）1月10日（金）までに投函してください。

【お問い合わせ先】

○調査票の書き方に関すること

株式会社東京商工リサーチ 千葉支店（千葉市から委託されています。）

TEL 043-301-7511（平日9：30～17：30 受付）

FAX 043-301-7517 E-mail chiba.br@tsr-net.co.jp

※12/30～1/3は年末年始のため、休業させていただきます。

※土日及び12/30～1/3は閉庁しております。

○上記以外の調査の趣旨等に関すること

千葉市役所 保健福祉局 高齢障害部 高齢福祉課 企画調整班

TEL 043-245-5171（平日9：00～17：00 受付）

FAX 043-245-5548 E-mail korei.HWS@city.chiba.lg.jp

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】		
②主にどなたの介護、介助を受けていますか (○はいくつでも)		
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー 8. その他 ()		
【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】		
③どのような介護・介助を受けていますか (○はいくつでも)		
1. 買い物や通院など外出に関すること		2. 食事の準備やゴミ出しなど生活に関すること
3. 入浴や食事の直接の介助		4. 金銭管理や支払いなど経済的なこと
5. 困ったときの相談		6. その他 ()
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は一つ)		
1. 大変苦しい		2. やや苦しい
3. ふつう		4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある		
(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○は一つ)		
1. 持家 (一戸建て) こうえいちんたいじゅうたく		2. 持家 (集合住宅) みんかんちんたいじゅうたく
3. 公営賃貸住宅 みんかんちんたいじゅうたく		4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)		6. 借家
7. その他		

問2	からだを動かすことについて
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は一つ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は一つ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(3) 15分位続けて歩いていますか (○は一つ)	
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は一つ)	
1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は一つ)	
1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか (○は一つ)	
1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2~4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は一つ)	
1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない
(8) 外出を控えていますか (○は一つ)	
1. はい	2. いいえ
【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】	
①外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)	
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症など) しょうがい のうそっちゅう こういしょう
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ()
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)	
1. 徒歩	2. 自転車
3. バイク	4. 自動車(自分で運転)
5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス
9. 車いす	10. 電動車いす(カート)
11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他 ()	
(10) あなたは、「介護予防」(介護が必要となるような状況を防ぐための健康の保持増進の取組)に取り組んでいますか (○は一つ)	
1. 日頃より意識して取り組んでいる	2. 関心はあるが、まだ取り組んでいない
3. 関心がない	
【(10)で「1. 日頃より意識して取り組んでいる」と回答された方のみ】	
①あなたは、軽く汗をかく程度の運動(30分以上)を、どのくらいの頻度で行っていますか (○は一つ)	
1. 週に2回以上	2. 週に1回
3. 月に2~3回	4. 月に1回
5. ほとんど行っていない	

問 3	食べることについて	
(1) 身長・体重		
身長 cm	体重 kg	
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) 口の渇きが気になりますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(5) 歯磨き (人に磨いてもらう場合も含む) を毎日していますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は一つ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)		
1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし	
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし	
①噛み合わせは良いですか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
【(6) で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または 「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方のみ】		
②毎日入れ歯の手入れをしていますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(7) 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(8) どなたかと食事をとる機会がありますか (○は一つ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問 4	毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は一つ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は一つ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか (○は一つ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は一つ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は一つ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(10) 新聞を読んでいますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(11) パソコンやスマートフォンで、メールやインターネットを使っていますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	
(12) 本や雑誌を読んでいますか (○は一つ)		
1. はい	2. いいえ	

(13) 市主催の催し物の情報はどのような手段で知りますか (○はいくつでも)		
1. 市政だより	2. 市ホームページ	3. 回覧板
4. SNS (ツイッター、フェイスブック等)	5. 公共施設に配置されてい る掲示物	6. 広告 (新聞等)
7. 友人	8. 家族	9. 近所の人
10. 職場	11. その他 ()	
(14) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は一つ)		
1. はい		2. いいえ
(15) 友人の家を訪ねていますか (○は一つ)		
1. はい		2. いいえ
(16) 家族や友人の相談にのっていますか (○は一つ)		
1. はい		2. いいえ
(17) 病人を見舞うことができますか (○は一つ)		
1. はい		2. いいえ
(18) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は一つ)		
1. はい		2. いいえ
(19) 趣味はありますか (○は一つ)		
1. 趣味あり		2. 思いつかない
↳ どのような趣味ですか ()		
(20) 生きがいがありますか (○は一つ)		
1. 生きがいあり		2. 思いつかない
↳ どんなことですか ()		

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか (①～⑧それぞれに○は一つ)						
	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加してい ない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ ちばしいいきき体操 やシニアリーダー体操 などの介護予防のための 通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか (○は一つ)						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)として</u> 参加してみたいと思いますか (○は一つ)						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
(4) (1) で「6. 参加していない」と答えたもののうち、参加したいグループ等がありますか (○はいくつでも)						
1. ボランティアのグループ 2. スポーツ関係のグループやクラブ 3. 趣味関係のグループ 4. 学習・教養サークル 5. 介護予防のための通いの場 6. 老人クラブ 7. 町内会・自治会 8. 収入のある仕事						

【(4)で「8. 収入のある仕事」と回答された方のみ】**①どのくらいの勤務時間、頻度での仕事を望みますか（それぞれに○は一つ）**

・ 一日の勤務時間

1. フルタイム（7 時間程度） 2. 2～4 時間 3. 1 時間

・ 勤務頻度

1. 週 5 日 2. 週 1～3 日 3. 月 1～2 日 4. その他
-
- ()

(5) 【(1) ⑥老人クラブで「6. 参加していない」と回答された方のみ】**老人クラブに参加していない理由は、次のどれですか（○はいくつでも）**

1. 老人クラブを知らない 2. 他の活動が忙しく、時間がない
-
3. 健康上の問題 4. 活動内容に魅力を感じない
-
5. 地域との関わりが煩わしい 6. その他 ()

問 6**たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
-
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
-
7. その他 () 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
-
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
-
7. その他 () 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
-
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
-
7. その他 () 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
-
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
-
7. その他 () 8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (○はいくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. あんしんケアセンター・保健福祉センター (地域包括支援センター)	6. その他	
7. そのような人はいない		
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は一つ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は一つ) (同じ人には何度会っても1人と数えることとします)		
1. 0人 (いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
4. 6~9人	5. 10人以上	
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人
7. その他	8. いない	

問7	健康について
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は一つ)	
1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○を一つ)	
とても不幸	とても幸せ
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点	
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は一つ)	
1. はい 2. いいえ	
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は一つ)	
1. はい 2. いいえ	

(5) お酒は飲みますか (○は一つ)	
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない
(6) タバコは吸っていますか (○は一つ)	
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)	
1. ない のうそっちゅう のうしゅつけつ・のうこうそくなど	2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) とうにょうびょう	4. 心臓病 こうしけっしょう ししつじょう
5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 きんこっかく こつそ しょう
9. 腎臓・前立腺の病気 がいしやう てんとう こっせつなど	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等) めんえき	12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 にんちしょう	14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他 ()	
(8) 現在、病院や診療所にかかっていますか (○はいくつでも)	
1. 病院や診療所にはかかっていない	
2. 外来で病院や診療所にかかっている	
3. 往診や訪問診療などの在宅医療を利用している	
(9) 将来、病気や日常生活動作等の低下によって医療や介護が必要になった時、どのような場所で生活や療養をしたいと思いますか (○はいくつでも)	
1. 自宅で暮らし続けたい	
2. 高齢者向けの住宅で暮らしたい	
3. 特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしたい	
4. 病院に入院したい	

問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について	
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は一つ)	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は一つ)	
1. はい	2. いいえ
(3) 認知症に関するサービスを知っていますか (○はいくつでも)	
1. あんしんケアセンター	2. 認知症疾患医療センター
3. 認知症初期集中支援チーム	4. ちば認知症相談コールセンター
5. 成年後見支援センター	6. 認知症カフェ
7. 認知症サポーター養成講座	8. 認知症介護講習会・交流会
9. 認知症ケアパス	10. どこシル伝言板 (高齢者保護情報共有サービス)
11. その他 (	)
(4) 認知症の人が住み慣れた地域で生活するために必要な取組みは、どれだと考えますか (○は3つまで)	
1. 認知症への理解をすすめる取組み (勉強会・講演など)	2. 認知症の方を見守る地域の協力体制
3. 認知症の方同士の交流会	4. 認知症の方の体験や工夫などをご本人から地域に伝える取組み
5. 認知症に対応した介護施設の充実	6. 認知症について相談できる窓口
7. 認知症の早期発見のためのしくみ	8. 認知症の発症を遅らせる取組み (サロン・教室など)
9. その他 (	)
(5) あなたは「成年後見制度」を知っていますか (○は一つ)	
1. 名称だけでなく、制度の内容も知っている	2. 名称のみ知っている
3. 知らない	
(6) あなたは、あなた自身の判断能力が低下し、自分で身の回りの契約行為や財産管理などができなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか (○は一つ)	
1. はい	2. いいえ
3. わからない	

【(6)で「1.はい」と回答された方のみ】

①将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、だれに後見人となって支援してほしいですか（○は1つ）

1. 配偶者や子どもなどの親族
2. 弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職
3. 社会福祉法人などの団体
4. 市民後見人（※）
5. 信頼できる友人など
6. 誰でもよい
7. わからない

※市民後見人とは、社会貢献への関心度が高い市民が後見人となって本人を支援するものです。千葉市では、後見活動に求められる知識や技術を身につけるための研修を行い、市民後見人を養成しています。

【(6)で「2.いいえ」または「3.わからない」と回答された方のみ】

②あなたが、「利用したいと思わない」または「わからない」と答えた理由は何ですか（○はいくつでも）

1. 制度の内容や利用方法がわからない
2. 制度を利用するための手続きが複雑そうである
3. 他人に財産管理をされることに抵抗がある
4. 利用するために費用（経済的負担）がかかる
5. 制度自体に良いイメージがない
6. 必要性がわからない
7. その他（ ）
8. 特に理由はない

問 9 施策検討のためのニーズ把握について

- わが国では、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、また要介護高齢者の増加が見込まれている反面、生産年齢人口（15 歳から 64 歳）は減少しており、今後、ますます専門的な介護人材の確保が困難になります。

このような状況の中、専門職による介護保険サービスの提供をこれまでどおり継続することは、皆様が負担する介護保険料の大幅な引き上げにつながります。

そこで、市では、介護保険サービスのうち介護度の軽い方（要支援者）に対する買い物支援など、専門職でなくても行えるサービスをボランティア、NPO、地域住民などに担っていただく施策を検討するとともに、外国人の介護専門職の受け入れや、介護ロボットの導入の推進を検討しております。

- また、昨今、高齢の親が、ひきこもりの子どもの生活を支える状態が社会問題化しており（8050 問題とも言われています）、市では、こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなることを防ぐための施策を検討しております。

※ これらのことについて、今後、ご自身やご家族が介護保険サービスが必要になった場合のお考えや課題を抱える世帯がどのくらいあるのか等の状況をお伺いします。

（１）あんしんケアセンター（地域包括支援センター）を知っていますか（○は１つ）

1. はい 2. いいえ

【（１）で「１. はい」と回答された方のみ】**①あんしんケアセンターをどの程度知っていますか（○は１つ）**

1. 利用したことがある 2. 役割は知っている 3. 名前は知っている

（２）掃除、買い物など専門職（介護福祉士等）でなくてもできるサービスについて、専門職ではないが、市の研修を修了し、介護事業者から派遣される方でも利用しますか（○は１つ）

1. はい 2. いいえ 3. わからない

（３）介護事業者でなくてもできるゴミ出し等の軽作業について、ボランティア、NPO、地域住民などが地域の支えあい活動として提供するサービスを利用してもよいと思いますか（○は１つ）

1. はい 2. いいえ 3. わからない

(4) 高齢により自分で買い物に行けなくなったときに、食品や日用雑貨などを購入する際、希望される方法はどれですか (○は1つ)		
1. 有償の買い物代行サービスを利用する 2. 近所にある宅配など、配達してくれるお店に注文する 3. 家族・知人をお願いする 4. その他 ()		
(5) 外国人介護士による介護サービスの提供に大きな抵抗や不安はありますか。また何が不安ですか (○は1つ)		
1. 大きな抵抗・不安はない 2. 大いに抵抗・不安がある 3. どちらでもない		
具体的に不安な点があれば、よろしければご記入ください。 ()		
(6) 介護ロボット (たとえば、次ページの図のような) を使った介護サービスを受けることに大きな抵抗や不安はありますか (○は1つ)		
1. 大きな抵抗・不安はない 2. 大いに抵抗・不安がある 3. どちらでもない		
具体的に不安な点があれば、よろしければご記入ください。 ()		
(7) ご家庭に、ひきこもり状態 (家や自室から全く出ない、もしくは自らの趣味に係ること、および近隣のコンビニ等のみ外出する状態) にある子どもはいますか (○は1つ)		
1. はい 2. いいえ		
【(7) で「1. はい」と回答された方のみ】		
①ひきこもり状態にある子どもの年齢を教えてください (○は1つ)		
1. 20 歳代以下 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代 5. 60 歳代以上		
【(7) で「1. はい」と回答された方のみ】		
②ひきこもり地域支援センターなどの相談機関に相談していますか (○は1つ)		
1. はい 2. いいえ		



出典: 厚生労働省作成資料より

※移乗介助（非装着型）

- ・ 移乗開始から終了まで、介助者が一人で使用することができる。
- ・ ベッドと車いすの間の移乗に用いることができる。
- ・ 要介護者を移乗させる際、介助者の力の全部又は一部のパワーアシストを行うこと。
- ・ 機器据付けのための土台設置工事等の住宅等への据付け工事を伴わない。
- ・ つり下げ式移動用リフトは除く。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

2 在宅介護実態調査 調査票

＜認定調査員による聞き取り調査A票＞

在宅介護実態調査 調査票

調査票番号[]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. ない | } 問10(裏面)へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

} 問3～問16へ

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

＜認定調査員による聞き取り調査A票＞

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

15. その他()
16. わからない

問7 主な介護者の方のほかに問6の項目と同様の介護を行っている家族や親族はいますか。いる場合は、介護を必要としている人から見た続柄を教えてください。(介護を分担している介護者を、以下の質問では副介護者と呼びます)。

1. いない 2. 配偶者 3. 子 4. 子の配偶者
5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. その他

「1.」を回答した場合は問9へ

「2.」～「7.」を回答した場合は問8へ

問8 副介護者は週に何時間くらい介護をしていますか。

1. 週に4時間以下 2. 週に4時間～8時間程度 3. 週に8時間～12時間程度
4. それ以上

問9 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問10 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他() | 11. 利用していない | |

＜認定調査員による聞き取り調査A票＞

問 11 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他() | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 12 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居を検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 13 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他() |
| 15. なし | 16. わからない |

問 14 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 15 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問 15 で「2. 」を回答した場合は、問 16 (裏面) も調査してください。

＜認定調査員による聞き取り調査A票＞

問 16 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他()

● 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

<認定調査員による聞き取り調査B票>

調査票番号[]

B票

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|------------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問6へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5～問6(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他() | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

＜認定調査員による聞き取り調査B票＞

●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

15. その他()
16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問6 育児と介護の同時進行(子育てを行いつつ、自分や配偶者の親などを介護すること)を「ダブルケア」とい
い、現役世代の方の社会での活躍をさまたげる要因の一つです。このダブルケアについて、おたずねい
たします。

(1)あなたはダブルケアをしていますか。または過去にしていましたか。

(「子育て」の対象は、乳幼児から概ね中学生までのお子様としてお答えください。ただし、お子様が病気や
障害をお持ちの場合は、高校生以上のお子様も含めます。)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 現在ダブルケアの状況にある | 2. 過去にダブルケアを経験したことがある |
| 3. ダブルケアの経験はない | |

(2)ダブルケアを現在又は過去にご経験の方に、お子様の年齢や人数をおたずねします。(現在でなく過去
にダブルケアを経験していた方は、最も苦労が大きかった時期のことについてお答えください。)

① お子様は何歳ですか。(お子様が複数の場合は、一番下のお子様についてお答えください。)

- | | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 0～3歳 | 2. 4～6歳 | 3. 7～9歳 | 4. 10～12歳 | 5. 13歳以上 |
|---------|---------|---------|-----------|----------|

② ①で1～3を選択した方にお伺いします。

小学校3年生以下のお子様の人数は何人ですか。

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人以上 |
|-------|-------|-------|---------|

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

3 介護保険事業所向けアンケート調査 調査票

千葉市介護保険事業所向けアンケート

回答内容の入力

操作方法のご説明

下記の入力フォームに必要事項を入力した後、「回答内容確認」ボタンを押してください。

必須 マークがある項目は、必ず入力してください。

また、機種依存文字は使用しないでください。機種依存文字が入力されている場合はエラーになります。

途中まで入力した内容を一時保存したい場合、「回答一時保存確認」ボタンを押してください。
ただし、選択した添付ファイルに関しては一時保存されません。

高齢者保健福祉推進計画（第8期介護保険事業計画）策定にあたり、事業所の現状や意向について調査するものです。

※複数のサービス実績がある場合は、サービスごとにご回答をお願いします。

※回答項目数は、基本項目5、質問18です。所要時間は15分程度です。

※調査画面表示後、60分以内に回答を送信しない場合は、強制的にログアウトしてしまいますので、作業を中断する時はページの一番下の「回答一時保存」を押してください。

1 介護保険事業所番号 必須	12から始まる10ケタの番号を記載してください（半角数字入力）。
2 事業所名 必須	64文字以下で入力してください。
3 貴事業所で令和元年12月の1か月間に提供実績のあるサービスを1つお答えください。 必須	☐ ○訪問介護（総合事業の訪問系を含む） ☐ ○訪問入浴介護 ☐ ○訪問看護 ☐ ○訪問リハビリテーション ☐ ○居宅療養管理指導 ☐ ○通所介護（総合事業の通所系を含む）（定員19名以上のデイサービス） ☐ ○地域密着型通所介護（定員18名以下のデイサービス） ☐ ○認知症対応型通所介護 ☐ ○通所リハビリテーション ☐ ○短期入所生活介護 ☐ ○短期入所療養介護 ☐ ○特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）（地域密着型サービスを含む） ☐ ○居宅介護支援 ☐ ○福祉用具貸与・特定福祉用具販売

1/10

	● ○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（地域密着型サービスを含む） ● ○介護老人保健施設 ● ○介護療養型医療施設（療養病床等） ● ○介護医療院 ● ○定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ● ○認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム） ● ○小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能型居宅介護を含む）
4-1 貴事業所における（令和2年1月1日現在の）従業員の状況を職種別にお答えください。 ※人数は、常勤換算によるおおよその人数を入力してください。 ※該当がない場合は全て0人と入力してください。 必須	(1) 訪問介護員 ・従業員数 ・理想とする従業員数 ・1年間※の採用者数 ・1年間※の離職者数 ※1年間…平成31年1月1日～令和元年12月31日
4-2 貴事業所における（令和2年1月1日現在の）従業員の状況を職種別にお答えください。 ※人数は、常勤換算によるおおよその人数を入力してください。 ※該当がない場合は全て0人と入力してください。 必須	(2) サービス提供責任者 ・従業員数 ・理想とする従業員数 ・1年間※の採用者数 ・1年間※の離職者数 ※1年間…平成31年1月1日～令和元年12月31日
4-3 貴事業所における（令和2年1月1日現在の）従業員の状況を職種別にお答えください。 ※人数は、常勤換算によるおおよその人数を入力してください。 ※該当がない場合は全て0人と入力してください。 必須	(3) 介護職員 ・従業員数 ・理想とする従業員数 ・1年間※の採用者数 ・1年間※の離職者数 ※1年間…平成31年1月1日～令和元年12月31日 ※介護職員…介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者をいう。

4-4 貴事業所における (令和2年1月1日現在の) 従業員の状況を職種別 にお答えください。 ※人数は、常勤換算による おおよその人数を入力して ください。 ※該当がない場合は全て0 人と入力してください。 必須	(4) 看護職員 ・従業員数 ・理想とする従業員数 ・1年間※の採用者数 ・1年間※の離職者数 ※1年間…平成31年1月1日～令和元年12月31日
4-5 貴事業所における (令和2年1月1日現在の) 従業員の状況を職種別 にお答えください。 ※人数は、常勤換算による おおよその人数を入力して ください。 ※該当がない場合は全て0 人と入力してください。 必須	(5) 生活相談員 ・従業員数 ・理想とする従業員数 ・1年間※の採用者数 ・1年間※の離職者数 ※1年間…平成31年1月1日～令和元年12月31日
4-6 貴事業所における (令和2年1月1日現在の) 従業員の状況を職種別 にお答えください。 ※人数は、常勤換算による おおよその人数を入力して ください。 ※該当がない場合は全て0 人と入力してください。 必須	(6) PT (理学療法士)、OT (作業療法士)、ST (言語聴覚士) ・従業員数 ・理想とする従業員数 ・1年間※の採用者数 ・1年間※の離職者数 ※1年間…平成31年1月1日～令和元年12月31日
4-7 貴事業所における (令和2年1月1日現在の) 従業員の状況を職種別	(7) 介護支援専門員 ・従業員数

にお答えください。

※人数は、常勤換算による
おおよその人数を入力して
ください。

※該当がない場合は全て 0
人と入力してください。

必須

- ・理想とする従業員数
- ・1年間※の採用者数
- ・1年間※の離職者数

※1年間…平成31年1月1日～令和元年12月31日

5 【4において、現在の
従業員数と理想とする従業
員数に差がある事業者】
その理由をお答えくださ
い。
(複数選択可)

- ☐ ○募集しているが、そもそも応募がないから。
- ☐ ○他産業に比べて労働条件が良くないため採用に至らないから。
- ☐ ○同業他社との人材（日本人）獲得競争が厳しいため採用に至らないから。
- ☐ ○同業他社との人材（外国人）獲得競争が厳しいため採用に至らないから。
- ☐ ○定着率が低い（離職率が高い）から。
- ☐ ○分からない。
- ☐ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

質問1 貴事業所におい
て、介護事業を運営する上
で、重視して取り組んでい
ることを3つまでお答えく
ださい。

必須

- ☐ ○必要な収入を得ること
- ☐ ○新規利用者の獲得
- ☐ ○質の高いサービスの提供
- ☐ ○提供するサービス種別の拡大
- ☐ ○人材の確保・定着及び労働条件の改善や離職防止策
- ☐ ○従業員の教育・研修
- ☐ ○指定に関する書類作成など事務の効率化
- ☐ ○利用者・家族との信頼関係の構築

質問2 貴事業所の今後3
年間の経営方針について、
あてはまるものを1つお答
えください。

必須

その他を選択された場合は質問4へ

- ☐ ○現在の介護保険事業を拡大する…質問3-1へ
- ☐ ○現在の介護保険事業を継続し、新たな介護保険事業を開始する…質問3-1へ
- ☐ ○現在の介護保険事業を同規模で継続する…質問4へ
- ☐ ○現在の介護保険事業を規模を縮小する…質問3-2へ
- ☐ ○その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

質問３－１ 【質問２において、事業を拡大する・新たに開始すると回答した事業者】その経営方針とした理由をお答えください。 (複数選択可) 必須	☐ ○事業としての採算が合わないから ☐ ○従業員を新たに確保できるから ☐ ○利用者の確保を見込めるから ☐ ○経営者・管理者などの対応が可能となったから ☐ ○事業譲渡・合併・組織改編などを見込んでいるから ☐ ○制度改正により対応が可能となったから ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
質問３－２ 【質問２において、事業を縮小すると回答した事業者】その経営方針とした理由をお答えください。 (複数選択可) 必須	☐ ○事業としての採算が合わないから ☐ ○従業員の確保が難しいから ☐ ○利用者の確保が難しいから ☐ ○経営者・管理者などの高齢化による ☐ ○事業譲渡・合併・組織改編などを見込んでいるから ☐ ○制度改正への対応ができないから ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
質問４ 利用者の生活を支えるために不足しているなど、今後、市内で充実（量的充実）が必要と思われるサービスを３つまでお答えください。 必須	☐ ○訪問系のサービスの充実（訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、夜間対応型訪問介護、居宅療養管理指導） ☐ ○24時間体制の訪問サービスの充実（定期巡回・随時対応型訪問介護看護） ☐ ○通所系サービスの充実（通所介護、認知症対応型通所介護等） ☐ ○リハビリテーションの充実（訪問、通所） ☐ ○ショートステイサービスの充実（短期入所生活介護、短期入所療養介護等） ☐ ○通い、訪問、宿泊を組み合わせた複合サービスの充実（（看護）小規模多機能型居宅介護サービス等） ☐ ○介護保険施設の充実（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療

	院、認知症高齢者グループホーム等) ☐ ○住まいに係るサービスの充実（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等） ☐ ○在宅医療の充実（訪問診療・看護・服薬管理等） ☐ ○居宅介護支援事業所の充実 ☐ ○要支援者向けの総合事業の充実 ☐ ○その他の介護保険サービスの充実 ☐ ○特にない
質問5 貴事業所がサービスを提供する地理的範囲内の競合事業者数について、あてはまるものを1つお答えください。 必須	☐ ○多い ☐ ○適正数 ☐ ○少ない
質問6 競合事業者が存在することによる利用者獲得への影響について、あてはまるものを1つお答えください。 必須	☐ ○利用者を獲得しづらくなる要因となっている ☐ ○影響はない ☐ ○その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
質問7 貴事業所において、介護サービス向上のために実施（平成31年1月1日～令和元年12月31日）し、効果があったものを3つまでお答えください。 必須	☐ ○第三者評価の受審 ☐ ○第三者評価委員やオンブズパーソン等の第三者による苦情・相談システムの導入 ☐ ○利用者に対するサービスの質に関するアンケートの実施 ☐ ○苦情や事故の事例研究 ☐ ○情報の積極的な公表 ☐ ○外部研修（他施設の見学も含む）への積極的な参加 ☐ ○内部研修の充実 ☐ ○介護サービス事業者間の交流 ☐ ○福祉用具や器具の開発・導入 ☐ ○施設内の設備の改善 ☐ ○職員の心身の健康管理や労働環境の整備 ☐ ○職員のモラルの向上の取り組み ☐ ○職員の給与の引き上げ ☐ ○行っていない ☐ ○その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。

質問 8 介護保険制度の被保険者に対する介護保険外サービス（全額利用者負担）の提供についてお答えください。 必須	☐ ○提供している …質問 9 へ ☐ ○提供していない …質問 10 へ
質問 9 【質問 8 において、介護保険外サービスを提供していると回答した事業者】提供している介護保険外サービスの種類をお答えください。 (複数選択可) 必須	☐ ○家事援助等サービス ☐ ○訪問サービス（家事援助サービス以外） ☐ ○配食サービス ☐ ○物販等サービス ☐ ○安否確認・緊急通報サービス ☐ ○移動支援・付き添いサービス ☐ ○通い・サロンサービス ☐ ○衣類整理、補修 ☐ ○草取り、庭仕事、除雪 ☐ ○院内介助、入院時の支援、受診介助 ☐ ○介護保険の対象とならない身体介護 ☐ ○話相手、相談対応 ☐ ○介護保険の対象とならない掃除や洗濯 ☐ ○家具の移動、引っ越し手伝い ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
質問 10 「在宅医療と介護の連携」 在宅医療・介護連携支援センターについて、あてはまるものを 1 つお答えください。 必須	☐ ○業務内容も含めて知っている ☐ ○名前は聞いたことがある ☐ ○知らない
質問 11 「在宅医療と介護の連携」 他事業所や他職種と連携するために取り組んでいることをお答えください。	☐ ○地域ケア会議や退院時カンファレンス等に参加する ☐ ○多職種が集まる研修会に参加する ☐ ○他事業所の職員も参加できる研修会等を開催する ☐ ○地域のあんしんケアセンターと連携する

(複数選択可) 必須	☐ ○連携で困った時は、在宅医療・介護連携支援センターに相談する ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
質問 1 2 「在宅医療と介護の連携」 他事業所や他職種との連携における課題をお答えください。 (複数選択可) 必須	☐ ○業務が忙しく地域ケア会議、退院時カンファレンス、多職種の集まる研修会等に参加できない ☐ ○地域ケア会議、退院時カンファレンス等会議が多すぎる ☐ ○連絡方法が分からないなど医療機関との連携が難しい ☐ ○多職種の集まる研修会等の情報が届かない ☐ ○連携で困った時に、どこに相談していいのかわからない ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
問 1 3 貴事業所と連携している地域※の各種団体や組織をお答えください。 ※地域…主に貴事業所における介護保険のサービス提供をしている地理的範囲を想定してください。 (複数選択可) 必須	☐ ○民生委員・児童委員 ☐ ○自治会・商店街など地縁的つながりの団体 ☐ ○社会福祉協議会（地区部会） ☐ ○幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校等教育機関 ☐ ○医療機関 ☐ ○ボランティア団体・NPOなど機能的つながりの団体 ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
質問 1 4 「認知症の方への支援」 貴事業所で認知症の方への対応について課題となっていることを3つまでお答えください。 必須	☐ ○家族の理解・協力 ☐ ○地域の理解・協力 ☐ ○認知症の早期診断 ☐ ○医療機関との連携 ☐ ○専門的な医療の提供 ☐ ○周辺症状の重度化への対応 ☐ ○症状の特性に応じた対応

	☐ ○認知症の人の社会参加 ☐ ○若年性認知症の人への支援 ☐ ○財産（金銭）管理への対応 ☐ ○虐待防止の制度や取り組み ☐ ○特になし ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
質問 15 「認知症の方への支援」 高齢者保護情報共有サービス（どこシル伝言板）について、あてはまるものを1つお答えください。 必須	☐ ○利用者本人、本人の家族等が使っている ☐ ○名前だけでなく機能も知っている ☐ ○名前は知っているが機能までは知らない ☐ ○知らない
質問 16 「認知症の方への支援」 成年後見制度について、あてはまるものを1つお答えください。 必須	☐ ○制度の内容まで詳しく知っている ☐ ○名称は知っているが、制度の内容は詳しくは知らない ☐ ○知らない
質問 17 「市の施策」 事業者の立場から、保険者である千葉市に対して望むことをお答えください。 （複数選択可） 必須	☐ ○介護保険に関する情報提供 ☐ ○介護人材の確保に関する支援 ☐ ○サービスの質の向上のための研修 ☐ ○不正な事業所の指導 ☐ ○利用者への適正なサービス利用の啓発 2 ☐ ○適正な介護報酬請求のための情報提供 ☐ ○あんしんセンター（地域包括支援センター）の機能の充実 ☐ ○特になし ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
質問 18 「市の施策」 本市高齢者保健福祉、介護保険事業施策などについての現行の取り組みへの評価や	

4

ご意見、今後の施策展開へ
のご要望やご意見を記載し
てください（自由記述）。

--

千葉県高齢者保健福祉推進計画(第8期介護保険事業計画)

策定にかかる調査報告書

令和2年3月

編集・発行

千葉県 保健福祉局 高齢障害部 高齢福祉課

〒260-0026 千葉県中央区千葉港2番1号

千葉中央コミュニティセンター1階

電話 043-245-5171

FAX 043-245-5548

E-mail korei.HWS@city.chiba.lg.jp